

全国初!

スマホで見る
新感覚
大学案内

夢へ繋がる道がここに。

SAGA UNIVERSITY

GUIDE BOOK 2014



夢へ繋がる道がここに。

佐賀大学

GUIDE BOOK 2014



全国初!

スマホで見る
新感覚
大学案内



佐賀大学のここに注目!

佐賀大学ってどんな大学? 自然豊かな佐賀にありながら、
先進的な取り組みをしている佐賀大学のポイントをご紹介します。

平成25年度から大きく変わる佐賀大学の教育「大学」と「社会」の繋がりの中で「実践力」を磨く

インターフェース科目

授業で学んだ知識やスキルを活用
できる力を育てる教育プログラム

詳しくは24ページへ

学部生
就職率 **95.4%** ※平成24年度卒業生

具体的な就職先は各学部・学科のページへ

就職に関する支援情報は142ページへ

アクセス便が良いキャンパス

博多駅～
佐賀駅まで **最短 35分**
就職活動にも便利な
立地条件です

詳しくは155ページへ

在学生に聞いた
佐賀大学に対するイメージ

穏やか 居心地の良い
大学です
アットホーム

※佐賀大学イメージ調査より

海外留学 支援を強化

- ◎留学支援英語教育カリキュラム
- ◎留学支援枠の拡大

詳しくは137ページへ

平成25年度から学生は全員受験

TOEIC

英語の授業科目の成績に反映

詳しくは25ページへ



全国初!!

これまでの大学案内の常識を超えた



新感覚大学案内 スマホで公開中!

文字や写真では伝えにくい「大学の雰囲気」や
通常見られない「授業の様子」等の情報を
スマホを使ってリアルに体験できます

スマホで見る
大学案内については

161ページ

をご覧ください

国立総合大学では **全国初!**

佐賀大学 美術館 平成25年 10月開館

詳しくは4ページへ

最近の
話題

充実したデータ集

- ◎学費(国立大学と私立大学の違い)
- ◎経済支援(奨学金、授業料免除実績)
- ◎福岡からの通学時間と費用
- ◎入試データ(近年の実質競争倍率・合格者の得点情報など)

詳しくは146ページへ

CONTENTS

002	佐賀大学の理念
004	最近の話題
010	卒業生からのメッセージ
016	佐賀大学の研究
022	佐賀大学の教育
026	学科・課程インデックス
028	文化教育学部
030	学校教育課程
036	国際文化課程
040	人間環境課程
044	美術・工芸課程
048	経済学部
050	経済学科
054	経営学科
058	経済法学科
062	医学部
064	医学科
070	看護学科
074	理工学部
076	数理科学科
080	物理科学科
084	知能情報システム学科
088	機能物質化学科
092	機械システム工学科
096	電気電子工学科
100	都市工学科
104	農学部
106	応用生物科学科
110	生物環境科学科
114	生命機能科学科
118	大学院
121	キャンパスライフ
122	キャンパスカレンダー
124	佐賀大学生の1日
128	佐賀大学生の生活
130	サークル活動
132	大学基本用語集
134	キャンパスマップ
136	キャンパスライフQ&A
137	国際交流
142	キャリア支援
144	就職実績
146	学生生活支援
149	佐賀大学 生協
151	Q&A
155	ロケーション
156	入試情報
160	入試日程等のお知らせ
161	オープンキャンパス・ スマホで見る大学案内



佐賀大学の理念

佐賀大学は、地域社会に深く関わる学生中心の大学として未来への貢献を目指します。
志を常に高く持ち、独自の先進的な研究を世界へ発信します。

地域と共に未来へ成長し続ける、
教育先導大学として社会の発展に貢献します。



佐賀大学は、これまでに培った文、教、経、理、医、工、農等の諸分野にわたる教育研究を礎にし、豊かな自然溢れる風土や諸国との交流を通して育んできた独自の文化や伝統を背景に、地域と共に未来に向けて発展し続ける大学を目指して、ここに佐賀大学憲章を宣言します。



■ 学長メッセージ



『それぞれの可能性を広げたい。』

ほとけ ぶち たか お
佐賀大学長 佛淵 孝夫

「可能性」、それは、みなさんに最もふさわしい言葉でしょう。
豊かな創造性と躍動する若さをもつみなさんには、急速に変化し多様化する現代を支え、未来を切り拓く多くの可能性が秘められています。

佐賀大学は旧佐賀大学と旧佐賀医科大学の長い歴史に培われた高度な教育・研究の成果を基盤に、一人ひとりの可能性の扉を開いてきました。

また、大学の精神を受け継いだ卒業生の温かなネットワークも厳しい時代を生きていくうえで力強い励みとなっています。

「歴史と伝統」というこの聞き慣れた言葉を、佐賀大学はそれぞれの可能性を大きく広げるための新たなキーワードに変えて一人ひとりの学生に贈ります。

入学者受入れの方針

佐賀大学の求める入学者

佐賀大学は、学生と緊密にコミュニケーションできる総合大学として、人格形成、専門知識・技術の修得、そして基礎から実用開発にいたるまで、能力を最大限に伸ばすことを目標に人材育成と研究活動を展開します。

佐賀大学の教育目標は、高度情報化社会で活躍できる情報基礎と専門知識を修得させること、地域文化を理解し地域に根ざした活動を行うための素養を持たせること、国際化時代にふさわしい異文化理解とコミュニケーション能力を修得させることです。

佐賀大学は、チャレンジ精神を持ち、問題を自発的に探求・解明し、社会に貢献できることを人生目標とする学生を求めています。

佐賀大学は 大学機関別認証評価の 全基準を満たしています



佐賀大学は、平成21年度に大学評価・学位授与機構による大学機関別認証評価を受審し、教育研究活動などに関する11の基準全てを満たしていると認定されました。また、「教育先導大学」という目標を掲げて大学の方向性を鮮明に示していることなど、14項目が優れているという高い評価を受けました。これからも、教育や研究のクオリティのさらなる向上をはかり、学生に選ばれる大学を目指します。

■ 認証評価と教育研究に関するホームページはコチラ

認証評価について

特色ある教育研究内容について

佐賀大学ホームページ <http://www.saga-u.ac.jp/>

大学案内

注目情報(特色ある教育と研究)

中期目標・計画、評価(大学評価について)

機関別認証評価(評価結果について)

国立大学法人 佐賀大学

学部等

- 文化教育学部**
- 学校教育課程
 - 国際文化課程
 - 人間環境課程
 - 美術・工芸課程
 - 附属幼稚園
 - 附属小学校
 - 附属中学校
 - 附属特別支援学校
 - 附属教育実践総合センター

- 経済学部**
- 経済学科
 - 経営学科
 - 経済法学科
 - 地域経済研究センター

- 医学部**
- 医学科
 - 看護学科
 - 附属病院
 - 附属地域医療科学教育研究センター
 - 附属先端医学研究推進支援センター

- 理工学部**
- 数理科学科
 - 物理科学科
 - 知能情報システム学科
 - 機能物質化学科
 - 機械システム工学科
 - 電気電子工学科
 - 都市工学科

- 農学部**
- 応用生物科学科
 - 生物環境科学科
 - 生命機能科学科
 - 附属アグリ創生教育研究センター

全学教育機構

- 大学院**
- 教育学研究科
 - 経済学研究科
 - 医学系研究科
 - 工学系研究科
 - 農学研究科
 - 鹿児島大学大学院連合農学研究科

- 附属施設・研究施設**
- 産学・地域連携機構
 - アドミッションセンター
 - キャリアセンター
 - 国際交流推進センター
 - 附属図書館
 - 保健管理センター
 - 海洋エネルギー研究センター
 - 総合分析実験センター
 - 総合情報基盤センター
 - 低平地沿岸海域研究センター
 - シンクロtron光応用研究センター
 - 地域学歴史文化研究センター



TOPICS

01

“佐賀大学美術館”2013年10月開館

佐賀大学美術館
THE SAGA UNIVERSITY ART MUSEUM

SUAM

2013年10月1日に「旧佐賀大学」と「佐賀医科大学」は統合して10年目を迎えます。統合10周年の記念事業として、本学に美術館を建設します。国立大学美術館としては東京芸術大学に次ぐ2館目です。

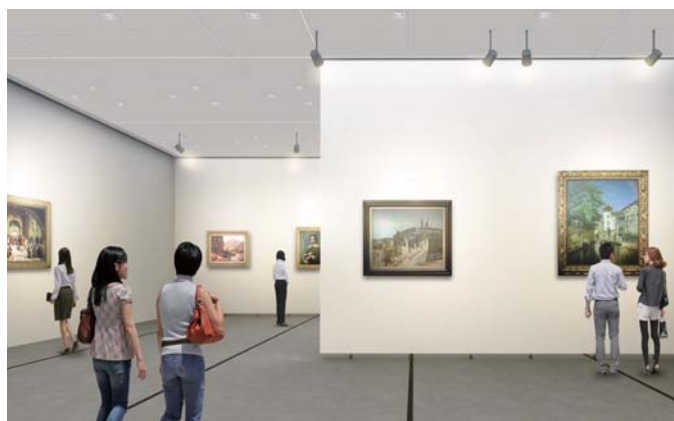
佐賀大学美術館は、本学の教育・研究の発表の場として、また、地域・社会貢献事業の一拠点として活用します。

美術館には、美術・工芸に関する作品を展示・収集・保管し、佐賀大学の歴史的資料や、学生および教員の作品展示、制作現場の公開などを行う予定です。

美術館の天井高5メートルの明るく開放的なガラス張りの建築デザインは、佐賀大学が目指す「開かれた美術館」「大学と地域を結ぶ美術館」を象徴しています。



外観イメージ



展示室イメージ



様々な形態に対応する 開放的な展示スペース

1階各展示スペースは、移動大型展示壁により、様々な展示形態に対応でき、展示室1・2、スタジオ、ホールを一体的な空間としても使用できます。スタジオは、講演会やワークショップの開催など、多目的に活用することができます。

2階の展示室3では、大学所蔵の歴史的な価値のある作品の展示が可能で、展示室4は映像作品の展示に適した照明調整や、視聴覚設備を備えています。

幅が広く緩やかな階段の壁面と2階の歴史展示スペースには、旧制佐賀高校時代からの資料を展示します。

大学の並木に見守られ、 カフェでリラックス

美術館にはカフェが併設されます。開放的でおしゃれなカフェは、学生や教職員はもちろん、学外の人々も気軽に利用しやすく、地域の人々と大学との交流の場の一つとなります。

カフェのテーブルには、長年構内の並木道で大学を見守ってきたラクウショウの木材を使用し、暖かい木のぬくもりを感じることができます。

ガラス張りのカフェからは、半屋外空間のギャラリーで行われる展示やミニコンサートなどのイベントを楽しむことができ、また、2階からは、美術館を鑑賞した後の余韻に浸りながら、背後の山並みなどの佐賀の原風景を眺めてリラックスできます。



スタジオイメージ



ギャラリーイメージ

美術館Webサイト・ 公式Facebookを開設しました!

美術館Webサイト、Facebookで情報発信を行っています。
Webサイトでは美術館完成後のイメージムービーが公開中です。ぜひご覧ください。

佐賀大学美術館Webサイト

<http://www.saga-u.ac.jp/museum/>

公式Facebook

<http://www.facebook.com/sagau.museum>



“ネットを空気に変える” 佐大発ベンチャー企業 佐大OB達の挑戦

株式会社 オプティム 代表取締役社長 菅谷 俊二 さん

農学部 生物生産学科 2002年3月卒(兵庫県立星陵高等学校出身)

2012年10月、特許分析会社パテントリザルト社による「情報通信分野・特許資産規模ランキング」が発表されました。これは情報通信業界の企業が保有する特許資産を、質と量から評価したもので、ランキングには1位NTT、2位NTTドコモ、3位マイクロソフトと、国内外の有名大手企業が上位に名を連ねています。その中で、第9位に「株式会社オプティム」がランクインしました。

オプティムは、佐賀市に本店を置くソフトウェア開発会社であり、代表である菅谷俊二氏が、佐賀大学在学中の2000年に起業したベンチャー企業です。

その菅谷氏が、佐賀大学で講演をするにあたり、お話を伺いました。

2012年情報通信分野・ 特許資産規模ランキング **第9位**

特許1件あたりの資産規模では国内**1位**に!

順位	前年順位	企業名	特許資産規模 (pt)	登録件数
1	1	NTT	39,154	1,662
2	2	NTTドコモ	24,056	803
3	3	MICROSOFT	20,847	755
4	12	ヤフー	12,733	312
5	4	ERICSSON	10,866	370
6	5	日本放送協会	6,385	360
7	7	KDDI	5,299	391
8	8	野村総合研究所	4,503	144
9	34	オプティム	2,345	19
10	15	FRANCE TELECOM	1,945	72

出典元：株式会社パテント・リザルト様 2012年10月9日ニュースリリースより

2011年4月1日から2012年3月末までの1年間に登録された特許を対象に「パテントスコア」を用いた評価を行い、企業ごとに総合得点を集計した結果です。オプティムは登録件数が19件ながら特許資産規模で第9位と分析されています。

子供の頃から夢は起業家

在学中にも関わらず、なぜベンチャーを立ち上げることとなったのか。その経緯は、1996年、縁あって佐賀大学農学部生物生産学科に入学した時から始まっていました。「小学生の頃から夢は起業家になりたいと思っていました。父親が工業高校の教員ということもあり、いつでもコンピューターに触れられる環境で育ちました。そこで、大学ではコンピューター以外で、次の時代にくるものを学びたいと考え、バイオテクノロジーを選んだわけです」。憧れの農学部で施設園芸栽培研究室に入ったものの、実際は「びっくりするほど地道な研究の毎日でした(笑)。植物のオートマチック生産の研究室に入り、研究そのものは非常に面白かったのですが」。その一方でやはりインターネットの世界で自分の可能性を試してみたいという想いが強くなっていきました。

先進的な大学の環境とビジネスの芽生え

その想いを後押しするかのよう、佐賀大学はインターネット環境がとて先進的でした。「当時、他の大学では学生がインターネットを利用するには限られた環境でしかできず、閉鎖的な時代。しかし佐賀大学は情報処理センターを学生誰にも開放し、自由に利用できるという優れた環境が整っていました。私も大いに利用させていただきました」。アルバイトをしながら個人的にシステム開発を手掛けるなど、インターネットビジネス展開について昼夜考える日々が続きます。3年の時には大学を休学。その間、県内のコンピューター関連企業にアルバイトながらシステム開発業務を担当しました。「開発を任せていただいた担当者の方との出会い

が、私にとって大きな転機になったのは間違いありません」。実際の企業の中で実務に携わり、ビジネス展開のノウハウや技術等を学ぶなどそこで得た経験は、菅谷氏自身を大きく成長させたのでした。

ベンチャービジネスへ繋がる転機の訪れ

その後、インターネット広告の新しいメディアを創造しようと、i-CMと名付けたシステムを開発し、2000年3月、大前研一氏主催の第一回ビジネスジャパンオープンに応募。その事業計画が特別賞を受賞し、菅谷氏を取り巻く環境が急激な変化を遂げていきます。有識者はじめ実に多くの人々と出会いを経て、同年6月、ついに、i-CM事業展開を中心としたオプティムを設立。小学生の頃の夢を実現させた時でもありました。

4人からスタートしたオプティムも、現在は総従業員数130人となり、菅谷氏が筆頭に、佐賀大学OBが多数働いています。事業内容も、スマホやタブレットPCなどIT環境の変容に伴って、変化・拡大しています。「ネットを空気に変える」ことをミッションとし、ユーザー、そしてネットサービスを提供する企業の双方の立場にたった、ネットをカンタン化するサービスや製品を多く手がけています。NTTが提供しているフレッツ最大のヒット商品となったリモートサポートサービスをはじめ、世界初の製品も多く、海外企業との提携などグローバルに展開中です。「私にとって佐賀大学時代を経て得たものは、技術や経験だけではありません。多くの人とのご縁、そして何より仲間との出会いが、オプティムを創り、現在も支え続けていただいていると思います。仲間たちと共に研究・開発を積み重ね、その成果のひとつが前述の特許資産第9位ランクインに繋がったのです。

スマートデバイスが急速な普及の今こそ オプティムだけではなく、学生にとってもチャンスの時と、 菅谷氏の講演会「がばいベンチャーの作り方」が 2012年12月5日、佐賀大学において開催されました。

これからベンチャーを志す人、何かに挑戦したい人、大学生活においての様々なヒントや道筋になればと開催されたこの講演会には、佐賀大学の学生をはじめ、他大学からも多数の聴講者が詰めかけました。

菅谷氏は、自身やオプティムの紹介はもちろん、オプティムで働く佐賀大学OB数名によるディスカッションを通し、学生の時と社会に出てからの考え方、仕事の質やとらえ方の違いなど生の声を伝えました。また、就職を控えた学生たちにもエールを送ります。「仕事は楽しい。楽しい仕事をするには楽しめる仕事を見つけなければいけない」「人生において大切なスキルは“思いやり”。相手の立場にたって物事を考える能力であり、社会で一番重要なスキル」「人生は20代で決まる。20代でどう過ごすかによって未来が決まる。だからこそいろいろなことに挑戦し、気合をいれて就職活動をしてほしい」と熱く呼びかけた菅谷氏。その言葉は参加した学生たちにも響いたようでした。

菅谷氏に、オプティムの今後の展開を聞いてみました。「すべてのネット端末にオプティムの製品をいれること。そしてクラウドで機器と機器をつなぎ世界を変えること。オプティムが世界のデファクトスタンダードを獲得できるよう研究開発を重ね、取り組んでいきます」。これからの活躍も大いに期待できそうです。



写真左から 休坂 健志 2009年 経済学部卒
菅谷 俊二
谷口 玄太 2006年 工学系研究科卒
馬場 敬尚 2006年 工学系研究科卒
長沼 俊介 2007年 理工学部卒
栗原 康介 2008年 理工学部卒
城島 泰政 2009年 工学系研究科卒

海外研修でプレゼンテーション。 理工学部の学生団体が推進する 学びの国際化

佐賀大学理工学部の7学科から学生表彰を受けた学生で構成するSTEPs (Student Association of Excellent and Progressive Spirit)。学生がリーダーシップをとって学生の目線で国際交流を行っている組織で、2011年10月に発足しました。

2011年度は工学系研究科長(理工学部長)を訪問した海外協定校の教授および学生たちに、英語で佐賀大学の案内やSTEPsの活動についての紹介を行いました。海外の訪問者に対して英語でプレゼンテーションを行うとともに、海外の学生とコミュニケーションをとるなど大変貴重な経験をしています。

2012年4月に第2期メンバーも加わり、9月に杭州・上海研修として中国の大学を訪問しました。現地の学生から杭州の有名な観光スポットや伝統などについて案内を受け、中国の学生の行動力とコミュニケーション能力の高さに驚くとともに多くのことを学びました。

STEPsの活動は、留学生や海外からの訪問者と関わる機会が少ない理工学部生にとって、海外とのコミュニケーションの場を広げる大きな役割を担っています。これからも、海外との交流を通してグローバル感覚とコミュニケーション能力を磨いていきます。



浙江理工大学における学生交流



バングラデシュ・ダッカ大学でのプレゼンテーション

佐賀大学独自の「かささぎ奨学金」創設。

—愛校心あふれる佐賀大学生の育成のために—

かささぎ奨学金 (予約型奨学金)

入学を希望する優秀な学生に対し、入学前から奨学金支給を約束する。

申請資格

- ◎成績・人物ともに優秀で、本学に強く入学を希望する者
- ◎推薦入試・一般入試(前期日程)受験者

支給額・給付期間

- ◎年額30万円×4年間(医学部医学科は6年間)

採用予定者数

- ◎12名程度

選考方法について

- ◎申請者を対象に、入試成績について審査し決定
- ◎推薦入試・・・各学部の推薦入試の成績上位者
- ◎一般入試・・・各学部毎のセンター試験の成績優秀者

佐賀大学では、2011年度から成績優秀な学生の学習意欲を高め、愛校心あふれる優れた人材を育成することを目的として「かささぎ奨学金」を新設しています。

「かささぎ奨学金」は佐賀大学独自の奨学金です。入学を希望する人向けの「予約型奨学金」と現在佐賀大学に在籍している学生を対象とした「在学生奨学金」があります。国立大学法人では九州初で、全国的にも珍しい制度です。学校から提出される調査書の成績が優秀で、一般入試(前期日程)や推薦入試で各学部の上位の学生に、1人あたり年間30万円を卒業までの4年間(医学部学科は6年間)支給します。給付期間については、学業成績や修学状況などによる継続判定があります。

この制度の名称の由来になっている「かささぎ」は佐賀平野を中心とした地域に生息し、天然記念物として保護されているとともに、佐賀県では「かちがらす」とも呼ばれ県鳥として親しまれています。

2012年11月9日に、平成23年度かささぎ奨学金(在学生)の授与式が佐賀大学学生会館において実施され、支給対象の学生47人に授与されました。

授与式では、佛淵孝夫学長が「奨学金を受けられることを誇りとし、学生のリーダーとなって欲しい」と激励し、学生代表の医学部医学科の学生が「地域社会に貢献できるような努力を重ねます」と挨拶しました。

「第10回全国大学生環境活動コンテスト」にて 学生ボランティア“チャリさがさいせい”が グランプリ(環境大臣賞)と会場賞をW受賞!

2012年12月、国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された「第10回全国大学生環境活動コンテスト(ecocon)」において、「チャリさがさいせい」が最高賞である「グランプリ(環境大臣賞)」と、本大会に参加した学生一人一人による投票で選ばれる「会場賞」を受賞しました。

「全国大学生環境活動コンテスト」は、大学生の環境活動の活動化をテーマに2003年から開催されてきたもので、今回で10回目です。毎年50～60の団体が参加しています。

佐賀大学では、大学生活で使っていた自転車を卒業後、大学に放置していくという問題がありました。その現状を改善するため、2009年に学生たちが「チャリさがさいせい」を設立。①物質循環の促進、②交通手段としての自転車利用の促進、③省資源型社会の啓発活動の3つの理念のもと活動しています。放置自転車を回収し、防犯登録の解除手続きや修理、メンテナンスなどを行って再生し、新入学生など希望者へ安価に販売しています。また、再生自転車を地域に生かすため、佐賀市で行われる「バルーンフェスティバル」や「佐賀城下ひなまつり」など各イベントで自転車を貸し出す活動なども行い、観光客や地域の方々にも喜ばれています。

これからも「物を簡単に捨てない」という意識の定着を目指して活動していきます。



イベントでのレンタサイクルの様子



「第10回全国大学生環境活動コンテスト」での受賞

佐大生が企画する高大連携活動 ～高校生とワールドカフェで交流:とことん語るバイ～



大学生とテーブルを囲んでディスカッション



カッチーくんと参加者全員で写真撮影

佐賀大学では、高大連携活動の一環として、在学生が企画する大学生と高校生の交流イベントを実施しています。平成24年度は、「ワールドカフェ」という手法を用いて、高校生と大学生が「何のために大学に行くのか」、「今、自分が何をしなければならないのか」というテーマに沿って自分の考えや経験を話し合うイベントを企画しました。「ワールドカフェ」とは、アメリカで開発されたコミュニケーション促進法の1つで、街中のカフェに見られるようなオープンな環境でテーマに沿ってリラックスした雰囲気に対話を行うものです。参加した高校生からは、「大学生のリアルな声を聞くことができた。」「大学生と話すことで、自分がどんな将来を過ごしたいのかを考えさせられた。」といったコメントが寄せられ、とても好評なイベントとして成功をおさめ、いくつかのマスコミにも報道されました。

一方、同イベントを企画した在学生は、企画段階から打ち合わせを重ね、コンセプトの整理や協力者募集、そして、イベント実施に関する報道発表までを自らが行いました。こうした主体的な企画や運営活動は、就業力や社会性のかん養に繋がる貴重な経験となりえます。佐賀大学では、「学生中心の大学」を掲げており、学生の主体的活動を積極的に支援しています。大学は、自分の可能性を大きく飛躍させることができる場です。佐賀大学で、自分のアイデアや想いを「カタチ」に変えてみませんか。



卒業生からのMessage

佐賀大学での学びを活かし、様々な分野で活躍する卒業生たち。

そんな先輩方の現在の思いや大学生生活の過ごし方など、皆さんへのアドバイスを熱く語って頂きました。

✉ 卒業生メッセージ

ライフサイエンス分野から宇宙を目指す



フライト運用中(右:永松愛子さん)

宇宙航空研究機構(JAXA)
有人宇宙環境利用ミッション本部
宇宙開発利用センター 勤務

永松 愛子 さん

農学部 応用生物科学科 1997年3月卒(筑紫女学園高等学校出身)

高校生の皆さん、こんにちは。JAXAの永松です。私は、子どもの頃から理科が大好きでした。母も理系大学出身だったためか、小さな頃から、いろいろな分野の科学館やプラネタリウム、化石堀り、国内の射場施設に連れて行ってくれ、宇宙が好きになるきっかけとなりました。小学校2年生の時に、宇宙開発事業団(現:宇宙航空研究開発機構)種子島宇宙センターに行き、「ここが宇宙の入り口なんだ!」と大感激。宇宙の「仕事」を意識するようになりました。

小学4年生の時に、日本人初の宇宙飛行士である毛利衛宇宙飛行士、内藤(現:向井)千秋宇宙飛行士、土井隆雄宇宙飛行士の3人が選ばれました。向井宇宙飛行士は元心臓外科医です。宇宙飛行士候補として選ばれた際のインタビューで、専門分野を生かした「ライフサイエンス(生命科学)」分野で、宇宙実験に貢献したいと抱負を語られていました。このインタビューをテレビで見て機械・工学・天文学以外にも宇宙開発の分野が幅広くあることを知り、「私も『ライフサイエンス』の分野から宇宙の仕事に就きたい」と思いました。高校、大学、大学院で勉強をするうえで、研究開発の成果を宇宙開発の現場に生かすことに興味を持ち、ロケット、人工衛星、国際宇宙ステーションなど、宇宙開発の最前線で研究・開発を行っている宇宙航空研究開発機構を就職先として選びました。

JAXAでのミッション

現在、国際宇宙ステーション船内で実施するライフサイエンス研究と、有人宇宙ミッションを支える技術開発を担当しています。国際宇宙ステーション(ISS)計画は、日・米・露・欧・カナダの15カ国が参加する巨大な国際プロジェクトです。宇宙船内の最大の特徴は、「微小重力環境」と「宇宙放射線による被ばく」の2つです。その両方の分野での業務を担当しています。

入社直後は、大学、大学院で専攻していた「遺伝子工学」「重力植物学」を生かして、重力植物研究の社内研究の立ち上げを担当しました。この研究と並行して「宇宙放射線計測」に関する業務も担当し、現在は私の主要業務となっています。国際宇宙ステーションに搭乗する宇宙飛行士は、宇宙放射線(その起源から銀河宇宙線、太陽粒子線、捕捉粒子線に分類)が飛び交う中を飛行し、被ばくによる影響を受けます。安全な飛行計画を立て、宇宙飛行士の健康管理を行うためには、宇宙飛行士の被ばく線量を高精度に測定することが必要です。私は入社2年目から線量計の開発に携わり、国内外の放射線研究機関との協力・連携により、ライフサイエンス実験のための受動積算型線量計とその自動線量解析システムを開発し、ISS宇宙放射線環境計測データベースを構築しました。この線量計を用いて、アジア

人宇宙飛行士の個人被ばく線量計測、ライフサイエンス実験の生物試料の被ばく線量計測、日本の実験モジュール「きぼう」船内のエアモニタリング環境計測など、宇宙実験の成果の充実に努めています。地球の地磁気圏の外は、宇宙放射線による被ばくの影響がますます大きくなるため、線量計測に基づいたリスク評価やその評価に基づいたフライト計画の立案がより重要となります。国際宇宙ステーションで得た実測データを蓄積することで、次の有人惑星(月・火星)探査技術に生かすことができます。



ロシア宇宙機関との国際共同研究



2012年JAXA理事長賞受賞

佐賀大学での3つの経験 「体力」「学び力」「英語力」

大学は、社会に飛び込む前の準備期間でもあります。私が社会人になって役立った3つの経験について紹介します。

社会人になって必要なのは、まず「体力」です。私は大学時代の4年間、少林寺拳法部のサークルに入ったおかげで、体力が付きました。

次に「学び力」です。自分の好きなことを見つけて、徹底的に「調べる」「学ぶ」「発信する」ことを楽しんでください。私は、スペースシャトルや国際宇宙ステーションで行うライフサイエンス実験を意識して、「微小重力環境」に着目し、佐賀大学、大学院・修士（国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学）で遺伝子工学を学びました。入社後も社会人、学生生活と育児を両立させ、大学院研究生（国立大学法人 東京大学大学院 新領域創成科学研究科）として植物工学に関する研究マネジメントを勉強し、大学院博士課程（国立大学法人 総合研究大学院 高エネルギー加速器研究科）では、「宇宙放射線物理」の博士課程を修了しました。仕事をする限り、担当する業務の何かを学び続けることは必須になります。学生時代は、より自分がやりたいことを早く見つけ出して、どうすればやりたいことができるのか、たくさんの情報収集をしてほしいと思います。私は、4年生の研究室の教授、指導教官の先生方に多くのアドバイスをいただき、その通りに進んだ結果、夢に近づけたと思っています。少しでも興味を持ったことを学べそうな場所に「自分から行動して情報を取りに行くこと」を繰り返してみてください。

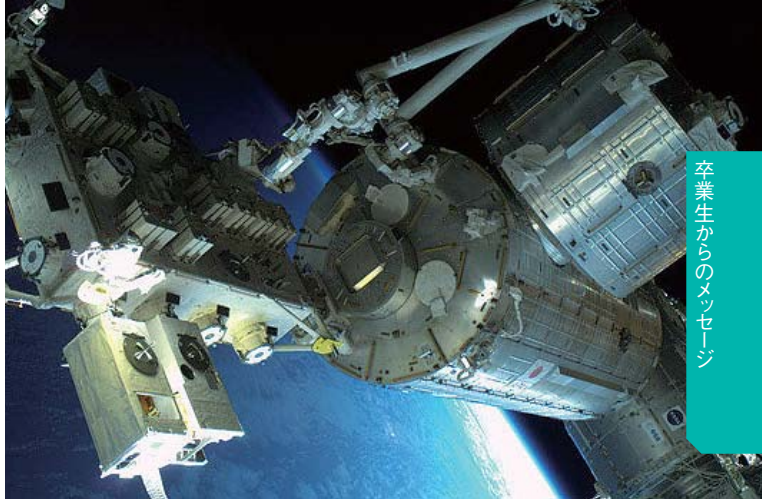
最後に「英語力」。アジアの玄関口に面した佐賀大学は、国際色豊かな学生から構成されているのも特徴です。私は留学生のチューターを2年間担当させていただいたおかげで英語でのコミュニケーション力がずいぶん身についたと思います。社会に出るまでに外国語のコミュニケーション能力を向上させることは重要です。「英語の勉強」とは思わず、コミュニケーションスキルのアップと思って、佐賀大学の環境を十分活用してください。

夢を叶えてくれる学風

学生時代、私が自分のやりたいことを口に出したとき、多くの先生方が具体的なアドバイスをくださいました。学生の夢を叶えようと真摯に対応してくださる、精一杯応援してくださる、これが佐賀大学らしい学風、雰囲気なのだということを卒業してから気づきました。いつもきらきら輝く瞳で研究を語り、学生のことを考えて、全力投球で向き合ってくださった先生方に、あらためて御礼の言葉を述べたいです。卒論も、宇宙実験に結びつくテーマになるようにとアイデアを絞り、宇宙開発に関連する学会やシンポジウムなど、できる限りの機会に出してくださいました。この頃に知り合った様々な分野の研究者の方々とは、社会人になった現在でも、宇宙開発の業務を通してお付き合いが続いています。

そして、大学で得た友人は、住むところが変わっても、職場が離れていても、生涯のかけがえのない友人です。佐賀大学は、就職後もずっと応援してくれる先生や友人と出会わせてくれる場所です。

佐賀大学を目指す高校生みなさん、佐賀大学は学生の自主性や研究する力を伸ばすことをいちばんの目標にして、全力投球をしてくださる先生方がいる素晴らしい学び舎です。このような環境で、自分のやってみたいことを見つけて、幅広くチャレンジしてください。ぜひ佐賀大学から、宇宙開発や航空技術へ興味を持ち、この分野で活躍される方が増えて欲しいと願っています。宇宙開発の現場で、一緒に働けることを楽しみにしています。



国際宇宙ステーション 日本実験モジュール「きぼう」

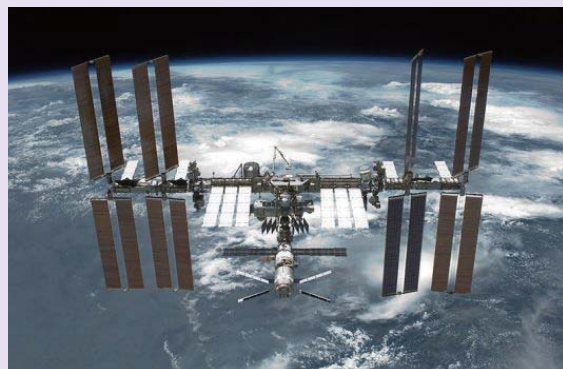
国際宇宙ステーション プロジェクトに携わって

国際宇宙ステーションの運用には、多くの人が関わります。高度な訓練を積んだ宇宙飛行士、日本の宇宙実験棟「きぼう」全体のシステムの運用チーム、ISSパートナー間の調整を行い運用指揮をとる管制チーム、地上研究から搭載化まで担当する材料物理・ライフサイエンス・医学・人文分野の研究チーム、宇宙飛行士の健康管理や搭乗訓練を支えるチームなど多岐にわたる分野のエンジニア・研究者が集まっています。各チームメンバーには企業や大学からの出向者も参加しています。

私が所属する宇宙環境利用センターは、外部の研究チームと一緒に研究を行い、宇宙実験のための装置開発も行うため、エンジニアと研究者の両方の顔が必要です。様々な分野のエキスパートが集って成果を出す仕事に、たいへんやりがいを感じています。仕事を進めるうえで大きな困難があったり、落ち込むことがあっても、「この仕事を好きでさせてもらっているんだ」と考えて感謝し、モチベーションを保つように心がけています。仕事に関わってくださる方々の思いを大事することで、携わっている業務の成果と目的が明確化でき、効率的に仕事に取り組むことができます。

結婚して子どもがいる今は、仕事に使える時間は自然と制約を受けます。夫の協力や子どもの応援がなければ、仕事を続けることは不可能です。周囲の方々の協力や理解も、実験の成功には不可欠です。

宇宙開発は、材料工学、機械工学、物理工学、医学、生物学等、全ての分野の技術と知識の集大成です。自分の専門分野を多岐に広げていくことは、どんな仕事においても重要なことだと感じています。いろいろなプロジェクトや研究活動には、多くの分野の垣根を越えたところで成果がでます。できるだけたくさんの分野に視野を向けて、複数の得意分野を作っていきたいです。



国際宇宙ステーション全体写真



高校時代の夢が現実に。 誰にも負けないフィールドで前進。

「テレビ局を受ける?何夢みたいなこと言ってるの?」。大学入学当初、それが私の周りの反応でした。高校生の時からテレビ局を目指していたのですが、そもそものきっかけは、カンボジアの内戦を描いた映画「キリングフィールド」を観て戦争ドキュメンタリーに関心を持ったからです。軍隊にいた父からも戦争の話はよく聞いていました。ですが戦後70年近い今、戦争体験者の記憶は薄れていきますし、亡くなった方もいっしょるわけです。我々の先祖が頑張ってきたこと、たくさんの犠牲の上でようやく我々が生きていることを伝え残していかないと、間に合わないと思いました。伝える手段として、やはりテレビだと思ったわけです。

しかし当時、TV局への就職といえば東大や早稲田、慶応が常連校。佐賀大学のOBは数えるほどしかいませんでした。そこで大学1年の時点でテレビ局に入るには何が必要か、どうすればいいのかの戦略を考えたのです。自分なりの“勝利の方程式”を立てました。Y=aX+b。Yは“TV局へ就職する”という目標、Xは“自己分析”、変数のaは“何が必要か、どうすべきか”、bは“世間の動き”です。自分が生まれてから1年毎の世の中の動きや経済状況、流行、どう育ってきたかなどを細かくノートに書き出しました。また、新聞各紙の報道のスタンスの違いを探ったり、雑誌やラジオでもどんどん情報をインプットする。そして自分のこれまでの生き方や時代のニーズを考慮して、TV局に就職するには自分に何が必要か計算するわけです。疑似体験をして視野を広げようと、本や雑誌、映画、レンタルビデオ三昧し、バックパッカーで世界旅行もしました。こうした経験を糧に就職試験に挑んだわけです。情報の質も量も有利な東京の大学生がライバルなわけですから、同じことをやっても勝てない、誰もやらないことをやろうと懸命だった大学生活でした。佐賀大学では珍しいテレビ局入局ということで、我ながらよくやったなと思っています(笑)。

日本放送協会(NHK) NHKプラネット九州支社 制作統括部長 村上 直己 さん

経済学部 経済学科 1990年3月卒(熊本県立玉名高等学校出身)

今、大学時代を振り返って、楽しく思い出されるのは海外旅行です。当時周りにバックパッカーなどいませんでしたが、ヨーロッパの教会やユースホステルを宿泊先に1ヶ月周遊したり、中国や韓国、東南アジアにも行きました。生活習慣や文化、食べ物の違いに多くを学び、自分の英語や中国語がどこまで通じるか試せる場でもありました。大学時代、常に不安と隣り合わせだった自分を支えてくれたものの一つが、この海外経験で得た自信です。

そして就職後の初任地はNHK宮崎放送局。その後東京報道局、東京国際局で番組制作をメインにディレクターとして経験を積みました。阪神淡路大震災や地下鉄サリン事件、広島・長崎の原爆特番、アメリカ同時多発テロ、東日本大震災など様々な番組制作に携わってきました。実は、入局当初は何回も辞めようと思ったことがあったんです。他の社員にはかなわないとずいぶん悩みました。ですが入局後1年くらいから戦争番組をつくるようになり、このフィールドだったら負けない、やっていけるという手ごたえが自分を支えたのです。以来、中国や韓国ロケをこなしながら数多くの戦争番組をつくりました。印象に残っているのは、宮崎放送局時代につくった、中国残留孤児の孤軍奮闘する姿を追った30分番組です。言葉も文化も分からない宮崎の地で、生活保護で食べていくのが精一杯の彼女に何かできないかと中国餃子の行商を勧め、それが地元デパートの目に留まり大ヒット。それまで戦争番組は証言の記録として意義がありましたが、それが発展して誰かの人生を変えたというのはあまりなかったので、少しは役に立ったかなと。嬉しかったですね。

現在は、NHKプラネット九州支社の制作部統括部長として、九州を舞台とする様々な番組の監修やイベントの中継などを行なっています。私のモットーは明るく、楽しく。“病は気から” じゃないですが、明るくやっていると楽しくなる。今でも苦しく何をやってもうまくいかない時があります。でもそれは決して長くは続かない。自分の気持ち次第で未来は変わるんです。

恵まれた環境で陸上競技に邁進。 今の目標は、夏の世界選手権！

株式会社九電工 勤務

陣内 綾子 さん

文化教育学部 学校教育課程 2009年3月卒(佐賀県立佐賀西高等学校出身)

私は生まれも育ちも佐賀。中学時代から陸上を始め、今も当時と同じコーチのもとで実業団選手として陸上と仕事を両立しています。大学では教科教育選修体育分野に所属し、学校体育を中心に学びました。大学入学当初は体育にしか興味がなく、体育科の教員を目指していました。でも、やはり陸上としっかり向き合いたいとの思いから、佐賀に近く、陸上競技に打ち込める日本トップレベルの環境を持つ九電工を選びました。社会人になって実感するのは、学生時代にさまざまな考えに触れることができてよかったということです。教科教育選修は体育だけでなく各教科志望の学生が集まるので、多様な考えを知ることができ、「スポーツしか知らない」ではなく、視野が広がったのは大きな収穫です。

現在仕事は事務職ですが、中心は選手として陸上競技に取り組むこと。会社の同僚の陸上への興味関心は高く、試合では全社的に応援してもらえるので大変励みになっています。これから佐賀大学へ進む皆さんには、学生パワーでもっと佐賀を元気にしてほしいですね。応援しています。



なりたい自分になる。学生時代も 今も、その志で自分磨きは続く。

佐賀県みやき町立北茂安小学校 勤務

田本 嘉昭 さん

文化教育学部 学校教育課程 2003年3月卒(福岡県立伝習館高等学校出身)

念願の教員になって10年。1年生以外は全学年の担任を経験しました。現在は4年生を担当し、社会科の教科主任やICT利活用推進などの業務にも携わっています。小学校時代の担任の先生に憧れて自分も教員を目指し、大学時代は教員になることが何よりの優先事項でした。早め早めの教員採用試験対応を行ったり、仕事に直結するゼミの論文も徹底的に考えて、完成させましたね。今、私が一貫して心掛けているのが、“考えさせる”授業です。答えは出るかもしれないし、出ないかもしれない。でも、答えにたどり着こうとするその過程を楽しんでもらいたいと思っています。私のやりがいは授業そのもの。45分間の一つひとつの授業を全うするため、他の業務に追われることのないように気をつけています。

児童が「分かった!」と理解できたり、上手に発言できるようになったときは教員冥利に尽きますね。もっともっと授業が上手になりたいと思っています。皆さんにも、大学生活を送る中で広い視野を持ち、納得できる進路を見つけてほしい。こうなりたいという目標に向かって、突き進んでください。

医者としての頂上は果てしない。 学び続ける姿勢が必要。

佐賀大学医学部附属病院
一般・消化器外科 勤務

江戸 都 さん

医学部 医学科 2010年3月卒(東京都立川高等学校出身)

外科医として3年目になりました。現在は佐賀大学医学部附属病院で外来、手術のオペレーターや助手の他、他病院の外来・当直等も担当しています。当科は腹腔鏡手術やロボット支援手術が盛んで、その勉強もしています。

大学時代は、医者として基礎的知識はもちろん、働き始めた今でも学び続ける姿勢、必要な情報を自ら探し、消化・吸収する術を学びました。大学時代のノートは今でも読み返しています。また学生当時は家庭医療に興味を持ち、日本家庭医療学会の学生会で全国の医学生仲間と勉強、イベントの運営などにも係りました。この中で知り合った学内外の友人との活発な交流が、医者として必要なコミュニケーション能力を高めてくれたと思います。

外科医は体力勝負。忙しい毎日の中で日々勉強の連続ですが、趣味のロッククライミングで気分転換することもあります。医者として登る山の頂上は果てしないですが、人の命を預かる職として学び続けることは必要不可欠であり、佐賀大学にその学ぶべき環境は整っていると思います。佐賀での6年間で、自分が目指す「いい医者さん」の基礎ができるはずですよ。



学生時代も今も、多彩な価値観や 人との出会いに多くを学んでいます。

三菱電機株式会社
パワーデバイス製作所 勤務

北島 由美恵 さん

理工学部 電気電子工学科 2012年3月卒(福岡県立八女高等学校出身)

人の生活に密着した「電気」への関心から理工学部を選びました。大学では、多くの科目を受講し、研究室で太陽電池の研究に関わる中、電気工学の分野で環境問題に貢献できることに気付きました。この会社を選んだのも、好きな物づくりに関わりながら世界に広く貢献できると感じたからです。現在は、新幹線など大電力の変換・制御を行うパワーデバイス製品について、販売促進活動や製品の測定、評価を行っています。職場には、海外の販売会社も含め、多くのエンジニアがいるので、グローバルで、チームで仕事が成り立っていることを実感します。プロ集団の一員として、常に成長したいと思える現場です。

大学時代、チューターとして留学生と関わり、文化の違いや語学を積極的に学べたことは大きな強みとなりました。また、部活動では少林寺拳法2段を取り、礼儀や人とのつながりの大切さを学んだことも役立っています。大学は出会いの宝庫。様々な人と交流しながら、自分の個性を磨き、実りある日々を過ごしてください。

学びや経験に何一つ無駄なことはない。
それらを生かし、解決できる警察官へ。

佐賀県諸富警察署
佐賀空港警備派出所 勤務

山口 貴子 さん

理工学部 機能物質化学科 2004年3月卒(佐賀県立佐賀北高等学校出身)

入学当初は、漠然と専攻している化学を通して人の役に立つ仕事に就きたいと考えていました。その後警察関係機関である科学捜査研究所を目指し、大学院在学中に科学捜査研究所と警察官の両方の採用試験を受験。採用面接などを通し、一か所勤務でその道のエキスパートとなるより、異動等を経験しながら新しい学びや視野を広げつつ人の役に立てる警察官の道を選びました。現在は、空港内の警備や地域のパトロール、相談受理、事件・事故の発生時には現場に駆けつけ、初動捜査を行っています。

女性警察官の採用は拡大されており、県民の皆さんの安心・安全を守るやりがいのある仕事です。異動先の刑事係や鑑識係で勤務した際、毒劇物や薬物の知識、物体の落下速度等、大学で学んだ知識が思わぬところで捜査の役に立ったこともあり、人生無駄なことは何一つないと思いました。

大学4年間は、長い人生の中では短い時間です。その中で自分の目指すべきものが定まれば、一生懸命に努力し、失敗しても学んだことはいつか役に立つと思い、自分の信じた道を頑張ってください。



地元農家と共に切磋琢磨。
大学時代から熱気球にも夢中です。

佐賀県農業協同組合
本所 園芸部 果樹課 勤務
笹川 和朗 さん

農学部 応用生物科学科 2003年3月卒(佐賀県立白石高等学校出身)

大学時代は育種学を専攻し、稲や大豆に関する研究を行っていました。品種改良の研究は細胞レベルの世界で思った以上に難しかったですが、正解がない分、やりがいも面白みもありましたね。

現在の仕事は、果樹の生産指導業務や農業経営指導業務などが主です。栽培技術の如何で作物の善し悪しが決まるので、気象から肥料、農薬、園芸資材まであらゆる情報収集やデータ分析に基づいて診断・アドバイスを行っています。いわば町医者のような存在です。

また、農学部時代の人脈は宝です。現在も農業試験研究に携わっていたり、食品や肥料メーカーなどで勤務している当時の仲間がいますので、何かあれば連絡を取って情報交換できます。大学でハマった「熱気球サークル」の仲間も知りです。今の職場でも熱気球部に所属して、パイロットとして年に20回以上は上空にいます(笑)。広い空を持つ佐賀ならではの趣味を満喫しています。今後は、もっと若手の農家が台頭できるよう尽力したいと思います。農業はやり次第で無限の可能性があるので。



佐賀大学の研究

自然豊かな佐賀にありながら、先進的な研究成果を世に発表し続ける佐賀大学。
地域に根ざし、社会へ貢献する取り組みも数多く行っています。





アートとサイエンスの心臓血管病医療を目指す

医学は、大きく分けて基礎系と臨床系に分類されます。臨床系は、患者さんを直接診て診断し治療を行うことに主眼を置いています。そのため診断および治療技術および知識を向上させることが目標になります。それは、薬剤の使用方法であったり医用工学の臨床応用であったりします。基礎系は、臨床応用する前の基本的な医用工学、薬学などの技術や知識の発見は開発に主眼が置かれます。しかし、最終目標はいずれも患者さんのQOL (Quality of Life) を向上させることを目標としています。

近年、分子生物学を基礎とした生命科学、遺伝子工学の技術発達により、ゲノム治療や再生医療など医療技術はめざましく発展し先端医療の可能性はますます広がっています。2012年はiPS細胞の研究で京都大学の山中伸弥先生がノーベル医学生理学賞を受賞されたことも記憶に新しいと思います。これらの研究は従来の医学の常識を根底から覆す革命的な発見と言えます。もちろん教科書の何処にも書いていません。すなわち教えてもらう事は出来ません。寧ろそれらを見つけていくことが求められるのです。そういう意味で、研究者は未知の世界を探検する冒険者でもあるのです。研究分野は、今まで分かっていない真実を自ら発見し後世に伝え、将来の人類の発展に寄与できる素晴らしい事業です。医学がartでありかつscienceである所以です。さらに、これからこれらの研究成果から様々な臨床応用が進んで、従来の医療からは想像もつかない飛躍的な進歩が見られる可能性が広がっています。

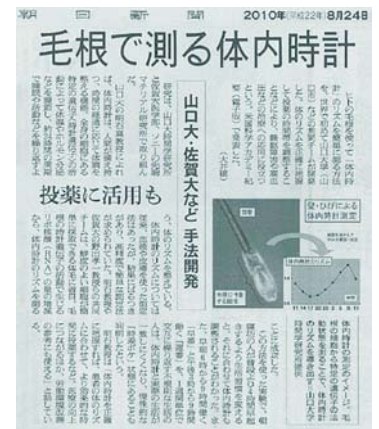
現在我々の研究室では、免疫細胞から分泌される蛋白の一種であるサイトカインと呼ばれる物質のうちIL-27という新規の物質を発見した免疫学講座吉田教授らと共同研究を行っており、実際に糖尿病や動脈硬化における役割を世界に先駆け研究しています(図1)。これらの物質の産生を抑えることで病気の悪化を食い止めることが出来るか否か日夜研究しています。また、血圧や心拍調整やホルモン産生など、動物本来に備わっている体内リズムを司る体内時計の研究を進めています。体内時計を調節する遺伝子をノックアウト(遺伝子を働かなくする)したマウスを用いて、血圧変動や心拍数変化を計測したり、急性心筋梗塞や心不全(心臓の機能が低下した状態)になりやすいかどうか?なった場合にそれらの遺伝子の役割はどのように働いているのか?培養細胞や動物を用いて、より臨床に近い状況での基礎研究を行っています。また同時に急性心筋梗塞患者さんなど臨床の現場において患者さんで時計遺伝子のリズムが狂っていないかどうか比較検討を行なっています(図2)。従来から急性心筋梗塞の発症には「魔の時刻」があると言われていましたし、高血圧患者さんでは夜間に血圧が下がらないことが問題になっています。これらの体内時計がどのように関与しているかは今だ

不明点が多く、多く医師が注目しているところです。また、臨床研究では、IT機器を用いた全国規模の慢性心不全患者の治療を行なっています。患者さんの日々の血圧や体重をモニタリングしながら病院受診を薦めたりしながら、悪化を防ぐ試みが全国規模で行なっています(HOMES-HF試験)(図3)。これらの治療法が確立すれば、在宅診療へ新たな可能性が開けると考えられます。

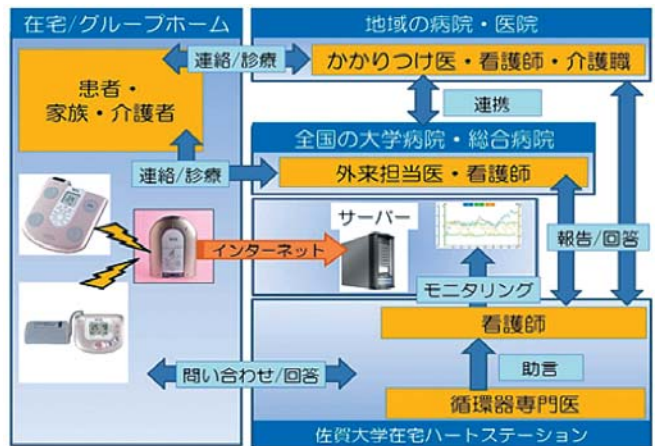
目の前の患者さんを救うことも医師の使命ですし、将来の医学の発展に貢献するのも医師の使命です。佐賀大学医学部は地域医療への貢献は基より数多くの世界レベルの研究を行なっています。医師の務めは、疾病を予防し治療することによる患者及び国民生活の向上にあります。研究分野でも弛まぬ努力と挑戦を続けています。



(図1)



(図2)



(図3)

✉ 受験生へのメッセージ

医師を目指して医学部に入学される学生の多くは、将来の医師としての自分の姿を想像しながら日夜勉学に務めていると思います。医学部への入学はその第一歩です。医師にとって必要な資質は何でしょうか?患者や家族の痛みを理解し寄り添う「感受性」も必要です。また冷静に科学的な目で判断し論理的に目標へ突き進む「合理性」も要求されます。また、海外の医師、医学者と議論し見聞を深めるためには語学も大切です。すなわち、医は仁術であり、技術であり、芸術でもあり、全ての総合的資質が必要とされる分野です。現在高校で勉強している

全ての内容が、医師にとっての基礎になると言えます。そして、何よりも患者を救うという「使命感」と「情熱」が最も医師に必要な資質の一つといえるのではないのでしょうか?医師になるためにはまず医学部に入学しないといけません。意欲あふれる若い皆さんには是非佐賀大学に入学して頂いて、一緒に研究を進展させ医学を通じて社会に貢献出来れば、我々佐賀大学にとって、この上ない喜びだと思います。その一歩を是非佐賀大学で扉を開いてください。

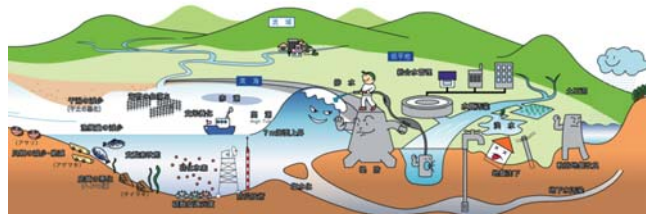
1. 世界を代表する研究・教育フィールドとしての“佐賀平野”と“有明海”

皆さんが集う佐賀平野は、とても広く、インターナショナルバルーンフェスタにとって格好の競技場になっています。この土地の目の前に広がる有明海は、干満の差が約6mもあり、全国の約40%を占める干潟の面積を保っています。ムツゴロウなどの珍しい生きものが生息する宝の海。のり養殖が盛んでガタリンピックの人気も高く、世界中から多くの人々が集まります。

佐賀平野は、人々や動植物が地球上でもっとも活動しやすい土地のひとつです。ただし、豆腐のようにやわらかい粘土地盤の上に広がっています。しかも、水が集まりやすく、つねに洪水や浸水の被害などにおよびかされます。軟弱な地盤や地下水の大量のくみ上げによる地盤沈下の災害をはじめ、水質汚染や土壌汚染などの環境問題に出会いやすいのです。これらの問題と密接にかかわる有明海では、環境の悪化が進んでしまい、この原因の解明と対策が急がれています。

平野のように平らな土地が、地盤沈下の影響を受けていっそう低まり、洪水、浸水や環境悪化などの影響を受けやすくなっている。このような土地のことを、私たちは“低平地(ていへいち)”と呼んでいます。

佐賀平野と有明海、これらは“低平地”と“沿岸海域”に関する研究・教育分野の格好のフィールドとして世界的に有名なことまで、皆さんはご存じでしたでしょうか？



2. 低平地沿岸海域研究センターの歴史と分野の内容

低平地沿岸海域研究センターは、佐賀大学における当時の低平地研究センターと有明海総合研究プロジェクトが手をつなぎ、平成22(2010)年4月1日に6年間の時限のもとで新たに発足した研究・教育グループです。

同センターは「有明海をめぐる環境問題の解決」という佐賀大学のスローガンのもと、地域に根差した研究や社会のニーズに応えるプロジェクト型研究を中心に低平地沿岸海域の諸問題の解決に取り組んでいます。また、これらの研究成果と密接にかかわる教育を行っています。さらに、タイ、ベトナム、インドネシアなど、同じような問題を抱える国・地域との間で研究交流などを通じた国際活動を進めています。



(1) 地圏科学研究分野

佐賀低平地や有明海の海底における地盤の工学的諸問題や環境的諸問題について、地質学や化学の分野などの理学と連携することで研究を進めています。さらに、有明海沿岸道路建設などのビッグプロジェクトに認められる諸問題を解決しています。

(2) 流域防災研究分野

低平地沿岸海域というユニークな環境に建設されている海岸堤防、河川堤防など、災害からくらしを守るための構造物の維持管理・改修技術の開発や、将来の災害に備えるための調査や研究を行っています。

(3) 水循環研究分野

健全な水循環を形成するには、ダム、河川、湖沼などの公共用水域における水質の維持管理が重要です。これらの水質保全技術に関する研究を進めています。さらに、下水の浄化方法、地球環境の変化が低平地の水循環に及ぼす影響と総合水管理に関する研究を行っています。

(4) 沿岸環境研究分野

有明海のユニークな海象とともに形成される佐賀低平地の河川や沿岸水域の水の流れ、水質・水底環境および生態系の保全について研究しています。とくに、河川・沿岸部における水の流れ、泥などの輸送、さらには河川の生態系を形成する植生とそこに生息する生物の動態などにもとづいて、その土地の水域環境の保全に役立つ研究を進めています。

(5) 海域環境研究分野

有明海を中心に沿岸の海の状態と生態系を研究しています。船で海に出て、海水の動き、水質や生き物を調べたり、コンピューターによる海域環境のシミュレーションを行ったりしています。また、文系の研究者とともに、沿岸の海を取りまく社会問題を研究しています。



3. 低平地沿岸海域研究センターの目指す道

21世紀の今日でさえ、風邪の症状に関する特効薬は見いだされていません。低平地沿岸海域という土地に認められるさまざまな問題は、まさに“風邪”に例えられます。せき、のどの痛み、鼻水、発熱などの症状を部分的に抑えることはできても、最後は総合的な免疫力の向上が完治のかなめになるのと同じように、低平地沿岸海域の土地もまた、いかに日頃から“免疫力の維持・向上”に努めておくかが重要なポイントになります。

近年の気候変動にともなう海面上昇や異常気象などの変化は、とくに低平地に住む人々の生活、沿岸海域の水産資源や生態系にいちじるしい影響を及ぼす可能性があります。防災、減災、環境の保全、さらには地域産業の持続的な発展を見すえた“流域圏としての付き合いかた”について、まるで“生きもの”に接するかのような研究・教育を積極的に進めていかなければなりません。

以上のように、低平地沿岸海域研究センターは、低平地沿岸海域が抱える短期的な研究・教育課題、さらには中・長期的な研究・教育課題を見すえ、流域圏の持続可能な社会発展に貢献するための世界でオンリーワンのグループに成長することを目指しています。

✉ 受験生へのメッセージ

この分野では、得意・不得意の差はしかたなくても、高校までのすべての基本知識を大学で手放すことなく、どれも理解を伸ばし続けて総合化をはかり、この知識のもとで問題解決する努力の姿勢が求められます。このような志のなかで発見し習得した新たな知識は、世界の将来、わが国の将来、さらには皆さんの将来を大きく支えることになるでしょう。

農学部で行なわれている最近の食品研究の中から、新しい機能性素材の開発に関するものを紹介します。

1. 焼酎粕・麴(こうじ)に含まれるセラミド

セラミドは、化粧品や機能性食品の素材として近年大きな注目を集めている機能性脂質です。これまではセラミドは主に牛脳から抽出されていましたが、狂牛病の発生により安価な抽出源が求められています。一方、焼酎の製造時の副産物である焼酎粕は近年、焼酎の製造量とともにその量が増加しています。しかし、国際条約で焼酎粕の海洋投棄が禁止されたため、焼酎粕の有効な利用策が求められています。そこでこれらのニーズとシーズを結びつけるため、焼酎粕に含まれるセラミドを解析しました。その結果、焼酎粕には高濃度のセラミドが含まれること、さらに日本古来の微生物である麴菌(こうじきん)がこのセラミドを作り、セラミドは麴(こうじ)に多く含まれていることを見出しました(図1)。これらの成果は焼酎粕や麴(こうじ)を素材とした化粧品や機能性食品の開発に道を拓くものであり、この研究成果を元に多くの企業が商品の開発を進めています。

2. 加圧熱水による天然化合物の抽出

水は常圧下では100℃で沸騰しますが、十分な圧力を加えながら昇温すると200℃や300℃といった高温でも液体の状態を保ちます。このような水を加圧熱水と呼んでいます。加圧熱水は、私たちが接している水とは性質がやや異なり、酸やアルカリの性質を示すようになり、多糖のような有機物を水の力だけで加水分解することができます。例えば竹を280℃までの加圧熱水で処理すると、90%以上が溶けてしまいます。佐賀大学農学部では、加圧熱水が有する特異的な性質を利用して、鹿角霊芝のようなキノコや黒酵母から漢方薬の成分であるβ(1,3)(1,6)グルカンを効率よく生産したり、竹からオリゴ糖を高い収率で製造するシステムの開発を行っています。

3. 佐賀県産食材による生活習慣病予防

有明海で二枚貝に対する食害を起こして駆除・廃棄されていた「ナルトビエイ」、佐賀県林業試験場が簡便な栽培法を確立した「ムキタケ」、佐賀県の特産物である「レンコン」「大豆」などからの抽出物に血中脂質濃度低下作用や脂肪性肝臓障害改善作用などを発見しました。その作用機序の1つとして、メタボリックシンドローム改善作用を持つ脂肪組織由来ホルモン様物質「アディポネクチン」の血中濃度上昇作用が関与していることも明らかにしました(図2に「ムキタケ」の例)。

4. 微生物発酵茶の新成分

茶には、緑茶(不発酵茶)、烏龍茶(半発酵茶)、紅茶(完全発酵茶)のように茶葉の酸化酵素による発酵度の違いで分類されるものの他に、微生物で発酵させる後発酵茶があります。農学部では、単一の微生物(*Aspergillus* sp.)で発酵処理した微生物制御発酵茶から、茶カテキン類の新しい代謝成分であるteadenol類を単離し、その化学構造の解明に成功しました(図3)。Teadenol類には、糖尿病の予防や脂肪低減作用のあるアディポネクチンの分泌促進、また、ガン転移酵素抑制活性が認められ、新しい抗メタボリックシンドローム成分として注目されています。また、最近では美白効果も発見され、新しい化粧品素材としての利用も検討されています。佐賀大学は、日本だけでなく、米国、中国、韓国においてteadenolに関する国際特許を持っています。現在、teadenol入りの微生物発酵茶は、日本のお茶の企業数社から販売されていますので、インターネット等でぜひ検索してみてください。

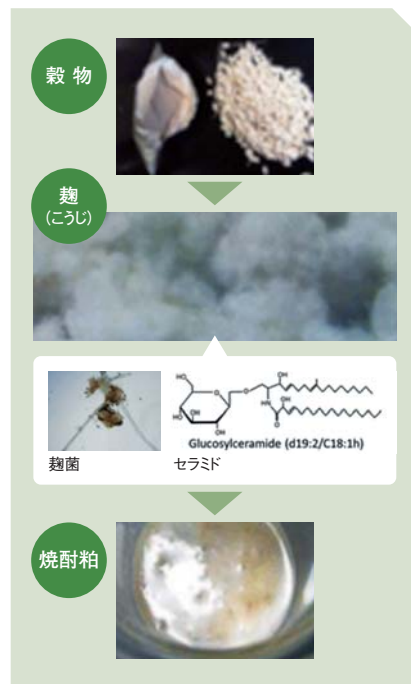
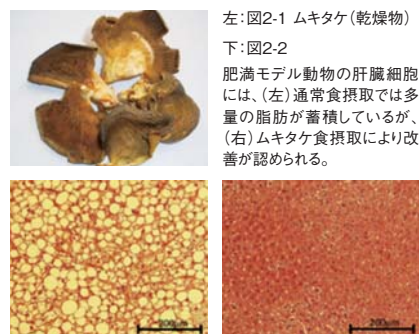


図1 焼酎粕・麴(こうじ)から化粧品・機能性食品



左: 図2-1 ムキタケ(乾燥物)

下: 図2-2

肥満モデル動物の肝臓細胞には、(左)通常食摂取では多量の脂肪が蓄積しているが、(右)ムキタケ食摂取により改善が認められる。

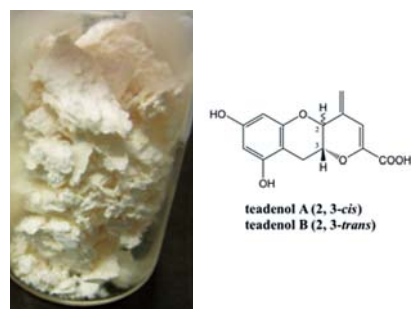


図3 Teadenol Aの結晶と teadenol類の化学構造

✉ 受験生へのメッセージ

農学は、生物に関する基礎から応用までの幅広い学問分野です。研究で発見された新しい素材が、食品や化粧品等の新規商品として開発され、販売に結びつくこともあります。生物が持つさまざまな機能を研究し、人類また地球の将来に役立つ発見に出会う機会をぜひ農学部で経験してください。

発達障害のある幼児・児童を支援できる 幼稚園や小学校などの学校の先生の養成

佐賀県5大学による連携共同教育の実現

皆さんは、「発達障害」ということばを聞いたことがありますか。勉強が極端に苦手、「じっとしていなさい」、「落ち着きがない」といつも叱られる、他の人と上手に係われない、集団活動への参加が非常に苦手な子どもたちの中に、発達障害のある子どもたちがいます。この障害は、学習障害、注意欠陥・多動性障害、高機能自閉症等を指します。「分かりにくい障害」であるため、周囲の気づきが遅くなり、療育や支援が必要な多くの子どもたちが見過ごされています。

では、そのような子どもたちはどれくらいいると思いますか。

幼児の時に受ける3歳児健診の結果では、発達障害として療育や継続観察が必要な幼児数は、全体の四分の一程度ではないかと言われています。また、平成24年度の文部科学省全国調査では、発達障害の可能性のある小中学生の割合は全体の6.5%でした。小学生の場合は、全体の7.7%（約50万人）であり、1教室に3人程度です。学習、行動そして社会性の面で困難のある幼児児童生徒に対して教育的な支援ができる幼稚園、小学校等の学校の先生の養成が現在必要となっています。何故なら、幼児のほとんどは、幼稚園や保育所に通っており、そして、小学校以上になると学校で過ごす時間が長くなるからです。何が苦手なのか、どこが難しいのか、何故そのような行動をするのか、などのことについて、幼稚園や小学校等の学校の先生がもっと気づくようになると、この子どもたちも、より楽しく幼稚園や小学校等で過ごすことができるようになるのです。

佐賀県の国私立5大学（佐賀大学、西九州大学、九州龍谷短期大学、佐賀女子短期大学、西九州大学短期大学部）はこれまで発達障害に関する教育や療育活動に積極的に取り組んできました。昨年平成24年度に、

これらの大学の強みを結集して、大学間発達障害支援ネットワークを構築し、そして、どの大学でも発達障害に関して共通に学べるようにするために、「子ども発達支援士（基礎）養成プログラム」を共同開発しました。平成24年度文部科学省大学間連携共同教育推進事業に採択された取組です。「早期発見と早期療育のために幼児教育を充実させ、小学校に入っても継続的な支援を受けることができるようにしたい。」これが、これらの大学で療育にあたっている先生方の共通の思いでした。

このプログラムの修了生には、「子ども発達支援士」の資格が大学コンソーシアム佐賀により認定されます。この資格は、幼稚園、保育所、小学校等に関する免許・資格を目指す学生や免許・資格をすでにもっている方で、所定の科目を履修した方に認定されます。発達障害の幼児・児童に対する知識と支援力をもっていることを証明する資格です。就職後も専門性がより高まるよう5大学がサポートします。

佐賀県内外の多くの幼稚園、保育所、小学校等で、発達障害の幼児・児童が適切な支援を受けることができるようにしたいと思っています。そして、幼稚園や保育所、保護者からもこの取組に対して大きな期待が寄せられています。



子ども発達支援士とは

子ども発達支援士は、幼稚園、保育所、小学校等に関する免許・資格を有する方で、子どもの成長・発達に関する知識や技術の学修をもとに、発達障害等の幼児の困り感に気づき、子どもによりそった支援ができ、また保護者を支援できる方に対して、大学コンソーシアム佐賀が認定する資格です。

子ども発達支援士は2つのレベルで構成されています。子ども発達支援士（基礎）は、発達障害等の幼児の困り感に気づき、支援方法を考えることができる方（主に、短期大学生を対象）、子ども発達支援士は、指導計画を作成し、子どもを支援し、そして、保護者の気持ちを理解できる方（主に、4年制大学生や卒業指導を受けた短期大学卒業生を対象）に認定します。



		到達目標
学 修	態度・意欲	●発達障害のある幼児について基本的に理解することができる。 ●支援に対して意欲と使命感を持つことができる。
	支援力	●子ども発達支援士（基礎）：発達障害等の幼児の困り感に気づき、支援方法を考えることができる。 ●子ども発達支援士：指導計画等を作成し、子どもを支援し、そして、保護者の気持ちを理解することができる。
学 修	小児保健	●発達障害等のある幼児の身体的発育について説明することができる。
	心 理	●発達障害等のある幼児の心理特性について説明することができる。
	教育・保育 福祉・ 家族支援	●発達障害等のある幼児の教育や保育の概要を説明することができる。 ●発達障害等のある幼児をとりまく家庭・社会環境について説明することができる。

大学コンソーシアム佐賀とは

学生教育や地域貢献のため、佐賀県の国私立大学や放送大学佐賀学習センターにより平成19年度に創設された、大学間連携組織です。

✉ 受験生へのメッセージ

佐賀県の他大学の学生と一緒に、実習をしてみませんか。佐賀大学では学べないような支援方法を他大学で学び、それが単位として認められます。講義で基礎的な知識を学びつつ、異なる大学の学生と一緒に実習チームを組み、そして、多様な支援方法を学習することができます。発達障害のある子どもたちのことを学び、支援力を身に付けたい方は、是非佐賀大学文化教育学部に来てください。

センターの概要

佐賀大学経済学部地域経済研究センターは、1989年に創設されました。活動目的は佐賀県や北部九州の社会・経済の研究とその成果を地元にお返しすることです。県内には残念ながら社会科学分野のシンクタンクがありませんので、その役割を担うことも期待されています。

近年の活動の特徴として、大学の役割の変化に応じてセンターの役割も広がってきています。大学は教育と研究にくわえて、地域への貢献が義務づけられるようになりました。それにともなって本センターは、地域経済の研究による地域貢献という本来の役割にくわえて、教育による地域貢献の役割も果たすようになってきました。

地域社会・経済の研究

本センターの研究の最大の特徴は研究のための組織のあり方にあります。本センターは佐賀地域経済研究会という組織を基盤に研究を進めています。この「研究会」は、佐賀県および佐賀県下9つの市の地域・経済政策の立案を担う行政マン（県庁・市役所職員）から成り、佐賀大学経済学部の教員もそこに参加するかたちをとっています。つまり地域社会の運営を実際にリードしている方々と大学の研究者とががっちりタッグを組んで研究を進める態勢をとっているというわけです。



この研究会で、いま現実に地域社会で生起している諸問題を討議し、とくに大切な問題については徹底的に調査研究し、どうすれば問題の解決につながるかを政策文書として公表します。それをもとに市町村の政策がつくられることもありますので、地域社会の発展に大いに寄与しているといえるでしょう。近年行った主な研究テーマをあげておきます。

- 今後の地域の公共交通について
(過疎・高齢化地域のバス事業の存続可能性)
- 地域ブランドの創出について
(自治体による独自の産業起し)
- 地域資源を生かした観光開発
(ユニークな観光戦略)
- 平成の大合併後の新市の都市機能の研究



社会への貢献

本センターの社会貢献は、地域の経済問題の研究という本来のそれにくわえて次のように拡大しています。経済学部が行う市民向け公開講座の実施を担当しています。公開講座とは経済学部の先生方の研究成果をやさしくレクチャーする教室のことです。現在、一クラス50人で、3クラスが開講され、約150人のかたが学んでいます。大学が開催するこの種の事業としては規模と講義メニューの広がりにおいて特筆すべきものになっています。

教育への貢献

研究センターでありながら、教育への貢献とは？ 奇妙に思われる方もいるでしょう。今日の大学教育には学生の能力に実践的な要素を付加することが求められています。これはいわゆる「使える知識」・「柔らかな頭脳」といわれるもので、みずから実地に触れ、課題を発見し対策を考えるスタイルの教育によって養成されるといわれます。考えてみれば、本センターの調査の過程は、実際の経済問題が起きている現場にほど近いところで行われるので、その調査や資料作成に大学生をわりなく巻き込むことができるなら、それが今もとめられている教育の場に他ならないということになります。そのような大学生の教育を本センターがサポートしようという計画が今進められています。そのような流れとして、これまで地域の環境問題、有明海問題、地方政治活性化、消費者保護問題などが取り組まれています。また、東日本大震災の被害地の支援を学生主体で考えるなどの企画も実施されています。



✉ 受験生へのメッセージ

経済学部の先生方の研究テーマの具体的な内容については、経済学部のHPとその中の地域経済研究センターのHPをご覧ください。HPでは「ウオッチング佐賀」など、高校生も参加できる企画も告知されます。



佐賀大学の教育

高等教育機関である大学の教育とは、どのようなものなのでしょうか？
「教える教育」から「考えさせる教育」を目指した佐賀大学の教育を紹介します。



学士課程教育の重要性

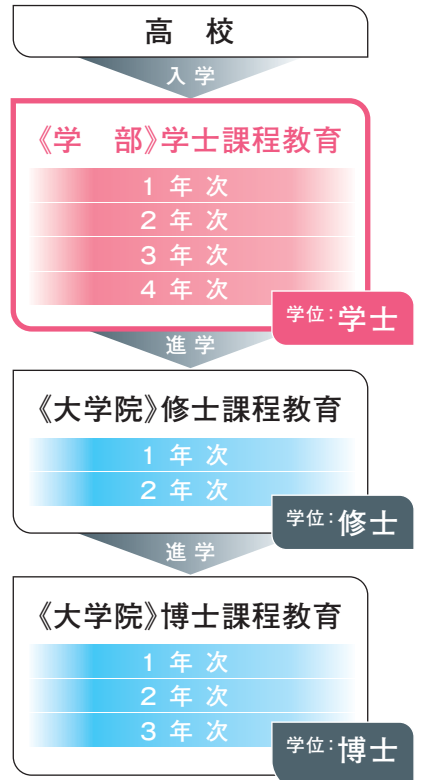
～大学の教育に求められているもの～

大学では、4年間の修学期間が設けられています(医学科は6年)。さらに専門的な知識や技術を求めたり、専門分野の研究を希望する人は大学院に進学するのが一般的です。右図に示すように各課程を卒業および修了すると「学位 (degree)」が授けられます。これは資格ではなく世界共通の学術的な称号であり、卒業に必要な単位を取得したり、論文執筆などの研究成果が評価された場合に大学から授与されます。

近年、特に大学に求められているのは、「学士」の質を保証することです。学士課程で身につけるべき能力は「学士力」とも呼ばれています。この「学士力」を保証する教育課程が「学士課程教育」であり、我が国の高等教育の重要な考え方の1つになっています。



大学・大学院における教育 (一般的なイメージ図)





佐賀大学の学士課程教育

～「佐賀大学学士力」～

佐賀大学の学士課程で身につけさせるべき能力は、「佐賀大学学士力」として定められています。卒業時に、「佐賀大学学士力」が身につくように、学士課程教育のカリキュラムが組まれています。

「佐賀大学学士力」

佐賀大学では、基礎的及び専門的な知識と技能に基づいて課題を発見し解決する能力を培い、個人として生涯にわたって成長し、社会の持続的発展を支える人材を養成します。そのために、佐賀大学の学士力を次のとおり位置づけます。

項目	観 点	身につけるべき力
基礎的な知識と技能	文化と自然	世界を認識するための幅広い知識を有機的に関連づけて修得し、文化(芸術及びスポーツを含む)的素養を身につけている。
	現代社会と生活	健全な社会や健康な生活に関する種々の知識を修得し、生活の質の向上に役立てることができる。
	言語・情報・科学リテラシー	①日本語による文書と会話で他者の意思を的確に理解できるとともに、自らの意思を表現し他者の理解を得ることができる。英語を用いて、専門分野の知識を修得でき、自己の考えを発信できる。初修外国語を用いて、簡単な会話ができ平易な文章を読み書きできる。 ②情報を収集し、その適正を判断でき、適切に活用・管理できる。 ③科学的素養を有し、合理的及び論理的な判断ができる。
	専門分野の基礎的な知識と技法	専門分野において、基本概念や原理を理解して説明でき、一般的に用いられている重要な技法に習熟している。
課題発見・解決能力	現代的課題を見出し、解決の方法を探る能力	現代社会における諸問題を多面的に考察し、その解決に役立つ情報を収集し分析できる。
	プロフェッショナルとして課題を発見し解決する能力	専門分野の課題を発見し、その解決に向けて専門分野の基礎的な知識と技法を応用することができる。
	課題解決につながる協調性と指導力	課題解決のために、他者と協調・協働して行動でき、また、他者に方向性を示すことができる。
個人と社会の持続的発展を支える力	多様な文化と価値観を理解し共生に向かう力	文化や伝統などの違いを踏まえて、平和な社会の実現のために他者の立場で物事を考えることができる。また、自然環境や社会的弱者に配慮することができる。
	持続的な学習力と社会への参画力	様々な問題に積極的に関心を持ち、自主的・自律的に学習を続けることができる。自己の生き方を考察し、主体的に社会的役割を選択・決定し、生涯にわたり自己を活かす意欲がある。
	高い倫理観と社会的責任感	高い倫理観を身につけ社会生活で守るべき規範を遵守し、自己の能力を社会の健全な発展に寄与する姿勢を身に付けている。

佐賀大学学士課程教育のイメージ



ここがポイント

従来の教育カリキュラムとの違いを分かりやすく言えば、「佐賀大学学士力」を想定したカリキュラムになっているかどうかということです。従来は、教養教育と専門教育の融合という観点からカリキュラム設計がなされていましたが、現在のカリキュラムは、「佐賀大学学士力」を学生に身につけさせることを目的として、学士課程教育のカリキュラム設計がなされています。つまり、カリキュラム設計の基本コンセプトが大きく異なっているのがポイントです。



自分の学習活動を振り返る仕組み

ポートフォリオ学習支援統合システム

佐賀大学では、「ラーニング・ポートフォリオ」という仕組みを導入しています。学生は、学期初めにパソコンから自分の目標や将来像を入力し、日々の学習時間や自己評価等を随時、書き込んでいきます。学生が入力した内容は、担当教員(チューター)が確認し、必要に応じてアドバイスをします。また、このシステムでは、「基礎的な知識と技能」が〇〇%、「課題発見・解決能力」が△△%など、「佐賀大学学士力」の達成率を確認することができるため、学習状況の客観的な把握が可能です。こうした学習活動の記録は、「どの時期に、どのようなことを考え、何を課題として、どのように対処したのか」といった「振り返り(Reflection)」による学習効果を期待できるだけでなく、就職活動等においても自己分析をする上で有効な手段となります。

学業項目	科目名	年次	単位数	単位取得率	GPA		
基礎(1/10単位)	日本文学の概観(近代の文学I)	2012年度 前期	3	2	34.0	49%	3.0
	日本文学の概観(近代の文学II)	2012年度 後期	2	2			
課題(1/10単位)	国際社会と国際法(国際法I)	2012年度 前期	2	2	34.0	49%	3.0
	国際社会と国際法(国際法II)	2012年度 後期	3	3			
専門(1/10単位)	心身科学(発達障害・特別支援心理学)	2012年度 前期	3	3	34.0	49%	3.0
	心身科学(発達障害・特別支援心理学)	2012年度 後期	4	2			
必修	基礎化学実験I	2012年度 前期	4	2			

教育の「質」を高めるために

質の高い教育を提供していくためには、教員の教育力向上が欠かせません。佐賀大学では、教員が自らの教育活動を振り返り、その内容を記録する「ティーチング・ポートフォリオ(TP)」を導入しています。これは教育改善を促す道具として注目されているものです。「教育先導大学」を掲げる佐賀大学では、大きな責任と自信をもって学生を教育しています。

教養教育の新しい目玉 インターフェース科目

教養教育は卒業に必要な単位数のおよそ3分の1程度を占め、「佐賀大学学士力」を構成する重要な要素となっています。逆に言えば、教養教育が不十分であると、「佐賀大学学士力」は保証できません。そのため、体系的な全学カリキュラムの編成と質の高い教育を実施するための新たな組織として全学教育機構を設立し、教養教育の充実化が図られています。教養教育は、「大学入門科目」、「共通基礎科目」、「基本教養科目」、「インターフェース科目」に分かれます。特に、「インターフェース科目」は、佐賀大学の新しい教養教育の取り組みとして平成25年度から開講されました。

■ 教養教育の全体像

教 養 教 育			
大学 入門科目	共通基礎科目	基本教養科目	インターフェース 科目
	外国語	自然科学と技術の分野	
	健康・スポーツ	文化の分野	
	情報リテラシー	現代社会の分野	

※専門教育については、各学科課程のページを参照ください。

大学と社会の繋がりの中で“実践力”を磨く「インターフェース科目」

ここがポイント

- 1 授業で学んだ知識や理論を「実践の場」で活かして実践力を身につける
- 2 問題解決型のアクティブラーニング(能動的学習)を積極的に導入
- 3 経済産業省が提唱する「社会人基礎力」にも通じる就業力の育成
- 4 大学教育に馴染む2年次から4年次にかけて履修(8単位) ※学部・学科等によって一部異なります。
- 5 幅広いコースとプログラムから学生の興味・関心に応じて選択

インターフェース科目は、学生が将来にわたり「個人と社会との持続的発展を支える力」を培うことを目的としています。現代社会が抱える諸問題に目を向けて課題を発見し、解決に向けて取り組む姿勢を通して、授業や演習で学んだ知識や技能を実践の場で活かす力を身につけます。

インターフェース科目には、「環境コース」「異文化理解コース」「生活と科学コース」「医療・社会と福祉コース」「地域・佐賀学コース」の5つのコースがあり、学生は自分が関心を寄せるコースのプログラムを1つ選択します。各プログラムでは、講義だけでなく、演習、調査、報告あるいは対話などを組み合わせたアクティブラーニングを志向した教育が展開されます。

■ 大学と社会とのインターフェース



■ インターフェース科目のコースとプログラム

コース	プログラム
環境コース	機械工学と環境
	電気電子工学と環境
	有明海学
	地域環境の保全と市民社会
	環境教育
異文化理解 コース	アジアの理解
	芸術創造
	異文化交流
	Intercultural Communication
生活と科学 コース	映像・デジタル表現
	現代社会における消費
	ベンチャー・ビジネス
	リサーチ・リテラシー
	食料と生活
	未来を拓く材料の科学
	エレクトロニクスと生活
情報技術者キャリアデザイン	
医療・福祉と 社会コース	現代社会と医療
	食と健康
	子どもの発達支援
	障がい者就労支援
地域・佐賀学 コース	佐賀の歴史文化
	地域経済と社会
	地域創成学

インターフェース科目の実践例

インターフェース試行科目「文化創成学—豊かさへのたくらみ」

この教育プログラム「文化創成学—豊かさへのたくらみ」は、平成26年度から施行されるインターフェースプログラムのモデル授業です。インターフェース教育は、「大学と社会を結びつける教育」であり、「社会に結びつく大学教育」とは、単なる座学だけではなく社会で通用する能力、すなわち「コミュニケーション能力」や「企画力」、「現場力」も学べるような教育です。従来のように分野別に4つの授業を個々に取るのではなく、4つの授業を一本化した2単位×4コマの〈フルコースメニュー〉として用意されたのが本試行プログラムの最大の特色です。コースの軸は大学教育と実社会を繋ぐインターフェース型講義に最適な視座、「文化創成学」です。学生自身が持っている既存文化・伝統・社会への固定観念を自らがまず分析し、既存の伝統・文化を「創造的」に破壊し、新しい文化を創造することは、まさに「社会に結びつく大学教育」であるインターフェース教育そのものです。なぜなら、危機的状況下にある現代社会再生の鍵は若い発想による新しい文化の創造にあり、私たちはまさに、その「社会再生の鍵」を削り出そうとしているのです。



文化創成と豊かさ、アイドル論などの本プログラム〈コースメニュー〉に沿って、それぞれの教員が独自のテーマについて担当しましたが、すべての教員に「インターフェース科目」としての3点の重点目標を尊重してもらいました。それは、

- ① 講義中心ではなく、グループ討議、ディスカッションを多く取り入れる
- ② 学生自身による、社会の問題分析による課題発見
- ③ 学生自身による企画・実施と文化創成の「可視化」(プレゼンテーション)

の3点です。まず、インターフェース科目ですから、従来のような講義形式では意味がありません。「文化創成学」では、①グループ討議、ディスカッショ

ンを多く取り入れることを重点目標としました。少人数のグループ討論を重視し、すべての学生が発言し、グループとして一つの意見を提出させる訓練を取り入れました。

社会に対する積極的関心は、まず自分自身でテーマ(問題意識)を発見することから始まります。そこで、②学生自身による、社会の問題分析による課題発見をすべての教員に課しました。通常の講義であれば、教員が問題提起し、分析し、その解決策を提示するだけですが、この「文化創成学」では、課題発見や分析も学生自らに課し、さらにそこから「文化を創成し」社会に発信することまでを視野に入れていきます。具体的には、映画や小説の主人公、あるいはテレビに登場するアイドル(偶像)などを分析させることによって、社会一般がそれらの主人公、アイドル(偶像)にどのようなイメージを持ち、また自分たちがどのようなイメージを期待しているかを発見させました。

さらに、そのテーマに対する分析は当然のこと、その分析結果およびそこに至った過程を再び社会へと還元し、発信する方法を学生自身に企画させ、実施させることが、「社会に結びつく大学教育」であるインターフェース教育には必要不可欠です。「文化創成学」では③学生自身による企画・実施と文化創成の「可視化」、すなわちプレゼンテーションまでを学生に課することにしました。これら企画力及び企画遂行能力は、既存の大学教育に欠けていたものであり、これからの大学の教育のあり方として特に社会から要請されるものです。本プログラムではただの問題分析だけではなく、大学で学んだことを学生自身で企画化し、実施するという過程を通じて、集団の中で自分がどのような役割を果たせるのか、果たすべきかを学生自身が発見してもらい、実社会で役立つ自主性・自律性を養います。そしてその成果として最後に、学生発表の場としての公開フォーラムを実施しました。学生の各グループが、テーマもある程度自由に選択し、作品の形態からプレゼンテーションの形式の決定まで行い、グループの中でそれぞれが自分たちの役割を見出し、協力し合いながら一つのものを達成するというプロセスを提供しました。それが、新たな文化の創成の「可視化」にあたります。



TOEIC 〈学生は全員受験〉

学生に明確な学習目標を与えることで自律的かつ持続的学習を促し、英語のできるグローバル人材の育成という社会からの要請にこたえるために、平成25年度入学者より、全学生を対象とした英語能力試験(TOEIC-IP)を実施します。原則として、受験費用無料で2回受験することを義務付けます。

ここがポイント

- 原則として、全員が2回受験(受験料不要)
- 1回目は、習熟度別クラス編成に利用
- 2回目は、英語の授業成績に反映 (ただし、医学部は2回とも成績に反映しません)

TOEIC-IPとは

TOEIC-IPとは、TOEICの一種である団体特別受験制度(IP: Institutional Program)のことであり、学校・企業など団体が任意に日時・場所を設定して実施するものです。TOEIC-IPの得点は、就職活動における履歴書やエントリーシート、大学院入試の出願書類にも記入することができます(ただし、企業や団体によって採用しないケースもあります)。

学 部

学科・課程

学科・課程等の紹介

文化教育学部

学校教育課程

主として小学校教員の養成を行います。同時に幼稚園、中学校、高等学校、特別支援(養護)学校教諭の免許も取得できます。また「教育学」「教育心理学」「障害児教育」「教科教育」「理科」「数学」「音楽」の各選修にて教育学一般や各教科指導法に関するきめ細やかな教育を行います。なお、本課程は小学校教諭一種免許状の取得を卒業要件としています。

国際文化課程

「日本・アジア文化」と「欧米文化」の2選修で構成されています。英語の他に独語・仏語・中国語・朝鮮語のうちから専門外国語を選択し、高度の外国語運用能力の涵養に努めます。また、世界各国の思想、文化、歴史等に関する多様多様な講義を通じて、グローバルな視点を有する教養人の育成を行います。

人間環境課程

「生活・環境・技術」と「健康福祉・スポーツ」の2選修で構成されています。高齢化、少子化、情報化といった急激な社会の変化に即応できる介護福祉、スポーツ指導、地域貢献等を通じた専門職能人を養成し、また、地球温暖化等の環境問題に関しても深い知識を有する人材を育てます。

美術・工芸課程

絵画(日本画、西洋画)、彫刻、デザイン、工芸(窯芸、木工工芸、染織工芸、金工工芸)といった実技科目もさることながら、高度の美術理論に裏付けられた総合的な芸術学を学ぶことにより、真・善・美の探求を行えるトータルな芸術専門家の養成を目指します。

経済学部

経済学科

グローバル化を深める国際社会および現代経済社会の構造について、専門的知識を教授し幅広い視野と問題対応能力を養成します。特に経済事象を理論的な枠組みでとらえる「金融」、経済社会の分析をもとに政策立案を行う「経済政策」、経済を地域・国際の2つの観点から考察する「地域経済・国際経済」に重点をおいた教育プログラムとなっています。

経営学科

多角化・グローバル化する企業活動を「ミクロの経済システム」としてとらえ、企業経営に関する専門的知識を教授し幅広い視野と問題対応能力を養成します。特に経営管理・経営戦略などの実践的分析能力を身につける「経営」、企業経営の成果をシステムとして体系的に説明する「会計」に重点を置いたプログラムとなっています。

経済法学科

複雑化・多様化する現代経済社会の規範となる法律について、専門的知識を教授し幅広い視野と問題対応能力を養成します。特に企業の対外活動・経営管理に必要な法制度を学ぶ「企業法」、地方自治体の行政実務や政策形成に必要な法制度を学ぶ「公共政策法」に重点を置いたプログラムとなっています。

医学部

医学科

6年間の一貫教育です。実践的な学習を重視し、臨床医学教育を低学年から導入するとともに、PBL(問題解決型学習: Problem Based Learning)による教育を実施しています。5年次からの臨床実習は、附属病院の他に学外臨床実習病院でも実施しています。「自己学習と自己評価」をモットーとしており、チューター(指導教員)制度による学修・生活指導を行っています。

看護学科

看護師教育を基盤に保健師教育や助産師教育を選択し学習する教育(学修)が行われています。病院などで実施する臨床看護実習と地域における看護を一つにした「臨地実習」を実施しています。「自己学習と自己評価」をモットーとしており、チューター(指導教員)制度による学修・生活指導を行っています。

理工学部

数理科学科

科学技術の基礎となる数学を、論理の積み重ねのほか計算機の力を借りながら学べる学科です。主な教育研究分野は、数や式の持つ魅力を追及する代数学、形や空間の性質を調べる幾何学、微分・積分を用いて現象の解明を目指す解析学です。数学及び数理科学の領域において、広く社会で活躍できる高度な専門的知識・能力を持つ教育者、技術者、研究者を養成しています。

物理科学科

宇宙から素粒子まで、あらゆる物質の現象について教育・研究する学科です。幅広く物理学の基礎を学び、興味ある物理現象を体験する実験授業や自ら問題を解く演習などによって、科学的な考え方や実証的な見方を身につけます。本学科は、素粒子論・素粒子実験から、固体などの凝縮系を扱うものまで、多様な研究グループで構成されています。

知能情報システム学科

高度情報社会を支える情報技術、情報基礎理論から応用技術までを学べる学科です。現在と将来のIT(情報技術)の発展に貢献できるようになるため、コンピュータ最適化、インターネット、情報認識などの情報基礎、計算システム、高次元情報処理を身につけられます。

機能物質化学科

科学技術の先端を担う、幅広い知識を備えた科学・技術者の育成をめざす学科です。化学の基礎から応用まで広範囲な教育研究を行っています。本学科のコースでは日本技術者教育認定機構により認定された教育プログラムを行っています。新しい機能を持つ生体材料、高分子材料、セラミックスなどの合成と性質の解明、リサイクルや環境浄化などの研究を行っています。

機械システム工学科

新製品や先端技術の開発を支えている機械工学について基礎から応用までの幅広い内容が学べる学科であり、教育課程は、日本技術者教育認定機構(JABEE)の認定教育プログラムです。主な内容は、流体工学、熱エネルギー変換、先端材料、潤滑、機械設計、生産工学、ロボティクスなどです。

電気電子工学科

携帯電話やパソコンのような情報通信、記憶メモリーのようなエレクトロニクスから、環境にやさしいエネルギー技術、10⁻⁸cmの大きさの原子を操作するナノテクノロジー、生体の仕組みを工学的に解明するバイオテクノロジーまで、社会で役立つ様々な専門技術を学ぶことができます。さらに知識を深めたい約半数の学生は、大学院に進学し、最先端の研究課題に取り組みます。

都市工学科

数理的能力、コミュニケーション能力、美的感性といった基礎学力を学び、社会基盤、都市環境、土木、建築などのあり方について考えることができる都市工学分野の専門家の育成を目的としています。主な内容は、水環境、地盤工学、建設材料学、構造工学、建築や都市の計画とデザインなどです。

農学部

応用生物科学科

植物、動物及び微生物についての生命現象及び生物の諸特性の解明と、その成果を応用した有用動植物資源の開発・利用ならびに環境に配慮した保護について教育と研究を行う学科です。本学科は、生物資源開発学講座と生物資源制御学講座の2つの講座で構成されています。

生物環境科学科

環境の保全と再生、環境に優しい持続的な食料生産システム、環境を維持するための資源循環型社会の構築及び生活環境の向上に関する教育と研究を行う学科です。本学科は、生物環境保全学講座、資源循環生産学講座と地域社会開発学講座の3つの講座で構成されています。

生命機能科学科

生化学や分子生物学を基礎として、微生物からヒトにわたる幅広い生物の生命現象のしくみや機能の解明を行うとともに、それらを応用した食品機能の追究と開発、食品の安全性、バイオマスの利用について教育と研究を行う学科です。本学科は、生命化学講座と食糧科学講座の2つの講座で構成されています。


課程から選ぶ、あなたの夢。


このインデックスからそれぞれの特性を調べ、
学科・課程選びの参考にしてください。


主な授業科目	取得できる主な資格	主な進路先	
小学校英語活動、国語科教育学、身近な現象のサイエンス、身のまわりの数学、声楽、カウンセリング、算数科教育学、初等国語科教育学、初等社会科教育学、教育学研究法、心理学実験、障害児教育総論 など	小学校教諭一種、中学校教諭一種(各教科)、高等学校教諭一種(各教科)、特別支援学校教諭一種、幼稚園教諭一種 等(小学校教諭免許は必須)	国公私立学校教員(小学校・中学校・高等学校・養護学校・幼稚園)、佐賀県他官公庁、国家公務員(法務教官)、JA佐賀、ジェイアール九州ハウステンボスホテル、警視庁、日本生命保険 など	詳しくは P.30
専門外国語(独語、仏語、中国語、朝鮮語)、英語オーラルコミュニケーション、日本・アジアの社会と文化、現代欧米の法と政治、欧米文化論演習、日本文学史、日本史上の市と都市、地域古典分析論、スピーチ・コミュニケーション論、日英異文化コミュニケーション など	中学校教諭一種(国語、社会、英語)、高等学校教諭一種(保健体育、公民、英語、書道)、学芸員・社会教育主事 など	国公私立学校教員(中学校・高等学校)、佐賀県他官公庁、佐賀県立病院好生館、明治安田生命保険、アリコジャパン、第一生命保険、毎日コミュニケーションズ、ANAエアサービス東京、JR九州 など	詳しくは P.36
日本の地理と風土、自然環境論、健康教育概論、ヘルスプロモーション実習、被服衛生学、地球環境科学、人体の構造と機能及び疾病、トレーニング科学、地理学フィールドワーク実習、住宅デザイン論、相談援助の理論と方法、フィットネス など	中学校教諭一種(保健体育、技術、家庭)、高等学校教諭一種(保健体育、工業、家庭)、社会福祉士受験資格 など	佐賀県他官公庁、佐賀共栄銀行、熊本赤十字病院、サガンドリームス、佐賀県警察、日本放送協会、佐賀銀行、JR西日本、鹿児島銀行、大塚製薬 など	詳しくは P.40
世界の美術、素描、日本画、西洋画、彫刻、デザイン、窯芸、木工芸、染織芸、基礎木工芸、総合芸術学習 など	中学校教諭一種(美術)、高等学校教諭一種(美術、工芸)、学芸員 など	国公私立学校教員(中学校・高等学校)、法務省、熊本県庁、横浜市役所、レナウン、ゼンリン、鍋島織通吉島家、如水庵、平田ナーセリー、造形作家 など	詳しくは P.44
国際金融論、ミクロ経済学、マクロ経済学、経済政策論、財政学、社会政策、雇用経済論、地域経済論、アジア経済論、日本経済史、地方財政論、社会保障論、国際交流実習、実践経済		公務員(佐賀県庁、国税専門官など)、佐賀銀行、福岡銀行、西日本シティ銀行、三井住友海上火災保険、野村證券、東海東京証券、アマノ、上組、ダイハツ工業、東芝、日本通運 など	詳しくは P.50
経営組織論、経営財務論、経営労務論、企業論、流通経済論、経営管理論、経営史、マーケティング論、基礎簿記、管理会計論、財務会計論、経営分析、現代の経営、実践会計	高等学校教諭一種(商業)	佐賀銀行、福岡銀行、ゆうちょ銀行、リそなホールディングス、SMBC日興証券、かんば生命保険、JTB九州、日東工業、日本たばこ産業、ノバルティスファーマ、新日本有限責任監査法人、佐賀県庁、高等学校教諭 など	詳しくは P.54
民法、人権論、経済法、会社法、商法、労働法、民事手続法、社会保障法、環境法、行政救済法、刑法、不法行為法、現代政治論、実践法政策		公務員(財務省、佐賀労働局、熊本国税局、佐賀県庁、福岡県庁、福岡市役所など)、佐賀銀行、福岡銀行、損害保険ジャパン、明治安田生命保険、NTT西日本、大和ハウス工業、法科大学院進学 など	詳しくは P.58
専門基礎科目(医療人問学、医療心理学など)、基礎医学科目(細胞生物学、感染学、免疫学、人体発生学、組織学、肉眼解剖学など)、機能・系統別PBL科目(地域医療、呼吸器、循環器、消化器など)、臨床実習(臨床実習、地域医療実習など) など	医師国家試験受験資格	大学医学部附属病院(佐賀大、九州大、長崎大、熊本大)、県立病院好生館、九州医療センター、高木病院 など	詳しくは P.64
専門基礎科目(プレゼンテーション技法、解剖学・生理学など)、看護の機能と方法(基礎的看護技術など)、ライフサイクル看護(発達看護論など)、地域における看護(公衆衛生看護学概論など)、臨床実習(基礎看護実習、成人看護実習など) など	看護師国家試験受験資格、保健師国家試験受験資格(保健師免許取得後看護教諭二種免許及び第一種衛生管理者免許)、助産師国家試験受験資格	看護師:大学医学部附属病院(佐賀大、九州大、福岡大、熊本大、長崎大)。保健師:県庁、市役所。助産師:大学附属病院、個人病院 など	詳しくは P.70
微分積分学基礎、数理科学英語、線形代数学、微分積分学、集合・位相、代数学、幾何学、解析学、複素関数論、プログラミング、確率解析学 など	中学校教諭一種(数学)、高等学校教諭一種(数学)	公務員、日本ビジネスエンジニアリング、ダイハツ長崎販売所、マルハン、ソフトジャパン、鷗州コーポレーション、英進館、島原市役所、大学院進学 など	詳しくは P.76
物理学、力学、熱力学、電磁気学、物理学実験、波動、電磁気学、量子力学、統計力学、科学英語、宇宙物理学、計算機物理学、物性物理学、放射線物理学 など	中学校教諭一種(理科)、高等学校教諭一種(理科)	公務員、東京エレクトロン九州、イサハヤ電子、アトム電機工業、九州電力、アズマソーラー、佐世保通信システム、大学院進学 など	詳しくは P.80
情報数理、プログラミング概論、プログラミング演習、線形数学、基礎解析学、計算機アーキテクチャ、情報理論、データ構造とアルゴリズム、ソフトウェア工学、ハードウェア実験、コンピュータグラフィックス、情報ネットワーク、人工知能、画像情報処理 など	中学校教諭一種(数学)、高等学校教諭一種(数学、情報)、技術士補	NEC、アルプス技研、日立システムアンドサービス、コンピュータシステムエンジニアリング、システムサービス、三菱UFJインフォメーションテクノロジー、大学院進学 など	詳しくは P.84
基礎化学、錯体物性化学、量子化学、有機化学、分離分析化学、科学英語、セラミックス工学、高分子物性化学、構造化学、無機材料工学、応用物理化学、反応工学、環境化学、知的財産権法 など	中学校教諭一種(理科)、高等学校教諭一種(理科、工業)、技術士補(機能材料化学コースのみ) など	九州INAX、日本磁気選鉱、佐世保重工業、ダイワボレーン、ゼオライト、理工協産、九州テクニカルメンテナンス、NTTデータカスタマーサービス、大学院進学 など	詳しくは P.88
微分積分学、工業力学、線形代数学、材料力学、流体力学、熱力学、機械工作実習、機械要素設計製図、創造型工学演習、伝熱工学、ロボット工学、自動車工学 など	高等学校教諭一種(工業)、技術士補、第一種ボイラー・タービン主任技術者受験資格	日立造船、きんでん、豊田合成、JR西日本、第一精工、NECエンジニアリング、唐津鉄工所、佐賀鉄工所、九州積水工業、大学院進学 など	詳しくは P.92
微分積分学、線形代数学、基礎物理学、電気回路、電磁気学、電子回路、技術英語、情報通信工学、電子物性論、電気電子材料学、電気機器学、システム制御学、プログラミング論及び演習、エネルギー変換工学、環境電気工学、マイクロ波光学 など	高等学校教諭一種(工業)、技術士補、電気主任技術者受験資格、電気通信主任技術者受験資格	九州電力、関西電力、三菱電機、NEC、マツダ、スズキ、オムロン、パッファロー、宇部興産、九電工、日本製鋼所、明電舎、きんでん、沖データ、大学院進学 など	詳しくは P.96
測量学、構造工学基礎、都市工学概論、基礎設計製図演習、都市交通システム学、水環境システム工学、建築空間学、建築環境工学、都市防災工学、地盤工学、基礎地盤設計演習、建築都市デザイン演習、アーバンデザイン、建築デザイン手法 など	高等学校教諭一種(工業)、測量士補、測量士(1年以上の実務経験が必要)、建築士や技術士補の受験資格など	北川ヒューテック、東急建設、戸田建設、松尾建設、日本上下水道設計、三井共同建設コンサルタント、セキスイハイム九州、佐世保重工業、佐賀工、JR九州、JR西日本、大学院進学 など	詳しくは P.100
植物生理学、遺伝学、熱帯農業論、植物病理学、線虫学、動物行動生態学、システム生態学、蔬菜園芸学、植物病原学、昆虫学、動物繁殖生理学、植物工学、動物遺伝育種学、食用作物学、飼料資源学 など	中学校教諭一種(理科)、高等学校教諭一種(理科、農業)、農業改良普及指導員受験資格、家畜人工授精師受験資格	国家公務員、県庁、教諭、中原種苗、佐賀農業組合、ヨコオ、久留米農業共同組合、サンライフ、JAビバレッジ、大分県農業組合、鳥栖キュービー、やずや、大学院進学 など	詳しくは P.106
作物生産学、生物化学、土壌学、環境汚染化学、食料流通経済学、水環境学、栽培環境制御学、観光人類学、環境植物学、農業資源物質工学、土壌微生物学、アジア比較農業論、食料市場論、アジアフィールドワーク、遺伝子工学 など	中学校教諭一種(理科)、高等学校教諭一種(理科、農業)、農業改良普及指導員受験資格、家畜人工授精師受験資格、測量士補・測量士、1級2級土木施工管理技士受験資格(生物環境保全学コース)	国家公務員、県庁、教諭、JA佐賀、JA福岡中央会、JA熊本、有明スカイパークふれあい郷、森永乳業、コカ・コーラウエストプロダクト、日本配合飼料、久光製薬、アース環境サービス、大学院進学 など	詳しくは P.110
有機化学、分析化学、植物生理学、生物統計学、生化学、微生物学、食品衛生学、食品化学、食糧安全学、食品工学、食品機能化学、応用微生物学、分子細胞生物学、生物資源化学、遺伝子工学 など	中学校教諭一種(理科)、高等学校教諭一種(理科、農業)、農業改良普及指導員受験資格、食品衛生監視員、食品衛生管理者	国家公務員、県庁、教諭、キュービー、JA総合食品佐賀、明治チェーンガム、九星飲料工業、佐々木食品工業、宇都宮化成工業、藤本製薬、JA福岡市、三菱オブリガス九州、大学院進学 など	詳しくは P.114


文化教育学部

Faculty of Culture and Education

 学校教育課程 >>> P.030

 国際文化課程 >>> P.036

 人間環境課程 >>> P.040

 美術・工芸課程 >>> P.044

教育とは、次世代を担う
子どもたちの育成。

つまり、未来を創造することだ。



人間・社会・文化の総合知による 新たな文化価値を創造する人材を育成



バランスを欠いた物質文明の肥大化や価値観の多様化の中で、現在われわれは社会的、精神的混迷の中に置かれています。今や、人間、社会、自然の全体的理解に基づく「総合知」による新しい文化価値理念の樹立と創造的人材の育成という問題が緊急の課題となってきています。

新しい文化価値理念の樹立とは、国際化、情報化、高齢化の進む社会状況の中で、人間、社会、自然が調和した社会と文化を探求・創造することであり、その実現に向けた創造的な人間をどのように育成するかという教育と表裏一体のものです。

文化教育学部は、新しい社会と文化の創造、そしてそれを担う人材の育成、教育を総合的に取り上げ、21世紀における人間と社会と文化の総合知を目指し、意欲的な研究、教育、地域貢献を展開する学部です。



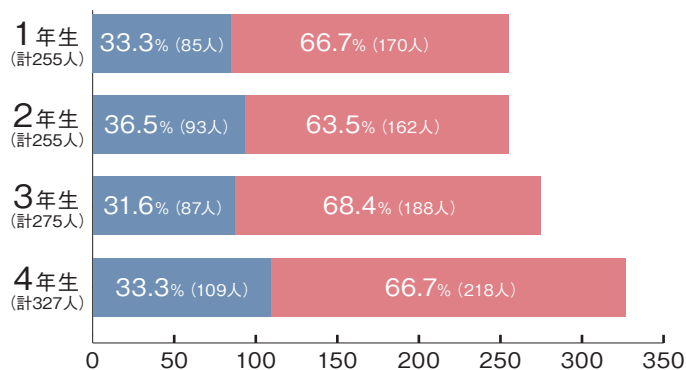
◎文化教育学部の特徴

教育と文化を融合した4課程

文化教育学部は、教員養成系の課程と文系を主とした3課程を併設し、教育分野に文化的要素を取り入れ、文系の分野に教育的視点を取り込むことによって両者を融合させ、教育と文化の両面を基盤とした教育・研究体制を確立し、新しい時代の求める教育者や、行政、民間企業等において創造的能力を発揮し、建設的な活躍のできる有為な人材を育成します。

◎学年別男女比率(平成25年度)

■ 男 ■ 女



文化教育学部 学校教育課程

教育のさまざまな現代的課題に対する
理解と対応能力を備え
社会的・国際的に広い視野と教養をもち
判断力・行動力・心の豊かさ・
市民的資質を備えた教員の養成

学校教育課程には7つの選修(教育学選修、教育心理学選修、障害児教育選修、教科教育選修、理科選修、数学選修、音楽選修)があります。学生はいずれかの選修に所属します。教科教育選修は教科ごとにさらに10の分野(国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、音楽教育、造形教育、体育教育、家政教育、情報技術教育、英語教育)に分かれています。最近の理数離れや情操教育の問題に対応できるように、理科選修、数学選修、音楽選修を設けたことに本課程の大きな特徴があります。以下の教育目標を定めています。

1 基礎的な知識・技能

①現代社会の諸問題を文化・自然・人間生活と関連付けて理解できる能力、②日本語と英語を用いたコミュニケーション・スキルを持ち、情報通信技術(ICT)などをモラルに則って効果的・適正に活用する能力、③学校教育のしくみ、児童・生徒のこころと発達、障害のある児童等への支援、教科内容、教育方法等についての幅広く体系的な知識と技能を身につけさせる。

2 課題発見・解決能力

実践演習型学習や問題解決型学習、教育実習等の実践経験を通じて、①現代の学校教育の諸問題に関心を持ち、多面的な理解と考察を通じて解決に必要な情報を収集し分析する能力、②学校・教室において課題を発見し、専門分野の知識と技法を応用して課題の解決に取り組める能力、③他の教員と協調して子どもたちに対応できる指導力や実践力を身につけさせる。

3 学校教育を担う社会人

①学校教育の様々な問題に積極的に関心を持ち、目標を持って主体的に学習する習慣や、学校教育の諸問題に的確に対応できるよう、継続的に自己研鑽に励む意欲と態度、②学校教員としての責務を自覚して自己の能力を社会に還元する強い志や、社会人としての規範に従って行動できる高い倫理観と豊かな人間性を身につけさせる。

カリキュラムの特色

学校教育課程は、卒業にあたって小学校教諭一種免許状取得の要件を完全に満たす必要があります。

したがって、すべての選修において小学校の全教科に関する学習、教職に関連する基礎的教養に関する学習、実習・演習が共通科目として設定されており、これらの履修を通して教育的な素養を身につけます。

また、こうした基礎的・共通的な素養に加えて、各専門分野(教育学、教育心理学、障害児教育、教科教育、理科、数学、音楽)に関する科目を選択・履修することで、目指す

能力を高めてゆくことができます。

4年次には、学修の集大成にあたる卒業研究(論文、制作、演奏など)を行います。3年次の後半にテーマと指導教員を決め、教員の指導の下、計画的に進めてゆきます。

体験が人生の宝になる

学校教育課程は、小学校教諭の免許が卒業時に取得できるコースです。希望者は幼稚園教諭、中学校教諭、高校教諭などの免許も取得できます。学校教育課程の中でも様々な専門分野があり、私は障害児教育選修に所属しています。ここでは小学校教諭免許の他に特別支援学校教諭の免許も取得できます。

障害児教育ということで、主に障害児に対する関わり方や接し方、勉強の方法などを多面的に学習しています。現代社会において障害者の社会参画が積極的になった今、この分野を学ぶことはとても大切だと考えています。また、学習内容は実践的なものもあり、例えばピアノを弾く講義、体育を行う講義など、友達と楽しく学ぶことができます。

学校教育課程は共に学び、共に頑張り合う体験が多いため、周りとの仲がとても深まりやすいと思います。そのため学校教育課程の中でサークルを作ったり、人との関わりを持つためにボランティア活動をしたりと、授業以外にも様々な活動をすることができます。

多くの体験をすることは教師を目指す者にとって、人生の中で「宝」となります。大学は多くの体験をする機会がもてる場です。みなさんも佐賀大学でたくさんのことを体験しましょう！



文化教育学部
学校教育課程 3年
柳 有紀子
福岡県立久留米高等学校出身

Pick Up!! 取得可能な免許・資格

所定の単位を取得することにより、卒業時に資格が得られるもの

- 小学校教諭一種免許状(※卒業要件)
- 特別支援学校教諭一種免許状
- 中学校教諭一種免許状(各教科)
- 幼稚園教諭一種免許状
- 高等学校教諭一種免許状(各教科)

試験に必要な科目の単位を取得し卒業後の実務経験後、受験資格が得られるもの

- 学芸員
- 社会教育主事

Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先

- 小学校教諭
- 中学校教諭
- 幼稚園教諭
- 特別支援学校教諭
- 高校教諭
- 学習支援員
- 生活支援員
- 国家公務員(法務教官)
- 財団法人 三瀬銀行記念館
- (株)トーハン
- 医療法人 親仁会
- JA 佐賀
- ジェイアール九州ハウステンボスホテル
- マックスバリュ
- ヤマト運輸
- (株)英進館
- NPO(福祉関係)
- (株)プライセン
- 佐賀県黒髪少年自然の家
- 警視庁
- (株)学映システム
- (株)佐賀玉屋
- (株)肥後銀行
- 日本生命保険
- (株)キシヤ
- 地方公務員(佐賀県庁、佐世保市役所)

主な進学先

- 佐賀大学大学院教育学研究科
- 九州大学大学院人間環境学府
- 皇學館大学大学院
- 奈良教育大学大学院



1年次

2年次

3年次

4年次

教養教育科目

全学教育科目

専門科目	専門基礎科目	●現代教育論 ●生活文化論 ●実践英語	●教育心理学 ●国際文化論 ●教育臨床心理学	●カウンセリング ●算数科教育法 ●初等理科教育法	●卒業研究
	課程共通科目	●教職概説	●授業実践論	●小学図画・小学工作 ●生活科概説・生活科教育法 ●初等国語科教育法(2-3年次)	
	学校教育科目	●小学国語・小学書写 ●数学概説 ●小学音楽・小学ピアノ ●小学体育 ●小学校英語活動	●教育原論 ●小学社会 ●理科講義及び実験 ●小学家庭 ●道德教育の研究 ●特別活動の研究 ●初等音楽科教育法	●小学国語科教育法(2-3年次) ●国語科教育法(2-3年次) ●体育科教育法(2-3年次) ●初等家庭科教育法(2-3年次)	
	実習・演習	●教育実践フィールド演習Ⅰ	●教育実践フィールド演習Ⅱ	●教育実践フィールド演習Ⅲ ●小学校教育実習	●臨床教育実習Ⅰ・Ⅱ(3-4年次) ●教職実践演習
	教育学選修		●教育学研究法 ●教育方法学概説 ●学校・学級経営論 ●社会教育概論	●教育学講読演習 ●教育学課題研究 ●教育制度論 ●人権意識論	●社会教育実習
	教育心理学選修	●発達心理学セミナー ●基礎心理学セミナー ●心理学研究法 ●心の健康	●心理学実験Ⅰ ●教育統計Ⅰ ●乳幼児心理学	●心理学実験Ⅱ ●教育評価 ●教育相談 ●教育心理学演習	
	障害児教育選修	●障害児心理学 ●知的障害者の生理・病理 ●病弱者・情緒障害者の生理・病理 ●視覚障害者の生理・病理	●障害児教育総論 ●知的障害児心理学 ●知的障害教育 ●障害児心理検査法	●障害児学習指導法 ●障害者心理治療法 ●LD等教育指導論 ●障害児教育基礎実習	●障害児心理学実験 ●障害児教育実習
	教科教育選修 (国語教育分野選択の場合)	●国語科教育学 ●国語教育学演習 ●国語科書写教育学	●日本語表現論 ●日本文学史Ⅰ ●教科教育情報論	●国語科教育課題研究Ⅰ ●国語科教育課題研究Ⅱ ●教科発達心理論 ●教科教育授業設計論	
	理科選修	●身近な現象のサイエンス ●化学通論Ⅰ ●生物学通論Ⅰ ●地学通論Ⅰ	●物理学通論Ⅰ ●物理学基礎実験Ⅰ ●化学基礎実験Ⅰ ●地学基礎実験Ⅰ	●力学 ●無機化学 ●動物生理学 ●岩石鉱物学	
	数学選修	●解析学基礎Ⅰ ●代数学基礎Ⅰ ●幾何学基礎Ⅰ ●身のまわりの数学	●解析学Ⅰ ●代数学Ⅰ ●幾何学Ⅰ ●コンピュータⅠ	●解析学研究基礎 ●代数学研究基礎 ●幾何学研究基礎 ●コンピュータ研究基礎	●解析学領域研究Ⅰ ●代数学領域研究Ⅰ ●幾何学領域研究Ⅰ ●コンピュータ領域研究Ⅰ
音楽選修	●ソルフェージュ ●音楽基礎理論 ●音楽(4年次まで開講) ●ピアノ(4年次まで開講)	●ソルフェージュ ●音楽史 ●音楽理論演習 ●合唱	●指揮法 ●合奏 ●伴奏法 ●編曲法	●作曲法	

体系的な教育実習の仕組み

豊かな人間性と高度な実践力を備えた教員の養成を目指して体系的な教育実習を重視している点に本課程の大きな特色があります。

【教育実践フィールド演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲおよび小学校教育実習】

1年次に実施される教育実践フィールド演習Ⅰは、学校の様子や子どもの理解、教職への意欲を高めることを目的にして、佐賀市内の小学校で参観実習(8回程度の体験活動)を行うとともに、附属幼稚園、附属中学校、佐賀市立城西中学校、附属特別支援学校において参観実習を行います。

2年次に実施される「教育実践フィールド演習Ⅱ」は、学習指導案の作成及び教材等の開発、模擬授業とその振り返り活動等の授業開発の基本的方法を理解するとともに、教職への意欲を一層高めることを目的にして、大学での演習と実習校での授業実習(1回)を行います。

3年次に実施される「教育実践フィールド演習Ⅲ」は、小学校における教科の単元授業及び学習評価の開発をテーマとして、学習指導案及び学習評価実施案、教材等を作成し、模擬授業を行うことを通して、小学校教育実習の準備を行います。

以上の教育実践フィールド演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを履修した後、4週間の「小学校教育実習」(3年次)を附属小学校あるいは佐賀市立本庄小学校のいずれかにおいて行います。

【臨床教育実習】(3年生以上)

「臨床教育実習」は、発達障害や不登校の児童生徒への支援力を養うための実習です。1人の対象児に大学院生、学部学生、大学教員で1つの実習チームを編成し、実際に支援することを通して、特別な支援が必要な子どもたちへの深い理解力と対応・指導力を身につけることを目的に行います。

以上のような体系的な教育実習を行っています。

●教育学研究法

「教育学研究法」は少人数班に分かれて教育に関する研究テーマを追求していきます。その後、全教員も臨席の上、卒論発表会のような、真剣な雰囲気です。ここでは、教育学を研究する方法論や発表の仕方、及び共通目標に向かう達成感等を学ぶこととなります。是非、受講してみてください。

●初等国語科教育法

小学校における国語科授業の指導方法について考える授業です。子どもが主体的に学ぶ「ごんぎつね」や「おおきなかぶ」の授業とはどのような授業なのか。これまでの実践者に学び、これからの子どものために授業を創造していきます。子どもの傾向をとらえ、実際の小学校国語科教材に浸り、実際の指導技術について考えていきます。

●理科教育学実験

児童・生徒実験の指導法や演示実験の方法の工夫等に関して、学生自ら検討することを目的として、小・中・高等学校理科の観察・実験からいくつかを選び、実際に行います。それらを通して、実験機器の操作技能や物理・化学・生物・地学教材の取り扱い、身近な素材の活用、安全教育等についても学びます。

●体育科教育法Ⅱ

小学校の先生になるために「楽しい体育の授業づくり」を学ぶ講義です。高学年を対象とした体育授業の「計画」「実践」「振り返り」「改善」(PDCA サイクル)を体験してもらいます。講義中は、学生達同士で先生役・子ども役・観察者役に分かれて模擬授業を行ったあとに、熱いディスカッションを行っています。

●技術教育学

この授業では技術の授業を対象として、授業を設計するための基本的な理解を深めます。まず授業設計の手順をつかみ、授業における目標行動の明確化と妥当性を検討します。つぎに形成関係図とコースアウトラインを用いた目標行動の論理分析を行います。



●心理学実験Ⅰ、Ⅱ

実験Ⅰの授業では、小グループに分かれて心理学の基礎的な実験を行い、結果を分析・考察し、レポートにまとめます。テーマとしては、学習(記憶)、性格、知能、態度などに関する実験・検査・調査です。実験Ⅱでは、アンケート調査データについて、因子分析や分散分析を用いた分析・考察の方法を学びます。

●初等社会科教育法Ⅰ

この授業科目は、小学校教員を志望する者を対象とし、初等社会科教育の理論と実践、特に目標・内容・方法について詳しく解説します。この解説を通して、実践的知識・態度・能力を習得し、優れた小学校社会科の授業を構成し、展開していくことができるようになることをめざします。

●初等音楽科教育法Ⅰ・Ⅱ

小学校学習指導要領に示された音楽科の目標・内容・指導計画の作成と対応させながら、従来の音楽科授業とは発想や視点を変えた授業を実際に行ってみます。そこから、子どもたちにとって楽しく実りある授業づくりをどうするかについて探求していきます。

●家庭科教育学課題研究A

佐賀市内の小学校で「出張家庭科教室」を実施し、企画の立案、小学校の先生との打合せ、実施に至るすべてを受講生が自主的に行います。当日は、小学生たちと楽しく活動します。過去の企画内容は「寿司ケーキをつくらう」「手打ちうどん教室」「手作り豆腐に挑戦」「手織コースター作り」などです。

●小学校英語活動

小学校に新設された「外国語活動」は、中学校の英語科の授業とは異なる位置づけを持っています。英語活動をどのように指導するか、どうしたら小学校にふさわしい授業になるかなど、理論と実践と演習の3つの視点から学習します。外国語コミュニケーションとは何かを考えるいい機会です。

●身のまわりの数学

数学教育、代数、幾何、解析、確率、統計という数学の多様な領域に亘って、それぞれの分野における身近な話題を素材にして解説する。具体的な体験を通して、小学校や中学校で算数や数学の授業を行なう際に必要となる基礎を修得させる。

●障害児教育総論

障害児教育の基礎を学ぶ授業です。日本の障害児の教育制度(特別支援教育)や障害児を取り巻く社会の動向、各種障害(視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱、自閉症等)、障害児を取り巻く家庭や地域社会における課題等を学びます。分かり易く満足のできる授業作りを心がけています。

●算数科教育法

小学校において算数を教えるための知識や、数学的な考え方を学ぶ授業です。算数科の4つの領域「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の学習内容と、その指導法について学びます。子どもたちに興味を持って取り組んでもらえるような教材の研究や、学習指導案の書き方の演習も行います。



●美術教育学演習

屋外の自然物へいろいろと造形的なはたらきかけを試みる活動、デジタルカメラでユニークな写真表現を展開する活動、紙粘土を主材料として本物そっくりな造形物を制作する活動などを通して、造形学習において表現することの意味や可能性を多面的に探っていきます。

●理科講義及び実験概要

将来、小学校教員になった場合の一助になるよう、物理・化学・生物・地学の4分野の典型的な実験等を4人の教員によって概説及び実験を行う。実験では、台所などにある身近な道具を使うことで、理科に興味関心がたかまるように配慮している。

●音楽

歌=大声の思込みを排し「響く声」を基礎から目指す。発声を技術の基盤に呼吸、母音子音の発音、フレーズなども習得し、歌全体を作る。演奏に生かせる楽曲への感性も養う。表現することを通して実世界の諸事象への感性や思考力を高め、音楽教育における歌のあり方についての実践的教育力を養う。

教育学選修

上野 景三 教授、園田 貴章 教授、松下 一世 准教授、川上 泰彦 准教授

教育学選修では、子どもたちの教育をより良くするための学びを追求します。現代的・実践的な課題(たとえば不登校、いじめ、非行、学力問題、教室におけるさまざまな子どもへの対応、子育て支援など)について、学校教育や社会教育の側面から考えます。そのために、学級集団づくりや生徒指導、地域との連携といった課題や、これらの基礎となる教育の歴史、教育に関する思想や哲学、教育と社会の問題、教育の制度などについて学びます。



教科教育選修・数学教育分野

瀬川 真也 教授、米田 重和 講師

数学教育分野では、まず、代数学、幾何学、解析学、統計学、コンピュータといった数学の内容に関する学習を行い、数学の理解を深めるとともに、数学的な思考力を身につけます。また、算数科や中学・高校の数学科の目的、教育内容、教材分析、授業方法、授業評価の研究など、数学教育に関する学習もあわせて行います。更に、各種の教育実習を行うことにより、算数・数学の実践的な授業力を養います。

教科教育選修・体育教育分野

福本 敏雄 教授、堤 公一 准教授

「印象に残っている体育の授業は?」と質問された時、あなたがイメージする体育授業は、ポジティブ、それともネガティブな印象ですか?

私たち、通称「教科教育体育科」では、一人でも多くの学生が小学校の先生になることを願いながら、特に、子どもたちにとって「楽しい体育の授業」を提供できる先生をしっかりと育てていきたいと思っています。

教科教育選修・英語教育分野

田中 彰一 教授

英語教育分野は、小学校「外国語活動」の指導に強い小学校教員を目指す分野です。きちんとした英語力(特に発音能力)を身につけながら、小学校の全科の基礎知識と実践を学んでいきます。同時に中・高の英語教員免許取得を目指す人も多く、他選修の英語科目を履修し、中学校での英語教育実習にも取り組んでいます。留学や海外での英語研修を経験し、さらに英語力をつける人もいます。

理科選修

石原 秀太 教授、宮脇 博巳 教授、角録 進 教授、堀 正勝 准教授

理科選修ゼミは、化学、生物、地学の3分野あります。物理学は環境・技術選修の先生のゼミを取ることも出来ます。物性の特徴、植物の分類生態、動物生理学、火山岩石等の学習を通して理科に強い教員の養成を目指しています。

教育心理学選修

大元 眞 教授、篠原 一彦 准教授、網谷 綾香 准教授、上 然 講師、中島 龍子 特任助教

教育心理学選修が目指すのは、子どもの内面的問題について心理学的観点からアプローチし、支援することのできる教員の養成です。心理学実験や調査法など小グループでの演習を通して心理学的な分析法や考え方を学んだのち、4年次からは個人の興味関心に応じて各ゼミで研究を行います。子どもや青年の発達・性格に関すること、友人・家族関係、不登校やいじめ・非行などの教育問題、発達障害への支援など、テーマは多岐に及びます。

教科教育選修・国語教育分野

遠富 洋二 教授、竜田 徹 講師

国語分野では、適切な言語運用を可能とする能力について考えていきます。言語活動の充実が指摘され、国語教育の転換期と言われる現在、「何を、どのように」教えるかを明確にする必要があるからです。卒業生の多くは、小学校教諭になりますが、中学校国語免許、高等学校国語免許、高等学校書道免許も取得できます。

教科教育選修・理科教育分野

世波 敏嗣 教授、佐藤 寛之 准教授

理科教育分野では物理学・化学・生物学・地学の内容を学びながら、自然の事物や現象を取り扱う際の、授業計画、教材・教具の使用法、実験・観察の指導法、コンピュータの活用、児童・生徒の自然認識、科学史、評価方法など、理科をよりよく教えるための基本を身につけることに重点を置き、小学校、中学校や高等学校での理科教育について学びます。さらに、理科教育史や諸外国での理科教育などについても学び、幅広い視野と深い知識、高い能力に支えられて授業ができるようになることをめざします。

教科教育選修・家政教育分野

中西 雪夫 教授

「出張! 家庭科教室」「教育ボランティア」など小・中学生と触れ合う活動を用意しています。卒業論文は調理や被服製作といった家庭科らしい内容の他にも、家族関係、保育といった心理学や社会学などの文系学問と関わる内容、繊維、栄養素といった化学や物理学などの理系学問と関わる内容もあります。また、インテリアやファッションなど、美的センスが発揮される内容もあります。卒業生の進路は小・中学校教員や幼稚園・保育園、教員以外では、公務員、警察官、アパレル関連企業など。

教科教育選修・造形教育分野

栗山 裕至 准教授

造形教育分野では、造形表現学習や鑑賞学習について実践を通して学ぶことで、教材開発力や授業実践力を備えた教師の育成に取り組んでいます。様々な材料・道具や表し方を楽しく試しながら、自分の思いや願いなどを造形的に表現する学習活動や、作品の良さを互いに見つけたり、日本や世界の様々な造形美術の美しさや素晴らしさを味わったりする学習活動について学びます。また、美術・工芸課程の授業を受講することにより、専門性の高い力量を身につけることも可能です。

音楽選修

古員 雅子 教授、高野 茂 教授、橋本 正昭 教授、飯沼 正和 准教授、今井 浩人 准教授

音楽選修では、児童に音楽の楽しさや、深遠さを感じさせる為に必要な発声・歌唱法(板橋ゼミ)、ソルフェージュ(今井ゼミ)、楽典や音楽史(高野ゼミ)、和声法・対位法(橋本ゼミ)、ピアノ奏法(古賀ゼミ)などで音楽の基礎的技術・知識を身につけます。さらに、合唱、合奏、指揮、伴奏、編曲、作曲など学校音楽科指導で不可欠な技術、また専門の楽器演奏の研究を深めることにより、説得力のある音楽教員養成を目指します。

障害児教育選修

久野 建夫 教授、芳野 正昭 教授、狗卷 修司 講師

障害児教育選修は、知的障害や肢体不自由、病弱、自閉症、重複障害のある子どもの教育支援に関して理論と実践の両面から学ぶ「障害児教育研究室」(芳野ゼミ)、障害児(者)の心理・行動を理解し、心理的支援や教育的支援の方法などに関して理論と実践の両面から学ぶ「障害児心理研究室」(眞田ゼミ)、感覚情報処理と行動制御の観点に立ち、実践につながるテーマを重視して研究を進める「障害児病理研究室」(久野ゼミ)から構成されています。

教科教育選修・社会科教育分野

佐長 健司 教授、宇都宮 明子 准教授

今日、私たちの社会は、多様な社会的問題に直面しています。社会科分野では、どうすれば社会問題を克服し、よりよい民主主義社会を形成しようとする子どもたちを育成することができるのか、そうした子どもたちを育成するためにどのような授業を実践すればよいかを考えます。なお、教員免許状は、小学校教員免許状に加えて、中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科、及び幼稚園教諭等の免許の取得ができます。

教科教育選修・音楽教育分野

山田 潤次 教授、荒巻 治美 准教授

音楽は人間に固有の文化です。したがって、音楽を聴くこと、演奏すること、学ぶことは、人間とは何かを問う根源的な思索に結びついているのです。それゆえ、時代や地域を問わず、音楽は教育の対象となってきました。音楽教育分野では、社会文化と関連させながら音楽を考え、感じ、子どもたちに「学校で伝え教える」意味を具体的になかちで学び、幅広い視野、知識、能力を自分のものにすることを目的としています。

教科教育選修・情報技術教育分野

角 和博 教授、中村 隆敏 教授

情報技術教育分野は、ものづくりをイメージ制作と実物製作の2つから捉えて、この両方の基礎となる情報教育や技術教育について学ぶ分野です。中学校の技術の教員免許、高校の工業や情報の教員免許も取得できます。また情報デザインやデジタル表現を用いて ICT を授業や教材開発に生かす力と情報モラルなど情報との正しい接し方を実践的に指導できる力が学べます。

数学選修

河合 茂生 教授、寺井 直樹 教授、庄田 敏宏 准教授

数学選修のゼミは、大きく分けて解析学・代数学・幾何学・統計学の分野があり、ゼミごとに専門書を輪講形式で読み進めていく方式をとっております。教員として身につけたい教科の理解力や説明能力を育成するような指導を心がけております。



【附属教育実践総合センター～教育実習のサポート～】

附属教育実践総合センターは、昭和59年4月に開設された附属教育実践研究指導センター(平成8年10月、学部改組に伴い文化教育学部附属となる)を前身とし、平成14年4月に改組拡充された施設です。当センターは、「教育実践部門」(学習開発分野・教育情報分野)と「教育臨床部門」(学校臨床分野・発達臨床分野・学校教育相談分野)の2部門(5分野)から構成されています。

従来の「研究指導センター」では、教員の教育指導能力の開発、授業分析法の開発等を主な目的としていましたが、「総合センター」では、新たに教育臨床部門を加え、教員養成の重要性を認識しつつ、さらに地域との連携を図り、教育現場のいじめ、不登校をはじめさまざまな教育問題に積極的に取り組んでいます。

これまで以上に開かれた大学を目指し、大学の蓄積した知識や地域の隠された知的財産を地域の人々とともに発掘し、次世代に継承する文化教育的な窓口、地域センターの役割を担っています。地域の教育のネットワークづくりへの貢献や学生ボランティア支援など明日の教育やそれを担う教員養成を支援するセンターを目指しています。

Pick Up!! 主な卒業論文テーマ

- 児童養護施設の歴史と現状に関する一考察
- 小学校におけるキャリア教育
- ユニバーサルデザインを視点とする授業考察に関する研究
- 兄弟姉妹間コンプレックスに関する心理学的研究
- 発達障害の子どもの支援 -アスペルガー症候群を中心として-
- 動物の感情を幼児はどう理解しているのか
- 学習困難児に対する心理教育的支援研究
- 映像作品に描かれた自閉症の特性に関する研究
- 交流教育に関する研究
- 「国語科教材の研究 -マンガにおけるオノマトペ表現を中心に-
- 「書作品における墨色の研究」
- 社会科における法教育の研究
- 社会科における言語文化教育の授業開発

- 「分数のつまづき」に関する考察
- パソコンを用いた数学教材に関する研究
- 「義務教育段階の化学教育における溶解の取り扱いに関する研究」
- 「理科学習場面におけるコンピテンシーの熟達の要因に関する一考察」
- 「郷土の音楽」の教材化に関する研究 -福岡県民謡「炭坑節」を中心に-
- 障害のある子どものための音楽教育に関する研究
- 子どもの描画と心理
- 子どもと木製玩具について
- 体育科教育における技能向上についての一考察
- 学校体育からみた校庭の芝生化について
- キャラクター弁当による食生活教材の開発
- 現職教員と教育実習生の言語・非言語的行動分析
- 学校現場におけるICTを利活用した協働学習の研究

- 学内コミュニティ支援のためのキャンパス放送局の実践と研究
- 英語コミュニケーション能力の育成と小中連携
- 小学校英語活動と中学校英語科の接続 -小中連携における課題-
- 非ユークリッド幾何学の研究
- 初等整数論の研究
- 位相幾何学の研究
- イソジウム臭化物錯塩の核四極共鳴
- 身近な植物を使った環境調査
- 耶馬溪玄武岩類の岩石学的研究
- 小学校音楽科における合唱指導
- モーツァルトのウィーン時代の音楽活動
- ピアノ作品のオーケストラ編曲について

【附属学校(園)～教育実習の場～】

文化教育学部には、附属小学校、附属中学校、附属特別支援学校、附属幼稚園の四つの附属学校(園)が置かれています。これらの学校(園)では、所属の教員と大学の教員とが協力して、幼児・初等・中等教育及び障害児教育の理論と実践の研究に取り組んでいます。学校教育課程を始めとして、教員を目指す学生が教育実習を行なうのもこれらの施設です。各学校(園)では、一人ひとりの個性と能力を生かす教育が進められており、文化教育学部の学生も、実習を通じて、児童や生徒、園児たちと、ともに学び、触れ合うことができます。

■ 学校種と学級数

附属学校(園)	学級数	
附属小学校	18	
附属中学校	12	
附属特別支援学校	小学校	3
	中学校	3
	高等部	3
附属幼稚園	3	

| 教 | 員 | 紹 | 介 |

上野 景三 教授
社会教育学、生涯学習論

園田 貴章 教授
学習支援論(読み書き等支援、授業構成論)

大元 誠 教授
発達心理学(アニミズム、日本語の表現の心理学)

久野 建夫 教授
障害児教育、慢性疾患の教育ニース

芳野 正昭 教授
障害児教育

松下 一世 准教授
人権教育、教育方法(特別活動等)、学級づくり

川上 泰彦 准教授
教育制度、教育法規、教育行財政

網谷 綾香 准教授
臨床心理学(教育相談、スクールカウンセリング)

上長 然 講師
学習心理学

狗巻 修司 講師
障害児心理学

中島 範子 特任助教
発達障害心理学(LD、ADHD、ASD)

篠原 一彦 准教授
教育実習、佐賀県教委との連携・協力事業

達富 洋二 教授
国語科教育学、教師の授業コミュニケーション、音声言語

竜田 徹 講師
国語科教育学、国語教育目標論

佐長 健司 教授
社会科教育学

宇都宮明子 准教授
社会科教育学(日本及びドイツ歴史教育)

瀧川 真也 教授
数学教育学(数学教育におけるコンピュータの活用)

米田 重和 講師
数学教育学

世波 敏嗣 教授
理科教育学(比較理科教育(イギリス))、科学教育

佐藤 寛之 准教授
理科教育学(理科の教授・学習論)、科学教育

山田 潤次 教授
音楽教育学

荒巻 治美 准教授
音楽教育学

栗山 裕至 准教授
美術教育学

福本 敏雄 教授
保健体育教育学(器械運動)

堤 公一 准教授
保健体育教育学(楽しい体育授業づくりの研究)

中西 雪夫 教授
家庭科教育学、保育学

角 和博 教授
技術教育学、情報教育学

中村 隆敏 教授
情報教育学(ICT活用教育)、技術教育学

田中 彰一 教授
英語教育学、英語学(第二言語教育、英文法)

河合 茂生 教授
幾何学 数学教育

寺井 直樹 教授
代数学 数学教育

庄田 敏宏 准教授
幾何学 数学教育

石原 秀太 教授
物理化学、化学教育

宮脇 博巳 教授
植物分類学、生物教育

角縁 進 教授
岩石学、地質学、火山学、地学教育

嬉 正勝 准教授
動物生理学、神経行動学、電気生理学、生物教育

古賀 雅子 教授
ピアノ

高野 茂 教授
音楽史、音楽理論

橋本 正昭 教授
作曲

板橋江利也 准教授
声楽、発声、合唱、オペラ

今井 治人 准教授
指揮、ソルフェージュ、器楽、合奏

文化教育学部 国際文化課程

.....
広い国際的視野に立って
日本・アジアの文化と
欧米の文化を学際的な
システムの中で学ぶ



国際文化課程では、広い国際的視野に立って文化の価値を産み出していく力を身につけ、国内外で活躍できる人材を育成するため、**1**～**3**の目標を定める。

教育目標

- 1** 国際社会の理解能力を養成するための科目を設定し、国際人としての資質を形成する。
- 2** 英語だけではなく、ドイツ語・フランス語・中国語・朝鮮語を選択履修させ、外国語運用能力を高める。
- 3** 様々な場におけるコミュニケーション的指導能力、深い洞察と分析に基づいた企画力・実践力を養成する。

カリキュラムの特色

国際文化課程では、日本・アジアと欧米の文化を学際的なシステムの中で学ぶことができる多様な科目を用意しています。狭い意味での文化だけでなく、各国の思想・歴史・法体系に関する科目や、国際社会を支える政治・経済的基盤に関する科目も学ぶことができます。

国際文化課程のカリキュラムの特徴は、外国語とコミュニケーション能力の養成を重視している点にあります。専門科目として、欧米やアジアの言語の授業を設けており、教養教育科目の外国語の授業とあわせて二ヶ国語以上を

徹底的に学びます。選修の選択は2年次に希望によっておこなわれます。4年次にはそれまでの学びの成果を卒業研究にまとめます。

なお、必要な科目を履修することで、中学校、高等学校の各教科の教員免許状取得も可能です。

物語を紡いでいくために

「大学生のうちに留学する!」この願いを大学2年次の夏に叶えることが出来ました。1年間のフランス留学。この1年間は、わたしの抱いていた将来の目標を大きく変える大切な時間となりました。帰国してからはフランス語や美学・哲学・倫理学を中心に学びながら将来への第1歩である大学院進学を目標に先生方のご指導の下、日々邁進しています。

国際文化課程では前述の講義の他にも政治・文学・言語・歴史などについて学ぶことが出来ます。2年次からは欧米文化選修と日本・アジア文化選修のコースに分かれ、より専門的にそれぞれの分野を学んでいくこととなります。皆さんの中に日本について考えると同時に、世界に目を向けていたいという思いがあるのなら、ぜひ国際文化課程に来て下さい。共に切磋琢磨出来る仲間とあなたの世界を広げてくれる物語がここで待っています!

文化教育学部
国際文化課程 3年

中山 佳子

鹿児島県立大島高等学校出身

Pick Up!! 取得可能な免許・資格

所定の単位を取得することにより、
卒業時に資格が得られるもの

- 中学校教諭一種免許状(国語)
- 高等学校教諭一種免許状(書道)
- 中学校教諭一種免許状(社会)
- 高等学校教諭一種免許状(地理歴史)
- 中学校教諭一種免許状(英語)
- 高等学校教諭一種免許状(公民)
- 高等学校教諭一種免許状(国語)
- 高等学校教諭一種免許状(英語)

試験に必要な科目の単位を取得し
卒業後の実務経験後、受験資格が得られるもの

- 学芸員
- 社会教育主事

Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先

- 福岡市役所
- 三洋ホームズ
- 筑後市役所
- 毎日コミュニケーションズ
- 大村市役所
- 富士通エフ・アイ・ピー九州株式会社
- 佐賀県庁
- ANA エアサービス東京
- 佐賀県中学校
- JR九州
- 福岡常葉高等学校
- リビングハウス
- 佐賀県学校事務
- 西日本シティ TT 証券
- 郵便局
- 佐賀新聞文化センター
- JA 佐賀
- 英進館
- 福岡県警
- 佐賀共栄銀行
- 佐賀県警
- イオン九州株式会社
- 明治安田生命保険
- 佐賀銀行
- アリコジャパン
- 十八銀行
- 第一生命保険

主な進学先

- 神戸大学大学院国際文化科学研究科
- 佐賀大学大学院教育学研究科
- 広島大学大学院文学研究科



Pick Up!! 主な卒業論文テーマ

- バリをめぐる歴史的考察 ~失われた楽園とオランダ人~
- 古本ばなな論
- ロートレックに見られる浮世絵の影響
- 荘子の研究
- 佐賀方言の研究
- 「カラー・パープル」におけるアメリカの歴史・文化とフェミニズム
- 韓国の経済発展過程におけるキリスト教の与えた影響
- 三国志演義について 一孫呉の描写一
- 聖書における女性観
- 肥後藩の成立と加藤清正
- The African American's History to get an Educational Equality
- 競馬場に行ってみよう! 一苦境に立たされた公営ギャンブル復活への提案一
- 満州移民と農村社会
- The History and Development of English Plurals
- メディアは世界を平和に出来るか
- 在原業平研究
- エリザベス1世の外交政策
- フランスの移民問題について

1年次

2年次

3年次

4年次

教養教育科目

全学教育科目

日本・アジア文化選修

- 日本・アジアの社会と文化
- 中国文学講義
- アジア経済論
- 日本近世文学論
- 日本語要説
- 朝鮮史
- 東洋史要説
- 欧米の社会と文化
- 現代欧米の法と政治
- 芸術文化論
- 近代西洋思想
- 国際文化学概論

欧米文化選修

- 美学外書講読
- 英語オーラルコミュニケーション
- 現代ドイツ事情
- 文化とジェンダー
- 社会とジェンダー
- 西洋史要説
- 欧米文化論演習

- 日本語文法論
- 日本古典文学論
- 日本文学史Ⅰ・Ⅱ
- 日本語史
- 日本史要説
- 日本史上の市と都市
- 日本近現代史
- 日中交渉史
- 国際文化論
- 国際経済論
- 中国思想史
- 中国語文章論
- 韓国・朝鮮社会文化史論
- 東南アジアの国家と社会
- 地域古典籍分析論
- 英語
- ドイツ語
- フランス語
- 中国語
- 朝鮮語
- 専門教育外国語

- 日本語学演習
- 日本語史演習
- 日本古典文学演習
- 日本近代文学演習
- 日本前近代史演習
- 日本近現代史演習
- 中国思想史演習
- 中国文学演習
- 中国語学演習
- 日中比較文化演習
- 東洋史演習
- 国際政治学演習
- 韓国・朝鮮学演習
- 東南アジア学演習
- 国際経済論演習
- 世界地誌
- 日本語教育実習
- 英語
- ドイツ語
- フランス語
- 中国語
- 朝鮮語

●卒業研究

- 英米文学講読
- イギリス文学
- アメリカ文学
- ドイツ文学
- フランス文学史
- 国際社会の正義と秩序
- 法学要論
- 経済学要論
- 国際文化論
- 倫理学要論
- 哲学要論
- 英語音声学演習
- 英作文演習
- スピーチ・コミュニケーション論
- 英語
- ドイツ語
- フランス語
- 中国語
- 朝鮮語
- 専門教育外国語

- 英文学演習
- 西洋中世史演習
- 倫理学演習
- 美学演習
- 法学演習
- 国際関係論演習
- 英語学演習
- フランス文学
- フランス文学理論演習
- 日英異文化コミュニケーション
- 英語論文構成
- 英語
- ドイツ語
- フランス語
- 中国語
- 朝鮮語

●卒業研究

●英語パブリックスピーキング

注目の授業・講義

●日本文学史Ⅱ

日本近現代における災害と文学の関わりについて、災害を単なる天災のみでなく、人災という観点から、近代現代の戦争と文学、関東大震災と文学、原爆と文学、沖縄戦と文学、公害と文学、そして今回の東日本大震災と文学について、歴史的視点で学ぶ。

●欧米文化論演習

我々多くの日本人にとって、日本の次によく知っている国といえば、おそらくアメリカであろう。実際、ニュース、新聞、雑誌、テレビ、映画等を通じて、我々は日本にいながらにして、日々アメリカと接している。にも拘わらず、我々の知るアメリカは多くの場合、公式的あるいは建前としてのアメリカでしかなく、我々は実はアメリカを知らない。そこで、この授業では、虚像としてのアメリカを突き抜けて、その特徴的な文化的側面を掘り下げることで、少しでも真のアメリカの姿に迫ってみたい。

●日本史上の市と都市

日本史上著名な都市。京都や博多・鎌倉などの他に、室町時代に各地に市場・中小都市が成立・発展した。その根底には、流通・商業・金融などあらゆる分野での経済成長が不可欠であり、そうした視点をもって地域の発展と都市の成立を探ってみたい。

●スピーチ・コミュニケーション論

コミュニケーションにおける話し手の意図、聞き手の解釈を様々な角度から考察する。なぜ、われわれは伝えたいことを言わないのか、それなのになぜ、お互いに理解できるのか。実際の言語使用における「意味」を問題にする言語学の一分野「語用論」の入門であり、基本的な諸概念の理解と修得を目標とする。

●地域古典籍分析論

古典籍とは、近代以前に作られた書物をいう。古くは書写されて読まれ伝わり、江戸時代には印刷出版されても伝播した。和紙に書かれ刷られたそれらは、俗に「和本」といわれて、日本全土の図書館や旧家や寺院、神社に伝存している。それらを手にとって分析して、モノとしての書物とそれを取り巻く文化を知る。

●現代欧米の法と政治

〈いのち〉(生死)をめぐる法・倫理・政治について、日本と欧米を比較しながら検討します。学期全体のテーマを「いのちをめぐる法と政治」と定めます。妊娠中絶や代理出産、出生前診断などリプロダクティブ・ライツをめぐる諸問題、安楽死・尊厳死など「死の自己決定権」にまつわる問題、さらに死刑制度や食肉生産(屠畜)といった具体例をいくつか取り上げて検討します。

教員紹介

●日本・アジア文化選修

- 佐々木 揚 教授
東アジア近代史、外交史
- 宮島 敦子 教授
日本中世流通・経済史、商業史
- 近藤 則之 教授
中国思想、儒教、老荘思想
- 古川 末喜 教授
中国語、中国文学、社用
- 今野 厚子 教授
日本の中古文学、平安時代の和歌文学、動撰和歌集

- 藤田 勝良 教授
現代日本語学、意味論、文法論、方言学
- 張 韓模 教授
アジア経済、貨幣、為替レート
- 白石 良夫 教授
近世文学、古典学の歴史、考証随筆
- 森 善宣 准教授
北東アジア国際政治、朝鮮半島をめぐる国際関係、朝鮮現代政治史、南北朝鮮現状分析
- 山崎 功 准教授
東南アジア国際関係、日本＝東南アジア関係史、インドネシア現代史

- 永島 広紀 准教授
韓国・朝鮮史、日韓関係史、近代の日本とアジア
- 鬼嶋 淳 准教授
日本近現代史、地域史、社会運動史
- 中尾友香梨 准教授
日中比較文化、日中文化交流史、中国語
- 山本志帆子 講師
日本語学、日本語史、社会言語学

鍋島ルネサンス構想『文化創成コーディネート・プログラム』

木原 誠 教授(プロジェクト・リーダー) 文化創成、現場力、地域貢献

平成23年度から新教育研究プロジェクト「鍋島ルネサンス構想」を開始しました。本プロジェクトの『文化創成コーディネート・プログラム』では、教養と専門知識に裏打ちされた柔軟かつ豊かな発想で自主的に目的を設定し、それを達成する力(「現場力」)で、地域社会をリードし、文化を創成・発信していく人材の育成を目指しています。1～2年次には文化創成に関する基礎科目や関連科目を受講します。2～3年次には、【文化とコミュニティ】【ジェンダーとマイノリティ】【市民社会と国際協力】の中から分野を選択し、各分野でチームに分かれ、学外のエキストラキャンパスの企画・運営や学内外での実地調査等を通じて、自分で知識を発見・編集・発信する能力を付けます。コース修了に際して、これまでに培った知識と(現場力)の集大成として、修了研究を行います。規定単位を取得した者には『文化創成コーディネート・プログラム』修了証が授与され、その中でも成績優秀者には、外部審査を経て『文化創成コーディネーター資格』が認定されます。



中国語・文学・思想ゼミ

近藤 則之 教授、古川 末喜 教授、中尾 友香梨 准教授

古川ゼミは、中国の古典詩を翻訳し、さらに中国音で読んで解読し、世界文学の一つとして鑑賞し、中尾ゼミは、中国の音楽・文化が日本の江戸時代にもたらした影響を中心に、広く日中文化交流を、近藤ゼミは、春秋戦国から漢代の儒教を中心に、中国思想の日本への影響、さらに老荘思想などを研究しています。以上の専門以外でも中国の言葉、文学、文化、思想などを幅広く研究しています。

国際政治学ゼミ

森 善宣 准教授

現代の国際政治は、活動主体が多岐に及び、それらの関係も複合的に作用、反作用し合う状況を呈しています。担当講師は朝鮮半島をめぐる国際関係を専門とするところから、近年ますます注目を集める朝鮮半島情勢を解説する中で、国際政治に関する理解を促します。平易なテキストを学習しながら韓国と北朝鮮の関係、そして彼らと彼らを取り巻く日米中およびEUの重層的で多面的な諸関係を具体的な事例として取り上げられます。

日本語史ゼミ

山本 志帆子 講師

『源氏物語』や『枕草子』のことは私たちが話すことばは、異なるところが多くあります。私たちが現在話していることばは、歴史のなかでどのように移り変わってきたのでしょうか。日本語史ゼミでは、さまざまな文献にみられることばを丁寧に読み解きながら、日本語の歴史を明らかにしていきます。そして、ことばの歴史とともに、日本の社会や文化の移り変わりについても考えていきます。

東南アジア学ゼミ

山崎 功 准教授

一般には余り知られていない日本と東南アジアの関係を歴史的視点、現代国際関係の視点、また映画やマンガを含む多様な文化交流の視点を踏まえて考えます。さらに「エスニック」という言葉で一掃りにされる東南アジアの多様な文化・社会のあり方を「政治文化」をキーワードに考えます。希望者には初級インドネシア語サブゼミ実施。成果をインドネシアの大学(本学協定校)のゼミナールで発表します。(希望者のみ 旅費自己負担)

韓国・朝鮮学ゼミ

永島 広紀 准教授

今、ちまたには「韓流ドラマ」や「K-pop」が氾濫しています。本ゼミではこれらのことは特に学びません。その代わり、韓国・朝鮮半島の言語・歴史・伝統文化を研究することによって、結果的に「韓流」を皆さんたちなりに深く楽しめる方法をお教えいたします。また本ゼミの伝統は、先輩たちの多くが韓国の大学に交換留学していることです。ぜひ一緒に「韓」を体感してみませんか?

日本近現代史ゼミ

鬼嶋 淳 准教授

本演習では、近現代日本社会の歴史を考えるため、手がかりとなる重要な研究文献や史料を講読しています。希望者がいれば戦争遺跡などフィールドワークを行い、理解を深めています。近年はとくに、地域に暮らす人びとにとって、日本の近現代とはどのような時代であったかという点に注目しています。2011年度は、1945年の『佐賀新聞』と3人の戦時日記をとりあげて、人びとの戦争や敗戦の受け止め方などを検討しました。

美学ゼミ

相澤 照明 教授

西洋の伝統的な価値として真・善・美があげられますが、それは時代がどのように変わろうとも人間が人間の心を失わない限り持ち続ける理想への憧憬の念とも言えるでしょう。人は、いつの時代にも美しい風景や芸術作品を見て歓喜し、恐怖し、切なげ思い、そうした体験を通じて、人間的な心を成長させてきたのです。美学とは、そうした芸術体験や自然美の体験を分析することを通して、人間の精神を探る営みです。

英語学ゼミ

小野 浩司 教授

あの有名な漫画のタイトルはTom & JerryであってJerry & Tomでなかったのはなぜでしょう。使役のmakeは後ろに原形不定詞を取るはずなのに、なぜ受け身にするto madeの後はto不定詞になるのでしょうか。古畑三郎の三郎は「さぶろう」なのに、なぜ坂東妻三郎の三郎は「さぶろう」なのでしょう。このような音声にかかわる日弊の「なぜ」に答えるのが音韻論という学問です。音韻論を学習することで、これまで何気なく使っていた日本語や英語の新たな扉を開くことがこの研究室の目的です。

ドイツ語学ゼミ

吉中 幸平 教授

ドイツ語とドイツ文化に関する研究を実践的に活かすべく、日本の学生にとって理想的な独和辞典はどうあるべきかを研究、実際に編纂・出版に携わっている。学生たちにもドイツ語を使う機会を提供すべく「ドイツ語とドイツ文化研修旅行」(一ヶ月間、春休みにドイツの大学での語学講習、ホームステイ、自主研修)を企画している。卒業ゼミではドイツ語に限らず、サッカーの日独比較など、広くドイツと日本に関わるテーマを扱っている。

フランス文学ゼミ

相野 毅 教授

フランスの社会と文化を中心に「比較文化論演習」では文化の歴史的な比較研究、「フランス文学理論演習」では記号論を用いた文化の分析について学びます。私の専門はフランス文学ですが、国境にこだわらず、ジャンルにこだわらず、広く文化現象を研究しています。たとえば、人造人間を中心に人間のあり方をフランス文学からアメリカのSF、日本のアニメまでを扱っています。学生の卒業論文もフランスの社会現象から文学まで多岐にわたっています。

国際関係論・政治社会学ゼミ

高橋 良輔 准教授

ヒト、モノ、カネ、情報が国境を越えて行き交うグローバル化の時代には、世界で生きるさまざまな出来事、私たちの未来に大きな影響を及ぼします。そこで、この研究室では、各国の外交政策や国際機関の活動、国際協力を行う非政府組織(NGO)とメディア報道のあり方、さらには人権と民主主義の理念や多文化主義、移民問題などを取り上げ、幅広い視野から国際社会の歴史的・思想的課題や現代の諸問題に取り組んでいます。

倫理学ゼミ

後藤 正英 准教授

西洋の倫理思想を幅広い観点から教育・研究しています。ゼミでは、道徳哲学、応用倫理、世界の宗教文化に関わる内容を取り上げています。私の研究対象の一つに18世紀ドイツのユダヤ人の哲学者モーゼス・メンデルスゾーン(音楽家のメンデルスゾーンの祖父にあたります)の思想があります。平成23年にメンデルスゾーンの生誕地ツェッハウのメンデルスゾーン協会と学部の国際交流委員会の間で交流協定を結びました。佐賀大学の学生が現地を訪問した場合、短期で文化体験プログラムを受けることができます。滞在費の援助もあります。

● 欧米文化選修

吉中 幸平 教授

ドイツ語の文法構造と意味構造、(日・独)異文化間コミュニケーションにおける諸問題、独和辞典の研究と編纂

相澤 照明 教授

18世紀イギリス美学・芸術論、風景美(崇高とビクチャレスク)、共感論

都築 彰 教授

中世イングランド王国史、王国年代記、修道院カーチュラ

早瀬 博範 教授

アメリカ文学、アメリカ文化論、英語教育

相野 毅 教授

フランス文学、比較文学、幻想文学

熊本 千明 教授

意味論、語用論、対照言語学

小野 浩司 教授

英語学・日英比較音韻論・形態音韻論

木原 誠 教授

ケルト・アイルランド文化学、妖精学、イギリス文学

鈴木 繁 教授

アメリカ文学、ナサニエル・ホーソーン、比較文学

古賀 豊 准教授

二十世紀フランス文学、バルナノス、キリスト教文化

山中 利夫 准教授

中世英文学、チャーサー、物語論

名本 達也 准教授

19世紀アメリカ小説、ヘンリー・ジェイムズ、芸術家と文学作品

吉岡 剛彦 教授

法哲学、マイノリティの人権、関係的自己

高橋 良輔 准教授

国際関係論・政治社会学・現代政治理論

後藤 正英 准教授

倫理学、宗教学、近代ドイツ哲学

Houghton, Stephanie Ann 准教授

Intercultural Communication, Foreign Language Education, Intercultural Dialogue

上田 政夫 准教授

プロデューサー、コーディネート、商業演出

相原 征代 講師

社会学、ジェンダー学、現代ヨーロッパ事情(フランス・イタリア)

文化教育学部 人間環境課程

現代社会の具体的な諸問題に取り組むことのできる教養と基礎学力を有し、自然環境、地域社会と文化、健康と福祉、またはスポーツに強い関心をもって、これらの分野に関する高度な知識と先見性、実践力を身につけます



教育目標

- 1 人間生活の質的向上に資する企画立案能力や情報処理能力の強化を図ること
- 2 自然環境、地域社会、健康福祉やスポーツなど人間の文化に対する学問的素養を高めること
- 3 地域の発展に寄与できるリーダーシップ、指導力、コミュニケーション能力などのスキルアップをすること

カリキュラムの特色

地域・生活文化分野では、文化の基盤としての生活を科学的に見直し、新しい地域文化や生活文化の創造をめざしています。生活文化としての統合をはかりながら、生活経営学、被服学、食物学、住居学、保育学を学ぶこととなります。また、風土に根ざした地域のさまざまな事象に対して、考古学、地理学、社会学といったフィールド科学からの追求を同時に行い、地域社会の諸問題に対して幅広い視野に裏打ちされた的確な行動をとれる人材の育成をめざしています。特に地域社会の中核として活躍できる人材の育成に力を注いでいます。

環境・技術分野では、環境問題に関わる様々な授業が用意されています。授業科目は必修科目よりも選択科目が多く設定されて、環境に関する自分の興味を主体的に選んで学べるようになっています。授業内容は文系から理系に亘って幅広く設定されていますが、理系の基礎知識を学ぶ授業に比重があります。しかし、文系出身者であまり予備知識がなくても環境科学が理解できるように、基礎的な事柄から順に学べるように授業が進められます。

健康福祉分野では、高齢社会における社会保障・社会福祉や障害者福祉などの発展に向けて、健康生活と福祉の諸課題に重点的に取り組みます。従って、社会福祉に関する広範囲な専門知識と技能を持つ人材を養成します。

スポーツ分野では、専門的なスポーツ技能や科学的コーチ能力の向上を目指すと共に、高齢社会における生涯スポーツの視点から教育界や地域社会、産業界への健康・スポーツ文化の普及・発展に貢献できる専門的指導者を育成します。



大学とはチャレンジする場所！

私は地域・生活文化分野に所属しています。この分野では被服や食物栄養、住環境といった衣食住や生活経営に関する知識、また考古学や地理学等の社会分野に関する知識を学ぶことができます。この分野の大きな特徴は実験や実習、フィールドワークで実際に体験しながら知識を学ぶ授業も多く組み込まれている所です。私は主に衣食住に関する講義を受講しています。大学で学んだ知識が私生活に役立つ場面が多々あり、その時この分野に所属してよかったと心から思います。また先生方もとても気さくで親身になって話を聞いてくださいます。このようにアット・ホームな雰囲気があるのもこの分野の魅力です。

大学では高校までの学校生活とは異なり自由な時間もたくさんあります。この自由な時間をなんとなく過ごして無駄にしまうのか、自分で色々なことにチャレンジし、様々な経験を積んで有意義な時間にするのか、本当に自分の気持ち次第で全く違った大学生活になってしまいます。私は、将来の夢に向かって一生懸命勉強に励む友人や、大学生でしか出来ないことを全うしたい！と様々なことに挑戦する友人の姿を原動力に、この分野で学んだ知識や経験を活かしながら充実した大学生活を送っています。

文化教育学部
人間環境課程 3年

嘉村 玲奈

長崎県立
長崎西高等学校出身



Pick Up!! 取得可能な免許・資格

所定の単位を取得することにより、
卒業時に資格が得られるもの

- | | |
|---------------------|----------------------|
| ■ 中学校教諭一種免許状(技術) | ■ 地域スポーツ指導者(スポーツ指導員) |
| ■ 中学校教諭一種免許状(保健体育) | ■ スポーツコーチ資格の共通科目修了 |
| ■ 中学校教諭一種免許状(家庭) | ■ スポーツ指導員資格の共通科目修了 |
| ■ 高等学校教諭一種免許状(保健体育) | ■ レクリエーションインストラクター |
| ■ 高等学校教諭一種免許状(工業) | ■ 健康運動指導士認定試験受験資格 |
| ■ 高等学校教諭一種免許状(家庭) | ■ 社会福祉主事(任用資格) |
| ■ 競技力向上指導者(コーチ) | |

試験に必要な科目の単位を取得し

卒業後の実務経験後、受験資格が得られるもの

- | | |
|------------|----------|
| ■ 公害防止管理者 | ■ 社会教育主事 |
| ■ エネルギー管理士 | ■ 学芸員 |
| ■ 環境計量士 | |

Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先

- | | |
|----------------|--------------------------|
| ● 高等学校教諭 | ● 中学校教諭 |
| ● 京都府教育委員会(教諭) | ● 特別支援学校教諭(2名) |
| ● 生活指導員 | ● 佐賀県職員(2名) |
| ● 佐賀大学職員 | ● 福岡県学校事務 |
| ● 長崎県大村市役所 | ● 茨城県神栖市役所 |
| ● 警視庁 | ● 和歌山県警 |
| ● 熊本市消防局 | ● 鹿児島県大隅曾於地区消防組合 |
| ● 郵便局 | ● 鹿児島県農業信用基金協会 |
| ● テレビ九州(株) | ● プーマジャパン(株) |
| ● 旭化成ホームズ(株) | ● (株)進学会 |
| ● (株)島根県食肉公社 | ● (株)日本電子 |
| ● 社会福祉法人(療育園) | ● 特定非営利活動団体(スポーツ関係、環境関係) |
| ● 長崎県離島医療組合 | ● 五島中央病院 |

主な進学先

- | | |
|---------------------|---------------|
| ● 佐賀大学大学院教育学研究科(4名) | ● 九州大学大学院(2名) |
| ● 大分大学大学院 | |



1年次

2年次

3年次

4年次

教養教育科目

全学教育科目

専門教育科目	地域・生活文化分野	<ul style="list-style-type: none"> ●生活環境概説 ●日本の地理と風土 ●食文化論 ●調理文化論 ●被服学 	<ul style="list-style-type: none"> ●アジア社会論 ●人文地理学 ●考古学実習 ●現代社会の家族 ●被服衛生学 ●被服製作基礎実習 ●生活経営論 	<ul style="list-style-type: none"> ●地理学フィールドワーク実習 ●都市システム論 ●古墳文化研究演習 ●生活経済学 ●住宅デザイン論 ●調理学実験 	●卒業研究
	環境・技術分野	<ul style="list-style-type: none"> ●自然環境論 ●環境問題と対策 ●地学巡検 ●物質環境科学 	<ul style="list-style-type: none"> ●生命科学 ●環境熱学 ●地球環境科学 ●水環境論 ●生活経営論 	<ul style="list-style-type: none"> ●エネルギー環境論 ●無機環境化学 ●植物分類学 ●住環境材料工学 	●卒業研究
	健康福祉分野	<ul style="list-style-type: none"> ●健康教育概論 ●現代社会と福祉 	<ul style="list-style-type: none"> ●人体の構造と機能及び疾病 ●社会保障 ●生活経営論 	<ul style="list-style-type: none"> ●救急処置 ●相談援助の理論と方法 	<ul style="list-style-type: none"> ●卒業研究 ●就労支援
	スポーツ分野	<ul style="list-style-type: none"> ●ヘルスプロモーション実習 	<ul style="list-style-type: none"> ●運動生理学 ●トレーニング科学 ●スポーツ経営学 ●コーチング理論・実習 ●生活経営論 	<ul style="list-style-type: none"> ●運動処方 ●フィットネス 	<ul style="list-style-type: none"> ●卒業研究 ●バイオメカニクス

注目の授業・講義

●住宅デザイン論

住まいは人間が生きていく上で必要不可欠なものです。これからの生活をより豊かなものにするために、私たちの生活の場である住居や住環境について考えてみましょう。本科目では講義によって住まいや住まい方に関する基礎知識を習得した上で、学外へ出掛けて住宅展示場などを見学し、実際の住空間を体験します。科学的な知識と実体験に基づき、現在の住まいの問題点やこれからの住まいや住生活のあり方を考察する力を身に付けることをめざします。

●放射線科学

(1)放射線の世界、(2)原子と原子核、(3)放射線の基礎知識、(4)放射線の利用、(5)身の回りの放射線(測定を含む)などについて学ぶ。また福島原子力発電所の事故による放射線汚染について、身の回りにおける自然放射線の理解を基礎知識のように考えて対処したらよいかについての話題も取り上げる。

●ヘルスプロモーション実習

健康スポーツ科学講座が開催する「中高齢者のための健康教室」に参加し、指導力、企画運営力、コミュニケーション力等の能力を培うことを目的とする事業参加型の実習です。本授業では実際に地域の方々にさまざまな運動プログラムの指導をおこなったり、事業の運営を担当することで、通常の講義では得ることのできない実践的能力を身に付けることができます。

●地理学フィールドワーク実習

地理学の主たる対象は地域であり、フィールドそのものが実験室です。地域で営まれている人間活動と自然環境との関係を探りながら地理的事象の一般化を行い、また、当該地域の文化の保存をめざしています。地理学フィールドワーク実習では、自らフィールドに出て観察し、聞き取りを行いながら調査データを集め、時には計測を行い、役場・企業を訪ねてデータの収集も行います。そしてこのようなフィールド調査とともに実験室での収集データの分析、地図化、考察とプレゼンテーションも重要な学習活動となっています。

●有機環境化学

本科目では環境因子の健康影響を講義している。例えば、様々な物理的・化学的因子の生体影響、身近な化学物質による健康影響、労働衛生一般など、職場で応用できる知識を教授している。

●環境法要論 I、II

環境法の内容を理解するための前提として、まず環境・公害問題はわれわれにとってどういう現象であるのかを解説する。次は戦前から現在に至って、わが国ではどのような環境・公害問題が発生し、それに司法、行政、立法機関がどのように対応してきたかを考察する。公害問題のみならず自然保護、地球環境問題への国際協力などの視点も含め、わが国の環境法の法体系、内容と課題を議論する。

●健康教育各論(性教育)

性教育は、健康教育の重要な領域で「生・いのちの教育」です。その内容は、性についての科学的知識を得ることだけではなく、ヒューマンセクシュアリティ(人間性)の概念に基づき、性や性役割の意味、自己の性認識(セクシャル・アイデンティティ)の形成など「生と性」のあり方について学びます。



食生活学研究室

萱島 知子 講師

私たちが毎日、口にしていく食べものは、意識せずとも体に影響を与えています。食べものは体を維持・成長させるための栄養素を供給し、香りや味といった嗜好性を与えています。さらに健康を推進させ病気の予防に役立つ効果も示しています。このような食べものの機能性について、特に地域の食材の新しい機能性を見出すことをめざして実験を行っています。

考古学研究室

重藤 輝行 准教授

考古学は物質文化から歴史を解明する学問です。佐賀県には吉野ヶ里遺跡、名護屋城跡を初めとして、朝鮮半島・中国大陸との交流史を物語る遺跡が多く、考古学を研究する上で魅力的なフィールドです。考古学を通じて、日本や東アジアの歴史を考えてみませんか。また、考古学の講義では遺跡等の文化財を保護する取り組みも取り上げ、現代社会における新たな文化創造の資源としての文化財の意義についても考えてみます。

環境材料工学研究室

小野 文慈 教授

機械摺動材料にとって摩擦特性が優れるということは環境負荷を減らす1つの因子である。本研究室では摩擦低減を実現するために、DLC(ダイヤモンドライクカーボン)の生成手法による薄膜評価、水素環境下の摩擦摺動特性、バイオ燃料から精製した潤滑油の評価などを行っています。

地球科学系

高島 千鶴 准教授

現世の熱水環境を30億年-6億年前の地球環境のアナログととらえ、古環境の復元を目指しています。主に温泉に焦点を当て、測定やサンプル採集などのフィールドワークを行い、研究室で温泉水の分析や温泉堆積物、微生物の観察など多様な手法を用いて研究を行っています。多角的に研究することで、温泉環境における水-大気-生命の相互作用を明らかにし、太古の地球環境に応用する試みを進めています。

社会福祉学研究室

北川 慶子 教授

誕生から死までのライフスパン上のイベントのなかから生活課題を取り上げ、(児童虐待、DV、高齢者虐待、社会的排除、など)人生の危機対応研究を行っています。高齢者、障害者、外国人など災害時要援護者の防災教育から被災者ケア、被災のまちの復興支援とまちづくりプランニングなど災害研究を医学、工学等との学際的共同研究を、アジア各国の研究者と共に行い、国内外に災害時要援護者の危機管理の在り方を提言しています。

運動学研究室

池上 寿伸 教授

スポーツを習慣化するには?スポーツ情報や運動に役立つしくみ、トレーニングや健康科学等の中から必要となる方法や知識を知り、実際の行動や生活に取り入れて活かす実践をしてみよう!



Pick Up!! 主な卒業論文テーマ

- 幸福社会に関する社会学的研究
- 消費者生活における「借金」の意義
- 女子学生とファッション
- 熊本県人吉市における温泉銭湯文化
- 家相と風水の現在の在り方
- 中規模ミカン産地における産地の形成とその維持
-小城市小城町晴気東小松・中村・川原を事例として-
- 古墳出土後漢・三国鏡の時期と鏡部構成
- がん進行に対するローズマリー成分の影響
- 循環型社会形成推進基本法に関する研究
- 海砂による陰イオンの分離について
- ¹³⁴Cs と ¹³⁷Cs について
- 季節変化から読み解く Mn を含む鉱泉水の成因
- 電力供給方法の転換による大規模蓄電設備の可能性
- 大講義室における二酸化炭素増加のメカニズムと対策
- イオン液体の摩擦特性に関する研究
- 九軸センサーを用いたキネティックチェーンに関する研究
- バランスシューズを用いたトレーニングのバレーボールにおける有効性
- サッカーのPKにおいてGKのユニフォームの色が決定率に及ぼす影響
- フィットネスクラブの運動意識とその利用実態
- 災害史の研究 ~過去に学ぶ防災のあり方~
- コラーゲン療法を用いた認知症高齢者への関わり方
- 広瀬がパフォーマンスに影響するの?〜ミニバスケットボール女子選手を対象に〜
- 日本におけるソフトテニスの発展とその背景

教 員 紹 介

田中 豊治 教授
まちづくり組織社会学
水沼 俊美 教授
栄養学
赤星 礼子 教授
生活経営学
甲斐今日子 教授
被服衛生学
山下 宗利 教授
人文地理学(都市地理学)
澤島 智明 准教授
住居学、住環境学
藤永 豪 准教授
人文地理学(村落地理学)
重藤 輝行 准教授
考古学(古墳時代)
萱島 知子 講師
食生活学

張本 燦 教授
環境法、環境政策
大隅 秀晃 教授
素粒子原子核実験
中村 聡 准教授
理論物理学、環境科学
中島 道夫 教授
環境無機化学、錯体化学
岡島 俊哉 教授
有機化学、環境科学
高島 千鶴 准教授
地球生命科学、堆積学
小野 文慈 教授
機械工学、トライボロジー
北川 慶子 教授
社会保障
栗原 淳 教授
学校保健学、健康教育学

池上 寿伸 教授
バレーボールの科学、からだの機能とストレッチング
松山 郁夫 教授
児童福祉、障害者福祉
坂元 康成 教授
コーチ学、サッカー
井上 伸一 教授
スポーツバイオメカニクス、高齢者健康科学
山津 幸司 准教授
健康行動学、スポーツ心理学

Arts and Crafts Course

美術・工芸課程

文化教育学部

- 「九州に佐大美工あり」「佐大に美工あり」
- 伝統と実績に裏付けられた九州の美術・工芸教育の要
- 総合大学、教員養成系学部から育つ全国レベルの教員、作家
- 幅広い経験と視野、理論と実践が生む想像力と表現力
実績と個性豊かな教授陣が担う専門教育とチームワークが
1学年30人に行き渡り、美大ではできない経験、
教員養成のみでもできない経験を提供



総合大学及び教員養成系学部としての理念を土台に、美術・工芸の専門知識と技術修得にとどまらず、芸術・教育・歴史・思想・自然科学などの幅広い教養と合わせて、以下に掲げる力量をバランスよく身につけた人材を養成します。

1 活 力

美術・工芸が文明社会に果たしてきた役割を理解し、社会に貢献する意欲や態度、柔軟な思考力と実践能力を持つ専門家として創作活動や教育活動に携わることができる。

2 技 術

技法や材料を経験的・科学的に理解・推測・発見し、それらを自己の制作活動へ応用したり、第三者へ伝授できる。

3 理 知

コミュニケーション能力を伸ばし、情報メディアなども用いて、多様な情報を収集・分析して適性に判断し、モデルに則って効果的に活用することができる。

4 伝 統

美術・工芸の歩みに理解を深め、その経緯から創作の原動力としてのさまざまな問題意識や発想につなげる。

5 発 信

自己の企画や作品について、論理的・客観的・積極的に説明・分析・発表できる。

カリキュラムの特色

1年次に8分野の専門科目を一通り履修したうえで、1年次末に専攻分野を選択・決定し、2年次からそれぞれについて深く学びます。加えて、専攻以外の科目も自由に選択して履修することができます。

また、中学校・高等学校の教員免許を取得する場合は、それに必要な専門科目・単位を履修する必要があります。

3年次では、学外での実践活動なども評価の対象にしなが、4年次に卒業研究(制作または論文)に着手し、卒業制作展で発表します。



人と出会えることの素晴らしさ

現在私は美術・工芸課程で西洋画を専攻しており、一年次では「油絵の具」を使って制作していましたが、今は主に「アクリル絵の具」を使って制作しています。まだまだ知らないことが多いですが勉強するたびに西洋画や美術の新たな面に出会い、毎日とても楽しく充実しています。美術・工芸課程では教員免許の取得もできるので、私の周りでも制作をしながら教員を目指して勉強を頑張っている友達もいます。

先生や先輩の中にはプロの画家として活躍されている方もいるので、その仕事を間近で見られる事は私にとってすごい刺激になります。美術は奥が深く日々勉強だと感じさせてくれます。また、人と出会い、話すことはとても大切だと肌で感じました。周りの人と制作についての話をすると自分のやる気にも繋がります。

大学の4年間はやりたかったことをとりあえずやってみることが出来る時だと思います。この環境にいられることを感謝しながら、これからも自分の成長のために様々なことにチャレンジし、頑張っていきたいと思います。

文化教育学部
美術・工芸課程 3年

吉村 美歩

熊本県立第二高等学校出身



Pick Up!! 取得可能な免許・資格

所定の単位を取得することにより、
卒業時に資格が得られるもの

- 中学校教諭一種免許状(美術)
- 高等学校教諭一種免許状(工芸)
- 高等学校教諭一種免許状(美術)

試験に必要な科目の単位を取得し
卒業後の実務経験後、受験資格が得られるもの

- 学芸員
- 社会教育主事

Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先【参考H. 19~24年度】

- 法務省
- 熊本県庁
- 横浜市役所
- 東京都中学校教員
- (株)鍋島緞通吉島家
- (株)ユニバーサルホーム
- (株)如水庵
- (株)平田ナーセリー
- 造形作家
- 八女市役所
- 佐賀県中学校
- 福岡県中学校教員
- 鹿児島県中学校教員
- (株)レナウン
- (株)ゼンリン
- (株)イズミ
- (株)河合楽器製作所
- (株)ケイ・ウノ
- 東芝エレベータ(株)
- (株)ジャンヌマリー
- (株)デニーズジャパン
- JA 佐賀
- (株)佐賀新聞社
- 佐世保市役所
- 基山町役場
- 宮崎県中学校教員
- (株)ミソタ
- 佐賀社会保険病院

主な進学先【参考H. 19~24年度】

- 佐賀大学大学院教育学研究科
- 九州大学大学院芸術工学府
- 筑波大学大学院芸術研究科
- 東京藝術大学大学院



1年次

2年次

3年次

4年次

教養教育科目

全学教育科目

- 現代教育論
- 生活文化論
- 実践英語
- 世界の美術
- 心の健康
- 素描Ⅰ
- 素描Ⅱ
- 図法Ⅰ
- 日本画
- 西洋画
- 彫刻
- デザイン
- 窯芸
- 木工工芸
- 染織工芸
- 基礎美術理論演習
- 基礎日本画
- 基礎西洋画
- 基礎彫刻
- 基礎デザイン
- 基礎窯芸
- 基礎染織工芸
- 基礎木工工芸
- 金工工芸

- 博物館学Ⅰ
- 博物館学Ⅱ
- 博物館学Ⅲ

- 教育心理学
- 国際文化論
- 工芸理論
- デザイン理論
- 教育方法学概説
- 社会教育概論Ⅰ
- 人権教育論
- 専門教育外国語Ⅰ
- 専門教育外国語Ⅱ
- 中等美術科教育法Ⅰ
- 工芸科教育法Ⅰ
- 応用日本画
- 応用西洋画
- 応用彫刻
- 応用デザイン
- 応用窯芸
- 応用木工工芸
- 応用染織工芸
- 応用美術理論
- 応用美術理論演習
- 基礎金工工芸

- 総合芸術学習
- 製図
- 図法Ⅱ
- 日本画概論
- グラフィックス
- 彫刻概論
- 窯芸概論
- 木工工芸概論
- 染織工芸概論
- 金工工芸概論
- 応用金工工芸
- 総合デザイン
- 総合美術理論
- 総合美術理論演習
- 日本画特別実習
- 西洋画特別実習
- 彫刻特別実習
- デザイン特別実習
- 窯芸特別実習
- 木工工芸特別実習
- 染織工芸特別実習
- 美術理論特別講義
- 博物館実習
- 美術工芸学外実践活動

- 卒業研究



専門科目

注目の授業・講義

●素描Ⅰ【1年次】

ものをみるとはどういうことですか？ものがあるとはどういうことですか？とても難しい問題です。この授業では木炭や鉛筆、ペン等様々な素材を使い、様々なアプローチの「素描」を行います。美術・工芸1年生全員で制作し、切磋琢磨することで個々の同級生の個性を認識し、初年次に集団で制作することは、この後の学生生活に大きな財産となることでしょう。

●デザイン【1年次】

「デザインする」とは何でしょうか。デザインは美術に留まらず、また有形無形を問わず、日常のあらゆるところに介在しています。学校教育の中で大多数の人が受け止めるデザインへの先入観をまずはリセットし、デザインの広義を理解して、何を基礎として会得すべきかに気づき、理論的かつ客観的にものごとを生み出す気持ちを育みます。優れたデザインを生むデザイナーたちの心を読み解き、自らも日常や不自由な場面からデザインを実践しながら、デザインする側・受ける側の両面からどう向き合うべきかを考えます。

●染織工芸【1年次】

型糊防染技法による染色小作品の制作を行います。染料と布の関係で「かたち」を創って行くには防染技法が必要となります。ここでは代表的な防染技法の一つ、型糊防染技法による染色を展開します。下絵の創り方からはじまり、型彫り、糊置き、引き染めと工程をすすめて行き、染色小作品を創り出します。また、染料、繊維等の基本的なことも学びます。

●日本画【1年次】

この授業では石を描きます。普段何気ない気持ちで見ていた石をよく観察することで新たな見え方を獲得します。膠を展色剤として和紙に墨や泥絵具、岩絵具などの日本画の伝統的な素材を使って、日本画の基本的な描写を体験します。チューブに入ったものではなく絵具を溶くことから始まる描写から感じることや、銀箔を貼って削るなど、自然の力をうまく使う表現を体験します。日本の伝統と風土によって培われてきた表現の背景を実感として学びながら、じっくりと落ち着いた気持ちでモチーフを見つめる時間を大切にしたい授業です。

●窯芸特別実習【3,4年次】

窯芸特別実習では、やきものの最も特徴的な制作プロセスである「焼成」について、伝統と科学の両面から実践的に学習します。自分で制作したやきものを、本学に新設した伝統的な登り窯の薪による焼成で、一昼夜焼き上げます。昔から窯焚きの職人のみが知る焼成の知恵を、科学的に実践研究します。

●世界の美術【1年次】

古今東西の美術作品に触れることで、人間と美術、社会と美術の関係について学びます。また、美術史の基礎的な方法論(様式論、図像学など)についても学びます。扱う資料(作品)は、絵画彫刻のみならず、装飾美術、建築、デザイン、庭園など多岐にわたります。また、美術の制度(学校・博物館など)や美術とジェンダー、美術におけるオリジナルと複製といったトピックも取り上げます。

●彫刻【1年次】

この授業では、自分の顔を題材に粘土でマスクを制作します。正確に自分の顔の形を粘土に写す練習ではなく、その粘土の塊を自分の顔の形をした彫刻として成立させるためにはどうしたらよいか、その切り口の一つを学びます。これが理解できれば、題材がマスクから頭像になっても、全身像になっても、他の形態になっても、ただ題材の形を追っているという状態からは脱出できると思っています。

●基礎木工工芸【1年次～】

「用途を想定しない造形を木で切削加工し、その後カシューによって黒く塗装→磨き仕上げする」という課題です。この前段階の授業では木工道具の使い方を中心に学ぶため、作品の自由度としては高くありません。その次の段階として、課題の意図することは次の3点です。①木の切削加工からカシューによる塗装及び研磨作業までの行程を習得すること。②黒く磨き上げると形の良さ悪しが際立つことを体験すること。③黒く塗装することを前提とするという制約の中で、独創性のあるアイデアを出すこと。

●総合芸術学習【3年次～】

美術・工芸課程の学生は、佐賀美術協会展や佐賀県展で多くの賞を例年受賞しております。また、近年は全国規模の展覧会等で入選入賞を果たすようになってまいりました。また、各専攻室や仲間と多くの展覧会や個展を多く企画し、運営を行っております。「美術と社会の在り方」を考え、実践・実行する事を授業の一部の中に取り入れ、企画をプレゼンテーションする事を皆で考え最後にポートフォリオにまとめるインターフェイス授業です。

日本画教室

石崎 誠和 講師

日本画専攻室は全学年あわせて15人程度の落ち着いた雰囲気のある教室です。日本画は和紙や岩絵具や箔など日本が伝統的に培ってきた素材を生かしながら、同時に描く対象を生かす表現と向き合うことが大きな特徴です。これらの素材や描く対象を生かす姿勢は、自分本位の表現というよりは、他を生かす中に自分が生きるといった考え方に裏打ちされているように思っています。日本画の素材や描くことに慣れることには時間が少しかかりますが、一生をかけて向き合う価値があるとても豊かなものです。課外制作でも制作に取り組み、日本画を制作する力を培いながら、同時に日常を新たな視点で見つめ直す目を養っていきます。日本画は明治に生まれましたが、明治以前から続く伝統も兼ね備え、それら日本が誇る多くの伝統的な絵から学びながら、現代を生きる私たちにとって切実な表現として作品を生み出し、さらに発表して行くための基礎を学びます。



西洋画

小木 誠 准教授

西洋画は自由と思われがちですが、その「自由」に描くのがとても難しいものです。高校時代にはある程度モチーフなどセットされて描く事も多いでしょう。でも「自由に描いてみてください」と言われると、大概の学生は困惑し迷ってしまいます。まず基本から。デッサンから着彩、支持体に至るまで考え選択し、「自分らしい」とは何なのかを考え「表現」することを目標に日々制作しています。

彫刻

徳安 和博 准教授

彫刻の中でも、塑造による制作を主にしています。彫造専攻生は大学院生まで含めて10名前後の学生が在籍しています。それぞれが授業で学んだ人体彫刻の基礎を生かし、触覚感にこだわりながら、それを深めています。また、並行して人体以外の題材で独自の創作活動も行っています。材料は石膏、FRP、木、テラコッタ、乾漆、セメント他、各自が自分の表現に必要なものを選び、又は組み合わせて使用しています。

デザイン

荒木 博申 教授

ここでは視覚伝達デザインが前提です。これを職業と結びつけるには、まず柔軟な頭と広い視野を持つ積極的なアイデアマンであることが求められます。そもそもデザインとは何かということを取り、豊富なアイデアを吟味し、優れたコンテンツとして社会に広く役立つものごとに仕立てねばなりません。アナログもデジタルも有効に使い分けながら説得力のある成果を目指します。特に言葉・文字・記号の扱いにはこだわります。

窯芸

田中 右紀 准教授

窯芸研究室では、やきものを文化・表現・科学・産業などの様々な角度から捉え、現代に強くアピールできる伝統的であると同時に革新であるもの作りを目指しています。やきもの文化が内包する日本文化のエッセンスと技術を自己の表現として、オブジェや立体造形、器、インテリアデザインなど多様に表わします。また、食文化との関わりから楽しい器作り、使い手に喜ばれる器の提案なども行っています。

美術理論・美術史

吉住 磨子 教授

作品や作品が生み出された背景について調べ、それらを論文にまとめる行為は、学生時代にはできないこともわかりません。また、作品を制作したり、鑑賞したりする上でも、美術史や美術理論を知ることが重要です。作品制作の現場と隣接した環境で、アクチュアルな美術史が学べることが文学部などの美術史研究室にはない本研究室の特徴です。

木工工芸

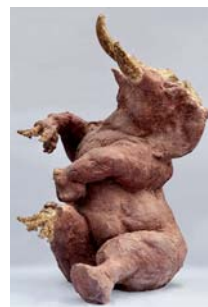
井川 健 准教授

専攻名は木工工芸ですが、専攻生になると漆工芸についても専門的に学びます。器や家具から漆の造形作品まで、幅広い作品を生み出せる専攻を目指しています。2年次より専攻生になると、まず木工・漆工に関する基礎実技の習得を広く浅く行います。今までに扱ったことのない素材との出会いは様々な発見をもたらすと思います。3年次以降では素材・技法との関わりの中で自分なりの表現を見つけていきます。

染織工芸

田中 嘉生 教授

「染色による平面表現の可能性」が染色教室のテーマです。染色表現で必須の代表的な防染技法、蠶防染技法、型糊防染技法、絞り技法の三技法を中心に、技法と染色意匠の関係を見て行きます。結果、他の平面表現との「かたち」の削り方の違いを学び染色表現の一つのあり様を提示して行きます。従って、染料、繊維、防染材等の深い知識も求められます。



Pick Up!! 美術・工芸課程の卒業研究では、卒業制作または卒業論文を課しています。



教 員 紹 介

田中 嘉生 教授

染色工芸

荒木 博申 教授

視覚伝達デザイン(タイポグラフィ/エディトリアル/インフォグラフィックスなど)

吉住 磨子 教授

美術理論・美術史

田中 右紀 准教授

窯芸・やきもの/オブジェ/うつわ/素材技術

徳安 和博 准教授

彫刻(主に塑造)

小木 誠 准教授

西洋画(油画)

石崎 誠和 講師

日本画

井川 健 准教授

木工工芸・漆工芸

経済学部

Faculty of Economics

- 経済学科 >>> P.050
- 経営学科 >>> P.054
- 経済法学科 >>> P.058

経済はグローバルだ。
学べば学ぶほど、
世界の色々なことが見えてくる。



経済の動きを多面的・実践的に学ぶ

—21世紀社会の諸問題を考え解決するために—



21世紀に入って、日本では長期の景気拡大、世界では高い経済成長を続けてきました。しかし2008年秋のNY株式市場の暴落と金融危機を機に、一転して世界的不況に突入しました。欧州では、財政・通貨危機の中で各国の経済が不安定化し、また世界の経済成長を牽引してきた中国やインドなどでは勢いに陰りが見えます。他方、日本は、デフレ不況から脱しようとして、日銀による長期国債の購入等で大幅な金融緩和に転じましたが、なお先行きは不透明です。

私たちの仕事と生活はもとより文化さえも、財政・金融のあり方や経済のグローバル化などによって大きく左右されます。これらの経済現象はけっしてバラバラではなく関連しあっていて、しかも、現代の経済は企業における経営機能や法務活動と密接につながっているため、経済学・経営学・法学を、基本から専門的・体系的に学べば、その意味もその解決の糸口も見えてきます。経済学部は、これからの21世紀を支える若い知性を育てます。



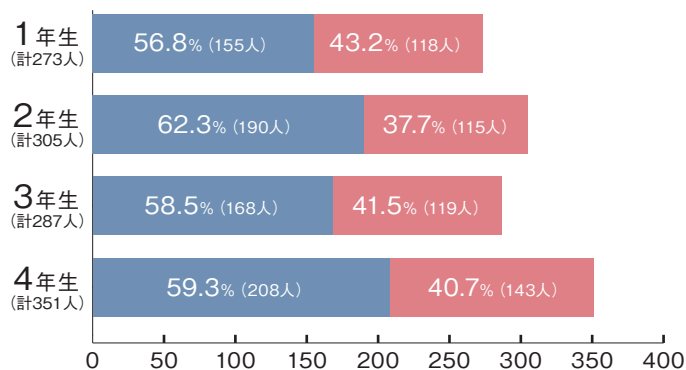
◎経済学部の特徴

経済学・経営学・法学の総合教育

経済学部は、経済学科・経営学科・経済法学科の3学科から構成されています。そのため、経済学部でありながら経済・経営・法律の専門的知識を総合的に学習することができます。また、1教員あたり10人以下の学生数となるゼミナールをほぼ4年間に渡って実施しており、教員と様々な専門分野の問題について身近で議論を交わし合い、実践的な問題解決能力を身につけることができます。

◎学年別男女比率(平成25年度)

■ 男 ■ 女



経済学部 経済学科

グローバルに考えローカルに行動する。
佐賀で経済を学び
世界へ飛躍する。



経済学科では、金融の分野、経済政策の分野、地域と国際の分野に重点を置いて、それぞれに必要な能力を養成する教育プログラムを用意し、人材を育成します。さらに経営学と法学を加えた総合教育を行うことにより、企業や行政機関に求められる幅広い視野と問題対応能力を養成します。

- 金融の分野では、企業財務・国際金融の専門的知識を修得し、金融・証券業界や一般の企業で活躍できる人材を育成します。
- 経済政策の分野では、社会政策立案に必要な経済的・法的知識を修得し、財政部門や労働行政部門の公務員、福祉専門職、一般の企業で活躍できる人材を育成します。
- 地域と国際の分野では、地域政策と共にアジア経済にも精通した幅広い視野を養い、地方自治体職員・団体職員、商社や一般の企業で活躍できる人材を育成します。

カリキュラムの特色

1年次では、経済学入門など経済学部での学修を開始するための入門科目を履修します。2年次では、基礎的知識を修得するために基礎科目を学び、2年次後期から分野ごとにまとまりを持つ科目群を履修します。どの分野を選択する場合でも、分野に応じた経営学系科目・法学系科目があり、その分野を重点的に学ぶと共に経済学・経営学・法学を総合的に学修します。また、実践的学習の一環として、海外の協定大学を訪問して実体験により現地を理解する「国際交流実習」や、金融・証券の実務家を講師に迎えてダイナミックな経済の実務を学ぶ野村証券提供の

「実践経済」を履修することができます。

- 金融の分野では、2年次に修得する金融などの基礎的知識を応用し、2年次後期から国際金融・企業財務に関する科目を重点的に学修します。
- 経済政策の分野では、2年次に修得するマクロ経済などの基礎的知識を応用し、2年次後期から経済政策・社会政策に関する科目を重点的に学修します。
- 地域と国際の分野では、2年次に修得する都市経済などの基礎的知識を応用し、2年次後期から地域経済・アジア経済に関する科目を重点的に学修します。

挑戦することを楽しもう！

経済学科では財政学や福祉社会論、日本農業論など経済のあらゆる分野について学びます。2年次後期からはゼミに所属することになり、少人数形式の授業で経済に関する知識を深めます。私は社会保障に関して勉強するゼミに所属しており、3年次には日本学生経済ゼミナール大会に出場し、ゼミで研究したことについてプレゼンテーションをしました。ゼミでは今まで経験したことがないことも経験できるので自身のレベルアップに繋がります。

大学では以前に比べ時間に余裕ができたので、学業以外のことにも果敢に取り組んでいます。実家を離れ一人暮らしをしているので身の回りのことはなんでも自分でこなせるようになりましたし、サークル活動やアルバイトは興味のあるものをやってみるなど充実した生活を送っています。初めは不安でいっぱいでしたが、佐賀大学は新しいことにチャレンジする人を応援してくれるのでとても心強いです。

みなさんも佐賀大学で興味のあることならなんでもチャレンジしてみてください。

経済学部
経済システム課程 4年

今村 浩誠

鹿児島県立武岡台高等学校出身

経済学部 / 経済学科



Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先

- 佐賀県庁
- 山口県庁
- 愛知県庁
- 佐賀市役所
- 佐世保市役所
- 行橋市役所
- 白石町役場
- 佐賀県警
- 福岡県警
- 鹿児島県警
- 広島県警
- 国立病院機構佐賀病院
- 県立医療センター好生館
- 国税専門官
- 日本年金機構
- 長崎県国民健康保険団体連合会
- 佐賀銀行
- 佐賀共栄銀行
- 福岡銀行
- 西日本シティ銀行
- 十八銀行
- 親和銀行
- 鹿児島銀行
- 南日本銀行
- 佐賀信用金庫
- トマト銀行
- 三井住友海上火災保険
- 野村證券
- 東海東京証券
- アマノ
- 上組
- シャチハタ
- スリーポンド
- ダイハツ工業
- 東芝
- 東芝エレベータ
- 住友倉庫九州
- 日本通運
- 大日本除虫菊
- 佐賀鉄工所
- 長府製作所
- ミソタ
- 福岡八女農業協同組合
- 唐津農業協同組合
- 北九州農業協同組合

主な進学先

- 佐賀大学大学院経済学研究科
- 京都大学大学院法学研究科
- 西南学院大学大学院国際文化研究科



1年次

2年次

3・4年次

専攻科目		全学教育科目					
専攻科目	経済学系科目	●入門ゼミ ●経済学入門 ●統計学入門 ●日本経済論	●基礎演習 ●経済学史 ●基礎ミクロ経済学 ●基礎マクロ経済学 ●基礎数学基礎 ●基本統計学 ●金融論 ●都市経済論 ●国際交流実習 ●現代の労働	●国際金融論 ●国際経済学 ●ミクロ経済学 ●マクロ経済学 ●経済政策論 ●財政学 ●社会政策 ●公共政策 ●雇用経済論 ●アジア経済史	●地域経済論 ●アジア経済論 ●地域政策	●演習3年 ●演習4年 ●計量経済学 ●日本経済史 ●産業組織論 ●租税論 ●公共経済学 ●地方財政論 ●経済地理学 ●労使関係論	●開発経済論 ●国際協力論 ●日本農業論 ●地域モデル論 ●地域システム論 ●社会保障論 ●福祉社会論 ●農政経済論 ●実践経済
	経営学系科目	●経営学入門 ●簿記会計入門 ●社会情報論	●現代の経営	●経営財務論 ●証券論 ●企業論	●流通経済論	●流通産業論 ●経営戦略論	
	法学系科目	●法学入門 ●人権論 ●法学概論		●商法 ●経済法Ⅱ ●社会保障法Ⅰ	●労働法Ⅰ ●環境法	●国際政治学 ●社会保障法Ⅱ ●民法Ⅲ	●労働法Ⅱ
	共通科目		●ビジネス基礎英語 ●ビジネス・コミュニケーション英語 ●情報処理演習	コア科目		●外書講読	

「ファイナンス」コア科目群	「経済政策」コア科目群	「地域と国際」コア科目群
国際金融論 国際経済学 ミクロ経済学 マクロ経済学 経営財務論 証券論 商法 経済法Ⅱ	経済政策論 財政学 社会政策 公共政策 雇用経済論 マクロ経済学 社会保障法Ⅰ 労働法Ⅰ	アジア経済史 地域経済論 国際経済学 アジア経済論 地域政策 企業論 流通経済論 環境法

注目の授業・講義

●マクロ経済学

一国の国民全体の所得水準はどのように決まるのでしょうか。アメリカでどのぐらいの割合の人が失業しているのでしょうか。なぜ1990年代末以降、日本では物価が下落しているのでしょうか。そして、政府はどのようにすれば所得の減少、失業の増加、物価の不安定などの問題を改善することができるのでしょうか。マクロ経済学は、こうした経済全体にかかわる問題を分析し、その答えを考えていく学問です。

●実践経済

この講義は経済学の理論と経済の現実を結び付けて考えてもらうための科目です。企業や公共機関などで日々変動する経済と取り組み活動する人たちに授業をしてもらいます。現在は野村證券提供の講座として行っています。現場の知識だけでなく、知識の使い方や仕事に対する態度などが学べます。また、他の科目で教えられる基本的な知識や考え方の重要性とそれらと関係付けて総合的に考え行動する大切さを知ることもできる科目です。

●アジア経済論

アジアは過去半世紀で世界一高い経済成長率を実現させ、世界最大の市場として発展しています。このアジアの発展過程を理論的かつ実証的に学ぶのが本講義の主な目的です。日本経済とアジア経済がさらに発展するためには相互理解を基にした様々な経済的・社会的活動を充実させ、発展させなければなりません。その実現に向けて、佐賀大学でアジアのことを一緒に学び、より良い経済発展、社会発展について考えていきたいと思います。

●ミクロ経済学

時代がどのように変遷しようとも、消費者や生産者にとって、さらに経済全体にとって望ましい資源配分はどのようなものなのか、という問いは永遠のもので、また、資源配分のあり方を決定する機構としての市場経済の分析は重要です。これを分析するのがミクロ経済学という学問です。資源配分を決定するのは、神様が誘うからでも、自然科学の法則が働くからでもなく、市場参加者の満足度を高めたいという強い欲求からです。

●財政学

私たちが買っている意識するもの多くは、市場で貨幣(お金)と交換して手に入れる経済学でいわゆる「市場の財・サービス」です。他方で、学校教育や道路や山・河の自然環境などは交換して獲得するのではなく、共有して利用する「公共的な財・サービス」です。これは税の徴収によります。財政学の対象は、公共財と税の世界ということになります。先進国では、そのような世界が経済のうち50%を超える国もあります。

●国際交流実習

本学部では国際社会で活躍できるグローバル人材の育成が課題になっています。「日本経済が安定した強い経済」として存続するためにグローバル人材が必要だからです。本科目は学生達が講義で学んだことを、実体験を通して理解を深めるために設置した科目です。具体的には、海外協定大学を訪問し、経済・社会・文化を体験しながら現地の状況を学びます。また同科目は「長期海外留学」の動機付けにもなっており、協定校であれば留学手続きサポートや授業料免除、奨学金などの制度を用いて長期海外留学を実現することもできます。

●国際金融論

サブプライムローン問題、リーマン・ショック、そして目下のユーロ信用危機、国際金融市場における不安は、いっそうにやみません。はたして日本の財政や円は大丈夫なのか? そのような疑問を、世界のお金の流れから、一つ一つ、わかりやすく、かつユーモアを交え、解き明かします。

●社会政策

社会政策という学問は、当初は、労働者が抱える諸問題(劣悪な労働環境、労働災害、失業など)への対策を考える学問でしたが、現在では、それに加えて社会保障(医療、介護、年金、生活保護)、社会福祉、教育、住宅など、広く国民(市民)の生活に関わる諸分野を対象とし、現状と課題を分析して解決策を見出す学問へと進化しています。社会・経済状況の変化の中でも人々が安心して暮らしていけるような政策・制度を考えていきます。

●ビジネス・コミュニケーション英語 ビジネス基礎英語

経済学部独自の英語プログラムで、リスニング・リーディング・ライティング・スピーキングの各能力に重点を置いた4つのクラスが互いに関連して実践的で全般的な英語力を身につけることができます。

ビジネス基礎英語とビジネス・コミュニケーション英語の科目名で2年生から受講できます。

ラタナーヤカ・ゼミ

ラタナーヤカ・ピヤダーサ 教授

ゼミでは、次の三つの目標を中心にしています。①学術的にアジア経済について学ぶこと、②グローバル化に対応できる学生を育成すること、③就職を達成させるために必要な知識を与えること。これらの目標達成とゼミの共通課題に関する基本的なことを理解するため、文献調査をしながら、上記の研究課題に関する理論的なことについて講義を実施しています。希望者がいれば、佐賀大学と協定を結びアジア諸国の大学へ交換学生として派遣することも考えています。また、ゼミ生と一緒にアジア諸国の協定大学を訪問することや、海外の大学で行う短期研修なども計画しています。最後に、ゼミで学んだことを中心にして卒業論文を作成するようになっています。



谷ゼミ

谷 晶紅 准教授

産業革命以降、世界経済は急速に発展を続けてきました。同時に、経済成長により大量の資源が消費され、環境汚染が深刻化しています。谷ゼミは、経済成長がどのように起こるのか、環境問題がなぜ生じるのか、環境保護と経済成長を両立させるためにどうすればいいのかについて、幅広く学んでいきます。ゼミでは発表を多く行い、社会で必要なリーディング・ライティング・プレゼン・ディベートの能力、さらにはチームワークの精神も養います。

富田ゼミ

富田 義典 教授

私のゼミは労働経済を主なテーマとしています。労働経済とは、雇用や労働時間、賃金などをあつかい、私たちの生活にじかに関わる大切な分野です。ゼミは、2年生後期から始まり4年生の卒業時までつづきます。2年生では初歩的文献を、3年生では専門書を解説します。4年生になると2～3年生で学んだ内容をもとに各自テーマを定めて、卒論を書きます。卒論は、外国の雇用、非正規雇用問題、女性の雇用問題、年金問題などが多いです。最近では経営者の人間観を取り上げたものなどがあります。

品川ゼミ

品川 優 准教授

産業のなかでも人々の生存に必要な不可欠な食料・農業について学びます。例えば、世界で食料は足りているのか？、日本農業の現状と今後は？、地域の農業と経済との関係は？、などです。卒業研究は、各学生が興味を抱いたテーマに取り組みます。例えば、農産物直売所が地域の農業や農家、経済にどのような影響を与えているのかを、直売所やそこに納入している農家、関係する自治体や農協などからの聞き取り調査を通じて考察します。

納富ゼミ

納富 一郎 教授

2年生ゼミでは、「君たちの生きる社会」を知ることが経済学であることを学び、調べ方、発表の仕方を経験しながら身につけます。3年生からは、少しずつ専門的なテキストを読んで経済学の用語や考え方に慣れていきます。4年生では、現代の日本経済について学び、そのなかで関心のあるテーマを選んで、卒業レポート(20,000字以上)を書きます。「日本の失われた20年」「TPPとは何?」「インターネットの経済」など学生の関心は多様です。

森ゼミ

森 周子 准教授

森ゼミでは社会政策・社会保障・社会福祉について研究します。2年ゼミでは皆でテキストや新聞記事を輪読し、社会政策・社会保障・社会福祉の基礎を理解します。3年ゼミでは全国規模のゼミナール討論大会に出場し、討論大会用の論文を皆で執筆します。4年ゼミでは卒業論文を執筆します。日本や世界の社会政策・社会保障・社会福祉の歴史・現状を理解し、課題と展望について自分なりに考えられるようになることを目指します。

中村ゼミ

中村 博和 教授

統計学や経済学の理論のテキストを輪読します。良いテキストに取り組み他人に説明することを通して、ことばの論理、数学の使い方、データ処理、理論と現実、伝え方、問いの見つけ方など多くを得ることができ、それらが一生の財産となると考えるからです。卒業研究は学生と相談して決めます。最近では経済状況と結婚の統計分析が印象に残っています。

きちんと内容を消化した上で適切な形式にまとめることを第一に指導しています。

Pick Up!! 主な卒業論文テーマ

- 少子化時代のプライダル産業
～なぜ、新しい結婚式場が次々にオープンしているのか～
- なぜ人材派遣業界は急成長しているのか
～人材派遣業の変遷を中心に～
- ゲーム産業におけるビジネスモデルの変遷
- 芸術によるまちづくりの現状と課題
～呉福万博によって呉町アーケードに再び人は集まるか～
- 地域ブランドによる地域活性化方法
～唐津市呼子のイカ産業に焦点を当てて～
- 博多駅におけるまちづくり
- 沖縄県における宿泊施設の変化
～ゲストハウスが人気を集める理由～
- 日本プロ野球と自治体 ～NPBとMLBを比較して～
- 化粧品販売チャンネルにおける通信販売の優位性
- 製菓産業の生産工場の立地と活動の関係性
- ジェネリック医薬品から考える今後の日本医療
- なり手不足解消に向けた今後の民生委員制度のあり方
- アジア諸国の貧困削減に対する教育の役割
～ノンフォーマル教育に注目して～
- 台湾の貿易・投資 ～日本との関係をめぐって～
- 経済発展に伴う農業部門の役割について
～日本とスリランカ茶産業の経験を通して～

教 員 紹 介

納富 一郎 教授

財政学

米倉 茂 教授

金融論

ラタナーヤカ・ピヤダーサ 教授

発展途上国経済論・開発経済論

富田 義典 教授

労働経済学・雇用問題

マッカーサー・ジョン・ダグラス 教授

英語学

常盤 洋一 教授

社会学

中村 博和 教授

経済学

中西 一 教授

予算論・公会計

都築 治彦 教授

ミクロ経済学

上山 和俊 准教授

計量経済学

品川 優 准教授

農業経済学

戸田順一郎 准教授

経済地理学・地域経済論

森 周子 准教授

社会保障論

谷 晶紅 准教授

マクロ経済学・環境経済学

金子 晋右 准教授

日本経済史・アジア経済史

竹村 敏彦 准教授

産業組織論

伊藤 正哉 准教授

経済学史

藺田竜之介 准教授

マクロ経済学

経営学

経済学部

グローバルに考えローカルに行動する。
 ヒト・モノ・カネのイノベーション
 経営は、いま、進化する。



経営学科では、経営の分野、会計の分野に重点を置いて、それぞれに必要な能力を養成する教育プログラムを用意し、人材を育成します。さらに経済学と法学を加えた総合教育を行うことにより、企業経営に必要な幅広い視野と課題対応能力を養成します。

- 経営の分野では、経営学を基礎として、企業経営の組織・財務・労務に関する知識を身につけ、経営管理・マーケティング・企業法務などの幅広い戦略立案を担う人材を育成します。
- 会計の分野では、会計学を基礎として、経営分析や財務に関する知識を身につけ、法律知識の豊富な企業の会計部門・財務部門を担う人材を育成します。

カリキュラムの特色

1年次では、経営学入門などの経済学部での学修を開始するための入門科目を履修します。2年次では、基礎的知識を修得するために基礎科目を学び、2年次後期から分野ごとにまとまりを持つ科目群を履修します。どの分野を選択する場合でも、分野に応じた経済学系科目・法学系科目があり、その分野を重点的に学ぶと共に経済学・経営学・法学を総合的に学修します。また、実践的学習の一環として、企業の経営者を講師に迎えて企業経営の実務を学ぶ「現代の経営」や、税理士を講師に迎えて会計の実務

を学ぶ「実践会計」を履修することができます。

- 経営の分野では、2年次に修得する経営管理・マーケティングなどの基礎的知識を応用し、2年次後期から企業経営の組織・財務・労務に関する科目を重点的に学修します。
- 会計の分野では、2年次に修得する簿記などの基礎的知識を応用し、2年次後期から会計・企業財務に関する科目を重点的に学修します。

何事も目標を持つことが大切

商業高校から経営者になるという夢を持って経済学部に入學し、マーケティング論や経営管理論など様々な講義を学ぶ中で、新たな考え方を持つことができました。経営学科は自分たちが実際に企業を経営する上で大切になってくる幅広いものの見方や、問題に対していかに効率よく解決していくかを主に学んでいきます。

また部活では、準硬式野球部に所属し、週6で毎日練習に励みました。自分自身1年生からレギュラーを勝ち取り、九州6大学野球リーグではベストナインをとることができ、努力が報われたと実感を得る瞬間でした。このように私は大学4年間、勉強、部活そしてアルバイトも並立して頑張りました。

この4年間を経て、「何事も目標を持つことが大切である。」と確信しました。勉強や部活、アルバイト、将来などいろいろなことに対して、小さくても大きくてもいいから目標を持つことが大切で、そしてそれを叶えていく過程が一番大事であると思っています。

皆さんもぜひ、夢や目標を持って佐賀大学で充実した日々を過ごしてください。

経済学部
経営・法律課程 4年

杉原 拓磨

佐賀県立
佐賀商業高等学校出身



経済学部 / 経営学科

Pick Up!! 取得可能な免許・資格

所定の単位を取得することにより、
卒業時に資格が得られるもの

■高等学校教諭一種免許状(商業)

Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先

- 佐賀銀行
- 佐賀共栄銀行
- 福岡銀行
- 宮崎銀行
- 琉球銀行
- 山陰合同銀行
- 滋賀銀行
- 商工中金
- ゆうちょ銀行
- りそなホールディングス
- SMBC 日興証券
- 丸三証券
- かんぽ生命保険
- 霧島酒造
- 佐賀鉄工所
- 三菱石油
- JTB 九州
- 日精
- 日東工業
- 日本コンピューター・システム
- 日本たばこ産業
- ノバルティスファーマ
- バイエル薬品
- 富士ソフト
- ミソタ
- 三菱倉庫
- 新日本有限責任監査法人
- 諸井会計事務所
- 佐賀県庁
- 山口県庁
- 鳥栖市役所
- くまもとテクノ産業財団
- 佐賀県警
- 長崎県警
- 福岡県警
- 佐賀県立佐賀商業高等学校
- 宮崎県立宮崎高等学校
- 佐賀県農業協同組合
- 宮崎中央農業協同組合

主な進学先

- 佐賀大学大学院経済学研究科
- 九州大学大学院ビジネススクール
- 神戸大学大学院経営学研究科
- 兵庫県立大学大学院会計研究科
- 明治大学大学院経営学研究科

その他の進路

- 起業
- 自営農業

佐賀大学
アプリで
動画視聴

1年次

2年次

3・4年次

育 教 養 科 目					
全学教育科目					
専 門 科 目	経済学系科目	●経済学入門 ●統計学入門 ●日本経済論	●国際交流実習 ●現代の労働	●ミクロ経済学	●社会保障論 ●産業組織論 ●日本農業論 ●労使関係論
	経営学系科目	●入門ゼミ ●経営学入門 ●簿記会計入門 ●社会情報論	●基礎演習 ●基礎簿記 ●会計学原理 ●経営管理論 ●マーケティング論 I ●原価計算論 ●経営社会学 ●現代の経営	●企業論 ●経営組織論 ●経営財務論 ●経営労務論 ●証券論 ●流通経済論 ●管理会計論 ●財務会計論	●演習 3年 ●演習 4年 ●国際会計論 ●経営史 ●流通産業論 ●経営分析 ●経営戦略論 ●経営情報論
	法学系科目	●法学入門 ●人権論 ●法学概論		●経済法 II ●商法	●民法 III ●民法 IV ●社会保障法 II ●不法行為法
	共通科目		●ビジネス基礎英語 ●ビジネス・コミュニケーション英語 ●情報処理演習	コア科目	
					●外書講読

「経営」コア科目群

企業論
経営組織論
経営財務論
経営労務論
証券論
流通経済論
経済法 II
商法

「会計」コア科目群

企業論
管理会計論
財務会計論
経営財務論
証券論
ミクロ経済学
経済法 II
商法

注目の授業・講義

● 経営分析

企業の経営の状況を把握するために、経営分析が用いられます。オーソドックスな分析手法は、貸借対照表と損益計算書の数値を用いた分析です。本講義では、特定の企業の分析をグラフでビジュアルにパワーポイントで表示し、また企業間の比較をとおして、経営分析の手法を修得します。なお、近年、キャッシュフローが注目をあびていますが、この分析についても取り上げます。

● 企業論

本講義の目的は、企業論だけに留まらず、広く経営学あるいは経済学、法学に関心を持つ学生を対象にし、企業概念の検討をした上で、企業形態の現代的展開を比較検討することです。また、情報とインセンティブの問題がいかに大切であるか、そして法律の存在意義、その根拠が社会経済に本当に大切な意味合いを持つてくることを理解することに主眼を置きます。

● 実践会計

講義で学んだ会計理論や会計基準がどのように実践されているか、とくに税法について、税理士法人諸井会計で税理士業務に従事している職業会計人に実務を学びます。また、本学部出身の税理士による、税理士になるための勉強方法、税理士業務についての体験談の講話を行います。さらに、日本公認会計士協会・北部九州会から公認会計士業務についての講習会も実施しています。

● 会計学原理

企業が資金を調達するためには目的と現状説明が必要で、また、資金を集めた後もその資金が適切に運用されているかを説明する責任が伴います。このような説明に会計情報は利用されます。この講義では、企業の経営活動とリンクさせてどのように会計情報が作成されるか、また何故そのように作成されるかを考察することによって、会計情報の見方と会計の考え方を学んでいきます。

● 経営戦略論

企業の目的は事業を展開して利益を上げることです。しかし、それは「短期的に儲かること」を意味するのではなく、長期的に維持、存続、成長しながら利益を確保していくことなのです。経営戦略は、企業が長期的に利益と成長を達成する為に、人・物・金・情報といった経営資源をどのように展開していくかに関わる問題です。例えば「ヒートテック」。これは、ユニクロと東レが互いの強みと弱みを補完し合って実現したものです。こうして見れば、経営戦略もちょっとは身近なものでしょうか？

● 経営史

時代の転換点にあり、混迷をさめぬ今日、経営についても長期的な視点を持って、国内外の歴史から本質や時代の流れを学び、今後に生かしていくことの意味は大きいと思われます。この講義では、特に経営者に注目して、彼らの経営哲学、意思決定、経営計画の遂行等をもとに、歴史的評価もしていきます。さらに、取り上げた企業の今日について、関係者の方々にご登壇いただいで、お話いただくことも試みております。

● 国際会計論

今、我が国では、国際会計基準の導入をめぐる、積極派、慎重派さらには反対派が論戦を展開しています。講義では、国際会計基準導入に対する世界各国の動向を検証し、わが国がこれに対し、どのように対応をすべきか、導入への影響は何かについて考えます。さらに、国際会計基準の導入によって、わが国の会計基準がどのようになるかについて検討します。

● 流通経済論

生産者が作った商品は消費者に向かって流れて行きます。この流れが流通です。流通は商品の種類によって異なった形になり、また同じ商品でも時代により、あるいは国により形が違ふものです。流通経済論とはこうした流通の相違がなぜ生まれるのかを考える学問分野です。流通の担い手は主に卸売業や小売業です。そのため卸売のことを勉強する分野でもあります。

● ビジネス・コミュニケーション英語 ビジネス基礎英語

経済学部独自の英語プログラムで、リスニング・リーディング・ライティング・スピーキングの各能力に重点を置いた4つのクラスが互いに関連して実践的で全般的な英語力を身につけることができます。ビジネス基礎英語とビジネス・コミュニケーション英語の科目目で2年生から受講できます。

山本ゼミ

山本 長次 准教授

「実学重視」、「現地現場主義」、「他流試合」の経営学ゼミ

少人数の授業の中で、学生自身が関心のあることを研究し、発表し、論文を作成していきます。私たちのゼミの専門は経営学で、主に企業を対象として、その起こし方や営み方、商品やサービスの開発、生産、流通、販売、そして企業と社会との関係のあり方などを考察してきております。

私たちは経営理論もじっくり学ぶ一方、学問が実学的で、社会にも通用し、研究成果が世の中の役に立たなければならぬと思っております。そこで、企業やその施設におもむいたり、企業の方々のお話をうかがうために大学に招いたり、学外の専門家や社会人の方々、さらに他大学のゼミと討論をしたりと、「実学重視」、「現地現場主義」、「他流試合」を実践してきております。



木戸田ゼミ

木戸田 力 教授

木戸田のゼミナールにおいては、企業会計の基本的なテキストを用いて、国際的調和化・統一化時代の会計理論や会計基準を学んでいます。その際には、公認会計士試験委員や税理士試験委員の書いた著書をテキストに取り上げて、学生がこれらの試験にチャレンジする際に、役立つよう配慮しています。私のゼミからは、もう何人も税理士や公認会計士が育ち、社会で活躍しています。

大学時代の専門の学問が直接にいかせる、会計学を学んでみませんか？

山下ゼミ

山下 寿文 教授

山下ゼミでは、4年次に卒業論文を提出させます。そのための準備として2年次にはデータ分析のためのエクセルの修得、3年次には日経のSTOCKリーグに参加し、グループごとに株の売買をバーチャルで行い、その成果をレポートします。また、九州商経ゼミナールに参加し、ゼミでの学習の成果を発表します。このように経済、金融、会計および企業経営を総合的に学習し、4年次に卒業論文を仕上げます。

宮崎ゼミ

宮崎 卓朗 教授

宮崎ゼミではマーケティングや流通について勉強しています。マーケティングとは企業が顧客ニーズを把握して顧客を獲得するためのさまざまな方法のことで、その中には自社製品をどのように販売していくかということも含まれます。一方で流通は幅の広い概念ですが、宮崎ゼミでは主に小売業について勉強しています。つまり製品の販売について勉強をしているゼミなのです。

松尾ゼミ

松尾 陽好 准教授

企業は現代社会で中心的な役割を果たす組織の一つであり、企業を理解することは、我々の社会を理解する為のキーの一つです。松尾ゼミでは「経営」を切り口に企業について研究します。2年生で経営の基本的知識を習得した後、3年生からは業界、企業、経営者、そして働く人々などに焦点をあてながら、各自の興味、問題意識に基づいたテーマを掲げ、個人研究あるいはプロジェクト型のグループ研究を展開します。4年生の卒業研究(卒業論文)はその集大成です。

羽石ゼミ

羽石 寛志 准教授

ゼミのテーマは経営情報論です。情報化社会の中でいかにみんながHappyに学び・働き・過ごせるかを考えています。簡単にまとめると「情報通信技術(ICT)の利用による人・組織の変化」を学んでいます。

実際に自らツイッターやフェイスブックといったソーシャルメディアなどICTを利活用し学生生活を送り、そこから卒業論文のテーマを考え二年半研究し最後に卒業論文を製本し発表会を行います。

安田ゼミ

安田 伸一 准教授

ゼミでは、答えの見つからない問題や説明のできない課題に取り組みます。

例えば、歩行者向けのナビゲーションは、どのように作ればよいでしょうか。毎日歩道に道案内はいりません。旅先で役に立ちそうですが、日常的な道具になりません。

1997年に歩行者ナビをテーマにした学生は「歩行者は公共交通を使う人」を発見し、人と公共交通の連携によって歩行者ナビを日常的に使える道具に仕上げました。ゼミでは、このように問題に取り組んでいきます。

Pick Up!! 主な卒業論文テーマ

- 貸し傘事業を展開するに当たったビジネスプラン
- 九州新幹線開業による経済効果
～開業による現在の状況とこれからの期待について～
- 小売業界の経営分析
～セブン&アイ・ホールディングスとイオンの経営比較～
- バンダイナムコゲームスとコナミの経営分析
- CD不況の実態と音楽ソフト販売業者及びレンタル業者の経営戦略
～新星堂とTSUTAYAの実績とIRを参考に～

- アパレル業界ファーストリテイリングとしまむら
- 地方百貨店が生き残るためには
～熊本の高橋百貨店の一考察～
- 日本マクドナルドの経営 ～実力主義と定年廃止～
- 新規上場企業の中で大きく成長する企業とは
- ファストファッション人気とかぶり
- 企業による地域づくり ～企業誘致の今後の展開～
- TPP参加が日本社会に与える影響

- 再生可能エネルギーについての考察
～化石燃料からのシフト～
- 乾燥地の再生・利用 ～砂漠化への対応～
- 高齢化による医療費増加の対策

教 員 紹 介

山下 寿文 教授
財務会計
木戸田 力 教授
財務会計
平地 一郎 教授
労務管理
宮崎 卓朗 教授
流通経済学
松尾 陽好 准教授
経営学
山本 長次 准教授
経営史

安田 伸一 准教授
情報工学
羽石 寛志 准教授
経営情報論・社会情報論
小川 哲彦 准教授
環境会計
三好 祐輔 准教授
企業論・証券論
山形 武裕 准教授
財務会計

経済学部 経済法学科

法律を味方に、
あなたとわたしを守る。
グローバルに考えローカルに行動する。



経済法学科では、企業法の分野、公共政策法の分野に重点を置いて、それぞれに必要な能力を養成する教育プログラムを用意し、人材を育成します。さらに経済学と経営学を加えた総合教育を行うことにより、企業経営や自治体の運営に必要な幅広い視野と課題対応能力を養成します。

- 企業法の分野では、企業の取引、組織、資金管理に必要な法的知識を修得し、企業や行政機関で法務知識を生かして活躍できる人材を育成します。
- 公共政策法の分野では、地方自治体の政策立案に必要な経済政策と法律の知識を修得し、行政機関や一般の企業で活躍できる人材を育成します。

カリキュラムの特色

1年次では、法学入門などの経済学部での学修を開始するための入門科目を履修します。2年次では、基礎的知識を修得するために基礎科目を学び、2年次後期から分野ごとにまとまりを持つ科目群を履修します。どの分野を選択する場合でも、分野に応じた経済学系科目・経営学系科目があり、その分野を重点的に学ぶと共に経済学・経営学・法学を総合的に学修します。また、実践的学習の一環として、実地研修により裁判制度や司法制度、環境などの法制度を学ぶ「実践法政策」や、弁護士を講師に迎えて法律の実務を学ぶ弁護士会提供の講義を履修することが

できます。

- 企業法の分野は、法学と経営学を総合的に学修する教育プログラムになっています。2年次に修得する会社法・民法などの基礎的知識を応用し、2年次後期からは商法・経済法に関する科目を重点的に学修します。
- 公共政策法の分野は、法学と経済学を総合的に学修する教育プログラムになっています。2年次に修得する行政法などの基礎的知識を応用し、2年次後期から地方自治体の行政実務や政策形成・環境に関する科目を重点的に学修します。

物の見方が変わる

私は、法律学を中心に学んでいます。高校生のときは法律に対し、難しく固いイメージしかありませんでした。しかしこの学科に入り、思っていた以上に法律に触れる機会が増え、法律がすごく身近に感じられるようになりました。今では理解できることが楽しくて、情報番組で法律問題が取り上げられると、食い入るように見えています。

法律といっても六法全書に載っているものが全てではなく、法律を教えている教授でさえ全てを頭に入れているわけではありません。全てを知ろうと思うと、4年間では決して収まりきれないと思います。自分が好きな法律や、身近な法律だけに焦点をあてるのもいいと思います。ただ、苦手な法律であっても、サポートしてくれる教授や先輩もたくさんいるので安心してください。経済法学科は、楽しく法律を学べる場所です。

また、私は今、公務員の勉強もしています。公務員試験は、大半が法律問題で埋まっているため、何も知らずにいきなり勉強をスタートするよりも、大学の講義で基礎を固めておいた方が後々生きてくると思います。そのような面でも、経済法学科はとても魅力のある学科です。

経済学部
経営・法律課程 4年

秋次 麻衣

佐賀県立小城高等学校出身

経済学部 / 経済法学科

Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先

- 佐賀労働局
- 熊本国税局
- 財務省
- 防衛省地方防衛局
- 佐賀県庁
- 福岡県庁
- 大分県庁
- 嬉野市役所
- 唐津市役所
- 春日市役所
- 久留米市役所
- 筑紫野市役所
- 福岡市役所
- 五島市役所
- 豊前市役所
- 都城市役所
- 横浜市役所
- 長崎家庭裁判所
- 佐賀県警
- 高齢・障害・求職者雇用支援機構
- 日本年金機構
- 佐賀銀行
- 佐賀共栄銀行
- 福岡銀行
- 大分銀行
- 山口銀行
- 九州労働金庫
- 損害保険ジャパン
- 富国生命保険
- 明治安田生命保険
- 日本郵便
- NTT 西日本
- 上組
- 大分キャノンマテリアル
- 大和ハウス工業
- 光通信
- 久留米大学病院

主な進学先

- 佐賀大学大学院経済学研究科
- 九州大学法科大学院
- 熊本大学法科大学院
- 琉球大学法科大学院
- 広島大学大学院社会科学研究所
- 岡山大学法科大学院
- 明治大学大学院法学研究科



1年次

2年次

3・4年次

育 教 養 目 教					
全学教育科目					
専 門 科 目	経済学系科目	●経済学入門 ●統計学入門 ●日本経済論	●国際交流実習 ●現代の労働	●財政学 ●公共政策 ●地域政策 ●社会政策	●租税論 ●社会保障論 ●地方財政論 ●公共経済学 ●労使関係論 ●産業組織論 ●日本農業論 ●福祉社会論 ●農政経済論
	経営学系科目	●経営学入門 ●簿記会計入門 ●社会情報論	●現代の経営	●企業論 ●経営組織論 ●経営労務論	●流通産業論 ●経営戦略論
	法学系科目	●入門ゼミ ●法学入門 ●人権論 ●法学概論	●基礎演習 ●現代政治論 ●民法Ⅰ ●刑法Ⅰ ●経済法Ⅰ ●会社法 ●行政法総論	●商法 ●経済法Ⅱ ●民法Ⅱ ●労働法Ⅰ ●民事手続法 ●社会保障法Ⅰ ●統治機構論 ●環境法 ●行政救済法	●演習3年 ●演習4年 ●民法Ⅲ ●民法Ⅳ ●刑事訴訟法 ●国際環境法 ●国際政治学 ●社会保障法Ⅱ ●不法行為法
	共通科目		●ビジネス基礎英語 ●ビジネス・コミュニケーション英語 ●情報処理演習	コア科目	●外書講読

「企業法」コア科目群

商法
経済法Ⅱ
民法Ⅱ
労働法Ⅰ
民事手続法
企業論
経営組織論
経営労務論

「公共政策法」コア科目群

社会保障法Ⅰ
統治機構論
環境法
行政救済法
財政学
公共政策
地域政策
社会政策

注目の授業・講義

●民法

民法は、私たちのような個人の生活を規律する法律であり、財産に関係するものと家族に関係するものがあります。民法典は、全部で第5編から成ります。最初の第1編の民法総則には、たとえば、成人年齢や人の行為能力、意思能力、意思表示などの民法全体に通じるような基本的なルールが定められています。講義では、こうしたルールについて学習し、実際に身近なところで紛争が生じたときに、紛争解決のために、自分で考える力を身につけることを目標としています。

●人権論

人権論の講義では、日本国憲法が保障する権利について学びます。選挙権、表現の自由、職業選択の自由等、聞き慣れた権利を扱いますが、これらの諸権利は性質が大きく異なり、問題となる場面もさまざまです。講義のなかでは、権利の理念、本質、範囲、政府の規制の性質、態様、そしてそれに対する裁判所の違憲審査のあり方まで、詳しく説明します。法的な視点からの講義ですが、政治、社会、経済等の領域の最新ニュースをたくさん取り上げ、人権の具体的な問題局面を解説します。

●佐賀県弁護士会の協力による講義科目

経済学部では、法学の理論的な教育にとどまらず、社会の動向や実務を踏まえた「生きた」法学教育を目指しています。このために、佐賀県弁護士会の協力をえて、第一線で活躍中の弁護士による講義を毎年複数開設しています。講義科目としては、裁判実務と密接に関連する「民事手続法」や「刑事訴訟法」、「不法行為法」です。いずれも講師の実務経験に裏打ちされた興味深い内容の講義となっています。

●商法

みなさんはこれまで「株」ということばを聞いたことがあると思います。商法では、まず、この「株」（正式には「株式」といいます）とはどのような仕組みなのか、株を持った人（株主）にはどんなメリットがあるのかということ学びます。また、株式会社のつくり方、会社は誰がどのようにして経営するのか、会社を営む人（取締役）が暴走しないように監視する人（監査役）の職務について学びます。

●環境法

環境に関する法律は、今日、めまぐるしく改正されています。しかし、私の授業では、そのような法律の頻繁な改正を責める原理的問題に学生が気づけるように心がけています。講義は、前半部分で、公害対策の法について解説し、後半部分で環境保全の法について解説します。今日、環境法では、環境破壊が不確実な場合でも事前に規制することが重要だという考えが強くなっています。そうすると、自然科学の専門家でも確実には分からないリスクを法的にどう扱うか、裁判はどう扱うかということが問題となります。環境法にとっては、「待ったなし」の難問が続きます。

●実践法政策

この授業は、法が執行される現場に学生を連れ出し、そのことによって学生が自ら現場で見聞き、さまざまなことを感じてもらふことを目的とします。例えば、「刑務所」（藤野刑務所、佐賀少年刑務所）や「裁判所の法廷」（藤野早濤干拓地）「水俣病発生地」「ゴミ処分場」など、法の執行場所や法的争いの現場に行きます。もちろん理論的な事前学習を重ねた上で現場に行きますので、理論と現実のズレ、あるいは理論の現実的展開に、学生が気づけるようにサポートします。なお、授業の性格上、受講者は少人数に制限されます。

●経済法

「経済法」は一般消費者の利益を確保するための法律です。授業は一方的な講義ではなく、受講者との双方向形式で行っています。当ゼミでは、学んだ経済法・消費者法の知識を活かして、消費生活専門相談員、消費生活アドバイザーや行政書士などの国家資格取得にチャレンジします。また、これまで弁護士、司法書士等とゼミ生が共同して「消費者教育テキスト」を作成し、市民向け講義を行う等、「学生主役」のゼミを実践しています。

●社会保障法

格差社会、派遣切り、貧困、孤独死、餓死…。私たちには生きる権利が保障されているはずなのに、現実はそのようではありません。これを解決するためには、誰にどのような権利があり、誰がどのような義務を負うのかを解明することが必要です。確かに社会保障は多額の財源を必要としますが、個人の権利義務の視点から財政を誘導するような譲れない何かがあるはずで、社会保障法はそれを考える学問体系です。

●ビジネス・コミュニケーション英語 ビジネス基礎英語

経済学部独自の英語プログラムで、リスニング・リーディング・ライティング・スピーキングの各能力に重点を置いた4つのクラスが互いに関連して実践的で全般的な英語力を身につけることができます。ビジネス基礎英語とビジネス・コミュニケーション英語の科目名で2年生から受講できます。

丸谷ゼミ

丸谷 浩介 教授

「やりたいことは大学生生活で見つめます」「センター試験の成績でここを選びました」「将来は公務員になりたいので法律を学びます」。学生達の入学動機は様々です。勉強しなければならないのはわかっているけれど、何をどうやっていいかわからない、ひとりで勉強しても続かない。学生からはそんな声も聞こえてきます。ゼミというものは、学生自身がやるべきことを見つかる場であると同時に、切磋琢磨し合える仲間を見つける場です。少し高い目標を設定して、数人でわいわいと共同作業をする。それを繰り返すことで高い能力を身につけることができるようになればいいな、と思っています。そうしているうちに目標や仲間という、大学生生活でかけがえのないものを得ていけばいいと思います。丸谷ゼミでは多くの裁判や行政の資料をじっくり検討すると同時に、見学やヒアリングなどを通して私たちが生きている社会の構造を学んでいます。一緒にやってみませんか。



栗林ゼミ

栗林 佳代 准教授

演習の講義は2年生後期から始まり、3年次、4年次と続きますが、私の担当する演習では、2年生では民法に関する基本的な文献の講読、3年生では民法判例の検討、4年生では卒業論文の作成を行っています。とりわけ、4年生の卒業論文作成では、各自が民法の領域から選んだテーマに沿って、1年かけて論文を執筆します。テーマの選択は、幅が広く、財産法の領域から家族法の領域までバラエティーに富んでいます。たとえば、平成23年度では、学士論集に掲載された論文で、売買契約によって手に入れた物に当初は気づかなかった欠陥が後から見つかった場合を規律する瑕疵担保責任の制度について検討したものがあります。演習の講義は、学生の報告を中心に進めていくので、各自が自主性を持って取り組んでいます。

小西ゼミ

小西 みも恵 准教授

ゼミでは、2、3年以内に出版された裁判例を学びます。たとえば、会社の経営者である代表取締役(社長)がした行為により会社に損害を与えた場合、①社長は自分のした行為について責任を負うのか、②責任を負う場合にどれくらいの金額を会社に支払わなければならないのかという点について、実際の事案で裁判所がどのように判断したかを検討し、裁判所の判断に納得できるかどうか、みんな考えてみます。

榎澤ゼミ

榎澤 秀木 教授

私の環境法ゼミでは、学生の関心を参考にして、研究内容を決定しています。今の四年生は「原発訴訟」について研究しています。また、三年生は、原発に係わる社会的支配について研究しています。ここでは、判例や学術論文だけでなく、当時の新聞記事やルポルタージュなども読んで、法律論を社会的背景との関係で理解するように心がけています。

これまでの学生の卒業研究テーマは、「日照権」や「筑後川の水利権」「湿地保護」「有明海訴訟」「産業廃棄物」「自然エネルギー」「捕鯨問題」など多岐にわたります。

中山ゼミ

中山 泰道 准教授

商品購入(契約)に際してのトラブルや交通事故(不法行為)などに直面した場合、いかなるルールにより紛争が解決されるのか、個別の事件において解決基準はどうあるべきかを判例を素材として考えようというのが「演習」の内容です。なぜ「もめている」のか、何が法的に問題なのか、妥当な解決はどうあるべきかにつき、参加者で議論をします。議論をととして、物事をバランスよくみる目を持つ必要があると実感してもらうことが目標です。

畑山ゼミ

畑山 敏夫 教授

畑山ゼミは政治を勉強するゼミです。今年の3年生は「ポピュリズム」について考えることを年間テーマとして、関連の本を読んでいます。また課外活動として、5月23日には福岡市で開催される「水俣展」の講演会を聞きに行き、11月には5大学(鹿児島・西南学院・九州・熊本・佐賀)の政治系ゼミが西南学院大学に集まって合同合宿を開催します。7月の参議院選挙の取材を含めて、政治漬けの一年間です。

井上ゼミ

井上 亜紀 准教授

このゼミでは憲法および行政法について学びます。憲法は国や自治体の立法や行政活動を規制する最高法規であり、行政法は憲法に基づいて国や自治体の活動についてのルールを定めています。これらの法律は私たちの生活には関係なさそうに見えますが、実は私たちの毎日の生活の中で自由や権利を守る重要な役割を果たしています。ゼミでは、2年生、3年生で判例や学説について広く学び、4年生で自分が選んだテーマについて論文を執筆します。

Pick Up!! 主な卒業論文テーマ

- 救急車有料化の是非
- 育児と仕事の両立支援制度
- 野宿生活から脱するための居宅支援
- 保育の現状と今後の課題
- シングルファーザーの“今”を考える
- 介護保険における買い物弱者救済の限界
- 今後の年金教育の在り方
- 年金支給開始年齢の引き上げにともなう高齢者雇用の有効性
- ケースワーカーから見た漏給問題
- 労働紛争を有効に解決するために
- 原発作業員の労働環境改善
- 歴史から見る中国の失業保険
- 外国人研修制度のあり方
- 日本の医療制度を悪用した医療ビジネス
- 相殺と差押について
- 取得時効 ～第三者との対抗問題について～
- 共同相続と登記について
- 建物賃貸借契約において生じる紛争の回避・対処について
- 消費者教育の意義と展開の課題

教 員 紹 介

畑山 敏夫 教授
政治学
榎澤 秀木 教授
環境法
岩本 諭 教授
経済法
丸谷 浩介 教授
社会保障法
早川智津子 教授
労働法

中山 泰道 准教授
民法
井上 亜紀 准教授
憲法
小西みも恵 准教授
商法
栗林 佳代 准教授
民法
内山真由美 准教授
刑法

医学部

Faculty of Medicine

☐ 医学科 >>> P.064

☐ 看護学科 >>> P.070

医療に大切なものは、
知識・技術・経験と
そして、なによりも「こころ」だと思う。



高度な専門知識・技術とともに 豊かな感性を養う



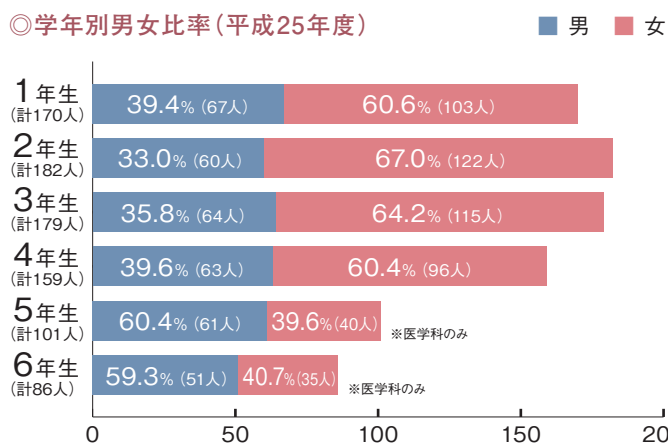
医学部は四半世紀におよんだ旧佐賀医科大学の建学の精神と伝統を受け継ぎ、「医学部に課せられた教育・研究・診療の三つの使命一体として推進することによって、社会の要請に応え得る良い医療人を育成し、もって医学・看護学の発展並びに地域包括医療の向上に寄与する」ことを基本理念としています。そして、時代にマッチした斬新な教育方法を取り入れ、豊かな感性と高度な専門知識・技術を兼ね備えた良き医療職者を育成することを目標として教育を行っています。また、医療に関する単なる知識や技術を学ぶのみでなく、医療職者に求められる広い視野からの問題解決能力と病める人の悩みや苦しみを共感できる心を育てます。

◎医学部の特徴

自己を尊重した教育システム

医学部では、自己学習・自己評価をモットーとして学生一人一人の自主性を尊重した学習法や教養教育・基礎医学・臨床医学が融合した総合カリキュラム、医療の現場から学ぶことを重視した臨床・臨地実習による6年(医学科)あるいは4年(看護学科)の一貫教育を推進しています。

◎学年別男女比率(平成25年度)



医学部 医学科

.....

自学・自習に基づく問題解決
能力を有する医療者の育成
地域医療への貢献
高度先進医療の開発及び実践



教育目的

医学・医療の実践において、強い生命倫理観と広い社会的視野により問題を総合的にとらえ、その解決を科学的・創造的に行う医師・研究者を育成する。

教育目標

- 1 高い倫理観と豊かな人間性を育み、他者と共感して良い人間関係を作ることができる。
- 2 医学の知識・技術を修得するとともに、自己学習の習慣を身につける。
- 3 つねに科学的論理的に思考し、問題の本質に迫った解決に努める。
- 4 国内外に対し幅広い視野を持ち、地域社会における医療の意義を理解し、かつ実践する。



カリキュラムの特色

- 6年間の一貫教育です。
- 臨床医学教育を早期から導入しています。
- PBL(問題基盤型学習)を実施しています。
- 臨床実習は、附属病院の他に関連教育病院及び学外臨床実習病院でも実施しています。
- 自己学習と自己評価することを習慣づけています。
- チューター(指導教員)制度を採用しています。

医学科では1年次から医療入門や早期体験学習を導入して早くから医師としての心構えをしっかりと身につけるためのカリキュラムを組み、さらに学習要項の活用によって自己学習・自己評価が実践できるような仕組みを

設けています。

医師の勉強は生涯のものであり、学生時代の勉強は単にそのスタートに過ぎません。大学で医学を学び、患者に信頼される心と力量を備えた医師になるためには、高校の段階から理数系にかたよった学習をすることなく、幅広い教科について十分な基礎学力を身につけておくことが必要でしょう。また、自ら適性の有無を見極め、早い時期から将来に向けて問題意識を持ち、適切な判断と処理のできる能力を養っておくことが望まれます。

医学科においては、より良い医学教育をめざし、常にカリキュラムの見直しを行っています。

「人」を診る医師となるために

理科の授業で初めて消化管の機能を教わった小学生の頃から人体のしくみに興味を持ち、医学部医学科へ進学しました。現在は様々な病気の成り立ちや治療、診察技法について学んでいます。

医学部医学科では3・4年次のほとんどはPBL・TBL学習です。この学習では講義とは違って、患者の心理的・社会的背景を考慮することが必要です。つまり「病気」ではなく「人」を診るということです。またその過程で自ら学習課題を抽出し、その解決のために学習することが求められます。自ら進んで学習することは簡単なことではありませんが、PBL・TBL学習の他にも、早期から様々な実習が行われており、これらの実習が学習のモチベーションを上げるきっかけとなります。

医学部ではほとんどの学生が部活動に所属していて、私も医学部水泳部に所属しています。部活動を通していろいろな価値観を持つ人と関わることで、自分の人間性も豊かになると考えています。

この医学部での勉強や部活動など様々な経験を通して、病気で困っている人に対して広い視野をもって柔軟に対応できる医師になりたいと思っています。

医学部
医学科 4年

沢見 康輔

長崎県立諫早高等学校出身



Pick Up!! 取得可能な免許・資格

所定の単位を取得することにより、
卒業時に資格が得られるもの

■医師国家試験受験資格

Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先

- 佐賀大学医学部附属病院 (43名)
- 九州大学病院 (3名)
- 長崎大学病院
- 熊本大学医学部附属病院
- 大分大学医学部附属病院 (2名)
- 愛媛大学医学部附属病院
- 岡山大学医学部附属病院
- 神戸大学医学部附属病院 (2名)
- 京都大学医学部附属病院 (2名)
- 三重大学医学部附属病院 (2名)
- 名古屋大学医学部附属病院 (2名)
- 浜松医科大学
- 筑波大学附属病院
- 新潟大学歯学総合病院
- 北海道大学病院
- 奈良県立医科大学附属病院
- 和歌山県立医科大学附属病院
- 横浜市立大学附属市民総合医療センター
- 福岡大学病院 (2名)
- 杏林大学医学部附属病院
- 東京女子医科大学病院
- 埼玉医科大学病院
- 佐賀県立病院好生館 (2名)
- 高木病院
- 千鳥橋病院 (2名)
- 浜の町病院
- 製鉄記念八幡病院
- 新小文字病院 (2名)
- 福岡総合病院
- 大手町病院
- 小倉記念病院
- 長崎医療センター
- 大隅鹿屋病院
- 南風病院
- 浦添総合病院
- 山口総合病院
- 安佐市民病院
- 豊岡病院
- りんくう総合医療センター
- 大阪厚生年金病院
- 社会保険中京病院
- 名古屋掖済会病院
- 名古屋記念病院
- 名古屋市立東部医療センター
- 東京厚生年金病院
- 聖路加病院
- 青梅市立総合病院



1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次																																																															
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期																																																														
大学入門科目I(医療入門I) 医療入門II・医療入門III				Unit1 (地域医療)	Unit4 (循環器)	Unit8 (運動・感覚器)	Unit11 (救急・麻酔)	臨床実習				基礎系・臨床系 選択科目																																																													
基本教養科目、インターフェース科目				Unit2 (消化器)	Unit5 (代謝・内分泌・ 腎・泌尿器)	Unit9 (精神・神経)	Unit12 (社会医学 ・医療社会法制)						臨床実習 地域医療実習 関連教育病院実習		基礎系・臨床系 選択科目																																																										
外国語科目		人体発生学 組織学 生化学 生理学I・II 薬理学		Unit3 (呼吸器)	Unit6 (血液・腫瘍・ 感染症)	Unit10 (小児・女性)							臨床実習				基礎系・臨床系 選択科目																																																								
情報リテラシー科目				Unit4 (循環器)	Unit7 (皮膚・膠原)														Unit13 (臨床入門)		臨床実習		基礎系・臨床系 選択科目																																																		
医療人間学	医療心理学			基礎系 選択科目	Unit8 (運動・感覚器)																				医学英語		臨床実習		基礎系・臨床系 選択科目																																												
医療統計学	医療福祉学				Unit13 (臨床入門)																										医学英語		臨床実習		基礎系・臨床系 選択科目																																						
生活医療福祉学	生活と支援技術																																				Unit13 (臨床入門)		医学英語		臨床実習		基礎系・臨床系 選択科目																														
基礎生命科学	細胞生物学I・II																																												Unit13 (臨床入門)		医学英語		臨床実習		基礎系・臨床系 選択科目																						
細胞生物学III・IV																																																					Unit13 (臨床入門)		医学英語		臨床実習		基礎系・臨床系 選択科目														
基礎系 選択科目																																																													Unit13 (臨床入門)		医学英語		臨床実習		基礎系・臨床系 選択科目						
特定プログラム教育科目								Unit13 (臨床入門)		医学英語		臨床実習																																																									基礎系・臨床系 選択科目				
地域枠入学															Unit13 (臨床入門)																																																								医学英語		臨床実習
特別プログラム		Unit13 (臨床入門)					医学英語							臨床実習			基礎系・臨床系 選択科目																																																								
特別プログラム																			Unit13 (臨床入門)		医学英語		臨床実習																																																		
特別プログラム				Unit13 (臨床入門)																					医学英語		臨床実習		基礎系・臨床系 選択科目																																												

Phase I Phase II Phase III Phase IV Phase V

医学科では教養教育、基礎医学、臨床医学の実施時期を明確に区別せず、Phase(フェイズ) I～Vに分けて6年一貫教育を実施しています。

教養教育科目及び専門基礎科目は1年次から2年次後期まで行われます。専門科目では、基礎医学が1年次前期から始まり、遺伝子、発生、細胞、組織、器官、個体、集団といった順序に、かつ構造と機能を並行して勉強できるように構成されています。3・4年次には、内科、外科、小児科などの臨床医学を統合し、臓器別に再構成したカリキュラムで学び、医師として患者さんの問題を解決する能力を養います。

Phase Iは大学入門科目(医療入門I)、基本教養科目、インターフェース科目、情報リテラシー科目、外国語科目からなる教養教育科目と、医療人間学や基礎生命科学などの専門基礎科目から構成されています。医学を志す者が学習すべき基礎的な知識と方法論を修得し、かつ人間に対する理解を幅広い視点から深めるために教育が行われます。講義に加えて実習も取り入れられ、たとえば医療入門I～Ⅲは1年次から2年次まで開講され、早期体験学習が行われています。

Phase IIからは医学専門科目である基礎医学の学習が始まり、まず、生物の基本的構成単位である細胞の構造と機能を遺伝子レベルから分子レベルまで講義・実習を通して学びます。そこで得た知識を、さらに細胞から組織、組織から個体へと構築することにより、人体の正常な構造と機能を個体発生、系統発生的背景とともに学習します。さらに、どのような内的・外的要因が係わり、どのような病態を呈するか学び、3年次(Phase III)から本格的に始ま

る、臨床医学へとつなげます。

Phase IIIの特徴は、PBL(問題基盤型学習; Problem-based Learning)やTBL(チーム基盤型学習; Team-based Learning)を大幅に導入していることです。これは症例シナリオを用いたグループ討論を通して、学習課題を自ら見出し、学習する能力や、知識を活用して病気の診断や治療方針を立案する訓練を行うものです。同時に、医療面接や身体診察などの基本的臨床技能を訓練し、臨床実習に備えます。

Phase IVは全面的に臨床実習に当てられます。臨床実習では医療チームの一員として診療に参加するため、4年次の学年末に共用試験に合格し、Student Doctorとして適格認定を受けた者のみが実習を許可されます。

Phase Vは6年間の最後の仕上げの時期で、自らの弱点を補い、あるいは興味を持つ分野をさらに深めるための選択コースが開設されます。これは、基礎及び臨床系講座から提供されたテーマの中から希望するコースを選択して学習するもので、ハワイ大学をはじめ海外での短期臨床実習に参加するコースも含まれています。

最後に卒業試験に相当する総括講義が行われます。

以上のカリキュラムの特徴として、一つの授業科目の履修が次の授業科目につながるどころが大きく、したがって、前段の履修なしに次段階の学習に進むことは容易ではありません。また、学習が試験のためだけに行われることを避け、試験も学習の一部という観点から、通常、試験は各科目の終了ごと、あるいは途中にも行われ、特に試験期間というものは設定していません。

カリキュラム紹介

【医療入門】

医師には、患者との良好なコミュニケーションを保ち、患者の心を理解しようと努める豊かな人間性と寛容な精神、時には職業人としての倫理性と責任感に基づき困難な決断を患者と共有する厳しさが求められます。

医療入門は、臨床医学の修得前に、講義に加え、早期体験学習、医療面接のロールプレイ、身体診察技法及びファーストエイド等の実習、地域の療養型・介護型医療機関での施設実習を行うことにより、医療人としての自覚を高め、少子高齢化を特徴とする現代日本社会における医療の実際を理解し、医療の技術的進歩と社会の急速な変貌が人々の心にもたらす問題に関心を持ち続ける態度を身につけることを目標としています。



【PBL・TBL】

PBLとは、問題基盤型学習(Problem-based Learning)といわれるもので、従来の講義形式と違い、学生を1グループ6人程度の少人数に分け、提示された課題に対し、グループでのディスカッションを通じて、自らが問題点を見つけ解決法を探る、つまり自ら学習する方法のことで、各グループにはPBLチューターといわれる教員がつき学習を進めるためのアドバイスをしています。

TBL(チーム基盤型学習:Team-based Learning)は、指定された事前学習によって基礎知識を確保したうえで、応用的な症例課題にグループで取り組むことによって、基礎知識を深め、応用能力を高める演習です。幅広い知識と応用能力を効率的に習得するのに適しています。

医学科3年次、4年次の臨床系科目はPBLまたはTBLで行います。PBL・TBLと平行した系統講義や臨床技能訓練によって、学んだ知識を医療実践に応用できるアタマ・技・ココロづくりを行っています。



【臨床実習】

医学教育において、よき医師となるための基礎を磨く最も重要な部分といえます。この臨床実習(クラークシップ)は先輩の教員、医員および看護師等と共にチームの一員として患者に接し、PBLで培った「課題発見・問題解決」能力を有効に応用することが求められます。

この臨床実習において、学生はチームの一員として患者の診療に参加し、患者の診察、カルテへの記載、診断・治療計画の策定、基本的臨床手技を含む患者マネジメントを行う事が求められます。こうした経験を通して、良き医師となるための基本的技能、問題解決能力を身につけることが最も重要な目標です。



生体構造機能学講座(神経生理学分野)

熊本 栄一 教授、藤田 亜美 准教授、八坂 敏一 助教

皮膚末梢に与えられた痛み刺激は、1次感覚神経線維の皮膚末梢端で受容されます。この痛み情報は、脊髄後角に延びているその神経線維の中枢端まで活動電位として伝えられた後、脊髄を上行して大脳皮質に運ばれて痛みとして感じられます。私たちは、電気生理学の実験手法を用いて、このような情報伝達が内因性および外因性の鎮痛物質によりどのような影響を受けるかを調べ、痛みの制御機構を脊髄後角のシナプスおよび神経線維のレベルで明らかにする研究を行っています。得られた研究成果は、シナプスや神経線維のレベルにおける情報伝達制御の仕組みに新しい知見を加えると共に、新たな鎮痛薬や局所麻酔薬の開発に役立つことが期待されます。



精神医学(精神神経科)

門司 晃 教授、川島 敏郎 准教授、溝口 義人 講師、國武 裕 助教、石井 博修 助教、立石 洋 助教、原口 祥典 助教、丸尾 譲二 助教

精神科における研究は、ややもすると日頃の臨床とは距離のあるものになりがちですが、当科では薬理・神経画像・神経心理などの手法により、極力臨床に還元しやすい研究を行うことを常に念頭においています。過去10年間取り組んできた「伊万里市黒川町での高齢者健康調査研究」に加えて、「経頭蓋磁気刺激装置を用いた難治性うつ病の治療研究」を初めとする新しい臨床研究テーマを追求しています。また、臨床研究を行う上でも必要となる遺伝子～細胞～動物レベルの研究に関しては、九州大学精神科分子細胞研究室との連携を図っています。精神疾患の診断・治療にブレークスルーをもたらすべく、佐賀大学・九州大学に限らず、内外の研究組織と連携し、基礎研究から臨床研究まで一貫したトランスレーショナルリサーチの体制を構築したいと考えています。



講座紹介

分子生命科学講座

出原 賢治 教授、副島 英伸 教授、池田 義孝 教授、吉田 裕樹 教授

生命現象の基本的仕組みを明らかにするとともに、その異常により引き起こされるさまざまな疾患の病態解明を目指して「分子遺伝学・エピジェネティクス」「分子生物学」「免疫学」「細胞生物学」「生体機能制御学」の5分野により、教育・研究に取り組んでいます。

生体構造機能学講座

熊本 栄一 教授、倉岡 晃夫 教授、寺本 憲功 教授、増子 貞彦 教授

生命体の構造(形態)とその働き(機能)の解明を目指して「組織・神経解剖学」「解剖学・人類学」「器官・細胞生理学」「神経生理学」および「薬理学」の5分野に分かれ、それぞれの分野で教育・研究を進めています。

病因病態科学講座

戸田 修二 教授、宮本 比呂志 教授

疾病の機序の解明を意図して、細菌や微生物感染に対する生体防御機序、動脈硬化症や癌の病理学、癌や肥満症などの生活習慣病の分子生物学など種々の研究を「微生物学」「診断病理学」「臨床病態病理学」の3分野の研究グループで進めています。

社会医学講座

市場 正良 教授、田中 恵太郎 教授

環境と健康との相互作用を解析し、良好な健康状態を保持するための「環境医学」、癌や生活習慣病の危険因子・防衛因子を明らかにして疾病予防に役立つ「予防医学」、核やミトコンドリアのDNAを用いた個人識別を主なテーマとする「法医学」および英語を中心とした外国語教育を担当する「国際医療コミュニケーション科学」の4分野に分かれており、それぞれの分野で教育・研究を進めています。

内科学講座

安西 慶三 教授、木村 晋也 教授、成澤 寛 教授、野出 孝一 教授、原 英夫 教授、藤本 一真 教授

わが国では珍しい大講座制で、内科の専門8部門「膠原病・リウマチ内科学」「呼吸器内科学」「神経内科学」「血液内科学」「循環器・腎臓内科学」「消化器内科学・光学医療診療部」「肝臓・糖尿病・内分泌内科学」と「皮膚科学」から成っています。互いの競争と協力を合言葉に、日夜、教育・研究・診療に励んでいます。

精神医学講座

門司 晃 教授

“患者と共に在れ”という言葉をもとに医師患者関係を大切に、今後増加が予想されるうつ病を始めとするストレス関連疾患、老年精神疾患など変貌する精神科医療に柔軟に対応すべく、リエゾンコンサルテーションなど他の診療科と協力しながら更に研鑽を重ねています。

小児科学講座

瀧崎 雄平 教授

佐賀県内唯一の特定機能病院小児科部門として、最先端の医療技術をもって診療にあたりるとともに、卒前や卒後の教育を重視し、医学研究の分野でも臨床に立脚した研究を推進しています。また、アレルギー学会認定研修施設でもあります。

一般・消化器外科学講座

能城 浩和 教授

おもに消化器および乳腺悪性腫瘍の患者さんを対象とし診療しています。「体に優しい」低侵襲の鏡視下手術を積極的に行っており、全国でもトップクラスの鏡視下手術率を誇っています。また腫瘍制御に関する基礎研究もっており、腫瘍の悪性度診断、浸潤転移機構の解明および抗癌剤感受性(個別化治療)などについて研究を行っています。

胸部・心臓血管外科学講座

森田 茂樹 教授

心臓血管外科と呼吸器外科から成り、患者さんの目線で最高の医療を実践し、地域医療に貢献し続けるために、24時間体制で診療に励んでいます。研究分野では、わが国でも有数の心臓の再生医療に取り組んでおり、佐賀から世界に情報を発信すべく日夜研鑽を重ねています。

整形外科講座

馬渡 正明 教授

佐賀大学整形外科は全国区の診療科です。なかでも股関節外科は全国最多の手術症例を扱っています。患者さんは東京、北海道など県外から半数を超えています。整形外科分野におけるオピニオンリーダーとしての役割を果たすべく、積極的に臨床・基礎研究に取り組んでいます。特に抗菌性生体材料の研究や和式生活に対応する新しい人工関節の開発に力を入れています。

脳神経外科学講座

松島 俊夫 教授

対象とする疾患は、脳腫瘍、脳血管障害、機能外科、外傷、脊椎脊髄、小児脳神経疾患など広い範囲に及びます。特に詳細な外科解剖の研究に基づいた手術(マイクロサージェリー)と新規治療開発に関する研究に立脚した悪性脳腫瘍の治療に精力を注いでいます。

泌尿器科学講座

魚住 二郎 教授

副腎、腎臓、尿管、膀胱、前立腺、精巣などの後腹膜臓器および泌尿生殖器の疾患を担当しています。高齢化社会で需要が急増していると同時に、プライバシーを重要視するべき疾患が多いことから、男女を問わず幅広い人材を必要とする科のひとつです。当講座では常に患者のQuality of Lifeを尊重した医療をモットーとし、内視鏡・体腔鏡手術など最新の医療技術を提供しています。

地域医療支援学講座

皆さんは「地域医療」という言葉を聞いてどのような医療を想像されますか。私達は「地域の人々が安心して暮らせるための医療」を創り、支援していくことを仕事としています。

地域で活躍できる医師とは、「どんな病気でも診察し、患者さんや家族の思いまで考慮に入れて、最善の治療ができる医師」

ということになります。まさに理想の医師像ですが、私達はその理想をあきらめずに追いつけていきたいと思っています。そのための具体的な教育プログラムの開発にも着手しました。佐賀大学と自治医科大学の合同プログラムである地域医療体験学習では、山間や離島医療の現場を体験してもらい、とても充実したものにしました。医師になってからも、幅広く対応できる内科医になるための「総合内科医育成プログラム」、軽症から重症まで対応できる小児科医になるための「小児救急プログラム」、また麻酔科や産婦人科、救急科などの地域で不足している診療科の支援も行っています。これらのプログラムが日本全国の地域医療支援のモデルとなるよう、教員一丸となって日々頑張っています。



産科婦人科学講座

横山 正俊 教授

子宮頸癌の発癌機構の解明とともにその治療法の開発の研究を行っています。また、細胞診断の精度向上のため、各種の分析法を試みています。一方、周産期の分野では当科で開発した24時間胎児心拍モニターを用いて胎児心拍の日内変動の研究を行っています。

眼科学講座

メインテーマはぶどう膜炎と緑内障であり九州一円から来院する患者さんの治療にあたっています。また網膜硝子体疾患に対する高度な治療を、基幹病院として地域病院と連携して行っています。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座

佐賀県内唯一の特定機能病院耳鼻咽喉科部門として、最先端の医療技術をもって進展した頭頸部癌の治療にあたっています。形成外科、胸部外科、脳神経外科、放射線科とも協力し、チーム医療を行っています。

放射線医学講座

入江 裕之 教授

附属病院放射線科と放射線部のスタッフをあわせて放射線科を形成しています。佐賀県唯一の最先端放射線機器類を駆使して、画像診断、インターベンショナル・ラジオロジー、核医学、放射線治療の各分野で、一致団結して日夜、教育・研究・診療に励んでいます。

麻酔・蘇生学講座

坂口 嘉郎 教授

「手術室での麻酔」「集中治療」「ペインクリニック」「緩和ケア」の分野で診療と研究を行っています。また、有明海と地域住民の健康に関する研究やアジア諸国への医療援助にも積極的に取り組んでいます。

歯科口腔外科学講座

後藤 昌昭 教授

口腔外科を専門に行う県内では唯一の講座であり、顎骨再建へのインプラント義歯の応用や顎顔面補綴も積極的に進めています。また、JICAやNPOのメンバーとしてアジア諸国での顎顔口蓋裂治療を中心とする国際医療活動も行っています。

臨床検査医学講座

さまざまな疾患の発生機序やその疾患の治療に対する反応性などを総合的に解明することにより、臨床業務に役立つ新規の臨床検査の構築と、そのための技術開発を目指しています。

救急医学講座

阪本 雄一郎 教授

どのような急性期の病態についても全員で取り組み、1次から3次救急の全ての救急患者を診療することにより、地域救急医療のセンターとしての役割を果たしています。急性疾患を扱う救急医療に加えて先進外傷治療学講座が併設されており、より広い救急医学分野で充実した貢献が行えるようになっています。また、敗血症や外傷に関する基礎研究も行っています。

国際医療学講座

青木 洋介 教授

Globalization や高齢化により疾患疫学に大きく影響を受ける感染症の診断と治療を行います。また、一般感染症、免疫不全感染症、医療関連感染症の臨床的疑問点を明らかにし、医療の質安全と向上に資する臨床研究を遂行できる人材を育成します。学部教育では、医学部3・4年次の医療英語教育を拡充し、global standardでの医学・医療社会的コミュニケーション能力を備えた医師育成を担当します。

(附属施設)地域医療科学教育センター

酒見 隆信 教授、竹生 政資 教授、堀川 悦夫 教授

医学部の基本理念に掲げている地域包括医療の向上を目的とした、国内唯一の附属センターです。「医療連携システム部門」「福祉健康科学(社会生活行動支援)部門」「地域包括医療教育部門」の3部門で構成されており、それぞれの部門が、地域医療ネットワークサービス、高齢者・障害者の生活自立支援、地域包括医療人材育成といった目標に向かって活動しています。

(附属施設)先端医学研究推進支援センター

(併)吉田 裕樹 教授、(併)寺東 宏明 准教授

「研究推進部門」「研究支援部門」「教育研究支援室」から成り、学際分野を含む医学研究の先端的・中心的役割を担い、もって学内外への発信を行うとともに、医学部における教育研究の基盤となる高度な技術的支援とその研鑽を組織的に行うことにより、関連する医学・看護学の課題に関して重点的に研究を進展させることを目的としています。



医学部 看護学科

高い倫理観

早期からの臨地実習

チューター制度



教育目的

高い倫理観に基づき健康についての問題を包括的にとらえ、柔軟に解決する実践能力を持った看護職者を育成する。

教育目標

- 1 看護職者にふさわしい豊かな感性を備え、人を尊重する態度を身につける。
- 2 的確な看護実践ができるように、看護の知識と技術を修得する。
- 3 看護の多様な問題に対処できるように、自ら考え解決する習慣を身につける。
- 4 社会に対する幅広い視野をもち、地域における保健医療福祉の活動に貢献できる基本的能力を養う。



カリキュラムの特色

- 看護師教育課程に加え、保健師や助産師への道を開くための教育課程を4年間のカリキュラムの中で一貫して行っています。
- 病院等の施設や地域で行う臨地実習をカリキュラムの核とし、1年次から4年次まで段階的に編成しています。
- 自己学習・自己評価の実践を習慣づけています。
- チューター(指導教員)制度を採用しています。

現在、わが国の多くの看護系大学では4年間の大学教

育の中に、看護師教育課程を基盤にして、保健師教育課程や助産師教育課程を選択し学習するカリキュラムが導入されています。

このほか、一般に教養教育科目や、大学としての独自の教育科目も組まれますので、学生にはかなりハードなカリキュラムになります。しかし、本学看護学科ではコアカリキュラムによる密度の濃い内容を教授するとともに、自己学習を効果的に実践することにより、余裕をもって4年間の学生生活を送ることができるよう工夫されています。

患者さんの支えになる看護師になるために

医学部看護学科の魅力は看護師だけでなく助産師、保健師の資格を取得できることだと思います。私は高校時代から助産師に興味があったため佐賀大学に進学しました。

看護学科は他の学部とは違う点がたくさんあります。技術演習やグループワークがたくさんあるところです。技術演習では私たち学生が看護師役、患者役を行い、患者役がどう感じたか、看護師役はどうしたらもっと良くなるかを自分たちで話し合って考えます。このような演習を通して、患者さんの立場になって考えることや、自分で考えて問題を解決することを学びます。また、看護学科の先生方は学生の意見を取り入れながらアドバイスをしてくれます。

大学生活は高校とは違い自分で行うことが大切になります。これからも自ら主体的に様々なことに取り組み、患者さんと真剣に向き合える看護師になりたいと思います。



医学部
看護学科 2年
武知 遥

福岡県立修猷館高等学校出身

医学部
看護学科



Pick Up!! 取得可能な免許・資格

所定の単位を取得することにより、卒業時に資格が得られるもの

- 看護師国家試験受験資格
 - 保健師国家試験受験資格
 - 助産師国家試験受験資格
 - 第一種衛生管理者免許状(保健師免)
- 許取得後、申請による)
■養護教諭二種普通免許状(保健師免許取得後、申請による。在学中に指定の単位を修得することが必要)

Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先

- 佐賀大学医学部附属病院(27名)
- 九州大学病院(3名)
- 熊本大学医学部附属病院
- 東京医科歯科大学医学部附属病院
- 大阪大学医学部附属病院
- 福岡大学病院(7名)
- 大阪医科大学附属病院
- 佐賀県立病院好生館(2名)
- 国立循環器病研究センター(2名)
- 国立がん研究センター中央病院
- 国立国際医療研究センター
- 虎の門病院
- 八幡総合病院
- 原三信病院
- 浜の町病院
- 九州厚生年金病院
- 済生会熊本病院
- 鹿児島市立病院
- 長谷川病院
- 山梨県立中央病院
- 佐賀県鳥栖市(保健師)
- 佐賀県上峰町(保健師)
- 福岡県大川市(保健師)
- 長崎県杵岐市(保健師)
- 三菱マテリアル株式会社(保健師)
- 国立病院機構佐賀病院(助産師2名)
- 長崎医療センター(助産師)
- 横浜市立大学附属病院(助産師)
- 聖母病院(助産師)

主な進学先

- 大分県立看護学科大学院(大分)
- 九州大学大学院(福岡)



1年次		2年次		3年次		4年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
大学入門科目	看護の機能と方法				臨地実習 (成人) (小児) (母性) (精神) (老年) (地域※)	看護の機能と方法	
情報リテラシー科目	ライフサイクルと看護					臨地実習 (在宅) (統合)	ライフサイクルと看護
外国語科目	臨地実習(基礎)	基本教養科目又はインターフェース科目		基本教養科目又はインターフェース科目			
基本教養科目又はインターフェース科目		地域における看護		専門基礎科目			
専門基礎科目		公衆衛生看護コース		地域における看護			
臨地実習(基礎)					助産コース		

※ (選択コース)以外の者及び助産コース 選択必修

教養教育科目
 専門基礎科目

 看護専門科目

看護は、健康な人から病を持つ人まで、様々な健康レベルの人々を対象とします。看護学を学ぶ者は、人間は生物学的・社会的存在で、人格を持つ統合された存在であるという視点で人間を全体的に理解することが大切です。この視点を養うため、看護学科では、看護に必要な人間を理解する学習から始まり、看護の専門科目および実習を通じて、4年間にわたって学習していきます。

臨地実習は、1年前期の早期体験学習から始まり、学年ごとに臨地実習が核となり4年間のカリキュラムが構成されています。3年次後期からの臨地実習に入る前には「バリア」を設けており、3年次前期までに開講されている必修科目にすべて合格し、適格認定を受けた者が、Student Nurseの称号を与えられ、実習が許可されます。4年次では自らのテーマを設定して行う統合実習や看護セミナーを体験します。さらに1～3年次に学習した内容の上級編にあたる、より高度な内容をもつ科目を選択して

学習できるよう配慮されています。

以上のカリキュラムの特徴として、一つの授業科目が次の授業科目の土台になるところが大きく、したがって、前段の履修なしに次段階の学習に進むことは容易ではありません。また、学習が試験のためだけに行われることを避け、試験も学習の一部という観点から、通常、試験は各科目の終了ごとに行われます。こうした学習目標を達成するためには、高等学校での各教科について幅広く深みのある基礎的学力を身につけていることが必要です。さらに、早い時期から問題意識を持ち、適切な判断と処理ができる能力を養っておくことも大切なことです。

このように看護学科では1年次から早期体験学習を導入して早くから看護職者としての心構えをしっかりと身につけるためのカリキュラムを編成し、さらに学習要項の活用によって自己学習・自己評価が実践できるような仕組みを設けています。

【チューター制度】

医学部では、学生のみなさんが充実したキャンパスライフを送られるように、チューター(指導教員)制度を採用しています。小グループの学生に1名の教員がチューターとして付いて、みなさんの修学、心身の健康などの問題についての相談役となっています。お菓子を食べながら、あるいは食事をしながら近況報告ということも……。

学生のみなさんは自らの責任において勉強し、行動することを基本としていますが、グループ内あるいはグループ間で互いに考え、話し合い、助け合うことも大切なことです。チューター制度は、このためのコミュニケーション力を高める役割も担うものです。

上級学年では、国家試験合格に向けての対策や進路についてのアドバイスも行っています。

注目の授業

●(大学入門科目)看護学入門

これから学ぶ看護学の全体像を把握し、看護を行う上で共通となる基本的な概念を学ぶ授業です。近代・現代の初歩的看護論を読み、そこに表されている看護について知ります。それらの看護論に対する意見をもとにグループ討議を行い、各自の意見を交換することにより、自分の考えを他者に明確に表現する姿勢や他者の考えなどをよく聞く姿勢を身につけます。これらの作業を通して看護とは何かを考察し理解を深めます。1年前期に開講されます。

●(看護専門科目)基礎的看護技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

看護についての専門的な知識や技術を学びます。看護の基本となる、基礎的援助技術の学習や実技演習を通して、対象者のニーズに応じた看護援助に必要な基礎的技術や態度を身につけます。

Ⅰ:看護における安全・安楽に重点を置いた日常生活援助技術の講義・演習を行います。看護技術試験を実施し、学生の看護技術の修得状況を確認し、看護実践の向上に努めています。Ⅱ:コミュニケーション、Ⅲ・Ⅳ:診療に関する援助技術を学習します。

●(看護専門科目)国際保健看護論

国際保健及び国際看護に関する基本的な知識を習得します。特に国際社会において広い視野に基づき看護師として諸外国との協力を考え、国際保健医療における看護職の役割と課題について学習します。

●(看護専門科目)公衆衛生看護コース

保健師をめざす者のための選択コースで、保健師の国家試験の受験に必要な科目を学修します。公衆衛生看護実習は佐賀県内の主な自治体(行政機関)12施設で実施予定です。1学年40名程度の学生が選択可能な状況です。

●(専門基礎科目)解剖学・生理学

看護学を学ぶための基礎として、また看護を実施するうえで、人間の体を構成する組織や器官の正常な構造と、それらの生理的機能や制御機構を知ることが重要です。人体がどのような細胞、組織、器官により構成され、これらの形態がどのような機能と対応しているかを系統的かつ局所的に理解していきます。1年前期に開講されます。

●(看護専門科目)発達看護論Ⅰ・Ⅱ

看護についての専門的な知識や技術を学びます。看護の対象の特性に応じた看護を各論的に学修します。人間のライフサイクル、すなわち小児、成人、母性、老年の各期における看護について講義や演習を通して学習します。Ⅰ:成人・老年、Ⅱ:母性・小児の特性について身体的・心理的・社会的特徴と発達課題を踏まえ、各期における健康を考察し健康レベルに応じた看護について学習します。

●(看護専門科目)臨地実習

病院における実習と、地域・在宅における実習を一つにしたものです。1年前期の早期体験学習、2年前期の実習、3年後期の実習及び4年前期の実習で構成されています。3年後期の臨地実習を行う学生は Student Nurse(SN)の認定を受けた後に実習に入ります。

●(看護専門科目)助産コース

助産師をめざす者のための選択コースで、助産師の国家試験の受験に必要な科目を学修します。なお、主な実習施設である佐賀大学医学部附属病院における分娩数の減少により、今のところ1学年6名程度の学生が選択可能な状況です。

●(専門基礎科目)病態・疾病論Ⅰ・Ⅱ

様々な疾患をもつ患者に適切な看護と正しい生活指導を行なうことができるようになるために、各臓器・系統別に主要な疾患の病態、症候、検査法、診断、治療、経過と予後などの基本的な医学知識について系統的に学びます。1年後期から開講されます。

●(看護専門科目)がん看護

がんと共に生きる患者および家族の生活の質を維持・向上させるための援助の方法論を学びます。講義はがんの特殊性とがん看護の概念、インフォームドコンセントと意思決定、がん治療を受ける患者の看護、リハビリテーションとセルフケアなどで構成しています。



研究室紹介

成人・老年看護学(老年看護学分野)

藤田 君支 教授、田淵 康子 准教授、明時 由理子 助教

超高齢社会を迎えた日本では、高齢になっても豊かな人生を享受できる社会を支えるため、老年看護学の重要性はますます高まっています。当研究室では、加齢による心身の変化の特性を理解し、高齢者の健康と生活を支援する看護を実践できるように教育・研究・社会貢献に取り組んでいます。学部教育では高齢者模擬体験や高齢者への生活史のインタビューなどを授業に取り入れており、老年看護実習では佐賀県下の病院や介護施設において、高齢者のニーズに合わせて看護の実践を行うように工夫しています。また、高齢者の生活の質を保つための看護を探究するために、身体活動量や睡眠覚醒リズムの測定や唾液の生理活性物質の測定を行い、より客観的な指標に基づいた高齢者ケアの有効性を実証できる研究を行っており、その成果を教育や看護の実際に還元できるようにしています。



講座紹介

看護基礎科学講座

河野 史 教授、長家 智子 教授

看護学の基礎となる理論及び技術を専門にする講座で、人体の構造と機能、病態生理学に関する教育研究を行う「看護機能形態学」と、看護実践の基盤となる看護の理論、援助技術および人間関係等についての教育研究を行う「看護援助学」の2つの分野から成ります。

地域・国際保健看護学講座

有吉 浩美 教授、新地 浩一 教授、藤野 成美 教授

地域で生活している人々の健康とQOLの向上に関する教育や研究を行っています。「地域看護学分野」、「精神・在宅看護学分野」、「国際保健看護学分野」の3分野で構成されています。

成人・老年看護学講座

大田 明英 教授、藤田 君支 教授

ライフサイクルや疾病の回復過程の観点から成人期・老年期の対象者を十分に理解し、高度な看護実践・研究を行うことができるように、「急性期看護学」、「慢性期看護学」、「老年看護学」の3つの教育研究分野から構成されています。

母子看護学講座

佐藤 珠美 教授

「小児看護学」と「母性看護・助産学」の2つの分野から構成されています。小児看護学では、子どもの成長・発達の過程で生じる健康問題の予防や回復を図り、家族が健康に過ごせるような看護援助の教育研究を行っています。母性看護・助産学ではリプロダクション(性と生殖・出産)から生涯にわたる女性の健康支援について教育研究を行っています。

工学部

Faculty of Science and Engineering

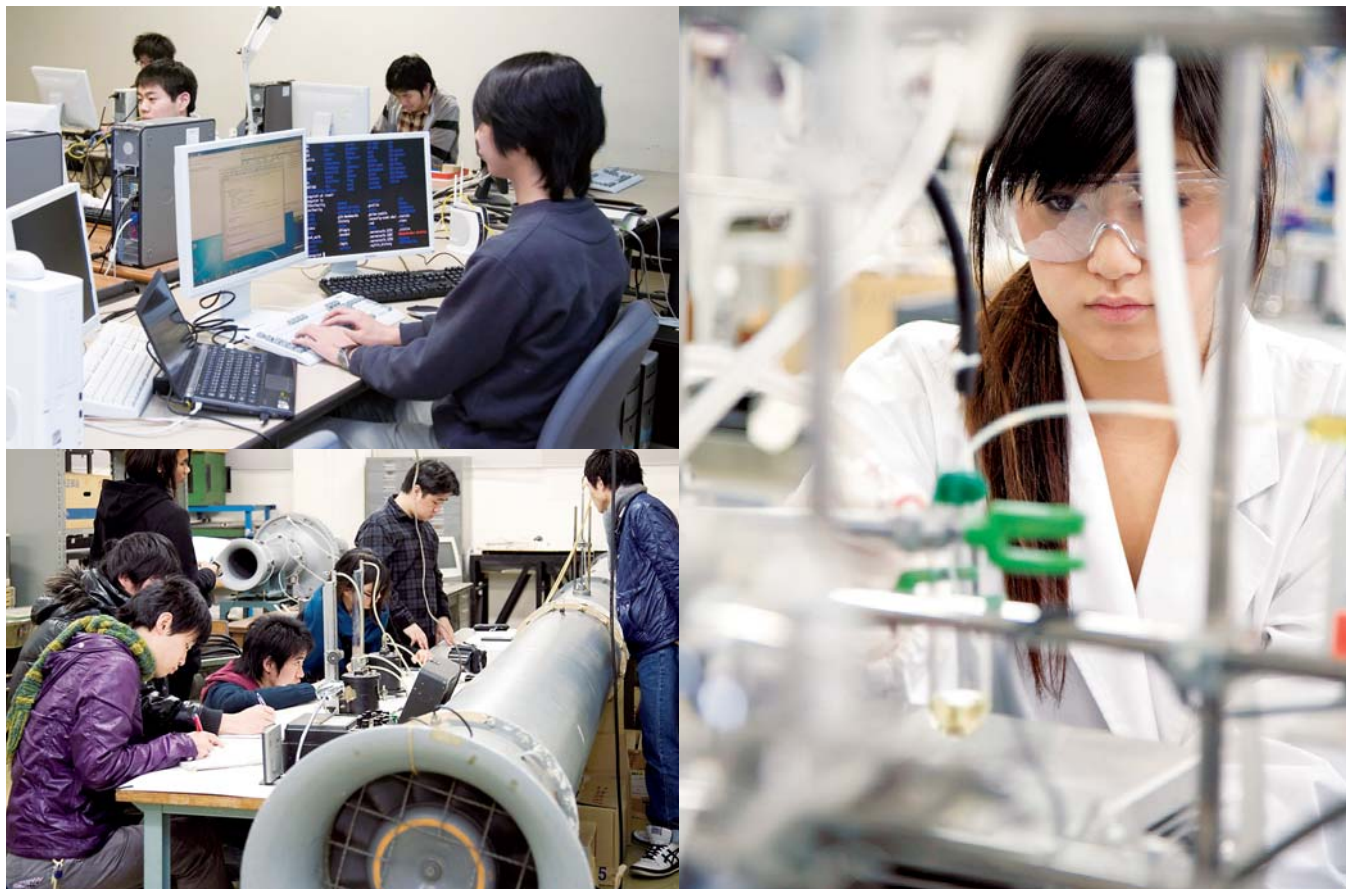
- ☐ 数理科学科 >>> P.076
- ☐ 物理科学科 >>> P.080
- ☐ 知能情報システム学科 >>> P.084
- ☐ 機能物質化学科 >>> P.088
- ☐ 機械システム工学科 >>> P.092
- ☐ 電気電子工学科 >>> P.096
- ☐ 都市工学科 >>> P.100

サイエンスは
不思議な力を持っている。
そこが大きな魅力なのかもしれない。



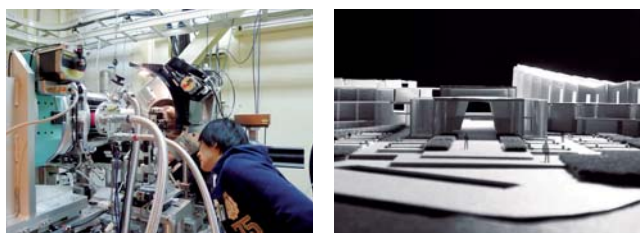
Harmonize in Science and Engineering

未来を創る「人」になる



佐賀大学理工学部は、建学時から、理学と工学の融合をテーマとしてきました。地球上の生き物や環境と共生し、新たな希望に満ちた未来を創造して行くには、双方の領域で自在に思考できる「知」が必要不可欠です。理学で原理を学び、工学で応用技術を学び、「知」のハーモニーの中から次の世界を生み出す「人」が育っています。

本学部は、現在7学科において、21世紀の高度科学技術時代に活躍できる人材の育成と知的創造をめざして教育研究を行っています。理学系と工学系の学科が同一学部にあるという特色を最大限に発揮し、科学と技術の融合による基礎科学とハイテクノロジーの推進を旗印に、ユニークな教育と研究に意欲的に取り組んでおり、まさに時代の要請に応えることのできる体制といえるでしょう。

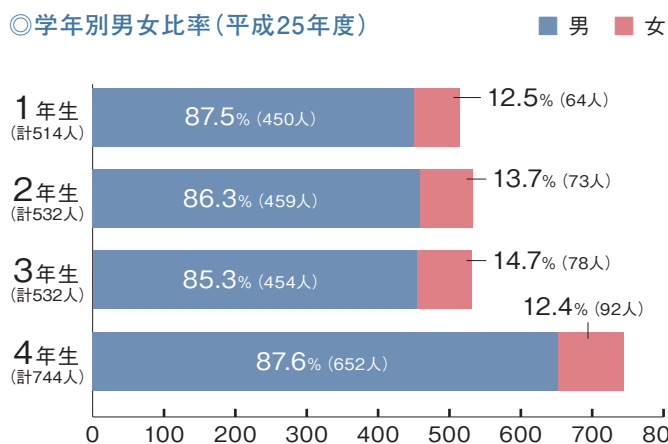


◎理工学部の特徴

本学部独自の高度な知識・技術

理工学部は、科学と技術の融合という独自の教育システムで、約50%の学部学生が進学している大学院工学系研究科博士前期課程、及びそれに続く博士後期課程では、さらに高度な専門知識や技術を学び、高いレベルの研究を行っています。教員と学生が膝をつき合わせた少人数教育の実践や外国人教員による国際性豊かな講義も本学部の大きな特徴です。

◎学年別男女比率(平成25年度)



理工学部 数理科学科

数学及び数理科学の領域において、
 広く社会で活躍できる
 高度な専門的知識・能力を持つ
 教育者、技術者、研究者を養成する。



数理科学科の教育目標は、

- A** 数学の基本的な考え及び論理的厳密性を修得させる。
- B** 数学の思考力および表現力を身につけさせる。
- C** 数学の各分野における論理を修得させる。
- D** 直面する諸問題を正確に理解し解析する力とプレゼンテーション能力を身につけさせる。
- E** 社会に広く存在する多様な需要や問題を認識させる。

数理科学科の教育課程は「教養教育科目」と「専門教育科目」により構成されている。教養教育科目は教育目標 **E** に対応し、社会の多様な需要や問題を認識するため主題科目を習得し、国際社会の需要に応えるため、英語、数理科学英語及び第2外国語を修得する。専門教育科目は教育目標の **A**、**B**、**C**、**D** に対応し、各年次における科目は以下のように構成されている。1年次の専門基礎科目(微分積分学基礎ⅠとⅡ、線形代数学基礎ⅠとⅡ)、2年次の専門必修科目(微分積分学ⅠとⅡ、線形代数学、代数学基礎、集合・位相ⅠとⅡ)により、数学の基本的な考え及び論理的厳密性を修得する。更に数学の思考力と表現力を身につけるため、微分積分学基礎演習ⅠとⅡ、線形代数学基礎演習ⅠとⅡ、微分積分学演習ⅠとⅡ、線形代数学演習、代数学基礎演習、集合・位相演習ⅠとⅡを修得する。数学の各分野における論理を理解するため、3年次・4年次に開講される専門選択科目を習熟する。4年次においては、数学講究及び卒業研究の勉強を通して、広く社会で活動できるよう、直面する諸問題を正確に理解し解析する力とプレゼンテーション能力を身につける。

カリキュラムの特色

本学科はあらゆる科学技術の基礎となる数学並びにその直近の応用分野である計算機科学を勉強するところです。数学は自然界のさまざまな数理的現象に秘められた普遍的原理及びその現象を支配する関係式を、ねばり強い思考の積み重ねにより類推、発見、更には演繹する科学です。

一年生： 専門科目の基礎となる微分積分学基礎、線形代数学基礎の授業とともに、教養教育科目の大学入門科目を行います。大学入門科目は新入生が数理科学科に馴染むための授業であり、高校数学と大学の数学との橋渡

し講義です。

二年生： 1年次の授業を踏まえ、より専門的な微分積分学、線形代数学の講義を行います。また、現代数学の基礎の1つである集合・位相、代数学基礎も講義します。

三年生： 代数学、幾何学、解析学などの各専門分野の基礎的内容や手法を講義します。

四年生： 数学講究及び卒業研究は本学科生総仕上げの必修科目であり、外国語または日本語による文献を学生主体のセミナー形式で勉強します。

数学がもっと好きになる

私が所属している数理科学科では代数学、幾何学、解析学などの数学の各専門分野を学ぶことができます。4年次では、自分の最も興味のある分野を決定し4年間の集大成として、その分野の研究に取り組みます。高校数学とは一味違った数学を学ぶことができ、数学が好きな人はより数学に興味を持つことができると思います。

また、数理科学科では、数学の教員免許を取得することができるので、教員免許の取得を目指し、かつ、よりレベルの高い数学を専門的に学びたい人にも数理科学科は魅力的だと思います。

多くの先生に学ぶ講義からは、様々な考え方や知識を得られます。自分でじっくり時間をかけて考える習慣が身に付き日常生活の中でも論理的に物事を考えることができるようになりました。

数学に興味があり、もっと専門的に数学を学びたい人や将来数学に携わる仕事がしたいという人は、ぜひ数理科学科に来てください。素晴らしい先生方と共に楽しく数学を学びましょう。

理工学部
数理科学科 3年

赤木 亮介

長崎県立諫早高等学校出身



理工学部
数理科学科

Pick Up!! 取得可能な免許・資格

所定の単位を取得することにより、卒業時に資格が得られるもの

- 中学校教諭一種免許状(数学)
- 高等学校教諭一種免許状(数学)

Pick Up!! 23年度卒業生の就職・進学先

主な就職先

- 教員(非常勤講師含む)
中学校 熊本県 福岡県 神奈川県
高等学校 大分県
- 企業
(株)フェイスグループ
JA 共済連佐賀
(株)ジャパネットタカタ
大川信用金庫

主な進学先

- 九州大学(1名)
- 佐賀大学(8名)



1年次

2年次

3-4年次

4年次

教養教育科目

全学教育科目

- 線形代数学基礎Ⅰ
- 線形代数学基礎Ⅱ
- 微分積分学基礎Ⅰ
- 微分積分学基礎Ⅱ
- 線形代数学基礎演習Ⅰ
- 線形代数学基礎演習Ⅱ
- 微分積分学基礎演習Ⅰ
- 微分積分学基礎演習Ⅱ
- 数理文書作成

- 線形代数学
- 微分積分学Ⅰ
- 微分積分学Ⅱ
- 集合・位相Ⅰ
- 集合・位相Ⅱ
- 代数学基礎
- 線形代数学演習
- 微分積分学演習Ⅰ
- 微分積分学演習Ⅱ
- 集合・位相演習Ⅰ
- 集合・位相演習Ⅱ
- 代数学基礎演習
- 数理科学英語
- プログラミング

- 代数学Ⅰ
- 代数学Ⅱ
- 代数学Ⅲ
- 幾何学Ⅰ
- 幾何学Ⅱ
- 幾何学Ⅲ
- 幾何学Ⅳ
- 解析学Ⅰ
- 解析学Ⅱ
- 微分方程式論Ⅰ
- 微分方程式論Ⅱ
- 複素関数論Ⅰ
- 複素関数論Ⅱ
- 確率解析学
- 数理統計学
- 情報数理学
- 解析学演習
- 微分方程式論演習
- 複素関数論演習

- 数学講究及び卒業研究

専門科目

注目の授業・講義

●微分積分学Ⅰ、Ⅱ

数学、物理を始めとする自然科学の基礎を支える微分積分学について、収束、連続性などの抽象的な概念に慣れることを目標とします。手法としての理解とともに、実数の連続性に基礎を置いた微分積分の論理的な構造を講義します。

●線形代数学

線形代数学は、微分積分学と並んで大学における数学の基礎をなすものであり、現在数学のあらゆる分野において不断に使用されています。この授業ではベクトル空間、一次独立と一次従属、基底、次元、線形写像、固有値問題、行列の対角化などについて講義します。

●集合・位相Ⅰ、Ⅱ

数学は科学における基本的言語の役割を果たします。その文章は、舞台としての「集合」に様々な構造が備わったものの上に綴られます。「位相」はそのような構造を与える最も基本的な概念の一つです。本科目の目的は、集合と位相についての基礎的事柄を修得することにより、現代数学を理解し利用するために必要な読み書き能力を身に着けることです。

●代数学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ

演算や変換、作用の持つ性質を抽象して得られる群、および、加法や乗法などの演算の持つ性質を抽象して得られる環、体の理論を学ぶと共に、そのさまざまな応用例を勉強することによって、数学の面白さと美しさを実感します。

●幾何学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ

微分幾何学の基礎学力を養うため、3次元ユークリッド空間内の曲面論について講義します。特に、曲面の第一基本形式及び第二基本形式、Gauss曲率や平均曲率を学びます。さらに、微分幾何学と位相幾何学を結びつける重要なGauss-Bonnetの定理を証明するために、外微分形式を理解し、Stokesの公式を学習します。最終的にGauss-Bonnetの定理を習得します。

●解析学Ⅰ、Ⅱ

微分積分学ではリーマン積分を学びましたが、更に進んだ現代数学を修めるためには測度論とルベーグ積分論が不可欠です。また、その論理的完結性と多くの応用はそれ自身知的充実感を得るのに十分な材料を提供しています。本講義では、この測度論とルベーグ積分論を講述します。

●微分方程式論Ⅰ、Ⅱ

微分方程式は、数学、物理学、工学などの様々な分野において広く活用されています。この授業では、微分方程式の求積法と解の定性的性質、連立線形常微分方程式の解法、ラプラス変換などについて学習します。

●複素関数論Ⅰ、Ⅱ

複素数とその関数についての微分積分学について講義します。正則関数がコーシー・リーマンの微分方程式を満たすことを示し、コーシーの積分定理を証明します。また孤立特異点と有理型関数についての性質を詳しく学びます。特異点の分類、ローラン展開、留数の計算、及び留数定理を使った定積分の計算を習得します。

●確率解析学

現代の確率論は、Kolmogorovが与えた測度論的構成によって確立されました。本講義もそこでの確率の公理を出発点として話を進めます。これは、高校までの「確率」でしつこくやってきた数え上げの計算などとはあたかも無縁の、無味乾燥のものであるかのように見えますが、確率現象を厳密に考察したり、近似的かつ的確に見積もるためには不可欠なものです。

市川研究室

市川 尚志 教授
専攻 整数論、数論幾何学

当研究室は、自然数や整数の持つ奥深い性質を、代数学・幾何学・解析学など数学の諸分野を広く用いて研究しています。現代において、整数論を用いた公開鍵暗号は、インターネットなどによる個人情報の伝達を安全に行うために、欠かせないものとなっています。学部・大学院のセミナーでは、主に学部3年の代数学の授業に基づく合同式の理論と、RSA暗号など公開鍵暗号への応用を研究します。またより進んだ内容として、楕円曲線、モジュラー形式、基本群など、重要な空間の数論的な性質を表す対象を研究し、ガロア群の構造解析などに応用しています。



梶木屋研究室

梶木屋 龍治 教授
専攻 楕円型偏微分方程式

当研究室は、微分方程式の解法と理論について学んでいます。微分方程式は、数学はもとより、物理学、工学、生物学、経済学などの幅広い分野で応用されています。微分方程式には、1変数関数を扱う常微分方程式、多変数関数を記述する偏微分方程式があります。自然界の様々な物理法則が微分方程式により記述されています。当研究室では、いろいろな微分方程式を解きます。そのための解法を学びます。しかし、多くの微分方程式では具体的に解を表示することができません。このような微分方程式については、その解がどのように振る舞うか、どのような性質を持っているかを調べることがとても重要です。方程式を具体的に解かずに解の性質や方程式の性質を調べます。このゼミでは、微分方程式の解法と解の定性的性質を勉強します。



前田研究室

前田 定廣 教授

微分法を使った幾何学、微分幾何学を専攻しています。特に部分多様体論を研究しています。3次元(ユークリッド)空間ではどこから見てでも丸く見える曲面は、球面と平面しかありません。平面は半径が無限大の球面と考えます。しかし5次元(ユークリッド)空間では、どこから見てでも丸く見える曲面としてペロネーゼ曲面という、平面や球面とは全く異なる曲面があります。空間の次元を上げることにより新しい幾何学が現れます。

宮崎研究室

宮崎 誓 教授

代数方程式で表わされる図形を研究するのが代数幾何学です。高等学校で2次曲線を学習します。円・楕円・放物線・双曲線・3次関数、これらは代数方程式による図形です。図形は幾何学的特徴とともに、もともとの代数方程式の代数的性質も特徴づけられます。ヒルベルトのシジジー定理という20世紀前半の可換環論の基礎に基づいて、射影多様体の研究を続けています。

小林研究室

小林 孝行 教授

21世紀に解決を期待する7つの未解決問題(ミレニアム懸賞問題)の一つ「ナビエ-ストークス方程式」を始め、熱方程式、波動方程式など数理物理に現れる様々な線形および非線形偏微分方程式の数学解析を研究しています。偏微分方程式論を中心に、実解析学、関数解析学的手法を取り入れ、偏微分方程式の最先端の研究を目指しています。

中川研究室

中川 泰宏 教授

偏微分方程式多様体における(幾何学的不変量論の意味での)安定性と定スカラー曲率のケーラー計量の存在との関係(いわゆる「多様体に対する小林・ヒッチン対応」)を主に研究しています。またトーリック多様体におけるケーラーまたはシンプレクティック幾何学にも興味を持っており、いろいろな幾何学的な量をトーリック多様体の場合に計算してみたりしています。

半田研究室

半田 賢司 教授

世の中には確率の言葉でしか述べることができない現象が数多く存在します。その解析は「確率論」と呼ばれる数学の一分野を動機づけ、発展を促してきました。本研究が目指すのは、確率論の道具を整備し活用することにより、自然界や社会で起こるランダムな現象の理解を深めることはもちろんのこと、他の数学の分野へ貢献することも視野に入れています。

日比野研究室

日比野 雄嗣 准教授

専門分野は確率論ですが、「確率論」は高校で習う「確率」と違って、解析の一分野です。つまり、順列組合せではなく微分積分に近い分野なのです。本研究では、過去の情報を基に未来の状態を予測する「予報理論」に関する研究を行っています。最近では、「量子確率論」にも興味を持っています。量子論のほか、グラフ理論、古典的な積分方程式など、様々な分野の手法に関係して研究を進めています。

猿子研究室

猿子 幸弘 講師

断面曲率、放射断面曲率、放射リッチ曲率などの曲率が下から押さえられたリーマン多様体の研究を行っています。また、曲率が下から押さえられたリーマン多様体のGromov-Hausdorff極限空間として現れる特異空間の研究も行っています。研究手法としては、曲率の下限などで測地線の振る舞いを制御し、リーマン多様体の位相や幾何・微分構造、無限遠を研究します。主に使うのは各種の比較定理(測地三角形の比較定理など)です。

岡田研究室

岡田 卓三 講師

いくつかの多項式の共通零点として記述される図形を代数多様体といいます。代数多様体は純粋に代数的に定義されますが、その研究は微分幾何学や数理物理学などといった様々な研究領域と交錯する分野です。代数多様体を荒い意味で分類すること(双有理分類)は代数幾何学における最重要課題の一つです。ファノ多様体やもっと一般に有理連結多様体と呼ばれる代数多様体の双有理分類を目指した研究を行っています。

岩切研究室

岩切 雅英 講師

私の専門は低次元(4次元以下)の位相幾何学です。位相幾何学は、別名「ゴム膜の幾何学」と呼ばれています。ゴム膜を膨らます操作のように図形の連続的な変形で移りあうものを「同じ」とみなすことで、浮き彫りにされた図形の性質を調べることを目的としています。近年では、位相幾何学の重要な対象である結び目を通して、生物・化学などの他分野との関連が深まっています。

Pick Up!! 主な卒業論文テーマ

- 定数係数連立常微分方程式について
- n 次元熱伝導方程式の解法について
- 線形微分方程式について

- Minkowskiの公式について
- 混合ポアソン過程について
- 楕円と双曲線の離心率と焦点について

- ルービックキューブ群の構造
- RSA暗号について
- 合同変換と群

Department of Physics

理工学部 物理学科

宇宙から素粒子まで、
あらゆる物質の現象に潜む
単純で美しい法則性を学び
最先端科学技術の基盤を担う人になる



物理学は、宇宙から私たちの身の回りの物質、物質を構成する原子、さらには素粒子まで、自然の性質や現象の全てを理解しようとする、夢とロマンに満ちた学問です。ニュートンやアインシュタインなどが導いた物理法則を基礎として、現在でもそれらを進展させる研究が行われています。物理科学科では、広範な自然現象を理解する試みを通して、現代の科学技術を支える学力と、柔軟性に富んだ豊かな発想力を培い、広い分野で活躍できる人材を育成することを目指しています。教育課程は、次の 1～7 の教育目標に基づいて構成されています。

- 1 自然現象を理解する取組みを俯瞰する。
- 2 自然を記述する数学と論理表現の技術を学ぶ。
- 3 理工学を支える基礎的な物理学を学習する。
- 4 最先端科学技術の基盤となる物理学を学習する。
- 5 科学の国際性に対応した語学力を養う。
- 6 広範な領域の物理学を発展的に学ぶ。
- 7 輪講や実験活動を通して先端的な物理学を体験する。

カリキュラムの特色

1年次では、「物理学概論」で基礎的な物理学の体系を概観し、物理数学や力学、熱力学といった基礎となる科目を学びます。2年次では、さらに電磁気学を学び始めます。また、「物理学実験」では2人組となって代表的な実験に取り組み、自然が生み出す現象と、それに対する物理学のアプローチに理解を深めます。

3年次になると、私たちには直接見ることのできない原子や分子の世界を説明する、量子力学や統計力学が学習の中心になります。宇宙物理学や相対論、物性物理学な

ど、専門性の高い科目も学ぶことができます。

4年次では、宇宙論や素粒子論、物性実験や高エネルギー実験などの研究室を選択して所属し、それぞれの専門分野で卒業研究を行います。各研究室で最先端研究に触れ、4年間で最も充実した1年間を過ごします。

自分自身の「好き」を見つけよう

大学では高校の物理より専門性の高い物理学の講義や実験科目を受講することができます。専門性が高い分、やはり理解するのはそう容易なことではありません。講義内容を理解するために、教科書と講義ノートを何度も照らし合わせたり、同じ学科に入学したことで「物理学を学ぶ」という共通認識を持つ友人と議論を交わしたりを繰り返すことによって、少しずつ理解する。つまり、自分自身で咀嚼して初めて自分の身になるという当たり前のことの大切さを、私は物理科学科に入学してから痛感させられたのでした。

物理学において、数学は非常に重要なツールです。数学は、いわば物理を語るための言語と言っても過言ではありません。一方で、得意科目は国語、苦手科目は数学の私が、数ある学問のうちで物理学を専攻した理由は、物理の授業がどの教科よりも面白かったからです。皆さんも、それぞれ苦手科目や得意科目があるかもしれませんね。しかし私は「好き」に勝るものは無いと思っています。私の経験上、「苦手」は「好き」で十分補うことが可能だったからです。数学に苦手意識を持つ私にとって物理の道に足を踏み入れることは苦戦の連続でしたが、好きだからこそ今まで楽しく学ぶことができました。

物理に限らず、皆さんが心から「好き」なものに邁進できる進路選択をしてください。

理工学部
物理科学科 3年
吉田 慧河
福岡雙葉高等学校出身



理工学部
物理科学科

Pick Up!! 取得可能な免許・資格

所定の単位を取得することにより、卒業時に資格が得られるもの

- 中学校教諭一種免許状 (理科)
- 高等学校教諭一種免許状 (理科)

Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先

- 東京エレクトロン九州(株)
- イサハヤ電子(株)
- アイム電機工業(株)
- 九州電力(株)
- アズマソーラー(株)
- 佐世保通信システム(株)
- 日鐵運輸(株)
- 佐賀銀行(株)
- 九州労働金庫
- 福岡市役所
- 秦野市役所

主な進学先

- 佐賀大学大学院工学系研究科
- 九州大学大学院
- 佐賀大学大学院教育学研究科
- 早稲田大学大学院



1年次

2年次

3年次

4年次

教養教育科目

全学教育科目

- 物理数学 A
- 物理数学 B
- 物理学演習 A
- 物理学演習 B
- 力学 A
- 力学 B
- 熱力学
- 物理学概論 A
- 物理学概論 B

- 物理数学 C
- 力学 C
- 力学 D
- 電磁気学 I
- 電磁気学 II
- 物理学実験 A
- 波動
- 物理数学 D
- 回路理論

- 電磁気学 III
- 電磁気学 IV
- 量子力学 A
- 量子力学 B
- 統計力学 A
- 統計力学 B
- 科学英語 I
- 物理学実験 B
- 相対論
- 宇宙物理学
- 計算機物理学 A
- 計算機物理学 B
- 物性物理学
- 放射線物理学

- 卒業研究
- 科学英語 II

専門科目

注目の授業・講義

●量子力学 A

原子の大きさ程度よりも小さい長さの領域では、1個の電子が同時に異なる場所に存在し、あたかも広がった波のように振る舞う。この粒子と波の二重性をどのように理解したら良いのだろうか。この答えを探るため、電子がしがたう基礎的な方程式を学び、それに基づいていくつかの力の場合について方程式を解く。このプロセスを通して、通常、ニュートン力学に基づいて理解している粒子の運動との違いを考える。

●宇宙物理学

ビッグバン宇宙論は、宇宙空間の膨張、宇宙背景放射、軽い元素の存在比を自然に説明できる理論で、現代的な宇宙論の基礎となっている。この授業では、変化する空間をどのように記述し、どのような法則に従って変化するかを紹介し、それを現在の観測と照らし合わせて宇宙を満たすエネルギーの中味がきまること、軽い元素の量がどのようにして決まったのかといったビッグバン宇宙論の基本的な内容を学ぶ。

●熱力学

熱力学は熱をいかに効率よく仕事に変換できるかという研究から始まった学問です。熱力学を学ぶことで、多くの粒子からなる物質が少数の物理変数で記述でき、物質の熱に関する物理現象を包括的に理解できるようになります。授業ではエントロピーという新たな変数を導入することで自然界の可逆でない事象が熱の移動の過程と深く結びついていることを学びます。

●物理学実験 A

物理学の基礎分野、特に、力学、熱力学、電磁気学、原子物理学、固体物理学の中の基礎的で重要な実験を行う。例えば、高校の教科書でも登場する重力加速度や万有引力定数、さらにプランク定数等を、先人の素晴らしいアイデアを含んだ方法によって測定する。これらの実験を通して、基礎的な実験技術・統計処理法の習得とともに、物理現象およびその法則性の理解を深める。さらに測定結果について考察し、これをレポートにまとめる力を養う。

●科学英語 I

卒業研究や大学院等で、物理学をより専門的に学ぶには、英語で文献を読む力が必要となる。この授業では、科学(特に物理)に関する英文を題材として、英語の科学文献を読む基礎を身につけていくことを目標とする。また、英文の題材を通し、物理の最先端の話題や、様々な分野にも触れていきたい。さらに、科学に関する英語だけでなく、受講者の英語の総合力の向上も目指す。

●波動

光や音の波は、高校でも学習しますが、「場」(空間そのものに物理的な性質が表れているもの)という考え方をを用いて、あらゆる現象を波動として表し理解する方法を学びます。

●電磁気学 III

現代生活に電気・磁気の利用は欠かせません。磁気による現象は、電気現象よりも古くから不思議な力としてその存在が知られており、羅針盤などで実用化されてきました。電磁気学 III では、磁気現象を主テーマとして、「場」の考えを導入し、磁場が電流によって発生すること、磁場と電流(運動する電荷)の間に力が働くこと、時間的に変動する磁場が起電力(電場)を生じさせることなど、磁気現象の特徴とその法則について、また一見別物にも見えた磁気・電気現象間の関連について学びます。

●物理数学 B

物理学を学ぶためには、微分積分学とベクトル・行列などを扱う線形代数という数学が必要です。特に、物理学の方程式のほとんどが微分方程式であるため、微分積分の知識は必要不可欠です。この授業では、微分積分の基礎的な知識や、関数の極値の問題、多変数の関数の解析の仕方などを学びます。

●統計力学 A

私たちの身の回りの物質は、1cmあたり10²³個もの原子や分子から構成されている。一方で、そのような巨大な数の集団は、たとえば気体の「圧力」のように、その性質を示す物理量で表現することができる。ミクロな要素の集団からマクロな量が現れるのはなぜか、ミクロな視点からみた「熱」の正体など、私たちが実感できる物理の概念を、ミクロな枠組みから説明する。

高エネルギー物理学研究室 素粒子実験(高エネルギー物理)、測定器開発; 杉山 晃 教授

当研究室は、「神の粒子」と呼ばれるヒッグス粒子の精密測定をはじめ、宇宙創成の謎や質量の起源を解き明かすことを目標とする「国際リニアコライダー計画(ILC)」を推進しています。ILC計画は、全長30kmに及び直線の地下トンネルに沢山の(陽)電子加速装置を配置し、一方の端から電子を、反対の端から陽電子(電子の反粒子)を加速し、中央で衝突させる実験です。衝突により作られる高エネルギー状態からは、通常存在し得ない未知の粒子を発生させることも可能になり、それらを調べることで、宇宙の初期に存在したと思われる素粒子の性質を解明することができます。既知のどんな素粒子とも異なるヒッグス粒子の正体や、それによって決められる「真空の構造」、「暗黒物質」の探索など基本的で重要な物理の課題を解明することが期待されます。また、このような測定をおこなうためには、最先端の測定器が必要になります。当研究室では特に、新しい技術を使いガス増幅装置の開発や、シミュレーションによる測定器の設計、評価を進めながら、リニアコライダー実験の始まりに備えています。



素粒子論研究室

米山 博志 教授

物質の究極の最小単位である素粒子の振る舞いを、基礎理論としての場の量子論を用いて研究しています。主に、自然界に存在する基本的な4つの力のうち強い力が関係する、クォークの閉じ込めや質量の起源とも関係したカイラル対称性の破れなどの性質について、有限温度や有限密度の環境下でどのようになるのか、またどのように計算するかなどについて研究しています。

素粒子論研究室

青木 一 准教授

物質は何から構成されているか、それらはどのような相互作用をするか、時空間とは何か、という基本的な問題を解明し、万物の統一理論の構築を目指しています。標準模型が確立して40年が経ちますが、LHC加速器実験でのヒッグスなどに関する結果は、次の素粒子模型へ発展をもたらすでしょう。また重力や時空の理解は21世紀に残された重要な問題です。これは初期宇宙やブラックホールの解明にも不可欠です。

宇宙論研究室

高橋 智 准教授

宇宙はどのように始まり、またどのように現在まで進化してきたのであろうか。宇宙の暗黒物質、暗黒エネルギーの正体は一体何であろうか。宇宙には様々な謎があります。本研究室では、それらの宇宙の謎の解明を目指し、理論的な研究を行っています。

ハドロン物理学研究室

河野 宏明 准教授

物質の基本単位であるクォークは、通常は原子核の構成粒子である陽子や中性子の中に閉じ込められていますが、高温や高密度ではクォークが溶けたクォーク物質が存在すると予想されています。そのようなクォーク物質は天体の内部などに存在すると考えられています。当研究室ではクォーク物質にかかわる理論的研究をしています。

ハドロン物理学研究室

橋 基 准教授

物質を構成する素粒子の一つであるクォークの性質について、理論的立場から研究を行っています。特に最近のテーマは超高温・超高密度でのクォークの振る舞いとその宇宙・天体現象との関わりで、クォークというミクロなものから、宇宙初期の様子や超新星爆発、中性子星、重力波といったマクロな現象をどのように解明するかに関心を持って取り組んでいます。

凝縮系物理学研究室

鄭 旭光 教授

研究テーマは物理学的に面白い新物質の創製と新奇物性の開拓です。物理での研究分野で言うと物性実験ですが、化学的な手法を駆使した新物質合成に片足を置いたところが特徴です。国内外の加速器などの施設(放射光、中性子、ミュオン等)を活用し、新奇物性の研究を行っています。

凝縮系物理学研究室

真木 一 准教授

この世の中には金属になる物質と絶縁体になる物質があります。この理由はバンド理論と呼ばれる理論で明快に説明できます。しかし、実はバンド理論の枠組みを超えて不思議な性質を示す物質がまだまだあるのです。ここでは強い電子間クーロン反発力や結晶構造の低次元性などが重要な役割を果たします。そのような物質の性質を実験的に調べ、物質に多様な性質が生まれる理由をさらに幅広く理解したいと考えています。

量子干渉研究室

平良 豊 教授

物質は多数の原子分子から構成されていることは理解されている。金属の中では原子の中の電子が原子からの束縛を逃れて比較的自由に動き回って大きな伝導性を示すが、電子を入れている入れ物を非常に小さくしていくと電子がもつ本来の奇妙な振る舞い(量子性)を観測できる。極小細線の中の電子の振る舞いの研究に取り組んでいます。

量子干渉研究室

遠藤 隆 教授

量子力学は、粒子が波動のように振る舞ったり、異なった状態が同時に重ね合わされたり、常識では理解できない不思議な現象を予言しています。この問題を、基礎に立ち返って考え直すとともに、実験によって検証する方法を考えたり、シミュレーションを行ったりしています。

Pick Up!! 主な卒業論文テーマ

- シュバルツシルトブラックホール、カーブラックホールについて
- インフレーション宇宙、観測によるインフレーション模型の検証
- ビッグバン宇宙論と宇宙背景放射
- ビッグバン元素合成、軽元素の存在比の計算
- ダークマターの存在の証拠、及びダークマターの候補について
- 宇宙線ミュオン粒子の天頂角測定
- ガス増幅を用いた粒子測定器の開発
- クォーク物質の相転移と宇宙初期の状態
- 超高密度天体の質量・半径の関係と状態方程式
- 場の量子論における摂動論について
- 場の理論の経路積分による量子化
- LHC実験とヒッグス・ポータル
- 時空と非平衡現象の統一的理解
- 低次元導体の単結晶育成と電気的性質の研究
- 酸化物高温超伝導体における不純物混入の影響
- 新奇量子磁性物質の創製と物性解明
- マルチフェロ物質の開発
- 金属絶縁体転移に現れるナノサイズ効果
- ナノ結晶を利用した磁気抵抗素子の開発
- カーボンナノチューブの発光
- カーボンナノチューブの電気伝導
- 電子線干渉実験のための電子線ビームスプリッタの開発
- 極小細線の伝導電子の振る舞い
- 量子力学の電子回路によるシミュレーション

教 員 紹 介

青木 一 准教授

素粒子物理、理論物理、超弦理論、場の理論

石渡 洋一 准教授

物性実験、ナノ結晶合成、放射光分光

遠藤 隆 教授

シュレディンガーの猫

岡山 泰 准教授

高圧下物性測定

河野 宏明 准教授

原子核理論、陽子、中性子、中間子、クォーク

杉山 晃 教授

素粒子実験(高エネルギー物理)、測定器開発

鄭 旭光 教授

固体物理学、磁性、ナノ物理、強相関物性

高橋 智 准教授

初期宇宙、インフレーション宇宙、宇宙の暗黒成分

橋 基 准教授

粒子理論、超高密度天体、重力波

平良 豊 教授

物性実験、量子的干渉

船久保公一 教授

初期宇宙、素粒子、物質の起源

真木 一 准教授

物性実験、超伝導、強相関物性、低次元物性

米山 博志 教授

素粒子論、場の量子論、格子場の理論

理工学部 知能情報システム学科

- ★高度情報社会は、スマートフォン、インターネット、ソーシャルメディア、人工知能、ビッグデータなど、創造や発見のチャンスに満ちています
- ★本学科では、これからの高度情報社会を創造する技術者を育成します
- ★質が保証された学力を備えて社会に出よう



情報科学及び情報工学の学問領域における専門知識・能力及び広い視野を持ち、知識基盤社会を担う人材を育成することとし、次の目標を設定します。

- A** 情報システムが社会の様々な分野に及ぼす影響を総合的に理解する能力を育成し、情報技術者としての責任を自覚させます。
- B** 各種の情報システムの原理や構造を理解し、その設計および実装を効果的かつ系統的に行う能力を育成します。
- C** コンピュータサイエンスを理解し、それを応用する能力を育成します。
- D** 情報システムに関連する、数学および自然科学を中心とした理工学の基礎を習得し、それらを応用する能力を育成します。
- E** 日本語での文書作成および口頭発表を通じて正確かつ論理的に情報を伝えるとともに、効果的な討論を行うコミュニケーション能力を育成します。また、英語による文書作成に関する基礎能力を育成します。
- F** 与えられた課題を解決するために、日本語および英語で書かれた情報の収集、必要な知識の獲得、計画の立案、自主的かつ継続的な計画推進の各能力を育成します。

カリキュラムの特色

知能情報システム学科のカリキュラムは、情報技術者として必要なさまざまな知識や能力を修得することができるようにデザインされており、実施されている授業の目標は、

- (1) コンピュータのしくみの理解
- (2) プログラミングの習熟
- (3) 情報技術のさまざまな応用の修得
- (4) 現実に起こる事象をコンピュータ上でモデリングするために不可欠な数学や自然科学の理解

- (5) 日本語や英語での技術文章の読み書き、プレゼンテーションといったコミュニケーション技術の習熟
 - (6) 情報技術者としての倫理観の形成
 - (7) 問題発見と問題解決の能力の開発
- など多岐にわたっています。

当学科のカリキュラムは、第三者機関である JABEE (日本技術者教育認定機構) の認定を受けています。

IT (情報技術) で社会に革命を起こす

みなさんは携帯電話を持っていますか？

携帯電話はどこからでも話ができ、音楽も聞くことができます。さらに言えば、インターネットで世界から色々な情報を得ることもできます。

これらが実現できている理由、それはこれらを創り出し、そして発展させる人たちがいるからです。

私の所属している智能情報システム学科では、高度情報化社会を支える情報技術(IT)の基礎理論から応用技術までを学ぶことができます。

コンピュータの歴史はもちろん、新しく出た Windows 8 といった OS (オペレーティングシステム) の知識や、C++ や Java といったプログラミング言語などを学んでいきます。

また、現代の高度な技術の基礎となる線形代数や解析学、統計といった幅広い数学の分野も学んでいきます。

今や携帯電話、特にスマートフォンに至っては、様々なアプリがみなさんの生活を支えています。そのようなアプリといったソフトウェアを、効率よく開発するにはどのような手段・方法を取ればよいのか、気になったりしませんか？

次世代の IT 社会を担うのはみなさんです。智能情報システム学科に入って、社会に革命を起こしてみませんか？

理工学部
智能情報システム学科 3年

神近 剛明

佐賀龍谷高等学校出身



理工学部 / 智能情報システム学科

Pick Up!! 取得可能な免許・資格

所定の単位を取得することにより、卒業時に資格が得られるもの

- 中学校教諭一種免許状 (数学)
- 高等学校教諭一種免許状 (数学)
- 高等学校教諭一種免許状 (情報)
- 技術士補

Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先

- 日本電気 (株) (NEC)
- (株)九州東芝エンジニアリング
- (株)富士通九州システムズ
- (株)東京エレクトロン九州
- 佐銀コンピュータサービス (株)
- 九電ビジネスソリューションズ (株)
- 長崎キャノン (株)
- トヨタ車体 (株)
- (株)NTTドコモ
- ヤフー (株)
- (株)佐賀電算センター
- (株)アルプス技研
- (株)エクシード
- (株)オブティム
- (株)RKK コンピュータサービス
- 九州通信ネットワーク (株)
- 佐賀県警
- 基山町役場

主な進学先

- 佐賀大学大学院工学系研究科 (20名)
- 長崎大学大学院教育学研究科 (1名)



卒業単位	卒業論文
127	必修

1年次	2年次	3年次	4年次
-----	-----	-----	-----

全学教育科目

<p>教養教育科目</p> <p>専門教育科目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●情報数理Ⅰ ●情報数理Ⅱ ●プログラミング概論Ⅰ ●プログラミング演習Ⅰ ●線形数学Ⅰ ●線形数学Ⅱ ●基礎解析Ⅰ ●基礎解析Ⅱ ●論理設計 ●計算機アーキテクチャ ●技術文書作成 	<ul style="list-style-type: none"> ●プログラミング概論Ⅱ ●プログラミング演習Ⅱ ●工業数学Ⅰ ●工業数学Ⅱ ●情報理論 ●データ構造とアルゴリズム ●確率統計 ●ソフトウェア工学 ●オブジェクト指向開発 ●データベース ●形式言語とオートマトン ●ハードウェア実験 ●応用線形数学 ●情報代数と符号理論 ●コンピュータグラフィックス ●記号論理学 	<ul style="list-style-type: none"> ●オペレーティングシステム ●情報ネットワーク ●科学英語Ⅰ ●科学英語Ⅱ ●情報社会と倫理 ●情報システム実験 ●システム開発実験 ●情報ネットワーク実験 ●シミュレーション実験 ●プログラム言語論 ●数値解析 ●グラフと組合せ ●信号処理 ●人工知能 ●コンパイラ ●情報と職業 ●画像情報処理 ●モデリングとシミュレーション 	<ul style="list-style-type: none"> ●卒業研究 ●情報学特別講義
-----------------------------	---	--	--	---

注目の授業・講義

●プログラミング概論・演習

コンピュータを動かすためのプログラム(C++言語)を勉強します。毎回、概論(講義形式)の時間にプログラムを理解した後、演習の時間に、自分のノートPCを用いて実際にプログラムを作成し、動かします。

●データ構造とアルゴリズム

コンピュータにデータを格納させるしくみを「データ構造」、問題を解かせる手順を「アルゴリズム」といいます。本講義では、データ構造とアルゴリズムに関する基本知識を学び、優れたプログラム開発に応用できるようにします。

●人工知能

人間の知的活動をコンピュータで実現する「人工知能」の基礎知識を学びます。推論を実現する導出のしくみや、導出を計算機に実現する論理プログラミング、人工知能が対象とする領域に関する知識の表現について学習します。

●計算機アーキテクチャ

コンピュータの構造、コンピュータの内部での数値や音声、画像データの表現方法、プログラムを動かした時のコンピュータ内部での動き、ディスク、プリンタやCDやDVDといった周辺機器のしくみについて学びます。

●ソフトウェア工学

数百万行以上の規模を持つ現代の大規模ソフトウェアを、系統的に企画・開発・検証する技術を身につけます。ソフトウェア工学は、ソフトウェア開発者だけでなく、ソフトウェア開発の委託者にとっても必須技術です。

●ハードウェア実験

Z80ワンボードマイコンのタイミングチャートの観測や回路図を読むことにより、マイクロコンピュータの基本原理解の基礎を学びます。また、ハンドアセンブルで機械語のプログラムを作成し、実行とデバッグを行います。

●情報理論

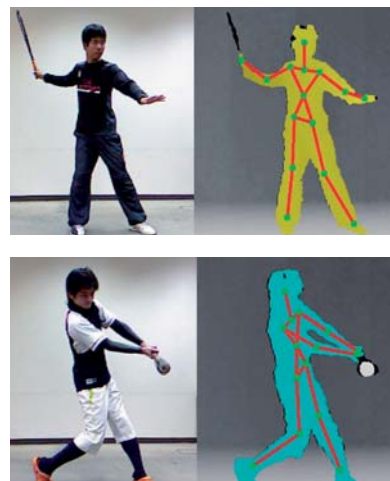
確率論という数学的手法を用いて情報とは何かを考えます。情報量、情報の符号化法、高信頼情報伝送を実現するための通信路符号化、通信路容量、アナログ信号のデジタル変換法など、コンピュータ科学の基礎となる理論を学びます。

●情報ネットワーク

情報ネットワークを支える基礎技術である通信プロトコルの学習、具体的にはインターネットプロトコルの学習を通じて、情報ネットワーク全般に関する学習を行います。実験を併せて行うことで、理解を深めます。

●情報数理

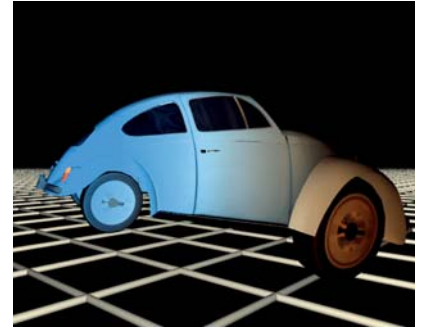
数と式の表示と法則、集合と論理、様々な証明法、初等関数、数列の収束、関数の連続性など、知能情報システム学を学習するために必要な数理・数学の基礎理論を学びます。



第1研究グループ 林田 行雄 教授、山下 義行 教授、松前 進 教授、 中山 功一 准教授、杉町 信行 助教

キーワード:ネットワーク、プロトコル、コンパイラ、コード最適化、並列分散コンピューティング、創発、最適化

- ・情報ネットワークプロトコルの性能評価に関する研究:インターネットで利用されている TCP や UDP をベースとした次世代プロトコルの開発を目指した研究を行っています。インターネットの利用活用に関する研究も行っています。
- ・コンピュータ上で様々な処理を高速に行うためのソフトウェアの構築法を研究しています。具体的にはプログラミング言語処理系の開発、高性能並列処理プログラムの開発を行っています。
- ・コンピュータに問題を効率良く解かせるためのソフトウェアの構築法を研究しています。具体的にはプログラミング言語処理系の開発、高性能並列処理プログラムの開発を行っています。
- ・「知能を創る」のではなく「知能を生み出す仕組みを創る」研究をしています。生き物の進化の仕組み/成長(学習)の仕組みをコンピュータでシミュレートし、システムが勝手に賢くなる新しい仕組みを目指しています。



第2研究グループ

上原 健 教授、皆本 晃弥 教授、廣友 雅徳 准教授、前田 明子 助教

キーワード:精度保証付き数値計算、画像・信号処理、誤り訂正符号、整数論と暗号理論

- ・情報通信においてノイズによる誤りが発生するとき、受信情報に含まれる誤りを除去する技術があります。その技術の基礎理論である誤り訂正符号の理論について、誤り訂正符号の代数的構成法を研究しています。
- ・数学を利用して、画像や音楽へ第三者に分からないような情報を埋め込む電子透かし技術やノイズ除去法などを開発しています。また、いろいろな方程式をコンピュータで解くための方法も開発しています。

第3研究グループ

渡邊 義明 教授、掛下 哲郎 准教授、大月 美佳 講師、山口 暢彦 助教

キーワード:ネットワーク利用管理、組み合わせ最適化手法、情報サービス、ソフトウェア、データベース、情報専門教育、データ可視化

- ・快適かつ安全なネットワーク利用を実現するためのシステム開発
- ・自然界の仕組みにヒントを得た各種の最適化方法の開発
- ・ソフトウェアの理解容易性を高めるための技術、ソフトウェアツールの企画・開発
- ・大量のデータを系統的に整理するための技術およびソフトウェアの企画・開発
- ・情報専門教育の成果と社会の要求の関連を明確化するための調査研究
- ・時系列データにおける状態推移の可視化に関する研究

第4研究グループ

新井 康平 教授、奥村 浩 准教授

キーワード:情報技術の産業、環境への応用、リモートセンシング、画像処理

- ・情報技術の農林水産、健康福祉介護、防災環境監視等への応用研究を行っています。視覚正常の障害者が情報技術の恩恵を受けられるような視線によるコンピュータ入力、優良茶園、有害赤潮の衛星によるモニタ、環境防災衛星を開発しています。
- ・衛星画像やセンサのデータを用いた地球環境のリモートセンシング(遠隔計測)、医用画像を用いたコンピュータ自動診断、人間の視覚シミュレータや特異色覚者用の色覚認識支援システムの開発といった画像関連の研究を行っています。

第5研究グループ

岡崎 泰久 准教授

キーワード:教育システム、インターネット、複雑系

- ・コンピュータやスマートフォンなどの情報通信技術(ICT)を活用して、学習支援を行うシステムに関する研究を行っています。新しい技術を積極的に取り入れ、新しい学びを提案することを目指しています。
- ・ネットワークアプリケーション、インターネット運用管理技術、次世代インターネット応用技術の研究を行っています。研究成果を実際に利用することを指向し、実践的な開発を進めています。
- ・自然や社会等に現れる複雑なパターンや現象を、統計学的観点から理解することを目指した研究を行っています。特に、交通流やネットワーク構造に注目し、理論、シミュレーション、実験を行っています。

Pick Up!! 主な卒業論文テーマ

- パターン照合を用いた病床自動割り当てシステム
- 学習可能な自由結合ネットワークの構築
- PS3 上の並列 CG プログラムにおける動的負荷分散
- PS3 上での画像バッファへの描画データの DMA 転送
- 多変数公開鍵暗号の構成
- 離散値による積和アルゴリズム復号法の計算
- 特異値分解を利用したデジタル画像への電子透かし
- WTMM を利用したデジタル画像のノイズ除去
- iPhone を用いた大学内の擬似 Street View アプリ
- プログラミングレポートのオンライン添削ツール
- Web カメラを用いた 3 次元位置取得の方法検討
- PDFドキュメント添削ツール GABA 2 の評価と改良
- 球面 SOMM を用いたデータの可視化
- 演習支援システムでの自動テスト結果表示ツール
- マイクロ波熱赤外放射形を併用する海面温度推定
- 時間次元カービングによる動画データ圧縮方法
- ウェブレットによる画像検索
- 脳波センサを用いた心理効果解析システムの試作
- USB カメラを用いた異常縮瞳時視認画像
- コメント機能追加による i アプリ食育学習システム
- Android を利用した地形図学習支援システムの開発
- 無線 LAN 利用者情報表示の Android アプリ開発
- ボードゲームによる電子マネー体験システム
- 学習と記憶の想起を表現する脳機能の物理モデル

教 員 紹 介

林田 行雄 教授
情報ネットワーク
山下 義行 教授
プログラム言語
上原 健 教授
代数的符号理論
渡邊 義明 教授
神経回路網
新井 康平 教授
情報認識/理解/最適化等手法論
松前 進 教授
並列分散アルゴリズム
皆本 晃弥 教授
精度保証付き数値計算、非線形解析
中山 功一 准教授
創発システム、最適化手法

掛下 哲郎 准教授
データベース、ソフトウェア工学
奥村 浩 准教授
リモートセンシング、画像処理
岡崎 泰久 准教授
知的教育システム、インターネットと教育
廣友 雅徳 准教授
符号暗号理論
大月 美佳 講師
ソフトウェア工学、オブジェクト指向、遠隔教育
杉町 信行 助教
コンピュータネットワーク
前田 明子 助教
コンピュータネットワーク
山口 暢彦 助教
パターン認識、機械学習



理工学部 機能物質化学科

幅広い知識を備えた
科学・技術者を目指して
現代社会の
科学技術の先端を担う



機能物質化学科は、基礎化学から応用化学までの幅広い知識を身につけることで、エネルギー問題や環境問題を克服した豊かな地域社会・国際社会を構築していくための実践力を養い、化学を通して継続的に社会に貢献できる人間を育成することを目標としています。この目標を達成するために、広範な視点を持つ人材を育成するための「物質化学コース」と化学技術者を目指した「機能材料化学コース」の2つの教育プログラムを置き、以下の教育目標を定めています。

物質化学コース

- A** 基礎化学から応用化学までの幅広い知識と実践力を修得し、化学を通して社会に役立つ能力を身につける。
- B** 幅広い教養に裏付けられた広範な視点をもつ化学者としての能力を身につける。
- C** 情報技術、プレゼンテーション、コミュニケーション能力を養い、自主的に仕事を計画、実行、総括する能力を身につける。

機能材料化学コース

- A** 基礎化学から応用化学までの幅広い知識と実践力を修得し、自立した化学技術者としての能力を身につける。
- B** 幅広い教養に裏付けられた広範な視点をもつ化学技術者としての能力を身につける。
- C** 情報技術、プレゼンテーション、コミュニケーション能力を養い、自主的に仕事を計画、実行、総括する能力を身につける。

カリキュラムの特色

機能物質化学科では、化学を基礎とし、エレクトロニクスやバイオなどの先端材料、資源のリサイクルや環境の浄化などに関する教育・研究を行っています。

1年次は、すべての学生が同一カリキュラムで基礎科目を学習するとともに、「課題研究」を行って化学への親しみを育みます。2年次に希望コースを選択し、それぞれ独立したカリキュラムに従った履修が始まります。

学術教育プログラムである「物質化学コース」では、幅広い知識を習得し、理科教員などの専門的な個性を伸ばすことができます。一方、技術者教育プログラムである

「機能材料化学コース」は、JABEE(日本技術者教育認定機構)認定を取得している国際的に学力保証された教育プログラムで、基礎から応用にわたる化学の知識を習得し、社会の要請に応え得る実践力を身につけることができます。

4年次では教員指導の下に、これまでの知識と技術を活かし、新原理の発見、新しい機能材料の合成、環境問題の解決など学問や社会の発展に貢献できる卒業研究を行います。

化学の知識を身につけて 化粧品を開発する仕事がしたい。

私は機能物質化学科に所属して化学について詳しく学んでいます。佐賀大学の機能物質化学科は機能材料の構造と特性、有機化合物の新合成法と構造の研究などと幅広い分野で最先端の研究に取り組んでいます。ここでは、化粧品の開発には欠かせない知識や技術を学べるので、私は、この学科を志望しました。

授業では専門的に化学を基礎から応用まで勉強し、多くの実験を行っています。高校のときと比べて実験の内容はとて深く、また様々な分野の実験があります。まだ授業では習っていない実験も多くあるので文献などで知識を深めたりします。また、レポートを作成する際は友達と意見を交換し合ったり質問しあったりして最終的に自分の考えをまとめていきます。

私は京都出身なので大学の近くで部屋を借りて一人暮らしをしています。佐賀はとて過ごしやすく、たとえば福岡に電車やバスですぐに行くことができます。また時間を有意義に過ごそうと思い、土日など空いた時間にはアルバイトもしています。

勉強も頑張りつつ社会勉強にも励むことができるような充実した大学生活をこれからも送っていきたいと思います。

理工学部
機能物質化学科 2年

中森 晴香

京都市立堀川高等学校出身

理工学部
機能物質化学科

Pick Up!! 取得可能な免許・資格

所定の単位を取得することにより、
卒業時に資格が得られるもの

- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(工業)
- 技術士補(機能材料化学コースのみ)
- 毒劇物取扱者

試験に必要な科目の単位を取得し

卒業後の実務経験後、受験資格が得られるもの、
受験が有利になるもの

- 危険物取扱者(甲種)
- 消防設備士(甲種)
- 火薬類保安責任者
- 発破技師
- 第一種および第二種作業環境測定士
- 第一種および第二種衛生管理者
- ガス溶接作業主任者
- 労働衛生コンサルタント

Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先

- 九州旅客鉄道(JR九州)株式会社
- 旭化成ファーマ株式会社
- 大分キャンノンマテリアル株式会社
- 株式会社ヨコハマタイヤジャパン
- 株式会社日本ハムグループ
- ヤマハ熊本プロダクツ株式会社
- 株式会社川崎技研
- 株式会社ムーンスター
- 富田薬品株式会社
- 株式会社ゼンショー
- 不二ライトメタル株式会社
- 田中鉄工株式会社
- 株式会社戸上電機製作所
- 株式会社メイテックフィルダース
- 株式会社えがお
- 株式会社川本製作所(川本ポンプ)
- 日進化学株式会社
- 八洲産業株式会社
- 株式会社メディア プライス
- 株式会社アクアパス
- 株式会社ジエイデバイス
- 株式会社アクタ
- 柳商学園 柳川高等学校
- 法務省専門職員
- 周防大島町役場
- 杵藤地区広域市町村圏組合消防

主な進学先

- 佐賀大学大学院工学系研究科(34名)
- 九州大学大学院(3名)
- 各種専門学校(4名)



卒業単位	卒業論文
124	必修

1年次	2年次	3年次	4年次
-----	-----	-----	-----

全学教育科目

教養教育科目 共通基盤科目 ●微分積分学基礎Ⅰ ●基礎電磁気学 ●線型代数学基礎Ⅰ ●微分積分学基礎Ⅱ ●基礎力学				
	●化学基礎Ⅰ及び演習 ●化学基礎Ⅱ及び演習 ●化学基礎Ⅲ及び演習 ●化学基礎Ⅳ及び演習 ●基礎化学実験Ⅰ ●基礎化学実験Ⅱ	●機能物質化学実験Ⅰ ●基礎分析化学 ●機能物質化学実験Ⅱ ●化学工学基礎Ⅰ ●無機化学Ⅰ ●材料分析化学 ●錯体物性化学 ●固体科学 ●有機化学Ⅰ ●有機反応化学Ⅰ ●構造生物化学 ●化学熱力学Ⅰ ●量子化学Ⅰ ●量子化学Ⅱ	●機能物質化学実験Ⅲ ●有機金属化学Ⅱ ●機能物質化学実験Ⅳ ●高分子物性化学 ●科学英語Ⅰ ●化学熱力学Ⅱ ●科学英語Ⅱ ●分子分光 ●無機化学Ⅱ ●統計熱力学 ●錯体物性化学 ●構造化学 ●電子材料工学 ●分離化学 ●セラミックス工学 ●物質循環化学 ●機能物質化学特講Ⅰ ●溶液物理化学 ●機能有機化学Ⅰ ●化学工学基礎Ⅱ ●有機金属化学Ⅰ など	●卒業研究 ●技術英語Ⅰ ●技術英語Ⅱ
物質化学コース 機能材料化学コース	●機能物質化学実験Ⅰ ●物理化学Ⅰ ●機能物質化学実験Ⅱ ●物理化学Ⅱ ●無機化学 ●化学工学Ⅰ ●応用無機化学 ●分離分析化学 ●有機化学 ●機器分析化学 ●応用有機化学	●機能物質化学実験Ⅲ ●高分子化学 ●機能物質化学実験Ⅳ ●応用物理化学 ●科学英語Ⅰ ●化学工学Ⅱ ●科学英語Ⅱ ●分離工学 ●無機材料科学 ●反応工学 ●無機材料工学 ●環境化学 ●生物化学	●卒業研究 ●技術英語Ⅰ ●技術英語Ⅱ ●化学技術者倫理 ●知的財産権法	

注目の授業・講義

●錯体物性化学

錯体あるいは配位化合物とは、「中心の原子あるいはイオンに、いくつかのイオンや分子が配位結合している化合物」のことです。配位化合物は、化学工業や生命現象において重要な役割を演じています。これら一群の化合物について、電子状態と配位化合物特有の物理化学的性質や立体構造について学びます。

●生物化学

この授業では生物の基本単位である細胞の基本構造と生体を構成する物質の化学構造と性質を学習します。私達の体はちいさな細胞の集まりです。この細胞の仕組みとそれをつくる生物物質を学習し、体の構造と機能を理解することが目的です。また、より高機能の生体材料の開発を目的として、アミノ酸・タンパク質、DNAとRNA、糖質、脂質など生体物質の構造と機能を学習します。

●溶液物理化学

私たちは、多くの化学現象を利用して様々な機能を実現し、生活を豊かにしています。これらの化学現象の多くは溶液、特に水溶液中で生じています。この講義では、これまでに学んできた物理化学の基礎にもとづいて、様々な現象のエネルギー的側面や現象を引き起こす原因である電氣的相互作用と熱運動との関係などを理解し、これらの化学現象が生じる溶液系のさまざまな物性を総合的に捉える方法を学びます。

●無機材料工学

無機(セラミック)材料の製造に係る基礎を講義しています。具体的な内容は、①セラミックスの性質と一般的製造法、②状態図を利用した凍結乾燥法(無機粉末の作製)や帯溶融法(宝石の製造)、③無機粉末の熱分解反応および固体反応(着火素子用材料の合成)、④薄膜作製法(硬い金色膜の製造)、⑤単結晶の作製法(半導体シリコンウエハーの製造)、⑥無機粉末の焼結(各種セラミック製品の製造)、などです。

●高分子物性化学

スーパーやコンビニで利用されるレジ袋、ペットボトル、タイヤ、衣料繊維等々、私たちの身近にある物の多くが、千個以上の原子がつながった大きな分子、高分子からできています。「高分子物性化学」は、高分子の形や、それらが集合した高分子材料が金属等とは異なる独特な性質を生じる原理を学び、理解する科目です。

●反応工学

化学反応には1次反応、2次反応、可逆反応、併発反応、逐次反応などさまざまな種類があります。本講義の前半では、種分法や微分法を用いてこれら化学反応の反応速度に関する反応次数や反応速度定数を決定し、解析することを目的としています。また、後半では反応速度解析を応用し、企業の工場などで利用されるさまざまな反応器を用いた場合の反応物の物質収支について講義し、反応器設計に役立てることを目的としています。

●有機化学

有機化学は、有機化合物を扱う学問です。有機化合物は炭素を含む化合物で、天然物だけではなく、人工的に作られている材料のかなりの割合を占めています。講義では、有機化合物の合成方法(有機合成)、有機化合物の反応の仕組み(反応機構)、有機化合物の性質などを学びます。また、有機化合物の基礎のみならず(理学的側面)、それらに応用した材料の基礎についても修得できるよう(工学的側面)に講義を進めていきます。

●量子化学Ⅰ

皆さんは、2個の水素原子(H)が衝突すると、なぜ水素分子(H₂)ができるか理由が分かりますか?一方で、2個のヘリウム原子(He)が衝突してもヘリウム分子(He₂)はできません。なぜか分かりますか?この問題は簡単なようで、実は科学者を100年以上も悩まし続けてきた難問でした。これに対する答えを最初に見つけたのは、ハイラーとロンドンという二人の科学者でした。彼らは当時できあがって間もない量子力学という学問を使って、理由を明らかにしたのです。量子化学Ⅰでは、そのような量子力学の基礎を勉強します。

●環境化学

地球温暖化、資源エネルギー、人工化学物質など、多様な地球環境問題を理解するために、地球環境を化学的観点から解説します。環境化学の講義では、気圏、地圏、水圏、それぞれの場の物質循環を理解したうえで、地球全体の物質循環のメカニズムを総合的に学びます。地球は生命を育てていますが、生命自身が地球環境を巧みに制御していることが判ってきました。このシステムを理解し、更に制御するための基本的考え方を学びます。

蓄電材料研究室

野口 英行 教授、中村 博吉 准教授、磯野 健一 助教
専攻/無機化学、電気化学、電子材料工学

当研究室は地球環境にやさしいリチウムイオン電池やキャパシタ等のエネルギー関連材料の研究を行っています。リチウムイオン電池は携帯電話やノートパソコンの電源であり、1991年発売以来急激に需要が伸びているエネルギーデバイスです。また、近年は電気自動車の電源として期待され、電池の大型化が進められているに伴いコスト・環境・安全性などが要求されています。研究内容は、現在主に使用されている電極材料の代替材料の創成です。たとえば正極材料ではCo系酸化物からLi-Mn-Ni-Co固溶体系・LiMn₂O₄・LiFePO₄といったMn、Fe、Ni、Coなどの酸化物、負極材料ではグラファイトからSiやSnとLiの合金・Ti酸化物など燃えにくい材料への転換を進めています。また、電解液も同様に開発に取り組んでおり、電極表面での電解液の分解抑制や燃えにくい機能性電解液の開発を行っています。そのほかにはハイブリッドキャパシタやグラフェンオキシドの応用技術の研究をしています。

有機化学研究室

北村 二雄 教授

ノーベル賞を受賞された鈴木先生や根岸先生のクロスカップリング反応のようなパラジウムなどの金属触媒を使って、医薬・農薬等の合成に役立つ反応の開発を行っています。炭化水素化合物を直接合成原料に用いる触媒反応を開発することにより、環境に優しい、グリーンケミストリーを目指しています。また、日本は世界第2位のヨウ素産出国であることを知っていますか？このヨウ素を利用した新しい合成反応も研究しています。

環境化学研究室

宮島 徹 教授

今日、正確に地球の物質循環のプロセスを理解し、これを精密に制御することが求められるようになっていきます。私達の生きる基盤である「水環境」や「土壌環境」の物質循環はその場の微生物活動によって制御されていますが、最近、極微量の鉄イオンが大きな役割を演じていることがわかってきました。私たちはそのメカニズムを詳細に研究し、鉄イオンによる「水環境」や「土壌環境」の精密な制御技術を確立することを目指しています。

有機合成化学研究室

竹下 道範 准教授

光によって動く分子の研究をしています。例えば、超高密度光記録材料として、光照射によって可逆的に構造が変わるとともに色が変化する「フォトリソリズム」を示す有機化合物や、その特性を生かした、光によって動く「分子機械」や「ナノマシーン」の開発を行っています。研究は、コンピューター等を用いた化合物の設計、化合物の有機合成、スペクトル測定などを用いた化合物の評価のように進めています。

錯体化学研究室

鯉川 雅之 教授

我々が普段目にする磁石は、ナノサイズまで小さくしていくと磁力のもととなる原子間の相互作用が少なくなるため磁気特性が失われてしまいますが、ある種の金属錯体は分子サイズで磁石として振舞う「単分子磁石」の性質を示すことが見出されています。このような単分子磁石は、次世代の技術である量子コンピューターや量子メモリへの応用が期待されており、私たちは磁気特性の優れた単分子磁石の開発に取り組んでいます。

化学工学研究室

大渡啓介 教授、川喜田 英孝 准教授、森貞 真太郎 准教授

より良い製品を作ったり、材料の機能を引き出したたり、効率よく化学反応を起こすためには原料物質の高純度化が不可欠です。つまり、物質の分離精製プロセスが重要となります。私たちは、化学工学や分離工学、および合成化学の手法を駆使することで、新規分離剤の開発と高効率な分離精製プロセスの実現を目指して研究活動を行っています。

セラミックス工学研究室

矢田 光徳 准教授

セラミックスのかたちをナノメートル(nm)の大きさで制御して新しい機能を発現させる研究を行っています。1nmとは10億分の1mのことを言いますが、nmの大きさのセラミックスは、私たちが直接目で見る事ができるcmやmmの大きさのセラミックスとは異なる性質を示します。私たちは「ナノ」セラミックスの医療材料や発光材料や触媒材料等の高機能材料への応用を目指しています。

物理化学研究室

海野 雅司 准教授

私たちの身体のなかで重要な働きをしているタンパク質などの生体分子の機能は分子構造のわずかな違いで変化します。私たちの研究室では生体分子のわずかな構造の違いを「見る」ことができるラマン円偏光二色性分光装置を独自に開発し、作った装置を用いてさまざまな生体分子の構造を調べています。

Pick Up!! 主な卒業論文テーマ

- リチウムイオン電池用正極負極材料の開発
- 新規電気二重層キャパシタの開発
- 蛍光性チアラックス[4]アレーンの合成
- 新規モノフルオロビニル化合物の合成と反応
- 単分子膜によるペロブスカイト構造の形成
- イオン性界面活性剤と腐植物質の会合挙動
- ホウキ分子によるホルムアルデヒドの除去
- クリーク底泥の安全性及び有効性

- チタン酸ナトリウムナノ構造体薄膜の合成
- 分子磁石の性質を有する四核金属錯体の合成
- ウレアーゼ様ペプチド合成と好中球遊走活性
- ポリヨウ素化合物の簡便合成
- ポリマーセルによるエコ色素の安定化
- ペリレン誘導体の電気特性の評価
- イミダゾリウム系イオン液体と分子性液体
- リチウムイオン選択性電極の開発

- Ca-Sr-Eu-Nd-O系蓄光体の製造と特性
- 光学活性S架橋複核錯体の立体特異的集積化
- エナンチオ特異的フォトリソミック反応
- HDAC 1-SIRT 1阻害ペプチド創成
- 紫外共鳴ラマン分光装置の開発
- 糖応答性マイクロカプセルの薬剤放出
- Zr-SOJRのリン吸収・脱着と回収
- フェノール誘導体の重合および金属吸着

教 員 紹 介

大石 祐司 教授

有機凝縮系、構造解析、走査プローブ顕微鏡

大渡 啓介 教授

イオン認識、レアメタルリサイクル、分離剤合成

北村 二雄 教授

有機合成化学、有機ヘテロ元素化学、グリーンケミストリー

鯉川 雅之 教授

錯体化学、磁気化学、生物無機

兒玉 浩明 教授

生物化学、ペプチド化学、分子薬理学

高椋 利幸 教授

溶液化学、溶液錯体化学、X線・中性子散乱

滝澤 登 教授

溶液物理化学、コロイド化学、両親媒性物質

中島 謙一 教授

光化学、分子分光学、高分子コロイド

野口 英行 教授

セラミックス、電池材料、リチウム

花本 猛士 教授

有機化学、有機フッ素化学、含フッ素複素環化学

宮島 徹 教授

腐植物質、イオン反応、水環境

大和 武彦 教授

有機合成化学、構造有機化学、超分子化学

渡 孝則 教授

セラミック蛍光体、蓄光体、製造プロセス

海野 雅司 准教授

分子分光学、量子計算化学、光受容タンパク質

江良 正直 准教授

有機光電子材料、ナノハイブリッド、フォトリソ

長田 聰史 准教授

有機合成化学、ペプチド化学、アミノ酸ミミック

川喜田英孝 准教授

金属回収、生体高分子、分離

竹下 道範 准教授

フォトリソリズム、分子認識、光スイッチ

中村 博吉 准教授

リチウム電池、キャパシタ、電気メッキ

森貞真太郎 准教授

化学工学、コロイド・界面工学、液相吸着

矢田 光徳 准教授

ナノ構造セラミックス、ナノチューブ、ナノテクノロジー

山田 泰教 准教授

無機化学、錯体化学、多核錯体

成田 眞行 准教授

ゲル、高分子溶液、パターン形成

磯野 健一 助教

電気化学、分析化学、無機化学

梅木 辰也 助教

複雑流体、機能性溶液、核磁気共鳴

坂口 幸一 助教

有機工機コロイド化学、炭素系材料、固体物理化学

米田 宏 助教

錯体科学、配位高分子、双安定性

理工学部 機械システム工学科

すべての工業分野に
不可欠な機械技術
新製品や先端技術の
開発を担う工学



航空機、船舶、鉄道、自動車のような輸送機械から発電プラントや各種の動力機械、工作機械やロボットなどの産業用機械、ロケットや人工衛星などの宇宙機器、さらには身の回りの家電製品や情報・通信機器に至るまで、機械技術が関わる分野は大変広範である。機械システム工学科では、将来このような分野で広く活躍できる人材育成を目指して、学習・教育目標を次のように定める。

- 1 人間社会と自然環境の調和を目指し、グローバルな視点から多面的に物事を考察することができる。
- 2 良識を備え、技術者として社会に対する責任を認識できる。
- 3 機械工学習得に不可欠な、基礎数学と力学の応用力を身につける。
- 4 機械工学の基礎およびその応用力を身に付ける。
- 5 工作実習、設計、製図を通してものづくり(作り make, 造り design, 創り create)の素養を身につける。
- 6 実験などを計画・遂行し、結果を工学的に考察することに関して、課題の発見、問題解決ができる。
- 7 プレゼンテーションをはじめとする国際的な技術コミュニケーション能力を身につける。

カリキュラムの特色

本学科は、機械工学およびその関連領域において、専門的な基礎知識およびその応用力、ものづくりの素養を身につけた技術者となる人材を育成するための教育を行っています。本学科の教育課程は、JABEE(日本技術者教育認定機構)認定プログラムであり、卒業生は JABEE プログラム修了者の資格が得られます。

1年次は、機械工学を学ぶ動機付けを行う新入生導入教育「大学入門科目」および、「教養教育科目」と専門科目を学ぶ上での礎となる数学、力学、図学などの「専門基礎科目」を中心に学びます。

2年次は、機械工学の基礎を担う流体力学、熱力学、材

料力学および機械設計、工作実習、設計製図などの「専門科目」の必修科目を中心に学びます。

3年次は、「専門科目」の選択科目を中心に学び、より深い専門科目の知識を身につけます。

4年次は、各教員の直接指導の下で『卒業研究』を行い、それまでに修得した知識と育んできた能力を生かして、新しいものを作り出すことや、未知の問題解決を図ることへの挑戦を行います。また、卒業論文作成や試問会でのプレゼンテーションを通して、資料調査、文書作成、コミュニケーションの能力を身につけます。

成長への架け橋となる

私が機械システム工学科への進学を決めた理由は、小さい頃から「ものづくり」に興味があったということにあります。単に「機械系学科なら就職も何とかなるのでは?」という軽い考えがあったことも事実です。しかし、現在では、自分のやりがいを発見することもでき、機械システム工学科へ進学して本当に良かったと思っています。

高校までとは違い、大学生活では個人の自由が占める割合がかなり大きいのです。遊ぶのも勉強するのも個人の自由です。楽な方へ流されやすい環境の中だからこそ、学習に対する個人の自主性や意欲が問われるのだと思います。私は、何かに興味を持ち、自ら考え行動することはとても素晴らしいことだと思います。

機械システム工学科では、「興味」を引き出すための様々な授業が開講されています。数学や力学などの基礎科目から、流体、熱、材料、制御などといった専門分野まで多種多様です。中でも私がオススメする魅力的な授業は、自身で体験することが可能である、実習および実験です。実際に様々な分野の実験を体験することにより、自分の進みたい分野の決め手にもなると思います。私自身も実験を通して、流体分野に興味を持ち、現在では流れに関する研究を行っています。研究は難しく、分からないことだらけですが、先生や先輩、友人に支えられ、徐々に進行しています。また、私は、大学院への進学も希望しており、これからも努力し、納得のできる研究にしていきたいと思っています。

また、機械システム工学科では、プレゼンテーションをする場面も少なからずあり、自分の将来にも役立つ内容になっていると思います。

機械システム工学科は、「自分のやりがいを発見することができ、成長へと導いてくれる」架け橋のような役目をしてくれる素晴らしい学び舎だと思います。

理工学部
機械システム工学科 4年

上野 聡士

福岡県立青豊高等学校出身



Pick Up!! 取得できる資格・免許あるいは試験などの一部が免除される資格・免許

所定の単位を取得することにより、卒業時に資格が得られるもの

- 高等学校教諭一種免許状(工業)
- 技術士補

試験に必要な科目の単位を取得し卒業後の実務経験後、受験資格が得られるもの

- 第一種ボイラー・タービン主任技術者

Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先

- 日立造船株式会社
- 大分キャノン株式会社
- 長崎キャノン株式会社
- 株式会社ヨロズ
- 九州住電精密株式会社
- 株式会社九電工
- 西部電機株式会社
- 豊精密工業株式会社
- 株式会社唐津鐵工所
- 株式会社三井三池製作所
- 株式会社佐賀鉄工所
- 株式会社戸上電機製作所
- 三建産業株式会社
- 森鉄工株式会社
- 濱田重工株式会社
- 朝日インテック株式会社
- 伸和コントロールズ株式会社
- 三菱電機システムサービス株式会社
- 株式会社富士通ビーエスシー
- ケルヒージャパン株式会社

主な進学先

- 佐賀大学大学院工学系研究科
- 九州工業大学大学院工学府
- 九州大学大学院工学府

備考 大学院進学率59.5%



卒業単位	卒業論文
126	必修

1年次	2年次	3年次	4年次
-----	-----	-----	-----

全学教育科目

教養教育科目	全学教育科目					
	必修科目	専門教育科目	選択科目	卒業研究		
	<ul style="list-style-type: none"> ● 実用英語基礎Ⅰ ● 実用英語基礎Ⅱ ● 微分積分学Ⅰ ● 微分積分学演習Ⅰ ● 物理学概説 ● 工業力学Ⅰ ● 工業力学演習Ⅰ ● 微分積分学Ⅱ ● 微分積分学演習Ⅱ ● 線形代数学 ● 線形代数学演習 	<ul style="list-style-type: none"> ● 工業力学Ⅱ ● 工業力学演習Ⅱ ● 図学製図 ● 機械工作Ⅰ ● 機構学 	<ul style="list-style-type: none"> ● ベクトル解析 ● 材料力学Ⅰ ● 材料力学演習 ● 流体工学 ● 流体工学演習 ● 熱力学Ⅰ ● 熱力学演習 ● 数値計算法 ● 確率・統計 ● 機械材料 ● 機械設計Ⅰ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 機械工作実習Ⅰ ● 機械工作実習Ⅱ ● 機械要素設計製図Ⅰ ● 機械要素設計製図Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 科学技術英語 ● 機械制御Ⅰ ● 計測工学 ● 機械力学Ⅰ ● 技術者倫理 ● 機械工学設計製図 ● 機械工学実験Ⅰ ● 機械工学実験Ⅱ ● 創造工学演習 	<ul style="list-style-type: none"> ● 卒業研究
	<ul style="list-style-type: none"> ● 機械工作Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 構造力学 ● 材料力学Ⅱ ● 流体力学 ● 熱力学Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 流体機械 ● 伝熱工学 ● 機械設計Ⅱ ● 基礎電気電子工学 ● 弾・塑性力学 ● 機械力学Ⅱ ● エネルギー変換工学Ⅰ ● 機械制御Ⅱ ● メカトロニクス ● ロボット工学 ● 生産管理 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動車工学 ● トライボロジー概論 ● 圧縮性流体力学 ● エネルギー変換工学Ⅱ ● 生産システム概論 		

注目の授業・講義

● 微分積分学Ⅰ・Ⅱ

微分積分学は、大学に入ってすぐ受けるべき最も基礎的な科目であり、他の専門基礎科目や専門科目を理解する上で欠かせないものである。本科目では、高校数学の学習内容を前提として、さらに詳しく1変数関数の微分積分学を学んだ後、2変数関数の微分積分学と簡単な微分方程式について学ぶ。また、各科目には演習科目がそれぞれ開講されており、講義と演習が一体となって、講義内容の理解を深めることができる。

● 機械工作実習Ⅰ・Ⅱ

「ものづくり」の基本を1年次の機械工作の座学だけで学ぶには限界があるため、その内容について実際に手足を動かしながら実習で学ぶ。実習は、小グループに分かれたローテーション方式またはアラカルト方式で準備された実習テーマについて取り組む。「機械工作実習Ⅰ」では、機械や工具に慣れることに主眼をおいた基本作業を学ぶ。さらに「機械工作実習Ⅱ」では、受講生が3つの作業工程を選択し、時間に縛られることなく、自分のレベルやペースに合わせた実習を通して、特定の作業工程のスキルを身に付けることができる。

● 材料力学

高校物理、微分積分学、工業力学の知識を前提として、(1) 部材に外力が加わったとき、どの程度変形し、どの程度の外力に耐えうるのかなどの機械的・力学的性質、(2) 使用する材料の強さを考慮した加えられる力と部品や部材の寸法・形状との関係について学ぶ。そして、現在の産業において「材料力学」が、(1) 機械が使用される期間中、安全に使用できること、(2) できる限り安いコストを維持する、(3) それゆえ、機械や構造物部材の設計において、最も基本的で不可欠な学問分野であることを理解する。

● 線形代数学

線形代数学は、微分積分学とともに数学の基礎を支える重要な科目である。特に、数学が物理学や機械工学などに応用される場面において、ベクトルや行列の知識は必ず必要となる。本科目では、ベクトル・行列の基礎的事項から具体的な工学系への応用について学ぶ。また、本科目と並行して演習科目が開講されており、問題を解くことにより授業で学んだ専門用語とその意味、定理、理論についての理解を深めることができる。

● 流体工学

流体工学は、種々のエネルギー機器内部の流体の流れを適切な設計によりコントロールすることでより高性能な機械を実現するための学問分野である。本講義では、力学基礎と微分積分学の知識を前提として、流体の諸現象を力学的、および工学的に考察し、よりよい機械の設計に資する知識と能力を養う。すなわち、(1) 流体の性質および流体運動を伴う諸現象の力学的な理解、(2) エネルギー輸送の役割を担う流体運動、(3) 一次元的理論により簡単な流体システムの計算・設計の基本的能力を身に付ける。

● 機械要素設計製図Ⅰ・Ⅱ

図面は工業言語のひとつであり、その作成技能は技術者として必須と言われる程、重要である。機械部品の形状・大きさ・姿勢・位置、さらに面の肌・材料・加工方法などの機械設計情報を正確に伝えるには、図面を一定の規約に従って正確に、分かりやすく描く必要がある。「機械要素設計製図Ⅰ」では、厳選された演習問題を解いて設計製図の基本知識、製図規格および製図の基本的技能を身に付ける。さらに、「機械要素設計製図Ⅱ」では、「歯車減速機の設計製図」を通して、与えられた設計仕様に対する設計から製図に至る一連の作業を学ぶ。

● 工業力学Ⅰ・Ⅱ

力学は、微分積分学、線形代数(ベクトル解析学)とともに機械工学を学ぶ上で重要な基礎科目である。本科目では、まず物体が運動しない条件すなわち平衡条件を対象とする静力学を学んだ後、時間とともに変化する力と質点或いは剛体の運動状態との関係を対象とする動力学を学ぶ。本科目と同時開講される演習科目との関係を図りながら、トラス、くさび、ねじ、ベルトや軸受などの摩擦といった実際の静力学問題を解く能力、力学の原理の正しい理解とその適用に基づいた動力学的問題の解決能力を身に付ける。

● 熱力学Ⅰ

熱力学を学ぶ上で不可欠となる「熱と温度」の概念、エネルギー全般についての明確な定義、物理量を表すために必要な状態量の概念を身に付けた上で、力学基礎と微分積分学の知識を前提として、熱と仕事のエネルギー変換を支配する熱力学の第1法則「仕事と熱は同等なエネルギー」と第2法則「可逆と不可逆過程の存在」を学ぶ。同時開講される演習科目と一体となって、理想気体を用いた熱と仕事の交換の基本計算能力を身に付ける。

● 創造工学演習

3年次までに学んだ知識や育んできた能力を総動員して、エンジニアリングデザインの基礎を修得する。エンジニアリングデザイン能力とは、設計図面制作能力ではなく、構想力、種々の学問・技術を統合して必ずしも正解のない問題に取り組み、実現可能な解を見つけ出ししていく能力をいう。本演習では、客先要求仕様を自ら設定し、3次元CAD設計ソフトウェアを用いて解決策の立案とその評価(性能のみならず、安全性、経済性なども含む)を行い、最適な解を見出すまでの一連の過程を学ぶ。

トライボロジー研究室

張・馬渡 研究室；張 波 教授/トライボロジー、超精密加工、設計工学；馬渡 俊文 助教/トライボロジー

高能率や高効率、省エネルギーなど持続可能な社会を見据えた「ものづくり」の要求は、東日本大震災を契機としたエネルギー政策の議論からも、急速に高まりつつあります。このようなニーズへ対応するためには、「相対運動をしながら相互作用を及ぼしあう表面」を研究対象とした学際的学問である「トライボロジー」の知識をもとに、ナノレベルでの精密加工技術の開発や摩擦面に供給される潤滑剤の高圧レオロジー特性の把握が必要不可欠です。本研究室では、精密機械要素接触面におけるトライボロジーを基盤に据えて、大容量磁気記録装置としてクラウドコンピューティングを支えるサーバ用ハードディスクのナノトライボロジーに関する研究、環境にやさしい潤滑油の高圧レオロジー特性に関する研究、半導体製造装置に欠かせない高性能静電気チャックの開発に関する研究、今後の超高齢化社会を見据えた高信頼性人工股関節の開発に関する研究を展開しています。



環境流動システム学分野

瀬戸口 俊明 教授、松尾 繁 教授、木上 洋一 教授、橋本 時忠 准教授、塩見 憲正 准教授

流体エネルギーの環境融和を目的として、流体機械や流体関連機器の開発と高性能化までを工学的また医学的観点より総合的に検討することを主な課題としています。具体的には、流体機械(タービン、ポンプ、ファン、医療用マイクロポンプ等)の小型・高性能化のための研究や、蒸気タービン、翼周り、冷凍サイクルのエジェクターなどで生ずる二相流動場の解明および高性能な機器の研究・開発に取り組んでいます。

熱エネルギーシステム学分野

宮良 明男 教授、光武 雄一 教授、石田 賢治 講師、椿 耕太郎 助教

エネルギー有効利用による地球環境負荷の低減を目的として、熱・物質移動現象の解明からエネルギー変換機器の高性能化までを総合的に検討しています。水素タンクへの高圧水素充填法や水素中の高沸点不純ガス成分の凍結問題、金属材料製造に必要な液体による高温面の冷却速度制御法、さらにはフロン系冷媒に代わる次世代冷媒を用いた冷凍空調機器について、冷媒の熱物性やサイクル解析、熱交換器の伝熱促進技術を用いた高性能冷凍空調システム、地中熱利用ヒートポンプなどの研究開発に取り組んでいます。

先端材料システム学分野

萩原 世也 教授、服部 信祐 教授、只野 裕一 准教授、武富 紳也 准教授、森田 繁樹 准教授

近年、産業分野で用いられる材料に課せられる要求は、多様かつ過酷なものとなってきています。しかし、種々の材料の組織レベルでの変形や特殊環境下における材料特性など、高精度な製品の設計・評価に必要な情報の多くが、未だ明らかにされていません。そこで、力学的・材料学的観点から実験的な研究を進めるとともに、実験だけでは解明困難な現象をコンピュータシミュレーションにより明らかにすることにも取り組んでいます。

設計生産システム学分野

張 波 教授、長谷川 裕之 准教授、馬渡 俊文 助教、大島 史洋 講師

持続可能な社会を実現するための「ものづくり」を目指して、高耐久性、高信頼性、高能率、高効率をキーワードとした設計・加工技術開発に取り組んでいます。摩擦はエネルギー消費の直接原因であり、摩擦は機械の損傷に繋がります。私たちは摩擦や摩耗に対処する有効な手段である潤滑と表面工学に関する研究を展開しています。また、最新のプラズマ技術等を駆使して、耐摩耗性の表面薄膜製作技術に関する研究開発も行っています。

知能機械システム学分野

寺本 顕武 教授、中山 功一 教授、辻村 健 教授、佐藤 和也 准教授、泉 清高 准教授、イスラム・カーン 准教授、林 喜章 助教

機械システムの各種問題解決に必要なセンシングシステム、メカトロニクス課題に取り組んでいます。

センシングシステムに関しては、高次元逆問題の基礎研究と人間の持つ感覚を実現する知能化センサシステムの開発を主な課題として取り組んでいます。

メカトロニクスに関しては、インターネットを用いたロボット群制御、機械と人間の次世代インタフェース技術、ロボ適応制御の理論と応用を主な課題として取り組んでいます。

Pick Up!! 主な卒業論文テーマ

- 波力発電用タービンの研究・開発
- 超音速旋回流れを利用した二相流分離装置の研究・開発
- 斜流ファンや超音速気液二相ノズルの研究・開発
- マイクロポンプ、圧力波を利用した治療、水ジェットの治療応用
- 小型プロペラファンの性能向上と低騒音化に関する研究
- CFRP 製軽量水素圧力容器への安全な水素充填法の開発
- 地球温暖化防止に対応した冷凍機・ヒートポンプシステムの開発
- 材料製造時の高温面の急速冷却特性の解明
- 水素ステーションにおける高圧水素中の微量水分の影響について
- 住宅用基礎杭による地中熱の有効利用
- 強度計算に用いる解析方法に関する研究、人工関節の解析と開発
- ステンレス鋼の疲労特性、機械構造物の疲労強度評価
- 多結晶金属材料のマルチスケールモデリングと実用解析への応用
- 水素雰囲気下での鉄の破壊メカニズムの解明
- マグネシウム合金の微細構造と繰返し変形・破壊挙動に関する研究
- セラミック球の超精密高能率加工、磁気ヘッド・ディスク界面におけるトライボロジー
- プラズマプロセスによる低摩擦セラミックス薄膜の開発
- 弾性流体潤滑油膜のせん断挙動とトラクション特性・転がり要素の耐久性向上に関する研究
- 歯車の高効率加工および振動騒音低減に関する研究
- 近接場ホログラフィにもとづく心音カメラ、動的歪み解析法による CFRP の非破壊検査
- 人間とロボットのコミュニケーションを実現する次世代インタフェース技術の研究
- どんなものでも思い通りに動かせる制御装置の開発
- 適応・学習システムに関する研究
- 6 D センシングへのカメラモアレ像の画像処理技術の適用に関する研究
- ワイヤを用いた柔軟アームに関する研究
- 新形式波力発電装置の開発
- 新しい海洋温度差発電の高性能化に関する研究
- 浮体型振り子式波力発電装置の開発
- 海洋温度差発電で使用するアンモニアの沸騰特性の解明
- 浮体型波力発電装置の発電性能向上に関する研究

教 員 紹 介

瀬戸口俊明 教授
流体工学、流体機械、自然エネルギー利用工学

松尾 繁 教授
流体工学、圧縮性流体力学、数値流体力学

木上 洋一 教授
流体工学、流体機械、混相流

橋本 時忠 准教授
流体工学、衝撃波、医療応用、光学可視化

塩見 憲正 准教授
流体工学、流体機械、内部流動計測

宮良 明男 教授
熱工学、伝熱工学、冷凍空調、ヒートポンプ、熱交換器

光武 雄一 教授
熱工学、伝熱工学、沸騰熱伝達

石田 賢治 講師
熱工学、伝熱工学、熱物性

椿 耕太郎 助教
熱工学、伝熱工学、冷凍空調

萩原 世也 教授
計算固体力学、数値構造解析

服部 信祐 教授
材料力学、機械材料、疲労

只野 裕一 准教授
計算固体力学、材料モデリング

武富 紳也 准教授
材料強度学、水素脆性、分子動力学

森田 繁樹 准教授
材料強度学、構造用マグネシウム合金

張 波 教授
トライボロジー、超精密加工、機械設計工学

長谷川裕之 准教授
プラズマ合成、表面処理

馬渡 俊文 助教
EHL、転がり要素、トライボロジー

大島 史洋 講師
歯車、機械工作

寺本 顕武 教授
音響イメージング、波動情報処理、逆問題解析

中山 功一 教授
再生医療、整形外科、医学工学

辻村 健 教授
ロボット計測制御技術、情報処理通信技術

佐藤 和也 准教授
制御工学、ロボット制御、メカトロ制御

泉 清高 准教授
適応・学習、知的制御、ソフトコンピューティング

イスラム・カーン 准教授
モアレホログラフィ、運動応用センシング、音響解析

林 喜章 助教
福祉ロボティクス

永田 修一 教授
海洋工学、海岸工学、波力発電

池上 康之 准教授
海洋温度差発電、エネルギー変換工学

有馬 博史 准教授
熱工学、伝熱工学

今井 康貴 准教授
海洋工学、波力発電

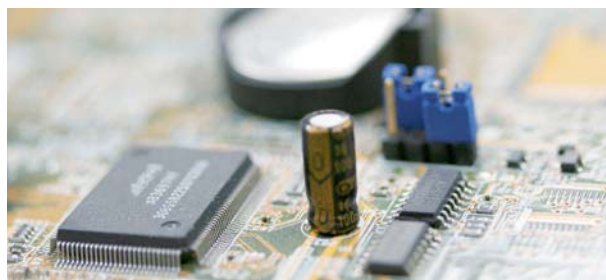
Department of Electrical and Electronic Engineering

理工学部 電気電子工学科



<http://www.ee.saga-u.ac.jp>

電気電子工学は現代社会を支える
中核的基盤技術であると共に
人と地球に優しい
革新的な未来技術の創出に貢献します



電気電子工学は、現代のあらゆる産業の基盤です。

スマートフォン、タブレット型コンピュータ、ロボット、自動車などのような、私たちの生活を豊かで快適にする機器は、電気電子工学の高い技術で支えられています。また、太陽光発電などの発電技術、バイオテクノロジー、プラズマ応用環境対策技術などのような、地球環境や人類の持続的繁栄のためのテクノロジーにも、電気電子工学の知識や技術が不可欠です。

「ものづくり日本」を支えています。

47年間の理工学部の歴史の中で、本学科を巣立っていった多数の卒業生たちは、「ものづくり日本」を支える技術者として産業界の第一線で活躍しています。

日本の産業を支える電気電子工学科は就職に強い。

電力関連、各種エレクトロニクスメーカー、電子部品、情報通信技術(ICT)の他、ソフトウェア、自動車、医用機器、光学機器、鉄道、造船、建設、化学など、ほとんどあらゆる業種から多数の求人があります。就職活動の際には、就職担当教授が個別にきめこまかに就職相談にのり、ほとんどの学生が学科推薦で内定をもらいます。

高い教育・研究レベル

4年生になると卒業研究を行い、その成果を積極的に学会で発表しています。毎年多数の学生が優秀な発表であることを認められ、各種の学会表彰を受賞しています。平成24年度には、大学院生を含めて、のべ15名もの学生が国内外の学会賞を受賞しました。

カリキュラムの特色

電気や電子を利用して製品を作ったり、産業に応用していくためには、その根本となる原理や法則をしっかり理解する必要があります。そのためには高校よりも高度な数学や物理を修得することが不可欠で、本学科では、まず始めにそれらの専門基礎教育科目を学びます。

その後、電気電子工学の基礎となる電気回路、電磁気学、電子回路などの専門科目を学び、さらにそれらに応用したより高度で専門的な科目を学びます。多くの専門科目は選択科目となっており、各自が目指す将来ビジョンに

よって体系的に履修することが可能です。

4年生になると研究室に配属され、教員による個別指導のもとに各自の卒業研究を通じて問題解決能力を養います。研究成果は中間報告会や卒業研究発表会で発表し、卒業論文にまとめます。多くの学生はこの過程で研究に打ち込む楽しさを知り、大学院博士前期課程へ進んでさらに研究を進めます。

この学科で成長して、 社会に役立つ人になろう！

理工学部
電気電子工学科 4年
川原 沙祐里
福岡県立鞍手高等学校出身

私が所属している電気電子工学科は、電気電子工学の基礎的知識やその応用を身につけ、将来的にエレクトロニクスや情報・通信をはじめとする幅広い分野で活躍できる人材の育成を目標としています。そのために幅広い内容の授業が用意されており、大きく成長することが出来る学科だと思います。

応用的な内容に関しては、2年生以降に選択科目が用意されていて、興味のある科目を選んで学ぶことが出来ます。私は、大学に入学した時点では将来のことを漠然としか考えていませんでしたが、大学で学ぶうちに、家電製品や携帯電話などを開発して人々の生活を便利にする仕事をしたいと考えるようになり、エレクトロニクスや情報系の科目を重点的に選択しました。このように、自分の志望業種に応じて学べる点もお勧めだと思います。

4年生になると半数弱の人が就職活動をし、(残りの人は大学院に進学しますが)、学科に求人がたくさん来ていて、学科推薦で応募することができます。私もそうして望みの会社に就職が決まり本当に良かったです。私の友人も、電機メーカー・電力会社・IT企業・自動車メーカー・化学メーカーなど様々な業界に就職が決まっていますが、どれも社会を支える大切なお仕事で、誇りに思います。私も負けずに頑張ってゆきたいです。

皆さんもぜひ電気電子工学科で成長して、社会の役に立つ人を目指して下さい。

Pick Up!! 取得可能な免許・資格

所定の単位を取得することにより、
卒業時に資格が得られるもの

■高等学校教諭一種免許状(工業) ■技術士補

必要な科目の単位を取得し
卒業後の実務経験を経て、資格が得られるもの

■第一種電気主任技術者 ■第三種電気主任技術者
■第二種電気主任技術者

必要な科目の単位を取得することにより、
試験科目の一部が免除されるもの

■電気通信主任技術者

Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先(平成24年度実績、大学院修了を含む)

- 九州電力
- 関西電力
- 三菱電機(4名)
- NEC
- マツダ
- スズキ
- オムロン
- パッファロー
- 宇部興産
- 日本触媒
- 九電工
- 日本製鋼所
- 新関西製鐵
- 明電舎
- きんでん
- 大電
- 戸上電機
- 指月電機
- 沖データ
- IJ
- 日本システムウェア(2名)
- 朝倉市役所

主な進学先(平成24年度)

- 九州大学大学院システム情報科学府(1名)
- 佐賀大学大学院工学系研究科(45名)



卒業単位	卒業論文
128	必修

1年次	2年次	3年次	4年次
-----	-----	-----	-----

教養教育科目

全学教育科目

<p>専門必修科目</p> <p>専門教育科目</p> <p>専門選択科目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●微分積分学A及び演習 ●微分積分学B及び演習 ●線形代数学A及び演習 ●線形代数学B及び演習 ●電気系基礎数学及び演習 ●ベクトル解析学 ●基礎物理学A ●基礎物理学B ●基礎力学 ●情報処理演習 ●電気回路A及び演習 	<ul style="list-style-type: none"> ●微分方程式及び演習 ●複素関数論 ●電気回路B及び演習 ●電気回路C及び演習 ●電磁気学A及び演習 ●電磁気学B及び演習 ●電子回路A及び演習 ●電子回路B及び演習 ●電気電子工学実験A ●電気電子工学実験B 	<ul style="list-style-type: none"> ●電気回路D及び演習 ●電磁気学C及び演習 ●電磁気学D及び演習 ●技術英語 ●技術者倫理 ●電気電子工学実験C ●電気電子工学実験D 	<ul style="list-style-type: none"> ●卒業研究
	<ul style="list-style-type: none"> ●論理回路 ●信号解析論 ●電子計測 ●電子物性論 ●工業力学 ●エネルギーシステム工学 ●情報通信工学 ●基礎情報理論 	<ul style="list-style-type: none"> ●アナログ回路設計 ●電気電子材料学 ●放電工学 ●半導体デバイス工学 ●電気機器学 ●システム制御学 ●プログラミング論及び演習 ●電気設計学 ●通信法規 ●LSI回路設計 ●オプトエレクトロニクス 	<ul style="list-style-type: none"> ●プラズマエレクトロニクス ●環境電気工学 ●電気法規及び電力管理 ●エネルギー変換工学 ●パワーエレクトロニクス ●コンピュータ概論 ●情報伝送工学 ●電気電子工学外実習 	<ul style="list-style-type: none"> ●マイクロ波光学

注目の授業・講義

● LSI回路設計

LSIは大規模集積回路と呼ばれ、さまざまな機能が1つのICチップ上に構成されている電子回路のことです。我々の身の回りにはほとんどどの機器の頭脳として、LSIが活躍しています。このようなLSIについて、デジタル回路の基礎からデジタル・アナログ変換器などの応用回路までその動作原理と回路設計法を学びます。

● プログラミング論及び演習

コンピュータプログラムを作成する能力は、パソコンや携帯電話などの電子機器を思い通りに動かしたい場合や、発電所や各種の電気機器をコンピュータで設計・解析したい場合など、電気電子工学の多くの分野で必要とされる能力です。3年次生を対象とする本講義では、2年次までの授業で身につけたC言語によるプログラム作成能力をさらに向上させ、関数やポインタを駆使した高度なプログラムの作成能力を身につけます。また、各種の演習問題を通して、実践的なプログラム作成能力を身につけます。

● システム制御学

制御対象の方程式による表現から自動制御を行うための制御器設計までの一連の手順を修得するために、古典制御と現代制御の重要な部分について講義を行います。特に、制御対象の微分方程式による表現、制御対象の伝達関数表現、ブロック図を用いた制御系の表現、システムの安定性、定常偏差、PID調節計とその設計、制御対象の状態方程式による表現、状態方程式と伝達関数の関係、行列の対角化、可制御性と可観測性、極配置レギュレータ、オブザーバなどについて学びます。

● 基礎情報理論

わたしたちが日常的に使っている携帯電話やパソコンは、「情報」を伝えたり処理したりしています。その「情報」は、コンピュータが扱いやすいように0や1という数字の列で表現されますが、大量の情報を効率よく伝えたり処理したりするためには、できるだけ短い数字の列で表現することが必要です。エントロピーという物理的な考え方を利用すると、これをうまく行うことができます。この講義では、このような表現方法や、それをいかに効率よく情報を伝えるかなどについて学びます。

● 医工学入門

心電図は心臓の収縮活動に伴って発生する電気現象を体の表面で検出するもので、患者に全く不快感を与えることなく心臓の病気を簡単に見つける事を可能にしました。心電図測定を実現する鍵となる技術は、体の表面に現れる極めて微弱な電気信号を安定に増幅する技術で、これには電気電子工学の知識や技術が不可欠です。心電図、CT、人工臓器をはじめとする工学と医学の融合によって初めて可能となった様々な医療装置について、ビジュアルで紹介します。

● パワーエレクトロニクス

現代は環境・エネルギーの時代です。電気エネルギーは、発電所から消費者、工場まで、電圧、周波数等の形態を変える必要がありますが、それを支えるのがパワー(電力)変換回路やパワーデバイス等の基盤技術です。この分野の発展は速く、大きな社会的なニーズがあります。講義では、その原理やインバータ等の回路を学ぶと共に、研究開発の最前線についても解説します。

● オプトエレクトロニクス

LED、太陽電池をはじめとする各種光デバイスは、今日のコビキタス社会、および環境を考慮したエネルギー問題解決手段の基幹技術として益々重要になっています。本講義では、波動性や粒子性といった光の性質、光デバイスで使用される半導体のエネルギーバンドや電気伝導のしくみ、発光・受光の基本原理解を学んだ後、各種光デバイスの構造や動作原理とその特徴を学びます。また、その応用技術についても学びます。

● 電気機器学

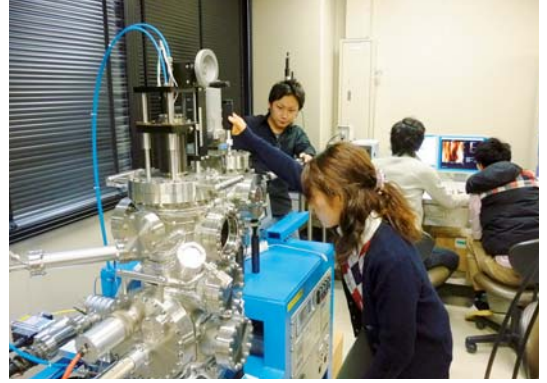
電気機器には、電気エネルギーを産み出す発電機、効率良い送電・配電に必要な変圧器、さらに電気エネルギーを利用する電動機などがあり、現代社会の基盤を支えています。電動機は、情報通信用の超小型モータから、エアコン・冷蔵庫などの家電用のモータ、電気自動車などの車両用モータ、さらには産業用大形モータなど様々な分野で用いられています。この講義では、変圧器、発電機、電動機(モータ)の電気機器を、原理から、構造、利用・運転方法、特性計算、応用まで解説します。



光半導体研究室

西尾 光弘 教授、郭 其新 教授
田中 徹 准教授、斉藤 勝彦 助教

「光」と「半導体」をキーワードに、新材料による発光ダイオードや太陽電池の開発、新しい電子材料の開拓、ナノ加工技術の開発、シンクロトロン光を利用した半導体プロセス開発と物性評価を進めています。低消費電力かつ長寿命であるLEDは火、電球、蛍光灯に続く第4世代の灯りとして注目されています。すでに光の3原色である赤、緑、青が実用化され、信号機、携帯電話のバックライト、大型ディスプレイなど身近な物にも数多く使用されています。しかし、緑色の領域では効率の良いLEDが得られておらず、グリーンギャップと呼ばれています。本研究室では、テルル化亜鉛(ZnTe)というLEDでは新しい半導体材料を用いて、高効率緑色LEDの実現を目指した研究を進めています。具体的には、同半導体の結晶成長や物性制御、電極開発、デバイス化技術の開発などに取り組んでいます。



情報通信・電子回路研究室

豊田 一彦 教授

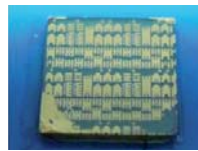
現在は「情報通信革命」の時代と言われ、情報通信技術(ICT)の果たす役割がますます大きくなってきます。本研究室では、ワイヤレス通信に焦点を当てた高周波回路やアンテナ、情報機器の高機能・高性能化を実現するLSIや実装技術などのハードウェア技術を中心に研究を進めており、未来に対して与える研究課題に積極的にチャレンジしています。



パワーエレクトロニクス・プラズマ研究室

嘉数 誠 教授

現代社会では、電力エネルギーの高効率化がますます求められるようになりました。わたしたちは、飛躍的にエネルギーの高効率化を可能にする「ダイヤモンド半導体」の研究を行っています。具体的には、人工ダイヤモンド結晶の作製、ダイヤモンド・トランジスタの作製、ダイヤモンド半導体内の電子の物理現象を解明しています。ダイヤモンド半導体研究では世界の最先端と競争しています。他にプラズマの研究や夢の光といわれる佐賀大シンクロトロン光応用研究センターでの研究も行っていきます。



高度情報処理・人工知能研究室

古川 達也 教授

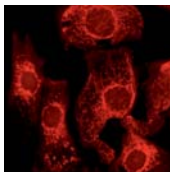
人に優しいシステムや知的なスマート・システムの研究に取り組んでいます。例えば、電力送電線の状態を計測するためのセンサ、電気・電子回路やスマートグリッドについての学習支援システム、手書き文字を認識する方法、スマートフォン上で動作する賢いアプリ、人間の言葉を理解する計算機やロボット、表面筋電信号を用いて口の動きだけから発話を認識するシステム、などの開発に取り組んでいます。



バイオセンシング・イメージング研究室

高橋 英嗣 教授

光や電気を使って生体の状態をモニターし、それを刻々変化する画像としてビジュアル化する事で、生体の機能や病気のメカニズムを解明しようとしています。1個の細胞からヒトまでが研究対象です。研究室には、分子生物学や細胞生理学のテクニックを駆使する学生もいれば、独自の電子回路を設計したり、マイコンのプログラミングができる学生もいるといった具合で、バイオと電気電子工学の融合が着々と進行しています。



シミュレーション研究室

村松 和弘 教授

並列コンピュータを用いた大規模電磁界シミュレーション法などの各種解析手法の開発を行うとともに、その応用として環境問題に対応した低損失・低騒音電気機器の開発、MRI用オープン型磁気シールドルームなどの高性能電磁装置の最適設計などを行っています。さらに、生体情報を用いた携帯端末の個人認証方式の開発、WEBページ分類システムなどの開発を行っています。



システム制御研究室

後藤 聡 教授

医用、プラント、ロボット、電力などの様々な対象をシステム制御の観点から研究しています。例えば、身体を動かすことができない筋萎縮性側索硬化症患者が、眼電図を利用して他者とコミュニケーションするシステム、地球温暖化やエネルギー問題等で注目されている再生可能エネルギーの一つである、海洋の表層の温海水と深層の冷海水との温度差を利用して発電する海洋温度差発電システムなどに関する研究を行っています。



Pick Up!! 主な卒業論文テーマ

- レーダーシステムに適したマイクロ波ミリ波発振器
- 電波を使って電力を送る高機能システム
- スマートフォン等の携帯端末向けLSI回路
- 高速・多機能LSIの性能を充分発揮させる実装技術
- 夜間の太陽電池利用のための光物性
- プラズマを用いた水や油を弾く薄膜の合成
- 放電プラズマを用いた酸化亜鉛セラミックスの生成
- 緑色発光ダイオード(LED)の開発
- 環境にやさしい薄膜太陽電池の開発
- パルスパワー放電を用いた水処理
- スマートグリッド・エネルギー教育支援システム
- 自己組織化マップによるオンライン文字認識
- 日常言語による3次元CG作成
- 細胞機能のバイオイメージング解析
- バイオイメージングで解き明かす癌の転移メカニズム
- 複合型センサの介護福祉領域への応用
- 高速並列計算システムを用いた大規模電磁界解析
- 低消費電力・低騒音インバータの開発
- 解放感のあるMRI検査室を可能にするオープン型磁気シールドルーム
- 携帯端末未使用者のくせを自動学習する個人認証方式
- 障害者支援のための生体信号コミュニケーション技術開発
- 海洋温度差発電システムのモデリングと制御
- ロボットのモデリング・設計と制御
- 電力システムの信頼性解析

教 員 紹 介

郭 其新 教授
半導体工学

嘉数 誠 教授
パワーエレクトロニクス、ダイヤモンド半導体

後藤 聡 教授
プラント制御、信頼性解析、ロボット制御

佐藤 三郎 教授
産学連携、材料加工・処理、科学教育

高橋 英嗣 教授
バイオイメージング、培養細胞、生理学、医工学

豊田 一彦 教授
通信工学、無線システム、マイクロ波回路、アンテナ

西尾 光弘 教授
電子材料工学、結晶成長、LED

古川 達也 教授
電気機器、電力工学、計算力学、組込みシステム

村松 和弘 教授
電磁界シミュレーション、電気機器、電磁装置

猪原 哲 准教授
高電圧パルスパワー工学、放電工学

大津 康徳 准教授
プラズマエレクトロニクス、機能性薄膜

木本 晃 准教授
センシング工学、イメージング工学

佐々木伸一 准教授
システム実装技術、環境電磁工学、センサーネットワーク

杉 剛直 准教授
生体信号処理、プラント制御

高橋 和敏 准教授
シンクロトロン、光電子分光、表面界面、ナノ

田中 徹 准教授
半導体、発光ダイオード、太陽電池

堂園 浩 准教授
ソフトウェア工学、バイオインフォマティクス、セキュリティ

原 重臣 准教授
ネットワーク解析

深井 澄夫 准教授
電子回路設計、集積回路、信号処理回路

和久屋 寛 准教授
人工臓器工学、ニューラルネットワーク、医用生体工学

伊藤 秀昭 講師
計算機応用、人工知能、知的ロボット

田中 高行 講師
マイクロ波・ミリ波工学

今村 真幸 助教
固体光物性、半導体機能性材料

高 炎輝 助教
電磁工学、数値解析

斉藤 勝彦 助教
シンクロトロン光、化合物半導体、エピタキシャル成長

西山 英輔 助教
アンテナ工学、マイクロ波工学、通信工学

福本 尚生 助教
画像処理、信号処理

松田 吉隆 助教
制御系設計論、ロボット制御、プラント制御

三沢 達也 助教
放電プラズマ焼結、パルス電通焼結、プラズマ理工学

都市工学部

都市工学科

これからの
地域環境づくりを
学びませんか？



都市工学科は、現代社会における都市工学分野の専門家の育成を目的として、数理的能力、コミュニケーション能力、美的感性といった基礎学力の向上を図りつつ、社会基盤、都市環境、土木、建築などのあり方について個々の適性や志向に応じた教育を行います。

「都市環境基盤コース」と「建築・都市デザインコース」の2コース制により、多種多様なニーズに応えられる人材を育成します。「都市環境基盤コース」の学生は以下の1～4を、「建築・都市デザインコース」の学生は1～3と5を教育目標に定めます。

教育目標

- 1 心の知能指数EQを高めます(コミュニケーション能力の涵養、教養教育の重視)
- 2 数理分析能力を高めます(数理理解・処理能力の涵養、物性理解)
- 3 都市・地域とデザインに関する理解を深めます(都市・地域に関する理解、建築とデザイン)
- 4 都市・地域の環境に関する専門知識を習得します(水環境、地盤環境に関する専門知識)
- 5 建築・都市デザインに関する専門知識を習得します(デザイントレーニング、建築専門知識)

カリキュラムの特色

都市工学科では、環境部門と都市基盤部門を抱合する都市環境基盤コースと建築・デザイン部門を充実した建築・都市デザインコースの2コースによるコース制による教育カリキュラムを特色とします。

- ・ 1年次は、都市工学科の全ての学問領域の基礎をなす科目(数学・力学・基礎製図)に関する演習科目が中心となります。
- ・ 2年次前学期には、都市工学科の中核をなす学問領域の重要な基礎知識や技能、工学的現象把握のための考え方について学ぶ、専門基礎科目(必修)の科目が開講されます。

- ・ 2年次前学期が終了した時点で、学生の希望により都市環境基盤コースか建築・都市デザインコースのいずれに進学するかについて選択します。
- ・ コース進学後は、それぞれのコース科目とコース共通科目より、所定の単位を選択履修し修得することになります。
- ・ 4年次には、4年間の大学生活で学んだ知識を基礎にして、各研究室の教員の指導の下に1つの研究・計画をまとめ上げる能力の養成を目的とした卒業研究を行います。建築系の計画に関しては、卒業制作をもって卒業研究とすることもできます。

幅広い学問分野が未来へつながる

私が所属している都市工学科は、都市環境基盤コースと建築・都市デザインコースの2つのコースがあり、土木と建築が1つの学科になっている珍しい学科です。都市環境基盤コースでは主に水環境や地盤環境といった土木に関する勉強を、建築・都市デザインコースでは主に建築デザイン、都市デザインに関する勉強を行っています。例えば、設計演習では、住宅といった身近なものから美術館や小学校という大規模なものまで自ら設計します。

また、都市工学科で学ぶことの中には、都市計画や居住環境計画などの科目のようにそれぞれの分野における思想や理論を学ぶ科目もあれば、建築都市デザイン演習といった科目のように設計を実際に行うことによって自分で実際に創造することを学べる科目もあり、単に計算したり暗記したりするだけではない、理系の学科でありながら文系のような柔軟さもある面白い学科です。

ぜひ皆さんと都市工学科で会えることを楽しみにしています。

理工学部
都市工学科 2年

村里 裕太

福岡県立城南高等学校出身



理工学部 / 都市工学科

Pick Up!! 取得可能な免許・資格

所定の単位を取得することにより、
卒業時に資格が得られるもの

- 高等学校教諭一種免許状(工業)
- 測量士補

試験に必要な科目の単位を取得することにより、
受験資格が得られるもの

- 二級建築士(指定科目40単位以上取得)

試験に必要な科目の単位を取得し

卒業後の実務経験後、受験資格が得られるもの

- 測量士
- 一級土木施工管理技士
- 火災類保安責任者
- 一級建築士
- 二級土木施工管理技士
- 技術士補
- 二級建築士(指定科目40単位未満取得)



Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先

- 北川ヒューテック株式会社
- 三軌建設株式会社
- 株式会社竹中道路
- 東急建設株式会社
- 戸田建設株式会社
- 日本建設技術株式会社
- 松尾建設株式会社
- 矢作建設工業株式会社
- 株式会社高崎総合コンサルタント
- 株式会社東京設計事務所
- 日本上下水道設計株式会社
- 三井共同建設コンサルタント株式会社
- セキスイハイム九州株式会社
- 積水ハウス株式会社
- 佐世保重工業株式会社
- 株式会社佐電工
- 不二コンクリート工業株式会社
- 九州旅客鉄道株式会社(JR九州)
- 西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本)
- 鹿島市役所

主な進学先

- 佐賀大学大学院工学系研究科
- 九州大学大学院人間環境学府
- 熊本大学大学院自然科学研究科
- 大阪市立大学大学院

卒業単位	卒業論文・卒業制作
124	必修(いずれか選択)

1年次		2年次		3年次		4年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期

教養教育科目		全学教育科目								
専修 基礎科目 (必修)	●微積分演習 I ●線形代数演習 ●力学演習 ●工学基礎演習	●専門基礎英語 I ●微積分演習 II ●都市工学概論 ●図学		●専門基礎英語 II						
		●構造力学演習 I ●建設材料学	●土質力学 ●水理学 ●アーバンデザイン ●現代建築概論 ●建築環境デザイン学							●卒業研究
専門科目 第1群										
専門科目 第2群 都市環境 基礎コース科目 コース共通科目 (選択)										
専門科目 第2群 建築都市 デザインコース科目										

●基礎設計製図演習

建築・土木分野においてプロジェクトを実践していくためには、アイデアや建設手法を統合して空間を計画設計し、それを2次元の図面に表現(製図)していく技術が必須である。この演習では、その専門技術修得の入り口として、設計と製図の基礎的知識及び建築的なスケール感覚を養うための課題に取り組む。具体的には、図面のトレース、模型の作成を通じた作品分析、小空間の計画を行い、3次元空間の創造能力、2次元への表現能力、プレゼンテーション能力の基礎を学ぶ。

●建築空間史 I

建築や都市は長い間の営為の積み重ねであり、それらを歴史的に検証することは、現在から近未来への創造行為を育んでいく大きな糧となる。本講義では、主にわが国の建築を対象に取り上げ、背景の技術や生産にも配慮しながら歴史的視点から主な空間的特質について学ぶ。

●構造力学演習 I

土木・建築構造物は他の工業製品に比べスケールが大きいため、その建設コストは高額である。しかし、むやみなコストカットが人々の財産や生命を危険にさらすことも少なくない。経済性と安全性のバランスが取れた設計を行うためには、たとえば、構造物の形を見ただけで何処に力が集中しているかが瞬時に判断できるような「力学的感覚」を持つことが必須である。この講義では、構造物の内部に分布している力(部材力)と変形の計算法を学び、その分布を図化する訓練を徹底して行うことによって、建設技術者に求められる力学的感覚を養う。

●水環境システム工学

水環境の質を評価するための基準や水質指標の意義を理解する。水循環、炭素・窒素循環など水環境における物質循環の概念と意義を理解する。河川、湖沼などの水域における自然システムと浄水処理施設、下水処理施設の人工的なシステムとの間には、物質輸送・変換現象としての共通点が多いことから、双方のシステムにおける素過程(流れ過程、生物反応、物質輸送など)について基礎的な知識を習得する。物質収支の概念を用いて主要な水環境モデルの定式化を習得し、応答特性を理解する。

●鉄筋コンクリート工学

鉄筋コンクリート造建築物は耐震性、耐久性、耐火性に優れ、現在一般的な構造形式となっている。本講義では、鉄筋コンクリート構造の設計として、軸力、曲げモーメントおよびせん断力を受ける柱や梁の設計方法について学習する。さらに引張力が発生する箇所に予め圧縮力を導入しておくプレストレストコンクリート構造(PC)についても、その原理と設計で必要となる基本知識を習得する。

●都市工学概論

都市工学科の教育システムは「都市環境基盤コース」と「建築・都市デザインコース」の2コースによって構成されている。カリキュラムは各コース固有の科目とコース共通の科目からなる。この講義では、「都市と社会基盤施設」と「建築と都市のデザイン」の枠組構成の下で、両コースで学ぶ基本的内容を把握し、都市工学の準備範囲を理解する。さらに、社会情勢の変化に目を向け、選択したコースで必要となる科目を自ら選択履修してゆく学びの姿勢を身に付ける。

●建築環境工学 I

環境の世紀と言われる現代において、都市・建築のあり方を環境的な視点から見直すことが求められている。例えば、地球温暖化や省エネルギーを考えると、都市・建築が担う部分は大きく、それらに関する諸問題を理解した上で、まちづくりや建築設計に携わっていく必要がある。本講義では、環境工学的な視点から都市・建築を捉えるために必要となる光・熱・音・空気質環境に関する基礎的な知識を学ぶ。

●地震工学

日本はプレート境界部に位置するため世界有数の地震国である。したがって、土木・建築構造物の設計においては地震荷重が支配的となり、構造物の地震に対する安全性照査は非常に重要な項目となる。この授業では、過去の巨大地震から学んできた地震工学上の基礎知識、構造物の動的特性として重要なファクターである固有周期と減衰定数、橋梁および建築物の耐震照査の基本的な考え方、近年多くの構造物に応用されている免震設計について学ぶ。

●都市交通計画

過度に車に依存した現在の交通政策の問題点を明らかにするとともに、今後進めるべき持続可能な交通政策について概説する。公共交通機関や自転車を活かした街づくりを進めてきたヨーロッパの代表的な都市の事例を紹介し、日本の自動車依存型都市と比較することによって、今後取るべき交通政策について検討する。また、都市の交通システムをどのように整備し、維持・管理すれば交通の効率性や信頼性、安全性、快適性を向上させることができるかを検討するための考え方および手法について学ぶ。

建築環境工学研究室 小島 昌一 准教授

当研究室は居住者にとって健康で快適な住環境や省エネルギーな建築に関する研究を行っています。居住者にとって快適な室内熱環境は、建物自体の様々な工夫や機械・電気的な設備によるエネルギーの効果的な使用により実現されます。したがって、更なる省エネルギーが急務の我が国においては、居住環境の快適性と省エネルギーを両立させる技術の進展がますます重要になっています。当研究室では実際の建物を対象にして、建物の熱的性能とエネルギー消費特性の解析を実測により行っています。これにより建物自体の問題点や空調システムの不具合を検知し、改善策を考案しています。また、放射暖房器を利用した暖房方法について省エネルギーと熱的快適性の観点から研究を行っています。現在主流の温風による暖房には快適性の点で課題が残されているので、放射暖房器の効果的な併用により快適性と省エネルギーの両立を実現する技術の開発を行います。



流域水工学研究室

大串 浩一郎 教授

私たちの暮らしにとって水は必要不可欠なものであり、水のある所に都市ができ文化が育ってきました。しかし、水を利用し易い所は水災害を受けやすい場所でもあります。本研究室では河川流域を俯瞰的・歴史的に概観し、流域の治水システムならびに良好な水環境の創造に資する調査研究を進めています。また、伝統的治水水技術を最新の科学的手法により分析検討し、現代に活かす技術研究も進めています。

交通計画学研究室

清田 勝 教授

公共交通機関が十分整備されていない中小都市において、車は欠かすことのできない存在になっている。しかし、交通事故や騒音・振動の問題等の大きな犠牲を払っていることを忘れてはならない。本研究室では、与えられた道路条件下で、自動車が歩行者や自転車とすれ違うときに歩行者や自転車利用者がどの程度危険を感じるかを推定する手法の開発や実際に速度を低減させるための装置（ハンブ、3連式狭さく等）の開発も行っている。

低平地水圏環境学研究室

荒木 宏之 教授(センター)

土地が海面などの水位と同レベルでこう配も緩やかな佐賀のような低平地は、水や様々な物質が集まりやすい特性を有しています。一方、低平地には人口が集中し、活発な産業活動も営まれているために、水に関する様々な問題が生じます。本研究室では、水質汚濁現象の解明、水環境を保全する技術、排水から有用資源を回収する技術などの開発を行っています。また気候変動が低平地の水に及ぼす影響についても研究を進めています。

構造解析学研究室

帯屋 洋之 准教授

現代の土木・建築設計においては、コンピュータによる構造解析が必要不可欠です。計算機の劇的な進歩により、最近ではどんなに複雑な形をした構造物であっても、その変形や力、損傷の状態などを簡単に知ることが出来るようになりました。本研究室では、計算機構造解析理論により、非常に大きな変形をする柔構造物(ケーブル構造や膜構造)の挙動追跡や、合理的な力の分布状態を実現するための構造物のカタチの創造にチャレンジしています。

建築デザイン研究室

平瀬 有人 准教授

本研究室は、建築デザインに関する研究・実践を進めています。私たちは都市の記憶をたぐり、その現在の活動を読み、人びとが建築と都市の関係に新しい意味を発見するためのメディアをつくりたいと考えています。その場所の歴史や個性を読解したうえで、場所や風景に対してどのような形式・質量・関係を持つ環境を形成するのか、という点に興味を持って研究・設計に取り組んでいます。

低平地地圏科学研究室

日野 剛徳 教授(センター)

本研究室は、有明海沿岸低平地域における地盤を具体的な研究フィールドとして教育・研究を進めています。有明海沿岸道路や有明海環境に関する2つの大型プロジェクトへの関わりを始め、当地に堆積し世界的にも有名な有明粘土に関する研究を多彩な学問の視点から進めています。研究室には外国人スタッフ、大学院生、4年生、3年生(後期から)、留学生が在籍し、ゼミ、現場見学や地域の技術者・科学者との交流を積極的に行っています。

Pick Up!! 主な卒業論文テーマ

- 経年鉄筋コンクリート構造物の劣化状況の詳細調査
- 膜構造物の構造計算法の開発
- 構造物の地震応答計算法に関する研究
- 佐賀県の土木遺産に関する調査と評価
- 諫早干拓調整池の水質管理と将来予測に関する研究
- 筑後川水系の水利用と河川管理に関する研究
- パーキングパーミット制度の改善に向けての取り組み
- 建築環境設計のための教育プログラムに関する研究
- 海水が浸透する石灰混合処理土の劣化に関する研究
- 感潮河川河岸域でのヨシ群落の生長とその分布特性
- 全国の高齢者施設の立地特性と防災意識
- まちなか空き家改修プロジェクトにおける学習機会
- コンクリート構造物の維持管理方法の研究
- 骨組構造「テンセグリティ」の形態解析
- 真空圧と載荷荷重を組み合わせた粘性土圧変形特性
- 生石灰やセメントを混合した有明粘土の強度変化
- 地震時における地盤の挙動および擁壁の安定性
- 流域治水に関する総合研究
- 現代住宅作品にみる「水回り空間」の特徴と変化
- 歴史的町並み保存における避難経路の研究
- 佐賀平野の集落の立地環境と住居配置
- 登り窯跡における若手職人のアトリエの提案
- 熱環境測定による佐賀市のクールスポット推定
- リンを下水から回収する新しい技術開発

教 員 紹 介

石橋 孝治 教授
コンクリート構造工学、地下構造学
井嶋 克志 教授
構造工学、地震工学
大串 浩一郎 教授
水工学、河川工学
清田 勝 教授
交通工学、交通計画学
古賀 憲一 教授
水環境システム工学、総合水管理
柴 錦春 教授
地盤工学、環境地盤工学
外尾 一則 教授
都市計画学、都市構成論
荒木 宏之* 教授
水環境工学、衛生工学

山西 博幸* 教授
環境工学、応用生態工学
伊藤 幸広 教授
コンクリート工学、維持管理
帯屋 洋之 准教授
構造解析学、形態解析
小島 昌一 准教授
建築環境工学、建築設備学
後藤隆太郎 准教授
建築計画、農村計画
坂井 晃 准教授
地盤工学、地盤動力学
平瀬 有人 准教授
建築設計・建築デザイン
三島 伸雄 教授
アーバンデザイン、地区空間計画

日野 剛徳* 教授
地盤工学、地盤環境学
末次 大輔* 准教授
地盤工学、防災工学
中大窪千晶 准教授
都市・建築環境工学
田口 陽子 講師
建築計画
根上 武仁 助教
地盤工学、環境地盤工学
淵上貴由樹 助教
建築歴史・意匠

*印の教員は、低平地沿岸海域研究センター所属で都市工学科の教育にも関わっている教員を示します。

農学部

Faculty of Agriculture

☐ 応用生物科学科 >>> P.106

☐ 生物環境科学科 >>> P.110

☐ 生命機能科学科 >>> P.114

私たちの暮らし、
地域社会、地球環境。
全てにつながるものが農学だった。

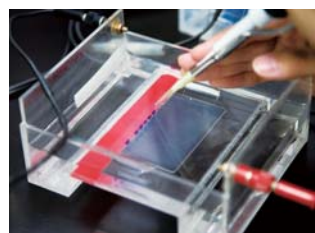


農学の発展を必要とされる時代、 社会のニーズに応える力を習得する



21世紀は、人類が大量生産・大量消費・大量廃棄型社会から循環型社会へ大転換する時代です。「食料」、「生命」、「環境」、「情報」、「エネルギー」、「地域社会」などどれをとっても、今ほど人類がその重要性を強く意識した時代はないでしょう。そして、これらの課題こそ農学が得意とするところであり、時代は農学の発展を必要としています。

農学は、理系から文系にわたる分野を含む、基礎から応用に及ぶ総合科学です。農学部には、「食料」、「生命」、「環境」、「情報」、「エネルギー」および「地域社会」を対象とする様々な教育研究分野が揃っています。ミニ総合大学といっても過言ではありません。したがって、農学部の中には皆さんが希望する分野がきっと見つかるはずです。



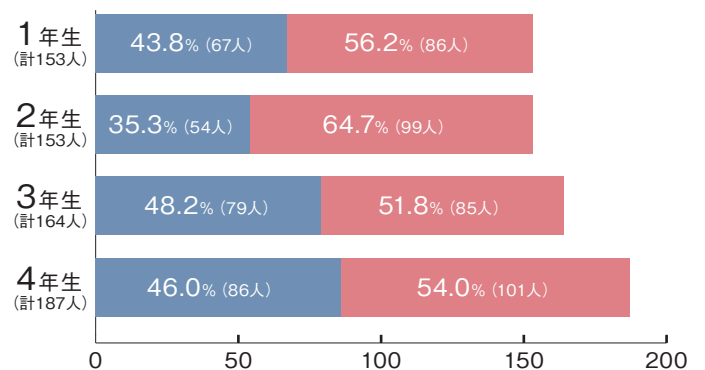
◎農学部の特徴

新たな教育システムで専門性充実

農学部では、21世紀の社会的要請に応えるために、学科の専門性を明確にし、創造性豊かな専門職業人養成のための新しい教育システムを用意しています。農学部を卒業後、大学院へ進みたい学生諸君には充実した修士課程と、さらに鹿児島大学、琉球大学、佐賀大学からなる連合大学院博士課程へ進学することが可能です。

◎学年別男女比率(平成25年度)

■ 男 ■ 女



Department of Applied Biological Sciences

農学部 応用生物科学科

さまざまな生物機能を理解し
人類の未来を支える
生物資源の応用について学ぶ



ウイルスやカビなどの微生物、園芸植物や薬用・食用植物、また昆虫、線虫や哺乳動物など、さまざまな生物を教育・研究対象としています。教育研究分野についても、遺伝子や細胞のレベルから、個体レベル、さらには生物間相互作用を基本とする生態系レベルまで、幅広い内容の専門教育と研究をおこなっています。フィールドワークや豊富な実験科目が組み込まれたカリキュラムで学ぶことにより、生物機能を幅広く理解し、新しい生物資源の開発や生物保護に応用できる専門知識と先端技術を修得することができます。応用生物科学科では、これらの課程により、将来の地球、また人類の食糧と健康を支える新しい生物資源の開発と利用に携わる能力と知識を持つ専門的職業人を養成することを教育目標としています。



カリキュラムの特色

応用生物科学科は、生物学および化学を基礎科目とし、1年次は植物、動物、微生物などさまざまな生物に関する遺伝学、生理学また生態学の基礎を学びます。2年次から、生物と化学に関連した学生実験科目が始まり、幅広く、基礎的な実験手法を修得します。専門科目は、より高度な分子生物学、微生物学、生態学等の分野について学びます。3年次からは、各研究室に配属され、少人数での分野実験、

指導教員とのマンツーマンでの実験指導やセミナーが始まり、4年次の卒業研究まで一貫した、より専門的で先端的な教育・研究が行なわれます。

自然と触れ合う大学生活

農学部
応用生物科学科 4年

中村 あずさ

佐賀県立佐賀西高等学校出身

私の所属する応用生物科学科では、ウイルスや細菌といったミクロのものから、線虫、昆虫、植物、動物といった非常に広い範囲の生物を研究対象とし、開発と制御という大きく2つの視点から環境問題、食料問題などの解決を目指しています。

この学科では2年生になるとアグリセンター(佐賀市久保泉)で毎週実習があり、田植えや作物の収穫、ハムやみかんジュース作りなどの様々な作業を協力して行うことで農業の厳しさや楽しさを学べると同時に学科のみんなと仲良くなれます。

また、3年生から研究室に配属されるので、自分の興味のある分野をより専門的に学べますし、研究室の先生やメンバーとの仲も深くなり、研究室に行くのが毎日楽しみです。

学業だけでなく課外活動も充実しています。私は探検部に所属しており、日本アルプスの山々に登ったり、観光化されていない洞窟を探検するなど全国各地さまざまなフィールドに足を延ばしアクティブに活動しています。

とにかく自然と触れ合うことが大好きなので、農学部での勉強も探検部での活動も本当に楽しく、毎日が充実しています。



Pick Up!! 取得可能な免許・資格

所定の単位を取得することにより、卒業時に資格が得られるもの

- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(理科、農業)
- 家畜人工授精師受験資格

試験に必要な科目の単位を取得し

卒業後の実務経験後、受験資格が得られるもの

- 農業改良普及指導員

Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先

- 佐賀県庁(2名)
- 大分県庁
- 農林水産省 中国四国農政局
- 佐賀大学技術職員(佐賀県)
- 九州大学医学部技術職員
- 糸島市役所
- 佐賀県教育委員会
- 中原種苗(福岡県)
- 佐賀農業組合
- 株式会社ココオ
- 佐賀西信用組合
- 佐賀共栄銀行
- 長崎銀行
- 久留米農業共同組合
- 株式会社サンライフ
- 株式会社フジ環境サービス
- 株式会社 JAビバレッジ
- 株式会社ステリカ
- 株式会社コスモス薬品
- 株式会社スカイゲイト
- 株式会社 NTT ファシリテーズ九州
- 大分県農業組合
- 林兼産業株式会社
- グリーンライフ産業株式会社
- 佐賀広域消防局
- 鳥栖キユーピー株式会社
- 株式会社フレイン
- 京つけもの 西利
- 株式会社やすや
- 新日本科学株式会社
- 美容師

主な進学先

- 佐賀大学大学院農学研究科(14名)

教 員 紹 介

野瀬 昭博 教授

熱帯作物、光合成制御、CAM 植物、炭素代謝

鄭 紹輝 准教授

熱帯作物、ダイズ、日長反応、子実成長

和田 康彦 教授

動物遺伝育種学、ゲノム解析、発現解析

山中 賢一 准教授

動物繁殖学、発生工学、生殖細胞

石丸 幹二 教授

植物二次代謝、ポリフェノール、発酵茶

一色 司郎 教授

ナス、雄性不稔、野生種

穴井 豊昭 教授

植物育種学、植物分子生物学、植物生理学

渡邊 啓史 講師

植物分子育種学

大島 一里 教授

植物病理学、植物ウイルス学、分子進化

早川 洋一 教授

昆虫、タンパク質、遺伝子

野間口真太郎 教授

行動生態学

徳田 誠 准教授

システム生態学、応用昆虫学、生物間相互作用

吉賀 豊司 准教授

線虫学、寄生虫、害虫防除

草場 基章 准教授

植物病理学、カビ、ゲノム

卒業単位	卒業論文
126	必修

1年次	2年次	3年次	4年次
-----	-----	-----	-----

教養教育科目

全学教育科目

専門科目

<ul style="list-style-type: none"> ●生物学 ●化学 ●作物生産学 ●動物資源開発学 ●生物化学 ●植物生理学 ●遺伝学 ●生物統計学 ●熱帯農業論 ●応用動物昆虫学 	<ul style="list-style-type: none"> ●土壌学 ●植物病理学 I ●植物育種学 ●線虫学 ●動物行動生態学 ●システム生態学 ●果樹園芸学 ●食料流通経済学 ●野菜園芸学 ●フィールド科学基礎実習 I ●フィールド科学基礎実習 II 	<ul style="list-style-type: none"> ●植物病原学 ●昆虫学 ●動物繁殖生理学 ●熱帯作物改良学 ●植物工学 ●生物学実験 ●応用生物学実験 ●応用化学実験 	<ul style="list-style-type: none"> ●植物発生生理学 ●植物分子遺伝学 ●植物生態生理学 ●動物遺伝育種学 ●動物体生生理学 ●観賞園芸学 ●植物病理学 II ●動物生産管理学 ●食用作物学 ●熱帯有用植物学 ●農業政策論 	<ul style="list-style-type: none"> ●経営資源管理学 ●科学英語 ●生物科学英語 ●生物情報処理演習 ●各研究分野実験 	<ul style="list-style-type: none"> ●飼料資源学 ●植物栄養学 ●卒業研究
--	---	--	---	---	---

注目の授業・講義

● 熱帯農業論

熱帯の殆どが発達途上国と呼ばれる国々で、伝統的な自給型農業と先進国の大資本による企業的農業が行われ、それぞれに固有の問題を持っています。本講では自給的農業の生産性向上に対する環境及び社会的阻害要因の解析とその改善策、さらには熱帯・亜熱帯及び乾燥地域における植物生産の特徴について解説します。

● 植物生理学

植物が持っている特徴的な生理機能について解説します。植物は動けないことから、さまざまな環境ストレスに対してすべて代謝物で応答しています。植物が地球上で生きていくために進化してきた形態、組織の構造、また細胞の機能(水の吸収・移動、光合成やさまざまな二次代謝物生産)について、古典的な植物個体レベルの実験の紹介から、最近の分子生物学分野における細胞・遺伝子レベルの研究データをもとに講義します。

● 線虫学

地球上の様々な場所に生息する動物「線虫」。この非常に小さい動物について、その種類や身体づくり、生理・生態など基礎的なことから、植物寄生性線虫の防除や線虫を使った応用研究や有効利用について学びます。

● システム生態学

生態系における生物同士の相互作用や生物の生存戦略について理解することを目的とし、植物-植食者間相互作用、寄生-捕食・寄生者間相互作用、動物と微生物の共生、生物同士の間接的な相互作用や共進化、生物多様性と生態系機能について最新の知見を学びます。また、授業時に小レポート課題を提示し、生物間相互作用に関する諸課題を解明するための調査手法や仮説の検証法の考案、結果の妥当性の解釈や考察を通して、論理的な思考力や問題解決能力を養います。

● 動物遺伝育種学

脊椎動物を材料に現代遺伝学と分子生物学の基礎をマスターするとともに、それらの応用としての遺伝子工学や家畜育種等の技術の概要を理解します。具体的には、遺伝子とDNA、遺伝子工学とゲノム解析、家系分析、連鎖と組換え、分子進化と系統樹、動物の進化と遺伝子の進化、量的形質の遺伝学、家畜の遺伝能力評価法、我が国における家畜育種の体制、家畜におけるゲノム解析などを講義します。

● 野菜園芸学

野菜は他の農作物とは異なり、種類が多く、新鮮な状態で利用されるので、常に供給されなければなりません。生産に当たっては集約的な管理が必要となります。本講では、以上のような特性をもつ野菜の種類、育種、繁殖および栽培の基礎について解説します。さらに、このような野菜の種類について、どの科に属するかを示し、また、各科の野菜ごとに育て方、品種の種類、有用成分、県別の生産量、作型、起原についても紹介します。野菜全般について学びます。

● 昆虫学

記載種だけでも80万種、ヒト1人に対して数億匹が現存すると言われる昆虫は、地上に進出した動物の中で最も繁栄を遂げている生物と言えます。そうした昆虫の起源、形態、行動や生理について基本的知識を講義した上で、最後に最新の昆虫分子生物学的研究知見を紹介します。これらの講義を通して、昆虫に興味を抱いてもらうことが本講義の第一の目標と言えます。その上で、公務員専門試験の「昆虫学」で出題される試験問題が解ける程度の知識を付与することも目標の一つと言えます。

● 植物病理学 I

植物病理学は、微生物学の基礎から病気の予防・防除まで幅広い分野を含む総合的な学問です。農作物などの有用植物を対象とし、菌類、細菌、ウイルスなど多様な病原体と植物とのかかわりを研究することによって、病気による被害を防ぐことを可能とします。病理学の歴史、感染と発病、糸状菌病、細菌病・ファイトプラズマ病、ウイルス病・ウイロイド病、病気の伝染、病気の診断、病害の防除、さらには植物病理学におけるバイオサイエンスについて、病原体の制御に資する基本的な概念を学びます。

● 動物行動生態学

動物は、自分のおかれた環境の中で、捕食、防衛、繁殖等に関する様々な情報を取り込み、内部でそれを整理し、外界への反応としての行動を返していきます。そのインプットからアウトプットへのプロセスは、長い進化の過程で、適応的なものになるように調整されてきました。ここでは様々な動物(時には植物、菌類、原生動物、バクテリア、ウイルスも含めて)において、進化の結果として獲得された適応的行動のメカニズムと機能について学びます。

● 動物繁殖生理学

生物が連鎖として生き続けるためには、生殖によって寿命を新しい個体に引き継ぐことが必要です。この生命の連続性を理解するために、動物の生殖に関係する器官の構造と機能、ならびに性成熟、受精、妊娠といった生殖に関わる諸現象の仕組みについて概説します。また、本分野において集積された知識を利用して開発された繁殖技術は、産業動物の効率的な生産からヒトの不妊治療まで広く応用されており、それらの技術の原理や今後の課題についても紹介します。

● 遺伝学

生物の様々な特徴を決定している遺伝子について、その分子メカニズムから個体、集団の中での動きについての講義です。具体的には、DNAの構造や複製・転写・翻訳、あるいはこれらの調節機構や形質発現機構といった、分子遺伝学的内容から様々な形質に関与する遺伝子の個体レベルでの遺伝様式に基づいた連鎖分析、特定の家系や集団の中での遺伝子の動き等についても学びます。

● 植物病原学

植物の病気はカビやバクテリアによる感染症が主になります。我々が病気にかかるのと医師は先ず診断(その病気が何によって引き起こされるのか原因を突き止めること)をするように、植物を病気から守るためにも、病気の診断は重要になります。このような診断技術の基礎知識を得るために、植物病原学では植物病原性の種を中心にカビやバクテリアの分類を学習します。また、重要な病気についてはその見分け方や防除法についても解説し、より実践的な知識の獲得を目指します。

熱帯作物改良学研究室

野瀬 昭博 教授・鄭 紹輝 准教授
専攻 熱帯作物、光合成制御、CAM
植物、炭素代謝

地球温暖化にともない地球規模での砂漠の拡大が懸念されています。土地の砂漠化は、まず乾燥に伴う土壌への塩化ナトリウム等の塩が集積し植物が生育できなくなり、その後、砂漠が形成されるというプロセスを経て生じます。サボテンやアイスプラントなどのCAM植物は、乾燥や塩類集積土壌でも生育できる植物で、特にアイスプラントは土壌から塩化ナトリウム等の塩を積極的に吸収・蓄積することができます。当研究室では、アイスプラントの塩類吸収・蓄積能力を活用した塩類修復技術の開発と塩類吸収・蓄積のメカニズムを分子生物学のレベルから生態学的レベルにわたって研究を実施しています。また、アイスプラントは野菜としても利用することができるために食品としての研究開発も行っています。さらに、同様な手法を用いて地球温暖化に伴い拡大が懸念されるイネの紋枯病抵抗性品種の育成と耐病性メカニズムの研究も実施しています。



動物資源開発学研究室

和田 康彦 教授

本研究室では、最先端の学術理論と科学技術を用いて、人間社会に役に立つ動物の開発と増殖についての研究を行うとともに、人間社会に役に立つ動物の開発と増殖に関わる業務に従事できる人材を養成することを目的としています。なお、動物遺伝育種学部門では、現在、ブタの白血球表面抗原遺伝子や核内受容体遺伝子の発現解析、鳥骨鶏特異的DNA領域の探索、佐賀牛における脂肪交雑原因遺伝子の探索などの研究を実施しています。

動物資源開発学研究室

山中 賢一 准教授

私たちが消費する大量の乳製品や食肉を安定的かつ安価に得るためには、ウシやブタといった産業動物をいかに効率的に増やすかということが非常に重要となります。私たちの研究室では、主に卵子や精子といった生殖細胞を用いた実験を通して、効率的に子供を生産する技術の開発に取り組んでいます。また、これらの研究から得られた知識や技術は、ヒトの不育治療にも応用することができ、食糧生産だけでなく医学分野への貢献も視野に入れた研究を行っています。

蔬菜花卉園芸学研究室

一色 司郎 教授

野菜および花の品種改良ならびに効率的な繁殖技術の開発を目指した教育と研究を行います。主なテーマは、野菜および花の遺伝分析、ゲノム解析、細胞質置換、系統分類ですが、現在、特に、ナスに関する細胞質雄性不稔性の研究に力点を置いています。野生種を種子親、ナス栽培種を花粉親とし、連続戻し交雑を行うことによって、細胞質雄性不稔性をもったナスができます。これを研究することで、ナスにおいて細胞質と核の関係などを探ることができそうです。

植物遺伝育種学研究室

穴井 豊昭 教授

我々の研究室では、効率的な作物(ダイズやイネ等)の品種改良を実現するための技術について研究を行っています。特に近年力を入れて研究を進めているのは、特定の標的遺伝子に突然変異を生じた植物を素早く探し出す方法で、逆遺伝学と呼ばれるアプローチです。この方法を使うと、ゲノム塩基配列情報が明らかになっている植物種であれば、思い通りの遺伝子についての突然変異体を作り出し、作物の改良に使用することが出来ます。

植物代謝解析学研究室

石丸 幹二 教授

植物成分の探索、新しい有用成分の構造解析とその生理機能について研究しています。化学構造の解析には、最先端の分析機器を活用するとともに、組織培養や遺伝子導入等のバイオテクノロジーを利用して、特定成分の生産制御も検討しています。また、食品や医薬分野で応用が期待される成分については、新しい加工法(生物発酵、物理的加熱、また化学合成等)を開発しています。最近、微生物発酵から、抗メタボリックシンドローム活性を有する新規力ケテン代謝成分を発見し、特許を取得しました。

動物行動生態学研究室

野間口 眞太郎 教授

無脊椎動物や魚において、親が子の保育をする種が少数ですが知られています。どのような条件が保育行動の進化につながったのでしょうか?また、動物の群れの中には、先導的な個体や、臆病な個体があります。このような他と少し違った個体は、群れの中でどのような役割を果たしているのでしょうか?このような動物行動への疑問を解く研究を進めていながら、農地環境に生息する身近な動物の行動・生態を調べることで、日本の農地や山林が果たしてきた野生生物環境としての重要性も明らかにしていきます。

植物遺伝育種学研究室

渡邊 啓史 講師

作物の育種という営みは、人間にとって役に立つ性質を集積し、より良い品種を作り出す過程に他なりません。選抜の対象となる農業上の重要な性質の多くは、遺伝子によってその特徴が決まります。しかしながら、農業形質を制御する遺伝子の多くは未だ明らかになっていません。私たちの研究室では、ダイズを中心に、収量性の向上などの農業上の重要な課題を克服するために役立つ遺伝子を探索し、それらの遺伝子がどのように機能しているのかを明らかにすることで、新しい品種の育成につながるような研究を目指しています。

植物ウイルス病制御学研究室

大島 一里 教授

植物ウイルスは農作物に甚大な被害を与えています。研究室では、植物に病気を引き起こすウイルスを対象に研究しています。中でも世界で最も大きな被害を与えている昆虫伝播性のウイルス、さらにアブラナ科やナス科植物に被害を与えているウイルスについて、植物病理学を基礎・基盤として分子進化学、生態学、疫学、集団遺伝学、さらにバイオインフォマティクスを融合させ研究しています。またウイルスと植物の相互作用についても最先端の技術を用いて研究しています。

植物病制御学

草場 基章 准教授

これまで、多くの農作物で病気に強い品種(抵抗性品種)が作られてきました。一方、このような抵抗性品種を長期栽培すると、病原体に突然変異が起こり、抵抗性品種に感染できるものが出現します。植物病原菌の病原性変異がどのようにして起こるのかを突き止めれば、病原菌の変異に対して安定した抵抗性品種を作ることが出来ます。私の研究室では日本で最も重要な作物であるイネに病気を起こすイネもち病菌を中心に、病原性変異の原因となる遺伝子の同定・そして変異機構の解明を目指した研究をしています。

システム生態学研究室

徳田 誠 准教授

植物と昆虫を中心とする生物同士の相互作用について研究しています。生物の特徴がどのように進化してきたのか、環境に適応する上でどのような意義があるのかを解明し、生物多様性を産み出すメカニズムを明らかにする研究に取り組んでいます。また、地球温暖化などの環境変動が生物に及ぼす影響、害虫による被害を防ぐ方法、生物の大発生や絶滅が生じる原因などについても研究を進めています。遺伝子から生態系まで、様々なレベルで研究を進めています。

線虫学研究室

吉賀 豊司 准教授

線虫は、地球上の様々な環境に適応した、最も繁栄している動物の一つです。微生物を摂食するものから動物植物に寄生する種まで、多種多様な生活史を持ちます。私たちは、特に昆虫や植物に寄生する線虫の宿主探索機構の解明ならびに、線虫と共生・寄生関係をもつ微生物との相互作用の研究を中心に行っています。

昆虫学研究室

早川 洋一 教授

昆虫は私達人間よりも遥か昔に地球上に現れ、現時点でも生態的に地上で最も繁栄している動物と言えます。彼らはこれまで、そして現在も、様々な環境ストレスに抗して生き抜く為に行動や生理レベルで優れた調節能力を駆使しています。当研究室では、そうした昆虫が持つ潜在能力を分子(主に、タンパク質や遺伝子)レベルで明らかにする為の研究を行っています。こうした基礎的昆虫分子生物学的研究は、農業害虫の制御や有用昆虫の保護、さらには、基礎医学的な分野においても貢献できるものと期待できます。

Pick Up!! 主な卒業論文テーマ

- アイスプラントの塩化ナトリウム吸収特性に関する研究
- 炭素代謝特性からみたイネ紋枯病抵抗性メカニズムの研究
- カンキツ近縁属の分子分類
- 果実の機能性成分の分析法の開発
- 中国産発酵茶の機能性成分
- 微生物発酵茶の新規力ケテン代謝物
- ナスの種なしを作るための研究
- ツチカメシ類等の昆虫類における保育行動の生態・進化的研究
- ブタの免疫関連遺伝子についての研究
- 高品質な受精卵の生産技術開発
- 昆虫による植物形態操作のメカニズム解明
- 植物-植物食昆虫間のアリを介した間接的な相互作用の検出と解析
- 寄生性線虫の宿主探索行動の解析
- 線虫に寄生する病原体の探索
- 昆虫の食欲を調節する遺伝子の研究
- 突然変異遺伝子を利用したダイズ開花期の制御
- ダイズ種子の糖含量を制御する遺伝子についての研究
- 植物ウイルスの分子進化と分子生態学に関する研究
- 植物ウイルスと宿主植物との相互作用に関する研究
- 植物病原糸状菌の病原性変異の研究
- 植物病原糸状菌の病原性関連遺伝子の単離
- シチメンソウの遺伝子を導入して耐塩性コムギを創る
- 柔らかいトゲのバラは創れないか?

農学部 生物環境科学科

科学的合理性や科学的論理に基づいて
判断し問題解決に取り組む
人間理解に立った良い人間関係の形成、
協調・協働した行動
社会生活で守るべき規範を順守し、
自己の能力を社会の健全な発展に寄与する姿勢



環境保全と持続的食料生産の為に技術開発及び資源循環型地域社会の構築を担う人材の育成を目指して教育を行う。生物環境保全学コースでは、地球・生物・人の調和を図り、環境に負荷の少ない生物生産環境の創出・保全と豊かな生活空間の創造に関する教育研究を行う。資源循環生産学コースでは、農業における資源、エネルギー、環境などの課題に取り組み、高度な生物生産システムに関する教育研究を行う。地域社会開発学コースでは、持続可能な循環型社会の構築を目指し、国際的視野で民族、地域資源、人類生態、環境社会、農林水産業に関わる地域ビジネス開発に関する教育研究を行う。生物環境科学科では、これらの課程により、将来の地球、また人類の食糧と健康を支える能力と知識を持つ専門的職業人を養成することを教育目標とする。



カリキュラムの特色

生物環境科学科は、農学分野の基礎的な知識・技術を体系的に身に付けるために専門基礎科目(数学、物理学、生物学、化学)と農学基礎科目(作物生産学、動物資源開発学、生物化学、土壌学、食料流通経済学)を1～2年次に配置。農学分野における課題発見と解決能力の修得の為に、情報収集・分析力、研究技能と研究マインド、リーダーシップを発揮する指導力などの要請に関する講義科目、実験・演習科目及び卒業研究を専門科目として配置する。生物環境科学に関する専門的な知識、技術を修得し、農学に関わる業務を遂行する職業人としての実践能力を

養うために、専門科目と実験科目、演習科目を体系的に配置する。社会との関わりを理解し、持続的な自己実現を図るための能力、習慣を身に付けるために、専門科目として演習やインターンシップを配置する。さらに、卒業研究修了まで専門的な研究環境を長期間経験することにより、学士(農学)として十分な専門知識と先端技術を修得するとともに、研究チームの一員としての協調性、高い倫理観と豊かな人間性を養う専門科目(各研究分野実験、卒業研究)を配置する。

アクティブな学科です！

私が所属している生物環境科学科は様々な教育研究分野が集まった学科です。私たちは、この学科で、人間や植物、動物、微生物など生物のこと、それらを取り巻く水や土壌、干潟など自然環境のこと、社会や民族、経済のことなど幅広く勉強し、地域と世界の食料問題や環境問題、エネルギー問題、社会の問題の解決について考えています。また、この学科は他の学科と比べると屋外での活動の機会が多く、学生は附属アグリ創生教育研究センターの実習で作物栽培や家畜管理などの農作業を体験したり、海外で現地調査をしたりとアクティブに活動しています。これらの活動ではみんなで協力し合ったり、大学以外の色んな人たちと出会ったりもできて、とても有意義な経験ができます。

大学生活では、勉強だけでなく、サークル活動やアルバイトもして充実した毎日を送っています。皆さんもこの魅力的な学科で私たちと一緒に楽しい大学生活を送ってみませんか？



農学部
生物環境科学科 2年
峰 裕美子
長崎県立長崎西高等学校出身

Pick Up!! 取得可能な免許・資格

所定の単位を取得することにより、
卒業時に資格が得られるもの

- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 家畜人工授精師受験資格
- 高等学校教諭一種免許状(理科、農業)
- 土木施工管理技士受験資格

試験に必要な科目の単位を取得し
卒業後の実務経験後、受験資格が得られるもの

- 農業改良普及指導員
- 測量士補・測量士

Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先

- 佐賀県庁(2名)
- 福岡県庁
- 福岡市役所
- 八女市役所
- 那珂川町役場
- 佐賀県警
- 岡山県警
- 神奈川県警
- 佐賀県教育委員会中学校
- 八女地区消防職
- JA 佐賀(4人)
- JA 福岡中央会
- JA 天草
- JA 鹿本
- (医)聖マリア病院
- (医)小池病院
- 有明スカイパークふれあい郷
- 日本放送協会(NHK)
- (株)毎日コミュニケーションズ
- (株)エムエムデー
- (株)森永乳業
- (株)コカ・コーラウェストプロダクト
- (株)ジャパンフーズ
- (株)日本配合飼料
- (株)久光製薬
- (株)アース環境サービス
- (株)三菱電機住環境システムズ
- (株)佐電工
- (株)タマホーム

主な進学先

- 佐賀大学大学院農学研究科(14名)
- 筑波大学大学院生命環境科学研究所
- 佐賀大学大学院医学系研究科(2名)
- 琉球大学大学院農学研究科
- 熊本大学大学院医学教育部



1年次

2年次

3年次

4年次

教養教育科目

全学教育科目

生物環境保全学コース

- 数学
- 物理学
- 化学
- 生物学
- 作物生産学
- 動物資源開発学
- 生物化学
- 生物環境保全学概説
- 資源循環生産学概説
- 地域社会開発学概説
- 生産情報処理学 I

- 土壌学
- 実験生物環境保全学
- 植物栄養学
- 環境汚染化学
- 環境基礎解析学
- 食料流通経済学
- 実験水気環境学
- 地球環境学
- 土壌環境科学
- 水環境学

- 地盤環境学
- 測地学 I
- 測地学演習 I
- 環境水理学 I
- 環境水理学演習 I
- インターンシップ I
- 環境植物学
- 現代環境学
- 環境浄化生物学
- 干潟環境学

- 生物環境保全学演習
- 卒業研究

資源循環生産学コース

- 土壌学
- 栽培環境制御学
- 生物科学実験実習
- 生産情報処理学 II
- 食料流通経済学
- 農業生産機械学
- 環境保全型農業論
- 植物遺伝資源学
- 農産食品流通貯蔵学
- フィールド科学基礎実習 I

- 農業資源物質工学
- 植物生態生理学
- 土壌微生物学
- 動物生産管理学
- 設計・製図学
- 生産エンジニアリング
- フィールド科学総合実習
- 雑草学
- 飼料資源学
- 生物物理化学

- 生物有機化学
- 遺伝子工学
- 分子細胞生物学
- 各研究分野演習
- 卒業研究

- 卒業研究

地域社会開発学コース

- 国際環境農業論
- 食料流通経済学
- 経営資源管理学
- 地域ビジネス開発論
- 地域資源論
- 人類生態学
- 観光人類学
- 環境地理学
- 土壌学
- フィールドワーク基礎演習

- 環境保全型農業
- アジア比較農業論
- 国際地域開発論
- 生態人類学
- 食料市場論
- アジア開発教育論
- 農業会計学
- 社会統計学
- アジアフィールドワーク
- インターンシップ I・II

- 卒業研究

専門教育科目

注目の授業・講義

●水環境学

地球上には膨大な量の水が存在しているが、人間が容易に利用可能な河川水や湖沼水などの淡水の割合はわずかである。水は人々の生活および食料生産において欠かせない貴重な資源といえる。本講義では、生活に潤いと安らぎをもたらす、生態系にも配慮した水環境保全のあり方について考える。①水循環、②水資源、③水質の基礎、④水質汚濁、⑤水質浄化、⑥日本の水環境、⑦農業と水、⑧水田の水環境、⑨水環境保全などについて学ぶ。

●土壌学

地球の大きさからすると、土壌はリングに付いた手垢のように薄い。しかし、地球上のほぼ全ての生物をたくわけてくれている存在だ。実は人類は、土壌を劣化荒廃させる歴史を繰り返してきたのであって、持続的な社会を作るには、土壌の持続的な利用が欠かせない。授業では、土壌の持つ養分保持力や環境調節効果などの巧妙な仕組みや土壌微生物の動きについて分かりやすく解説し、作物生産の増進や環境保全に関わる土壌の役割について考える。

●環境汚染化学

化学物質は我々の豊かな生活に貢献する一方で、さまざまな環境汚染問題を引き起こしてきた。環境を汚染しやすい物質の性質やその毒性、それらを使うヒトの考え方などについて、実例を紹介すると共に環境化学的な視点から解説していく。化学物質の効果(薬)と汚染(毒)は諸刃の剣であり、バランスをとった上手な利用が重要であることを詳説する。①汚染物質とはなにか、②環境汚染の歴史、③化学物質と食品安全評価、④洗剤と環境問題など

●食料流通経済学

日本の農業を巡る国際的な市場環境、戦後の日本経済の発展に果たした農業の役割、戦後の食料消費の動向とその特徴などを平易に説明した後、国内産の米、野菜、果実、畜産物、工芸作物等の国内流通の現状、さらに、食品製造業、食品流通業、小売業による経済活動の実態を説明する。国民の豊かな生活と農業・農村の関連性について学ぶ。

●栽培環境制御学

農業の技術革新が発生するたびに地球上の人口は大幅に増加してきた。この講義では、農業の歴史的展開と私たちが直面している食料生産の現状を理解し、限られた環境下で効率的に食料を生産するために必要となる農業技術として、施設園芸を中心とした環境制御の考え方と方法を学ぶ。具体的には、光環境、温湿度、及びガス組成を対象とした環境制御、養液栽培の基礎と応用(土耕栽培から野菜工場)、地域特有のエネルギー利用等を取り上げる。

●観光人類学

この授業は、観光をめぐる開発と環境保全、伝統的な社会の変化の問題などを社会文化的側面と地域振興の側面における問題意識および、地域社会(特に農村地域)の持続可能な発展などについて理解を深める。
①講義のガイダンス、②観光人類学とは何か、③諸観光の概念・グリーンツーリズムとエコツーリズムを中心に、④観光における人類学・観光人類学からみた伝統的な地域資源の利用について、⑤観光=開発と持続可能性の問題、⑥事例考察・観光人類学における韓国と日本の比較などについて学ぶ。

生産システム情報学研究室

北垣 浩志 准教授
専攻 酵母・育種・酒類・醸造、
ミトコンドリア

生産システム情報学研究室は農産資源を活かした新しい産業や雇用を創出するための研究開発を行い、また研究開発を通じて学生の教育に活かすことを目指しています。たとえば、近年焼酎の製造量の増大に伴いその発酵物である焼酎粕の量が増えておりその高付加価値化が求められています。当研究室では焼酎粕から保湿効果のある成分であるスフィンゴ脂質が高濃度で含まれていることを初めて発見し、伝統微生物である麹菌がスフィンゴ脂質を生産することも明らかになりました。この成果は焼酎粕や伝統微生物である麹菌を活用した化粧品や機能性食品の開発に道を開くものです。この研究は佐賀ビジネスプランコンテストで研究室の学生たちが最優秀賞グランプリを受賞し、学生たちも全国的なメディアに多く取り上げられると同時に、NHKの全国版の放送でも紹介されました。



地圏環境学研究室

長 裕幸 教授

農地における植物の生育は、土壌中の水分や養分の吸収の上に成り立っています。では、その水分や養分はどこからやって来てどこに行っているのでしょうか。本研究室では、このような農地における土壌中の水分や養分の循環を最新の測定法を用いて観測し、シミュレーションを行って再現し、適切な管理法の提案を行っています。対象地域は国内のみならず海外に及び、乾燥地域の沙漠化と塩害対策は、重要なテーマとなっています。

浅海干潟環境学研究室

郡山 益実 准教授

有明海にはたくさんの干潟が残っています。干潟は毎日潮の満ち干きに応じて水没と干出を繰り返す場所で、特有の生態系が形成されています。また、干潟はめずらしい生物の宝庫であると同時に、いろいろな機能を併せ持つ場所でもあります。私たちの研究室では、干潟の環境と機能について教育・研究しており、現在は、(1) 有明海(海)と干潟底泥中の栄養物質循環、(2) 干潟に住む生物(ベントス)の生息分布と活動状況、(3) 生物(ベントス)活動が干潟の環境に及ぼす影響などに関する研究を行っています。

作物生態生理学研究室

有馬 進 教授・鈴木 章弘 教授

植物の発育生理と生存戦略ならびに農作物の生産生態を解析し、得られた成果により、安全で多収穫を可能とする作物栽培理論の構築及び品種開発に関する教育研究を行う。特に、化学肥料(窒素)の多用で世界的に問題化している環境汚染の解決を目的に、マメ科植物と根粒菌における共生窒素固定メカニズムならびに遺伝情報の解析に基づいて、ダイズなどのマメ科作物における根粒の窒素固定能力を高め、その栽培利用ならびに減化学肥料による環境保全型農業の確立に貢献する。

資源循環生物学研究室

染谷 孝 教授

バイオマスの微生物学的資源化や土壌環境保全、水資源の浄化再生利用に関わる微生物学的側面に関する教育研究をおこなう。すなわち、有機廃棄物の堆肥化やメタン発酵、土壌・地下水浄化、排水処理等に関わる微生物の生理生態学的解明とその応用に取り組む。さらに、農業生産環境におけるバイオセーフティの改善など、バイオマス利用における微生物的安全性に関わる課題にも重点を置く。

地域ビジネス開発学研究室

白武 義治 教授・辻 一成 准教授

日本や東・東南アジアなどを中心に世界の食料・農業・農村に関する経済的側面の問題を取り上げ、それらの解決と持続的な開発や発展の方法について教育・研究する研究室です。フィールドワーク(現地調査)が好きで地域資源の循環システムや農商工連携の構築を担う農業者の実践やその支援組織の役割に関心がある人におススメの研究室です。

人類生態学研究室

福岡 司 教授・藤村 美穂 准教授

日本の地域社会の環境や自然にかかわる諸問題、途上国の開発に伴う環境・健康問題について、生物人類学・社会学・民俗学的手法を用いたフィールドワークを基にして調査研究します。具体的には地域社会の価値や技術、環境管理システムや環境政策のあり方、ヒトの生物学的特性等を検討することにより、環境・健康問題の本質である環境変化に対するヒト及び地域社会の対応と変化を明らかにします。現在研究室では、日本やアジアの山村の地域資源管理、バングラデシュの地下水砒素汚染問題やラオス農村の健康問題等のテーマについて主に取り組んでいます。

Pick Up!! 主な卒業論文テーマ

- マイクロコロニー蛍光染色法および培養法による農業用水中の大腸菌O157およびサルモネラの分布調査
- クリノカッシュによる富栄養化クリークの水質改善の適用性について
- 乾燥地畑地圃場における蒸発散フラックスの解析
- 有明海奥部底泥におけるアンモニアの生成速度ポテンシャル
- ホタル再生のための水環境保全に関する研究
- 九州北部・南部地方における降水特性の長期変動について
- ガカム、ゲルマニウムおよびビスマスに対するトリプタスの吸収特性と生育応答
- 東日本大震災被災地で採取された二枚貝類中PCBs濃度の時系列的変動
- メタン発酵消化液を用いた水稲栽培における肥培かんがいの効果・肥料成分の分布
- SEN1遺伝子によるマメ科植物の窒素固定能向上に関する研究
- ユリの花粉からの細胞単離技術の開発
- アスパラガスの実生とカスを用いたアレロパシー活性の雌雄相互作用
- 清酒醸造過程における酵母ミトファジーの役割の解明
- 裸麦の硝子質分布に関する研究
- 有機質肥料がダイズの生育と収量に及ぼす影響
- サツマイモ栽培における株間の違いが雑草抑制と収量に及ぼす影響
- 都市近郊農村における農業経営規模拡大と地域社会—小城市三日月町久米集落N農産を事例に—
- 市民協働によるまちづくり—長崎県平戸市崎方町における町なみ環境整備事業を事例に—
- 災害復興と農業の再生—南鳥居原市深江町大野馬場地区を事例に—
- 一村一品運動のその後—大分県日田地区を事例に—
- 佐賀市近郊のバラ農家における生産とマーケティング戦略—色彩やファッションの流行はどれほど意識されているのか—

教 員 紹 介

長 裕幸 教授
Preferential flow, TDR, 水分移動、溶質移動

原口 智和 准教授
水質負荷、近赤外線画像、灌漑、長短波放射

近藤 文義 教授
粘土、沈降、圧密、リモートセンシング、土壌調査

宮本 英揮 准教授
物質循環、農地環境制御、モニタリング、物質移動シミュレーション、粘質土

上野 大介 講師
環境汚染、人体汚染、有機化学物質、化学分析

染谷 孝 教授
土壌微生物、蛍光染色法、FISH、土壌浄化、水浄化

廣間 達夫 教授
タイヤ、走行解析、発熱植物、体温制御機構

稲葉 繁樹 准教授
ゴム履帯、走行解析、情報、生産管理データベース、画像処理

北垣 浩志 准教授
酵母、育種、酒類、醸造、ミトコンドリア

田中 宗浩 准教授
廃棄バイオマス、液肥、近赤外分光分析法、流通貯蔵

有馬 進 教授
農作物、栽培技術、水生植物、根系、農業環境

鈴木 章弘 教授
共生窒素固定、遺伝子組み換え植物、遺伝子発現、根粒菌

尾野 喜孝 教授
家畜、筋肉、食肉生産、循環型農業、動物福祉

上笠 喜八 准教授
循環型農業、雑草、発芽、イネ、ムギ

駒井 史訓 准教授
アレロパシー、園芸作物、雌雄異株植物、新品種開発、有機農業

白武 義治 教授
農産物市場、食品加工業、地場地域流通、農協共販

辻 一成 准教授
農業の組織と管理、経営の持続的成長、経営者機能、ベトナム

李 應喆 講師
地域資源、生業活動、人、アメニティ、地域活性化

福岡 司 教授
オセアニア、東南アジア、開発途上国、環境問題、健康問題

藤村 美穂 准教授
地域資源、コモンズ、山村、ローカリティ

小林 恒夫 教授
環境社会学、島嶼経済学、条件不利地域

五十嵐 勉* 准教授
郡山 益実* 准教授
*全学教育機構の教員であるが、本学科で卒業研究等を担当しています。

生命機能科学科

- ・ 生命現象を分子レベルで解明
- ・ 生物資源がもつ特異的な機能を開発・利用
- ・ 生命科学を理解し科学的に思考できる人材の育成



様々な生物の生命現象を探求し、その研究成果に基づいて、有用な生物機能の開発や生物資源の利用に関する教育と研究を行う。ダイナミックな生命現象や多様な生物資源の構造と機能を、生物化学を基礎に、実験によって明らかにしていくという過程を通して、生命科学について基本的な理解を深め、科学的に思考できる人材、社会の要請にかなう人材の育成を目的としている。教育目的を達成するために 1 ~ 3 の教育目標を定める。

教育目標

- 1 幅広い教養に裏打ちされた広範な視野をもつ人材を育成する。
- 2 生命現象を探求し、生物機能・生物資源を開発・利用するために必要な、基礎から応用に至る化学的な教養および実践的な研究能力を身につけさせる。
- 3 情報を収集する能力、計画を作成する能力、結果を集約し解析する能力、プレゼンテーションを行う能力を身につけさせる。

カリキュラムの特色

生命機能科学科では、様々な生物の生命現象を探求し、その研究結果に基づいて、有用な生物機能の開発や生物資源の利用に関する教育・研究を行っています。

学生は、1年次に幅広い教養に裏打ちされた広範な視野を育みます。

その後2・3年次に、生命現象を探求し、生物機能・生物資源を開発・利用するために必要な、基礎から応用に至る化学的な教養及び実践的な研究能力を身につけます。

4年次では教員指導の下に卒業研究を行い、情報を収

集する能力、計画を作成する能力、結果を集約し解析する能力、プレゼンテーションを行う能力を身につけます。

充実した大学生活

農学部
生命機能科学科 3年
家弓 沙矢香
長崎県立諫早高等学校出身

私は、農学部生命機能科学科で微生物や人についての生命現象や食品について学んでいます。

生命機能科学科に来てよかったと思うことは、将来やりたいことを見つけられたことです。私は生化学に興味があり、薬に関わる研究をしたいと考えています。

生命機能科学科では、自分が興味をもてることを見つける機会が十分に与えられていると思います。

2年生後期から、毎日午後行われる学生実験はとても楽しいです。

学生実験では、戸惑い、失敗することもありますが、学科の皆の協力や、先生方の指導により、日々成長を感じることができます。また、実験を通して学科の皆とより一層仲良くなります。

大学の授業は、先生が教えてくれることを理解するだけでなく、自ら疑問に思い、積極的に学ぶ姿勢が大切だと思います。大学生は、自由な時間も多くあり短期留学する人やサークル活動に打ち込む人など様々です。勉強だけではなく、多くの経験を積むことで、充実した大学生活がおくれると思います。



農学部 / 生命機能科学科

Pick Up!! 取得可能な免許・資格

所定の単位を取得することにより、卒業時に資格が得られるもの

- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 食品衛生管理者
- 高等学校教諭一種免許状(理科、農業)
- 食品衛生監視員

試験に必要な科目の単位を取得し卒業後の実務経験後、受験資格が得られるもの

- 農業改良普及指導員

Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先

- キューピー(株)
- (株)JAビバレッジ佐賀
- (株)JA 総合食品佐賀
- 明治チューインガム(株)
- 山崎製パン(株)
- 伊藤ハム(株)
- (株)ダイショー
- (株)サンデリカ
- 九星飲料工業(株)
- 宮島醤油(株)
- (株)久原本家食品
- 藤本製菓(株)
- 祐徳薬品工業(株)
- 福岡市農業協同組合(JA 福岡市)
- 佐賀県庁
- 佐賀県教育委員会高等学校
- 三愛オプリガス九州(株)
- 十八銀行
- 福岡銀行
- (株)損害保険ジャパン

主な進学先

- 佐賀大学大学院農学研究科
- 九州大学大学院医学系学府
- 熊本大学大学院薬学教育部
- 九州大学大学院生物資源環境科学府
- 熊本大学大学院生命科学研究所



教 員 紹 介

渡邊 啓一 教授
生物化学、タンパク質工学
本島 浩之 助教
タンパク質工学
上田 敏久 准教授
ペプチド化学
宗 伸明 准教授
分析化学、バイオ材料化学

神田 康三 教授
応用微生物学、微生物遺伝学
小林 元太 准教授
応用微生物学、微生物工学
林 信行 教授
食品工学、環境科学
光富 勝 教授
食品化学、糖質工学

関 清彦 講師
生物資源化学、酵素化学
濱 洋一郎 教授
生物資源利用化学、糖質化学
永尾 晃治 准教授
栄養化学、栄養生理学、食糧化学工学
亀井 勇統 准教授
天然物化学

1年次

2年次

3年次

4年次

教養教育科目

全学教育科目

専門科目

- 物理学
- 化学
- 生物学
- 数学
- 作物生産学
- 生物化学
- 動物資源開発学
- 物理化学
- 有機化学
- 分析化学
- 科学英語
- 遺伝学
- 植物生理学
- 生物統計学

- 土壌学
- 食糧流通経済学
- 生物有機化学
- 生化学
- 生物物理化学
- 微生物学
- 生命化学概説
- 食糧科学概説
- 食品衛生学
- 栄養化学
- 食品化学
- 分子生物学
- 化学実験Ⅰ
- 化学実験Ⅱ
- アカデミック英語プレゼンテーション

- 微生物学実験
- 生化学実験
- 食糧安全学
- 食品工学
- 食品機能化学
- 応用微生物学
- 海洋生物資源化学
- 食糧流通貯蔵学
- インターンシップⅠ
- 植物栄養学
- 分子細胞生物学
- 農産物利用学
- 生物資源化学
- 遺伝子工学
- 専門外書講読
- アカデミック英語プレゼンテーション

- 卒業研究
- 生物学基礎実験
- 演習

注目の授業・講義

●生化学

生化学は、生命現象を化学的に分子レベルで解明・理解しようとする学問である。本講義では、細胞の中で起こる物質代謝(分解と合成反応)とエネルギー代謝およびその調節機構について学ぶ。特に糖質代謝を中心に学び、生物が生命活動に必要なエネルギーをどのようにして取り出し、利用するかを分子レベルで理解することを目的としている。

●食品工学

店舗には、魚や野菜のような生鮮食品から冷凍食品や飲料・菓子などの多くの食品が並んでいる。これらは鮮度を保つための冷蔵技術、品質を維持するための冷凍技術、加工に際しての攪拌・混合、加熱や冷却、濃縮あるいは分離など多くの工学的要素技術の集大成で生まれている。食品工学の授業では食品製造・保蔵・殺菌等に必要となる工学的理論や方法を平易に解説する。

●生物資源化学

バイオマスは、太陽エネルギーを使って、植物などの生物が、水と二酸化炭素から光合成により生成した有機物をはじめとする資源である。私たちのライフサイクルの中で生命と太陽エネルギーがある限り、持続的に再生可能な資源である。本講義では、バイオマスの中で最も大量に存在するセルロース系の「植物資源」とキチン・キトサンなどの「動物資源」の機能と性質を化学的に解説し、エネルギー資源・生物資源としてのバイオマスの展望について紹介する。

●応用微生物学

微生物は我々の身近に多数存在しており、人類の生存に大きく貢献している。その微生物を利用するためには、微生物の性状や取り扱い方法、育種方法などについて理解することが必要である。まずは身近な発酵食品・酒類・飲料等の製造工程における微生物の役割を理解し、さらに環境浄化やエネルギー生産等の分野における微生物の役割を多方面に渡って学ぶ。すなわち微生物を利用した物質生産から環境浄化までの実例を幅広く詳細に学ぶ。

●有機化学

有機化合物は、炭素原子の連なりを骨格としてできており、生物とかかわりの深い大変重要な物質である。この有機化合物について、炭素原子の特徴や原子同士を繋ぐ化学結合などの基礎的事項から分子の形やどのような反応を起こすかなどの重要事項までを学ぶ。また、官能基(分子の特徴的な反応のカギとなる原子やグループ)が炭素骨格に付くことで有機化合物はさらに多彩となることから、代表的な官能基についても学ぶ。

●食品衛生学

全ての食品には、程度の差こそあれ、健康被害を引き起こすリスクが存在している。これら食品に潜在するリスクを正しく理解するとともに、その防止手段を学ぶことが本講義の目的である。本講義は、生命機能科学科の必修科目であり、生命機能科学科学生が食品衛生監視員・管理者の有資格者となるにあたって、基礎となる知識および情報を提供する。主な授業内容は、食品の変質・腐敗、細菌性食中毒などである。

●食品機能化学

栄養成分と身体、組織、細胞との相互作用を知り、我々が栄養素の摂取量や摂取方法によって、どのような影響を受けるかについて学ぶ。特に、日常摂取している食事中には微量ではあっても様々な必須の栄養素(ビタミンやミネラル)が含まれており、正しい知識もなく好き嫌いや瘦身目的で偏った食事をすることは、身体にとって危険をもたらすことを理解する。

●遺伝子工学

有用生物の分子育種を目的とした遺伝子工学は、分子遺伝学の知識を応用して様々な用途に対応できる生命体の変異体を作り出す技術である。その技術に必要な分子生物学的知識とそれに関する酵素の関わりを明確に理解させることを第一の目標とする。試験問題には必ずあるキャラクター(Doji Doccano 博士)が登場し、彼のもつ疑問(野望)とそれを克服する対応方法を彼に代わって答えてもらう。

●分析化学

私達が、安心・安全で快適な生活を営むためには、モノを「はかる(分析する)」技術が極めて重要である。特に、農学部においては、生物生産物を食品として取り扱うため、それらに含まれる化学成分を正確に分析することが非常に大切となる。本授業では、化学分析の基礎となる物質の定量的な取り扱いを身につけると共に、様々な機器を用いた分析法について、原理と方法の実際について学ぶ。

●食品化学

食品は生物に由来し、きわめて複雑な複合成分系である。食品中に含まれる個々の物質の性質が、貯蔵、加工、調理の過程で変化する様子を化学的に理解し、より高い機能を備えた食品を作り出すための基礎知識を習得することが必要になる。食品化学では、食品の一般成分の化学と食品成分が食品中に存在する状態や役割について概説し、食品の品質に関わる成分変化や成分間の反応について解説する。

●分子細胞生物学

様々な生物の全 DNA 配列が解読された現在、生命を構成する細胞に対する分子レベルでの理解が急速に深まりつつある。この新しい研究の潮流を踏まえつつ、真核生物の分子生物学について講義する。特に、染色体の構造が細胞に与える影響、遺伝子発現調節の詳細なメカニズム、全 DNA 配列解読から明らかにされたこと、細胞間および細胞内の情報伝達メカニズムを講義する。

食品栄養化学研究室

永尾 晃治 准教授
専攻 栄養化学、栄養生理学、食糧化学工学

当研究室は、食品の栄養成分と生体との相互作用に関する栄養学的研究を通じて、人の健康保持及び疾患の予防・改善に最適な食物の質と量に関する教育と研究を行っています。メタボリック症候群は、内臓に脂肪がたまる肥満に、高血圧や糖尿病が合併した状態であり、心筋梗塞や脳梗塞を起こす危険性が増す病気です。40代以上の日本人男性の半数が該当者や予備軍とされているため、毎日の食事中に機能性のある成分を取り入れることで健康維持を図る事が望まれています。最近、タマネギ、大豆、レンコン、ムキタケ、ノリ、ナルトビエイなど佐賀県で収穫量が多い農水産物中に、抗メタボリックシンドローム作用成分が含まれていることが見出され、その生理活性本体の同定と生理作用メカニズムの解明に取り組んでいます。



生化学研究室

渡邊 啓一 教授、本島 浩之 助教

生命活動を担うタンパク質の構造を解析し、働きの仕組みを解き明かしています。特に氷温でも活発に増殖する微生物が作る低温酵素を研究しています。この低温でも高い活性を持つ酵素は洗剤や食品メーカーが注目しています。研究に欠かせないのが、数ナノメートルの大きさの酵素分子の立体構造を原子レベルで決定するX線結晶解析です。また、生活に役立つ酵素をより利用しやすいものにするために、遺伝子を改変する研究も行っています。

応用微生物学研究室

神田 康三 教授、小林 元太 准教授

微生物は目には見えませんが、我々の身近に多数存在しています。我々人類の生存には微生物の存在は欠かせないことが出来ません。微生物の能力を活用するために、新規な有用微生物を分離したり、微生物が有する遺伝子機能を解明したり、微生物の利用について研究を行っています。

機能高分子化学研究室

上田 敏久 准教授

アミノ酸が2個以上つながったものをペプチドと呼びます。ペプチドは、つながっているアミノ酸の種類や個数によって多種多様であり、それぞれがいろいろな仕事をこなしています。私たちはカビの成育を妨げるペプチドに注目しています。アミノ酸の種類と数が異なる何種類ものペプチドを合成し、それらを用いて、カビに対する効果はどのようにして発揮されるのか、どのようなペプチドが強い効果をもつのかを探っています。

機能高分子化学研究室

宗 伸明 准教授

生体内では、様々な生理活性種が精緻な役割を果たすことにより、生命活動を担っています。しかし、その詳細については、未だにわかっていないことも多く残されています。私達は、蛍光性の新たな機能性分子を開発し、生命機能の解析に貢献することを目指しています。一方で、生体分子は、人工分子では真似できない優れた機能材料と見なすこともできます。そこで、生体分子と人工物から成るハイブリッド材料の開発も行っています。

食糧安全学研究室

濱 洋一郎 教授

海藻の主成分の一つは糖質で占められていますが、多くの海藻では、含有する糖質関連物質の構造は十分に解明されていません。私たちは、海苔に含まれる多糖に注目し、その構造を明らかにするとともに、それらが持つ機能を解明することを目指しています。さらに、これを応用し、糖質分析に基づく乾海藻製品の評価法の確立にも取り組んでいます。また、魚類体表粘質物の本体である糖タンパク質の構造と機能についての研究も行っています。

生物資源利用学研究室

林 信行 教授

水は大気圧下では100℃で沸騰して蒸気になりますが、加圧条件下で加熱すると374℃まで液体の状態を保つことができます。このような高温かつ液体の水は温度をコントロールすることで多糖を加水分解したり、ダイオキシンのような難分解性の物質を無毒化する特殊な性質を発揮します。当研究室ではこのような高温高圧の水を用いて、植物を有用な物質に変換したり、植物中に含まれる機能性の物質の抽出を行っています。

食品化学研究室

光富 勝 教授、関 清彦 講師

カニやエビなどの甲殻を形作っている多糖類(キチン質)を分解して得られる糖質には様々な生理機能があります。食品化学研究室では、キチン質を分解する酵素の働きを調べたり、糖質を分解する酵素を利用して生理作用を持つオリゴ糖を調製する方法を開発しています。また、穀類に含まれるキチン結合性抗真菌ペプチドの抗菌メカニズムの解析と抗真菌剤への応用に取り組んでいます。

活性天然物学研究室

亀井 勇統 准教授

生物が有する有用な生理活性物質の探索と構造解析並びに応用開発について教育と研究を行っています。天然物、とりわけ海洋生物由来の生理活性の探索やバイオアッセイに基づいた生理活性物質の単離と構造解析、さらに、得られる活性物質の作用機序の解析とその応用に関する研究を行っています。

Pick Up!! 主な卒業論文テーマ

- 高温高圧溶媒を用いた生物活性物質の抽出
- 加圧熱水プロセスを用いた機能性食品の製造
- タンパク質/人工化合物ハイブリッド材料の開発
- 生体分子計測用蛍光試薬の開発
- 最古の生物、超好熱アーキアにおけるD-アミノ酸代謝
- 1アミノ酸変異による酵素活性触媒能力の改変
- 複合体型脱水素酵素の立体構造解析
- 海藻に含まれる多糖の構造と機能に関する研究
- 魚類体表粘質物の構造と機能に関する研究
- カビの成育を妨げるペプチドを合成し、効果と効く秘密を探る。
- 酵素処理した食品から健康維持に役立つペプチドを見つけて出す。
- 糖質分解酵素を利用した機能性オリゴ糖の酵素合成
- 穀類に含まれるキチン結合性抗真菌ペプチドの抗菌メカニズムの解明
- 肥満が誘発する糖・脂質代謝異常の発症機構の解明
- 食事成分による生活習慣病の予防・改善に関する研究
- 遺伝子組換え技術を効率が良いものにする
- タンパク質の立体構造に基づいて薬を開発する
- 南極産好冷細菌酵素の低温適応機構
- 有用酵素のX線結晶構造解析
- 酵素の触媒反応に必要な動きと構造の関係
- 酵素機能の有効利用のためのタンパク質工学
- 新規有用乳酸菌の分離と同定
- バイオマスを原料としたアセトンブタノール発酵によるバイオ燃料の生産
- 有明海の細菌相解析
- ビブリオ・バルネフィカス感染症の発症メカニズム解析
- 有用微生物およびバクテリオファージの遺伝子解析と分子育種
- 海洋生物由来の生理活性の探索
- 海藻由来生理活性物質の作用機序の解析とその応用



大学院

Graduate School

実践的・先駆的な研究で、
社会の中核となる
研究者・高度専門職者を目指す

- ▣ 教育学研究科
- ▣ 経済学研究科
- ▣ 医学系研究科
- ▣ 工学系研究科
- ▣ 農学研究科
- ▣ 鹿児島大学大学院
連合農学研究科

10年	大学院			医学系研究科 博士課程	工学系研究科 博士後期課程	連合大学院			
9年		教育学研究科	経済学研究科	医学系研究科 修士課程	工学系研究科 博士前期課程		農学研究科		
8年		学部	文化教育学部		経済学部	医学部 医学科	医学部 看護学科	他学部 4年生 大学	
7年				理工学部					農学部
6年									
5年									
4年									
3年									
2年									
1年									

教育学研究科 | 修士課程 |

教育学研究科では、教育の理論と実践、研究を基盤として、専門性の高い人材を育成しています。教育現場や社会で指導性を発揮し得る高度の専門的学識を受け、理論と実践の研修を通して、総合的・専門的な研究を推進することを目的としています。本研究科は、「学校教育専攻」と「教科教育専攻」の2つの専攻を置いています。

「学校教育専攻」は、幼児・児童・生徒の諸相を学ぶもので、教育学コース、教育心理学コース、障害児教育コースの3つのコースがあります。

「教科教育専攻」は、自分の専攻する教科を学ぶもので、国語教育専修、社会科教育専修、数学教育専修、理科教育専修、音楽教育専修、美術教育専修、保健体育専修、技術教育専修、家政教育専修、英語教育専修の10専修があります。

◎平成23年度修了生の主な進路先

小学校教諭、中学校教諭、高校教諭、大学職員、佐賀県庁、大塚製薬、ティックワールド、ユニオンクリエイティブインターナショナル など



経済学研究科 | 修士課程 |

経済学研究科は、今日の知識集約社会の発展に即し、より高度な経済学、経営学、そして法学を修得することで、様々な組織において意思決定の中心に立つ有用な人材を育成します。本研究科は、「金融・経済政策専攻」と「企業経営専攻」の2つの専攻を置いています。

「金融・経済政策専攻」は、金融と経済政策を軸に経済構造・企業行動を研究することを基本にしています。くわえて、同専攻では、政策分析を軸に地方自治体等での政策立案のための研究と教育を柱にしております。また、それらの基礎となる統計分析、経済理論の教育にも力を入れております。

「企業経営専攻」は、経営、会計、企業関係法の知識の修得を軸に、より経済・経営の実態にちかい領域の研究と教育を基本としています。一般に言う、「ビジネススクール」の役割も兼ねております。

◎平成23年度修了生の主な進路先

日精、佐賀大学大学院(進学)



医学系研究科 | 修士課程・博士課程 |

医学系研究科は、医学・医療の専門分野において、社会の要請に応える研究者および高度専門職者を育成し、学術研究を遂行することにより、医学・医療の発展と地域包括医療の向上に寄与することを目指しています。

本研究科は、「修士課程医科学専攻」、「修士課程看護学専攻」、「博士課程医科学専攻」の3つの専攻を置いています。

「修士課程医科学専攻」は、医学部医学科以外の理系・文系4年制大学学部出身の多様なバックグラウンドを持つ学生を受け入れ、医学の基礎およびその応用法を体系的・集中的に修得させることにより、医学、生命科学、ヒューマンケアなど包括医療の諸分野において活躍する多彩な専門家を育成します。

「修士課程看護学専攻」は、高度の専門性を有する看護職者らにふさわしい幅広い視野に立った豊かな学識と優れた技能を有し、国内および国際的に看護学の教育・研究・実践の各分野で指導的役割を果たすことができるような人材を育成します。また、平成23年度から専門看護師コースを設置し、平成24年度には「慢性看護専門看護師」の取得を目指す、専門看護師教育課程が日本看護系大学協議会により認可されました。

「博士課程医科学専攻」は、医学・医療の領域において、自立して独創的研究活動を遂行するために必要な高度な研究能力と、その基礎となる豊かな学識と豊かな技術を有し、教育・研究・医療の各分野で指導的役割を担う人材を育成します。

◎平成23年度修了生の主な進路先

[修士課程] 佐賀大学医学部付属病院、九州がんセンター、国立病院機構熊本医療センター、WDBエウレカ、宇部フロンティア大学、佐賀大学、九州大学大学院医学系学府(進学) など
[博士課程] 佐賀大学、ジョージア薬科大学 など



工学系研究科 | 博士前期課程・博士後期課程 |

工学系研究科は、来るべき高度科学技術社会、国際化社会により一層積極的に対応していくために、理学と工学の融合を目指しています。科学技術が高度に多様化した社会において、研究者・技術者・職業人として社会に貢献し、進展に寄与するとともに、国際的コミュニケーション能力と幅広い基礎知識から高度な専門知識を有した独創性で幅広い視野を持った人材を育成します。

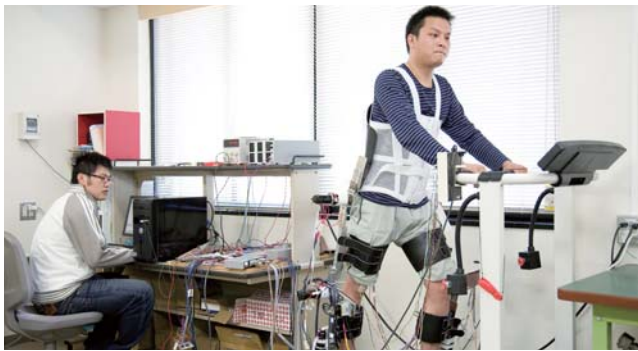
本研究科は、「博士前期課程」と「博士後期課程」の2つの課程があります。「博士前期課程」は、数理学専攻、物理科学専攻、知能情報システム学専攻、循環物質化学専攻、機械システム工学専攻、電気電子工学専攻、都市工学専攻、先端融合工学専攻の8つの専攻を置いています。

「博士後期課程」は、「システム創成科学専攻」に、電子情報システム学コース、生産物質科学コース、社会循環システム学コース、先端融合工学コースの4つのコースがあります。

◎平成23年度修了生の主な進路先

[博士前期課程]三菱重工業、日立金属、キャノン、セイコーエプソン、日本タングステン、東芝、京セラ、三菱電機、日本電気、オムロン、IHI、スズキ、マツダ、三菱自動車工業、横浜ゴム、関西電力、九州電力、九電工、戸上電機製作所、東京エレクトロン九州、佐賀電算センター、日本道路、宮建築設計、味の素エンジニアリング、パロマ、日本オイルシール、佐賀鉄工所、西部電気、日立建機、NECエンジニアリング、三井倉庫、積水ハイム九州、三井共同建設コンサルタンツ、中学校教諭、高校教諭、宮崎市役所、熊本市役所、佐賀市役所、佐賀大学大学院工学系研究科博士後期課程(進学)、九州大学大学院総合理工学府(進学)など

[博士後期課程]放射線医学総合研究所、物質・材料研究機構、佐賀大学、大分大学、福岡大学 など



農学研究科 | 修士課程 |

農学研究科は、近年の科学技術の高度化・情報化・国際化の中で、社会・国際ニーズにこたえられる高度な専門知識と技能を持った創造性豊かな農学・生命科学に関する研究者・専門家になる人材を育成することを目的としています。本研究科は、「生物資源科学専攻」を置いています。

「生物資源科学専攻」は、応用生物科学コース、生物環境保全学コース、資源循環生産学コース、地域社会開発学コース、生命機能科学コースの5コースがあります。また、九州およびアジアの諸地域における農業とアグリビジネスの中核を担う農業者の育成プログラムとして、農業技術経営管理学コース(農業版MOT)が設けられています。

◎平成23年度修了生の主な進路先

ホクト、星野建設、ダイショー、宮島醤油、理研農産化工、田辺三菱製薬工場、新日本科学、中外テクノス、佐賀大学、JA佐賀、JA鹿児島県連、全国農業協同組合連合会、地方公務員(熊本市、佐賀県、大分県など)、鹿児島大学大学院連合農学研究科(進学)など

鹿児島大学大学院 連合農学研究科 | 修士課程 |

鹿児島大学大学院連合農学研究科は、佐賀大学の農学研究科、鹿児島大学の農学研究科、同水産学研究科、琉球大学の農学研究科の4つの研究科の修士課程を母体として編成され、これらの研究科の綿密な連携のもとに運営されている新しいスタイルの博士課程大学院です。学生の研究指導は、学生1名について複数の大学から指導教員3名が担当することになっており、この点が連合大学院の大きな特徴と言えます。



評価される佐賀大学生の研究

「日本学術振興会 育志賞」を受賞



佐賀大学大学院農学研究科
鹿児島大学大学院
連合農学研究科 3年
富永 晃好
(鹿児島県立甲南高等学校出身)

佐賀大学大学院農学研究科・鹿児島大学大学院連合農学研究科3年の富永晃好さんが第3回(平成24年度)「日本学術振興会 育志賞」を受賞しました。育志賞は、天皇陛下の御即位20周年に当たり、若手研究者を支援・奨励するための事業の資として、陛下から御下賜金を賜り創設された賞です。今回は、全国の大学長または学会長推薦者の中から、大学院博士課程に在籍する16名が選ばれました。富永さんは、「マメ科植物と根粒菌による共生窒素固定能強化の分子基盤解明及び作物への応用」という研究テーマに取り組み、窒素固定能力を高めるための植物遺伝子を探索し、マメ科植物の収量増加に有用な遺伝子を見出しました。



共生の概念図

The image shows the cover of a blue textured notebook. At the top, there are several colorful tabs in blue, orange, green, pink, purple, and red. In the center, there is a white rectangular label with a decorative border. Inside the label, the text reads "Saga University" in a small font, followed by "Campus Life" in a large, bold, black font. To the right of the label, there is a purple sticker with white polka dots and the word "Book" written in a white cursive font. Below the label, the title "キャンパスライフブック" is written in white Japanese characters. Underneath the title, there are three lines of Japanese text. In the bottom right corner, there is a silver and blue fountain pen and a small white and blue sticker that says "CAMPUS LIFE BOOK SAGA SAGA UNIVERSITY".

Saga University
**Campus
Life** Book

キャンパスライフブック

大学生活は勉強だけではありません。

ここでは、年間を通して行われる様々なイベントや、活動的なサークル、
学生主体の社会貢献活動など、佐賀大学の魅力をご紹介します。

また、在学生に一日密着したリアルな生活レポートも掲載。

あなたの未来の姿が想像できるキャンパスライフブックです。



様々なイベントあふれる充実の1年間!

キャンパスカレンダー

平成25年度オープンキャンパス
8月8日(木)開催!

昨年は約5,000名の参加者でにぎわいました。大学の雰囲気を肌で感じる数少ないチャンスですのでぜひご参加ください。



入学式

楽しいサークル
たくさん!



サークル紹介



オープンキャンパス



- ◎ 新入学生健康診断
- ◎ 入学式
- ◎ 学部オリエンテーション
- ◎ 学友会紹介
- ◎ サークル紹介
- ◎ 前学期開講
- ◎ 在学生定期健康診断

- ◎ 夏季休業
- ◎ オープンキャンパス
- 本庄キャンパス
(文化教育・経済・理工・農)
- 鍋島キャンパス(医)

4

5

6

7

8

9

学友会とは

学友会は、佐賀大学のサークル活動を支える仕事を主な活動にしている学生自治委員会です。校内での様々な出来事、行事を影で支え、企画し、共に活動し、佐賀大学の課外活動を楽しく意義のあるものに発展させていこうと頑張っています。また、新入生向けにサークル紹介冊子「NEW CENTURY」を発行しています。興味がある方、やる気のある方を待っています!



- ◎ 入学者選抜要項発表[初旬]
- ◎ 学生募集要項 (AO)発表[上旬]
- ◎ 前学期定期試験

- ◎ 学生募集要項 (推薦・帰国子女)発表[初旬]



前学期定期試験

みんな
真剣です!

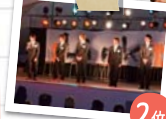


大学祭人気イベントBEST3



むつごろう祭

美男が美女!?
盛り上がる楽しい
コンテスト★



2位 ミス(ミスター)
コンテスト

1位 お笑いライブ



旬な芸人によるライブ!
毎年大人気のイベントです。



リズムに
合わせて
盛り上がる!

3位 ジャズコンサート

大学祭

- ◎ 後学期開講
- ◎ 解剖体慰霊式(医)
- ◎ むつごろう祭(銅島キャンパス)
- ◎ 大学祭(本庄キャンパス)

◎ 冬季休業

- ◎ 後学期定期試験
- ◎ 平成26年度
一般入試
(前期日程)



- ◎ 学生募集要項
(一般)発表[上旬]
- ◎ 平成26年度推薦・
帰国子女入試

- ◎ 平成26年度
大学入試
センター試験

- ◎ 平成26年度
一般入試
(後期日程)
- ◎ 学位記授与式

先輩が教える
勉強のコツ!

入試のアドバイス

一般入試で合格を目指す人にとってセンター試験は第一の関門。制限時間内に多くの問題を解くことが求められるから、試験本番を意識した緊張感のある勉強を日頃から心がけよう。また、センター試験の得点に一喜一憂せず、2次試験に向けて気持ちを緩めず勉強を続けることが合格への近道だ! 体調管理は絶対に怠らないように。

一生の仲間と
出会えました!



学位記授与式

センパイがリアルな生活を紹介します！

佐賀大学生の1日

起床・登校

1校時

8:50
|
10:20

1校時

8:50-10:20

- さあ大学の授業の始まりだ！
- 大学の授業は90分。慣れるまでは大変だよ。
- 高校と大学では、どんなところが違うんだろう？

大学生は自分で ☆☆☆

☆☆☆ 授業が選べるよ！



大講義室での授業風景

授業を
選ぶって？



説明しよう！



大学生は高校までとは違い、自分の時間割を自分で決めることができるんだ。だから自分に合ったキャンパスライフを送るために、しっかりとした時間割を考えよう！授業の登録は学校や自宅のパソコン、スマートフォンからでもできて便利だよ(^^)/

2校時

10:30
|
12:00

昼休み

12:00
|
13:00

3校時

13:00
|
14:30

A君の時間割



	月	火	水	木	金
1	物理 化学Ⅱ		欧米の 文化・ 文学	日本国 憲法	構造 生物 化学
2		有機 化学Ⅱ	コミュニ ケーション 論	心理学	
3	英語	化学 工学Ⅰ			無機 化学Ⅱ
4	機能物質 化学 実験Ⅰ			機能物質 化学 実験Ⅰ	大学 入門
5					

Bさんの時間割



	月	火	水	木	金
1	教育実践 フィールド Ⅱ	図工科 教育法Ⅰ 初等理科 教育法Ⅰ	心の 科学	子どもの 病気	体育科 教育法 Ⅱ
2	英語	専門 外国語 Ⅱ	ミクロの 世界	国語科 書写 教育法Ⅰ	道徳 教育の 研究
3		国語 教育学 演習Ⅱ		初等 音楽科 教育法Ⅰ	
4	教科教育 情報論	理科講義 及び 実験		小学 社会	
5					

上のAさんとBさんの時間割で授業の種類を色分けして示したよ！学科ごとで決められた必ず受けなければいけない「必修科目」は赤、決められた授業の中からいくつか選んで単位をとる「選択科目」は青、黄色で示す「基本教養科目」は自分の学科以外の授業を学ぶことができる時間だよ！

5校時

16:20
|
17:50

放課後

空きコマ

14:40
|
16:10

起床・登校

1校時
8:50
|
10:20

2校時
10:30
|
12:00

昼休み
12:00
|
13:00

3校時
13:00
|
14:30

空きコマ
14:40
|
16:10

5校時
16:20
|
17:50

放課後

キャンパスライフ

昼休み

12:00-13:00

- 昼休みといえばごはん！
- ごはんといえば学食！売店！
- 食べないと集中できないからね♪



佐賀大学には本庄キャンパスに2つ、鍋島キャンパスに1つの学食があるんだ！

■ 大学会館

大学会館には、食堂、売店があります♪食堂には、セルフバーや麺コーナーがあるんだよ！売店にもカフェテリアがあってゆっくりできるんだよ♪



■ かささぎホール

かささぎホールは1Fと2Fがあります♪1Fは会館と同じメニューが食べられて、2Fは麺コーナーがあるよ！かささぎの麺コーナーは会館よりメニューが豊富だよ♪



イチオシ！メニュー



1位 とんかつ定食 (360円)

学生に一番人気のメニューで、皿には他にスパゲティとフライドポテトも付き、とっても満足できます。

2位 佐賀産ささみチーズかつ定食 (360円)

3位 鶏からあげ定食 (360円)

イチオシ！メニュー



1位 かささぎオリジナルハヤシライス (310円)

手づくりで愛情の込められたメニューです。おいしいので、食べてみてください。

2位 かささぎオリジナルカレー (250円)

3位 かささぎオリジナルカレーうどん (250円)

ここではオススメメニューを紹介するよ！



昼休みの使い方は自由！

ごはんにする？それともリフレッシュ？



学食でおいしいランチ★



友だちとトークタイム！



晴れの日には外でゆっくり☆



起床・登校

1校時

8:50
|
10:20

2校時

10:30
|
12:00

昼休み

12:00
|
13:00

3校時

13:00
|
14:30

空きコマ

14:40
|
16:10

5校時

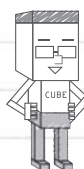
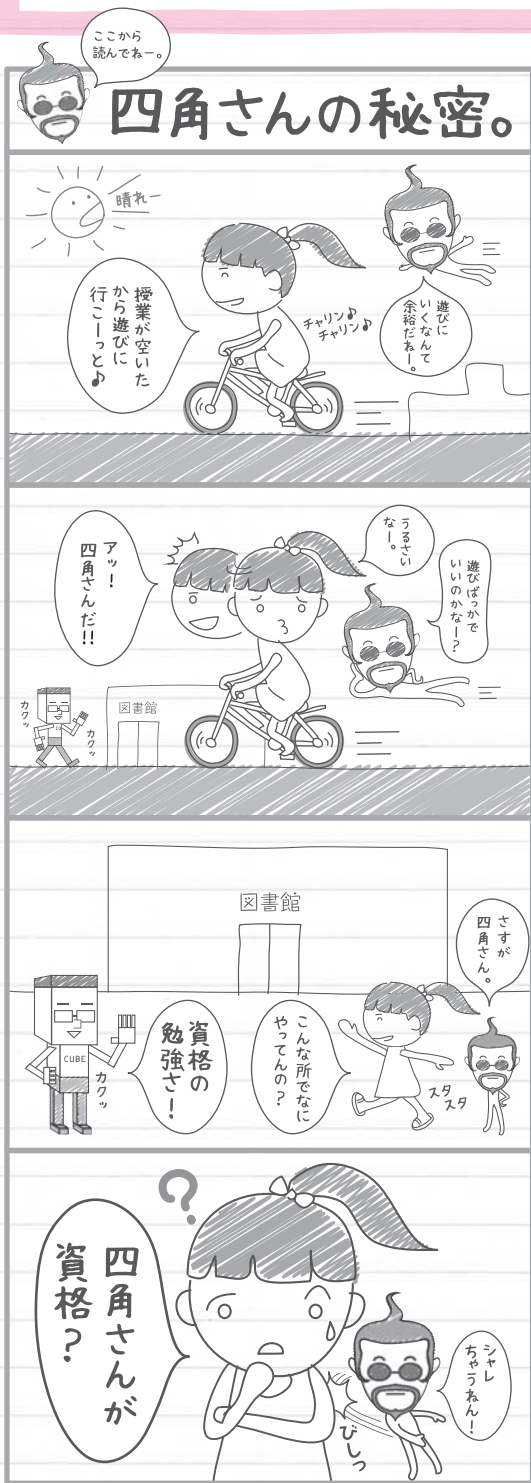
16:20
|
17:50

放課後

空きコマ

14:40-16:10

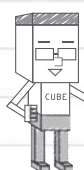
ここでは、空きコマを利用して
資格の勉強をしている
学生達を紹介するよ!



コレが資格だ!!

へえーいっぱいあるんだねー。

- TOEIC(実用英語技能検定)
- 簿記検定
- MOS(マイクロオフィス ソフトエキスパート)
- 基本情報技術者
- 宅地建物取引主任者
- 建築士
- 食品衛生管理者
- 医療事務管理士
- 中小企業診断士
- 司法書士
- 行政書士
- 公認会計士
- 危険物取扱者
- 発破技師
- 秘書検定



この他にも約1,500種類
以上あるんだぞ

えー!!!? そんなにー!?

みんながどんな資格を
取っているか聞いてみよう!

僕は将来の夢の
ために勉強しているのが
ほとんどかな!

私はファッション系の
アルバイトのためとか、
留学して色んな人と交流
したいから勉強しているよ!

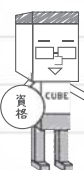
A君の場合

- リビングスタイリスト
- 色彩検定
- 照明コンサルタント
- 建築士
- インテリア
コーディネーター

Bさんの場合

- 色彩検定
- TOEIC
- 簿記検定
- 運転免許

いろんな資格の組み合わせがあるんだねー!



資格は何を取っても自由!!
仕事でもバイトでも興味本位でもOK!!
社会に出る前に資格という“装備”を
集めるってイメージだね!!

起床・登校

1校時

8:50
|
10:20

2校時

10:30
|
12:00

昼休み

12:00
|
13:00

3校時

13:00
|
14:30

空きコマ

14:40
|
16:10

5校時

16:20
|
17:50

放課後

放課後

- 大学生は放課後、サークルや
- バイトを通して仲間と
- 大学生活を楽しんでいます。

ちょっと
ユニークな

サークル!😊

佐大ピアサポーターズCDS

CDSとは「コミュニティ・デザイン・サポーターズ」の略で、「何か踏み出したい、けど何をすればいいかわからない」という学生に一歩踏み出す「キックケ」をサポートする学生団体です。普段は、ワールド・カフェという価値観を共有できる、ワークショップを企画運営しています。



ぐるりん

卒業生が使わなくなった家具家電などを新入生へ譲る「ぐるりんおゆずりマーケット」や学園祭でフリーマーケットを行うなどのリユースボランティア活動をしています。



さがCOLOR

佐賀から(さがCOLOR)日本を変える。「自分」「仲間」「佐賀」「日本」「世界」と向き合い、そしてポジティブに行動する団体です。現在は佐賀の投票率日本一を目指して様々な活動をしていきます。



大学公認サークルの他にも...

- FC SUZUKA / サッカー
- F. C. ETHICA / サッカー
- クッキーモンスター / 野球
- アグレッシブ部 / 球技全般
- はねっこ / バドミントン
- CUBE / バドミントン
- タマリスク / 硬式テニス
- 井上バスケット / バスケット
- 嵐舞 / よさこい
- S. U. D Family / ダンス
- ワンゲル / レクリエーション
- FAC / レクリエーション
- S. P. E / レクリエーション
- CLOVER / 軽音
- 葉っぱ / 料理
- 料理研究会 / 料理
- チャリさがせい / ボランティア
- ちっち / 献血推進
- EARTH / 環境活動
- 〇佐大 / 街おこし
- E☆G / 誕生会
- スピリタス / レクリエーション
- 極楽 / 温泉

佐大生に
人気の

アルバイト

「飲食業」

- ファミレス
- 居酒屋
- ファストフード
- チェーン店

「講師」

- 家庭教師
- 塾講師
- スポーツ
トレーナー

「その他」

- イベントスタッフ
- スーパー
- コンビニ



大学生の一人暮らしを密着レポート! 佐賀大学生の生活

平日は講義や実習、休日は遊びやアルバイト。

茶道部では交流が広がりました。

3年生から始まる実習に合わせて一人暮らしを始めました。大学から近く、登下校の時間が短くなった分、自由に使える時間が増え、夕食やお弁当を作ったりするようになりました。周りにはみんな同じ看護の道を目指しているので心強く、講義や実習など同じ目標に向かって頑張ることができます。実習はレポートの量が多く大変ですが、様々な患者さんとの出会いや体験を通して、看護師として働くことの大変さや喜びを学んでいます。休日はアルバイトをしたり、遊びに出かけたりしています。また、実家に帰ってゆっくりするなど、休日は息抜きの時間に使うことが多いです。サークルは茶道部に所属していて、サークルを通して違う学年や学科のひととの交流に繋がりました。大学生活では、サークルやアルバイトなど、時間の使い方を自分なりに考えることができるので、自分の趣味や興味のあることを始めるなど充実した生活を送ることができると思います。



くつろげるマイルーム。

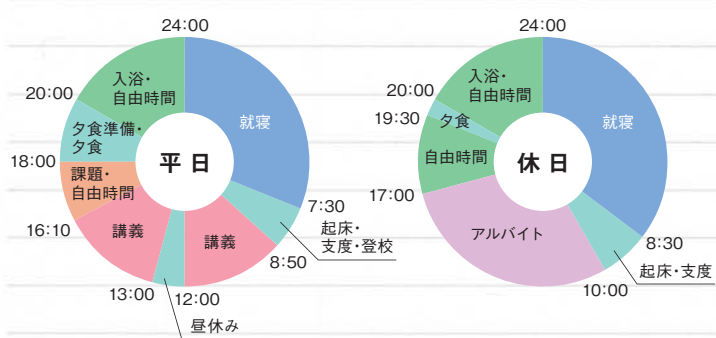


友だちとランチタイム!

岩橋 朱音

医学部看護学科 4年
(福岡県立久留米高等学校出身)

岩橋さんの平日と休日の過ごし方



1ヶ月の生活費(例)

例: 岩橋さんの生活費

収入		支出	
奨学金	120,000円	家賃・光熱費	50,000円
アルバイト	20,000円	食費	30,000円
		携帯・インターネット	14,000円
		繰越し	20,000円
		その他	26,000円
収入合計	140,000円	支出合計	140,000円



塾講師のアルバイトで将来へ繋げ、音楽で息抜き。 自由な時間を有効に使おう。

私は1年生の頃から一人暮らしをしています。家から通えない距離ではなかったのですが、自炊や社会経験などを積むことは大事だと祖母から勧められ一人暮らしをすることになりました。学部が文化教育学部学校教育課程ということなので、実習やその準備などで授業なども大変ですが、将来の自分のため、教師になるためには大事なことなので、頑張っており取り組んでいます。また、数学専門の塾講師のアルバイトをやっていて、生徒たちの苦手なところなどを理解して、教師になったときに役立てようと頑張っています。

サークルは、管弦楽団でバイオリンをしています。高校時代から吹奏楽部をやっていて、そのまま音楽を続けたいという想いで入りました。少しずつですが、音楽に関する知識や技術などもあがってきて、これから先も音楽を続けていこうと思います。

大学生になると学部にもよりますが、高校生の時と比べて自由な時間が増えます。その時間をいかに有効に使えるかが大学生生活4年間の価値を決めると思うので、自分が何かひとつ、コレは頑張った! というものを見つけ、それを続けてほしいです。



高校時代から続けている音楽。

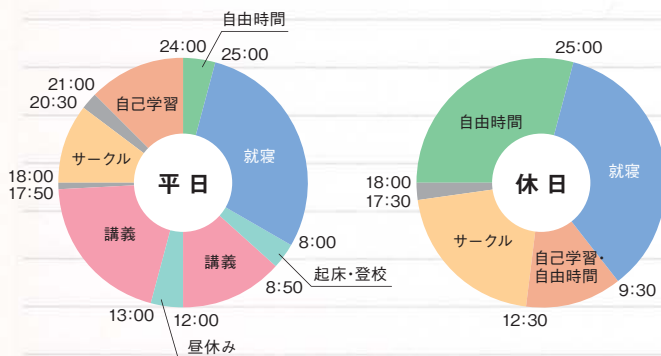


部屋は落ち着く空間です。

鶴田 隆介

文化教育学部学校教育課程 3年
(熊本県立玉名高等学校出身)

鶴田さんの平日と休日の過ごし方



1ヶ月の生活費(例)

例: 鶴田さんの生活費

収入		支出	
仕送り	100,000円	家賃	47,000円
アルバイト	20,000円	食費	30,000円
		水道代、光熱費	10,000円
		携帯代	8,000円
		趣味、サークル	10,000円
		衣服、その他	15,000円
収入合計	120,000円	支出合計	120,000円

様々な活動が盛んに行われています!

サークル活動

トライアスロン部

こんにちは。佐賀大学トライアスロン部です。現在、週4回程度活動しており、休日は主に社会人クラブチームと合同で練習しています。また、もう一つの活動として視覚障害者の伴走にも力をいれています。一昨年に創設したばかりの部活動であり、部員全員が大学から始めた初心者です。「トライアスロン」って聞くと、過酷で長い競技という印象を持つかもしれませんが、それは大きな誤解です。距離の短い大会には初心者も多く、あらゆるレベルの人が楽しんで行えるスポーツです。水泳と自転車とマラソンを連続して行う競技ですが、どれか一つの競技だけ行いたいという人でも大歓迎です。近年、生涯スポーツとしてますます注目度が高まり愛好者も増えてきています。トライアスロンの活動を通じて、精神的、体



福岡トライアスロンフェスタ2012で1位になりました!

力的に成長したい。また、社会人との関わり、地域社会貢献活動といった貴重な経験の中で人間として成長したい方は、ぜひ、私たちと一緒に活動しませんか。

USGOS(ウスゴス)

こんにちは。佐賀大学医学部USGOS(ウスゴス)です。USGOSとは、USMLE Study Group Of Saga の略で、USMLEというアメリカの医師国家試験の勉強会という名目ですが、そんな堅苦しいものではなく、みんなで楽しく医学や医療英語を勉強しようという集まりです。2002年設立というまだまだ歴史の浅いサークルですが、みんな和気あいあいと勉強しています。ほとんどの部員が運動部などと兼部をしており無理なく続けられるサークルです。

部員は約20名で、定期の活動としては毎週水曜日に臨床推論のセッションをしています。不定期で学内や学外の先生をお招きして、勉強会を開催したりしています。普段の活動は、医師役、患者さん役をつかって問診や身体診察の練習をし、その中から鑑別疾患などを考えていくというものです。NHKのドクターGという番組をご存じの方はイメージが付きやすいのではないかと思います。臨床医学を学んだ高学年の人にとっては日々



気軽に声をかけてくださいね!

の学習の力試しに、基礎医学を勉強している1、2年生にとっても臨床医学にふれ日々の学習のモチベーション維持につながるとてもいい機会だと思います。わからないところはその場で解決でき、学年の枠を越えて1~6年生と一緒に勉強できるのが魅力です!先輩方から様々なことを教われますよ。みなさんちょっとお医者さん気分を味わってみませんか?

佐賀大学公認サークル(本庄キャンパス)

文化系 (20)

アニメーション研究会/囲碁・将棋部/S.V.C/FMメディア研究会/演劇部/管弦楽団/クラシックギターハーモニー/K-net/混声合唱団/コンピューター研究会/茶道部/写真部/ジャズ研究会/吹奏楽団/ハワイアンミュージック研究会/美術部/フォークソング研究会/文芸部/漫画研究会/ユースホステルサークル

体育系 (36)

アーチェリー部/合気道部/アイスホッケー部/アメリカンフットボール部/エアライフル射撃部/空手道部/弓道部/競技ダンス部/剣道部/硬式庭球部/サイクリング部/サッカー部(男子・女子)/自動車部/柔道部/準硬式野球部/少林寺拳法部/水泳部/スキー部/ソフトテニス部/ソフトボール部/卓球部/探検部/テコンドー部/熱気球部/トライアスロン部/バスケットボール部(男子・女子)/バドミントン部/バレーボール部(男子・女子)/ハンドボール部(男子・女子)/フットサル部/ラグビー部/陸上競技部

バスケットボール部

こんにちは!!佐賀大学医学部バスケ部です。現在、男子プレイヤー21人、女子プレイヤー17人、マネージャー9人の総勢47人で月曜日の17:30～、水曜日の17:00～、土曜日の13:00～に活動しており、バイトや遊びや勉強と両立することもできます。4月、8月、12月に大きな大会がありそれに向けて、日々頑張っています。練習中はみんな仲良くやっており、また、みんな本気でバスケットを楽しんでいます。練習メニューは自分たちで作るため今のチームに何が足りないのかなどを考え、基礎的なことから実践的なことまで行っていますので、バスケットを全くしたことのない初心者の方も、経験者の方も大歓迎です!先輩・後輩が仲良くお互いに助け合いながらプレーしています。そのほかにも、バスケットだけではなく、学祭では模擬店を出しバスケット部伝統のリング焼きを売ったり、夏にはみんなで海に行きスイカ



みんなで楽しく活動しています!!

割りをしたり、春には温泉旅行に行ったり、さまざまなイベントがあります。また、みんなでどこかへ遊びに行くなど先輩・後輩・男女間の仲が良く、学生生活が楽しくなること間違いなしです!ぜひ、皆さんも大学での思い出を一緒に作りませんか?

文芸部

こんにちは!!佐賀大学文芸部です。わたしたち文芸部は、お互いに書いた小説を持ち寄り、意見を交換できるサークルです。ですから、自分の書いた文章を多くの人に読んでもらいたいと思う方にとっては、打ってつけの場所です!!現在、部員は約20名ほどです。毎週金曜日の夕方集まって活動をしています。このサークルに入って初めて小説を書いたという人も多いため、初心者の方でも気軽に活動に参加できます。書く小説の内容やジャンルは一切問いませんので、自分の好きなものを書くことができます。また、小説だけでなく、イラストを描くことに専念することもできます。

毎年行われる大学祭では、部誌を発行しています。部員全員が参加して、個性ある小説がまとめられ、イラスト担当によって色取りのある表紙や挿絵が描かれていき、それを体裁よく編集していく過程はとてもやりがいがあります。その後、部誌を一般の方にも見てもらい、感想をもらった時の達成感はずばりません。



初心者の方も大歓迎です!

部員同士はとてもアットホームなので、わいわい楽しく活動できます。自分の文章で人をあっと言わせたり、人の心を揺り動かしたり、腹を抱えて笑わせたりして、自分の気持ちをぶつけてみませんか?興味のある方はぜひ、私たち文芸部の部室に遊びにきてくださいね!!

佐賀大学公認サークル(鍋島キャンパス)

文化系(21)

混声合唱部/現代音楽倶楽部/音楽鑑賞部/美術部/軽音楽部/茶道部/ESS/国際医療研究会/すずめの学校/天文学部/室内楽部/けやきの会/漢方研究会/SMILE/SILS(ACLSサークル)/写真部/IFMSA-Saga(イフムサ・サガ)/USGOS(ウスゴス)/LA部/書道部/Happiness

体育系(26)

硬式テニス部/漕艇部/卓球部/準硬式野球部/空手部/バスケットボール部/剣道部/サッカー部/ラグビー部/バドミントン部/水泳部/馬術部/バレーボール部/柔道部/ヨット部/弓道部/ジャズダンス部/陸上競技部/ビリヤード部/チアリーディング部/フットサル部/ΩPOINT(オメガポイント:シーズンスポーツ関係)/ソフトテニス部/ソフトボール部/モーターサイクル部/ダンス部

大学基本用語集

インターンシップ

「体験就業」とも呼ばれ、学生が企業などで一定期間、仕事をしながら研修する制度のことです。学部によってはインターンシップが一部単位として認められるところもあります。

オープンキャンパス

高校生や保護者を対象に大学のキャンパスを開放して実施されるイベントです。キャンパス内の施設や設備の案内をはじめ、学部・学科の説明、入試制度や入試実績を聞くことができます。大学の雰囲気を実際に確かめるだけでなく、正確な情報を得ることができる貴重な機会です。

オフィスアワー

学生が気軽に出入りできるように研究室を開放し、学業に関する質問や進路等の相談が出来る時間のことです(大学教員は、学内に自分の研究室を持っています)。この時間帯には原則として教員が研究室等に待機して学生の相談に応えることになっています。

オリエンテーション

学期の始めに行われる説明会のことで、授業日程、成績評価、履修上の注意事項などの連絡が行われます。特に、入学式から授業開始日までに新入生を対象に実施するオリエンテーションは学生生活を送る上での心構えや大学施設の利用方法、授業科目の履修登録方法などが説明されます。

休講

先生の出張等で不在になる場合に、講義が休みになることです。休講の代替措置として補習講義やレポートなどが課されるのが一般的です。

教員

教員の役職は、「教授」、「准教授」、「講師」、「助教」の4段階に分かれています。

教職課程

「教育職員免許法」に基づいて、学校教員になるための免許状(教育職員免許状)を取得する課程のことです。取得できる

免許状の種類は、学部・学科・課程によって異なります。将来の職業として教員を志望する人は、所定の単位を修得し、教員免許状を取得したうえで、全国の都道府県の教育委員会が実施する「教員採用試験」を受けなければなりません。この試験に合格すれば教師として勤務することができます。(私立学校は除く)

サークル

大学のサークルは自由参加であり掛け持ちもできます。気の合う仲間がいればサークルを新たに作ることも可能です。サークルは大学に認められた公認サークルとそれ以外のサークルに分かれます。大学案内等に掲載されているサークルは公認サークルのみですが、それ以外のサークルもたくさん存在しています。

再履修

履修科目が不合格となり単位を落とした場合、翌年度に再度同じ授業を履修することです。4年生で必修科目の単位を落とせば、翌年度に再履修が必要となり卒業できないという事態も生じます。

実習・フィールドワーク

現場に出て体験をしながら学ぶという授業形態のことです。例えば、企業での職場体験や地域貢献活動等を通して学んだ事をレポートにまとめるものです。こうした実習・フィールドワークは、教室でテキストを手に受講する受身的なものとは異なり、学生の主体的な活動が求められます。

GPA

Grade Point Averageの略で成績評価方法の1つです。5段階の成績評価に対応するGPというポイントで算出した1単位当たりの成績平均値のことを示します。GPAは、ゼミや研究室の振り分け、留学の審査などに用いられることがあります。

成績評価	GP	合否
秀(90~100点)	4.0	合格
優(80~89点)	3.0	合格
良(70~79点)	2.0	合格
可(60~69点)	1.0	合格
不可(60点未満)	0	不合格

シラバス

講義のメニュー表のようなものです。講義の内容や進め方、担当教員、成績の評価方法などが記載されたものであり、学生はシラバスを参考に履修登録していきます。

大学生協

「大学生生活協同組合」の略で、学生からの出資金を基に食堂や売店を運営している非営利組織団体のことです（出資金は、卒業時に返還）。キャンパス内にあるため多くの学生が利用します。

ゼミナール(演習)

「大学に特徴的な少人数制の学習スタイルです。教員が一方向的に学生に教えるというようなものではなく、特定のテーマについて各自で調べ、先生やメンバーの前でプレゼンテーションしたり、他のメンバーとのグループ作業を通して議論を深めるものです。そのため、学生の自主性や積極性が求められます。ゼミは、それまで学んできた知識や技術などを活かす学習の場であり、学問や研究の楽しさに気づききっかけになるものです。

ゼロ免課程

教員養成課程とは異なり、教員免許状を取得しなくても卒業できる課程のことです。佐賀大学では、文化教育学部の学校教育課程以外の3課程が該当します。

第二外国語

一般的に、大学では英語を第一外国語として学び、英語の他にさらに学ぶ外国語を第二外国語と言います。佐賀大学では、第二外国語として、ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語から選択することができます。

総合大学

総合大学とは、一つの大学で様々な学部から構成される大学のことです（佐賀大学はこれに当たります）。一方、単科大学とは一つの学部・学科で構成される大学のことです。

卒業論文・卒業研究・卒業制作

4年次に行われる総仕上げの取り組みです。所属するゼミ(研究室)によって、自分でテーマを決めて行う場合もあれば、教員によってテーマを指定されることもあります。具体的なテーマ等は、各学科の卒論テーマを参考にしてください。

単位

大学の科目には、4単位とか2単位といった単位数が決められています。単位数は、科目ごとに勉強するのにかかる時間を示しており、4単位科目が通年科目(約30コマ)、2単位科目が半期科目(約15コマ)に設定されているのが一般的です。各科目の試験等に合格すると単位取得が認められ、学部が指定する卒業単位数を満たすことで卒業認定となります。

単位互換

自分が所属する大学以外で取得した単位を自分の卒業単位に振り替える制度のことです。どの科目を何単位まで認定するかは大学によって異なります。自分の所属大学が協定を結んだ学校の単位のみが対象であるため、どの大学でも単位が認められるわけではありません。また国内だけでなく、海外の提携大学に留学した場合、取得した単位を一定の範囲内で卒業単位として認められることもあります。

必修科目・選択科目

「必修科目」とは卒業要件として履修が義務づけられている科目で、必修科目の単位を修得しなければ卒業できません。そのため、履修登録には十分な注意を払う必要があります。「選択科目」とは、対象となる科目群から自分の意志で自由に選択履修できる科目のことです。卒業要件の単位は、「必修科目」と「選択科目」の単位数を合わせたものになります。

履修登録

入学時や進級時および学期開始毎に、自分の履修する科目を大学へ登録する手続きのことです。履修登録を行い、授業や試験を受け合格することにより単位が認められます。基本的には自分の受講したい授業を選べますが、学部や学年によって履修できる範囲や時間帯が限定されており、同じ時間に複数の科目を登録するといったことはできない仕組みになっています。

レポート

授業や演習で出される課題のことです。例えば、自分で調べたことや考えたこと、実験の結果などを文章にまとめる作業のことです。

充実した環境で、快適に学べます!

キャンパスマップ

大学生生活

佐賀大学生の1日

キャンパスカレンダー

交通案内

バス

佐賀駅バスセンターからバスで約15分
 「4番のりば」から市営バス11番 佐賀大学・西与賀行
 又は12番 佐賀大学・東与賀行で「佐大前」下車
 「4番のりば」から市営バス63番 佐賀女子短大・高校前行で「佐大前」下車

タクシー

佐賀駅からタクシーで約10分 佐賀空港からタクシーで約20分



佐賀市本庄町 本庄キャンパス

文化に触れる、遊ぶ、楽しむ。暮らしに快適な環境!

本庄キャンパスは、佐賀市内を東西に貫く国道208号線(南部バイパス)沿いに位置し、周辺には数々のショッピングエリアや飲食エリアが存在する、快適な環境です。東側には、県立図書館、美術館、博物館などがあり、佐賀の文化に気軽に触れることができます。また、佐賀城跡は、近年新しく整備され、佐賀県の歴史と文化交流の拠点として期待されています。



ラクウショウ並木道

- | | | | |
|--|---------------------------------|----------------------|-----------------|
| 1 大学本部 | 6 文化教育学部10号館 | 32 理工学部9号館 | 49 テニスコート |
| 2 入試課
アドミッションセンター
学生センター
キャリアセンター | 17 経済学部1号館 | 33 理工学部大学院棟 | 50 テニスコート |
| 3 附属図書館 | 18 経済学部2号館 | 34 機械システム実習工場 | 51 陸上競技場 |
| 4 保健管理センター | 19 経済学部3号館 | 35 農学部1号館 | 52 文化系サークル会館 |
| 5 教養教育1号館 | 20 経済学部4号館(講義棟) | 36 農学部2号館 | 53 体育系サークル会館 |
| 6 教養教育2号館 | 9 留学生センター・国際課
国際交流推進センター | 37 農学部3号館 | 54 学生会館・大学生協 |
| 7 教養教育大講義室 | 16 高等教育開発センター | 38 農学部4号館 | 55 かさざぎホール |
| 8 文化教育学部1号館 | 21 菊楠シュライバー館
(地域学歴史文化研究センター) | 39 農学部実験棟 | 56 菱の実会館 |
| 9 文化教育学部2号館 | 22 理工学部1号館(中棟) | 40 放射線同位元素実験室(RI実験室) | 57 佐賀大学同窓会事務所 |
| 10 文化教育学部3号館 | 23 理工学部1号館(北棟) | 41 産学・地域連携機構 | 58 楠葉寮 |
| 11 文化教育学部4号館 | 24 理工学部1号館(南棟) | 42 海洋エネルギー研究センター | 59 国際交流会館 |
| 12 文化教育学部5号館 | 25 理工学部2号館 | 32 総合分析実験センター | 60 職員宿舎 |
| 13 文化教育学部6号館 | 26 理工学部3号館 | 43 総合情報基盤センター | 61 ラクウショウ並木道 |
| 14 文化教育学部7号館 | 27 理工学部4号館 | 29 低平地沿岸海域研究センター | 62 佐賀大学美術館(建設中) |
| 15 文化教育学部8号館 | 28 理工学部5号館 | 31 シンクロトン光応用研究センター | |
| 16 文化教育学部9号館
文化教育学部附属教育実践
総合センター | 29 理工学部6号館(DC棟) | 44 体育館 | |
| | 30 理工学部7号館 | 45 プール | |
| | 31 理工学部8号館 | 46 スポーツセンター | |
| | | 47 弓道場 | |
| | | 48 野球場 | |

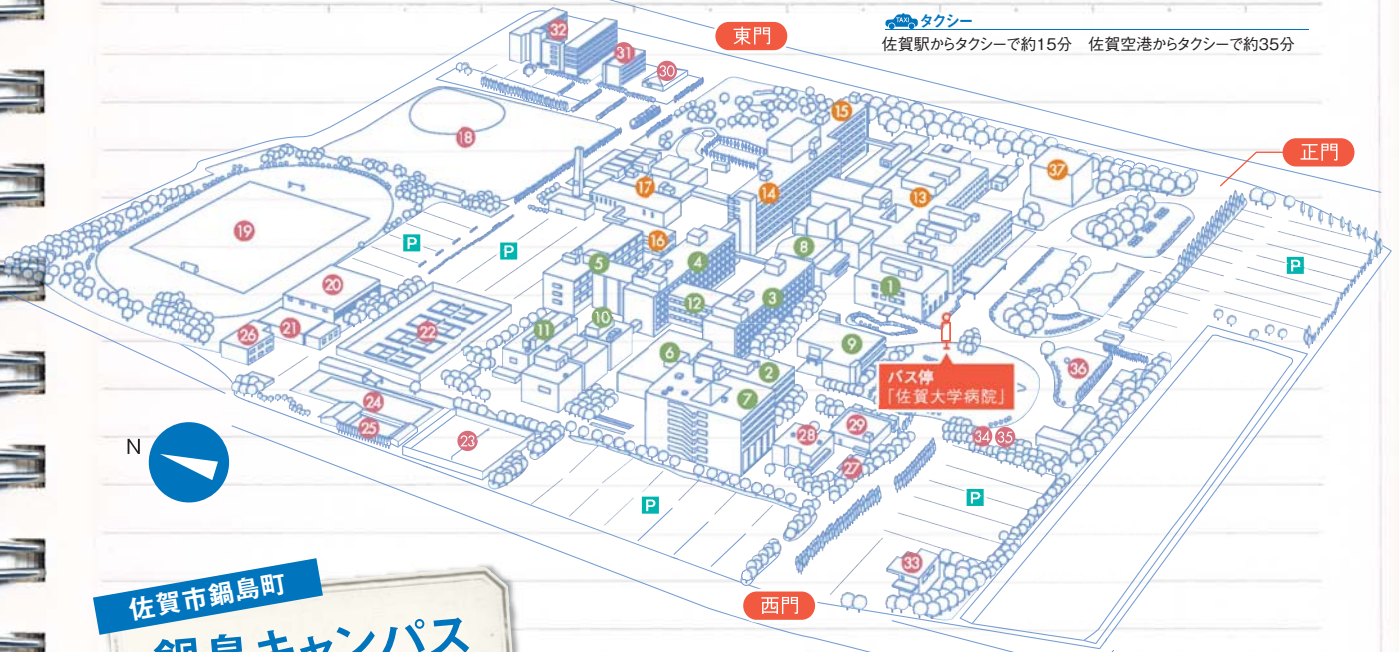
交通案内

バス

佐賀駅バスセンターからバスで約25分
「2番のりば」から市営バス50番で「佐賀大学病院」下車

タクシー

佐賀駅からタクシーで約15分 佐賀空港からタクシーで約35分



佐賀市鍋島町

鍋島キャンパス

必要なものは何でも揃う! 閑静で住みやすい街並み。

鍋島キャンパスは、本庄キャンパスから、西部環状線を抜けた先の医大通りに位置します。周辺には衣食住を満たすショップが立ち並び、楽しいキャンパスライフにぴったりのロケーションです。さらに北へ向かえば、川上峡温泉や古湯温泉などに繋がっており、豊かな自然を十分に満喫できる場所が数多くあります。



鍋島キャンパス

- | | | |
|------------------------|--------------|------------------|
| ① 管理棟 | ⑬ 附属病院中央診察棟 | ⑳ 医学部会館 |
| ② 校舎講義棟 | ⑭ 附属病院西病棟 | ㉑ 医学部会館(食堂) |
| ③ 基礎研究棟 | ⑮ 附属病院東病棟 | ㉒ こどもの杜保育園 |
| ④ 臨床研究棟 | ⑯ 卒後臨床研修センター | ㉓ 医学部宿舎 |
| ⑤ 院生・臨床研究棟 | ⑰ 中央機械室 | ㉔ 看護師宿舎 |
| ⑥ 基礎実習等 | ⑱ 地域医療支援センター | ㉕ 非常勤講師宿泊施設(思誠館) |
| ⑦ 看護学科棟 | ⑲ 野球場 | ㉖ 慰霊堂 |
| ⑧ 臨床講堂 | ㉑ 400Mトラック | ㉗ 慰霊碑 |
| ⑨ 附属図書館医学分館 | ㉒ 体育館 | ㉘ 動物慰霊碑 |
| ⑩ 保健管理センター分館 | ㉓ 格技体育館 | |
| ⑪ 総合分析実験センター(動物実験施設) | ㉔ テニスコート | |
| ⑫ 総合分析実験センター(RI実験施設) | ㉕ テニスコート | |
| ⑬ 総合分析実験センター | ㉖ プール | |
| ⑭ 総合情報基盤センター(医学サブセンター) | ㉗ 弓道場 | |
| 附属地域医療科学教育研究センター | ㉘ 課外活動施設 | |
| 附属先端医学研究推進センター | ㉙ 学生サークル棟 | |

Campus Life Q & A

Q1 大学の近くに
学生寮はありますか？

A. 大学のすぐそばに寮があります。
寮費もとってもお得です！

本庄キャンパス内に「楠葉寮」があります。男子100名、女子50名が入寮でき、空き部屋に応じて入寮者を募集しています。入寮期間は2年間、寮費は月額5,300円(共益費込)です。詳しくは、147ページを見てね。

Q2 アパートや下宿先は、どのように
見つければよいですか？

A. 佐賀大学生協や不動産会社が
紹介をしています。

新入生の皆さんへの住まいの紹介は、佐賀大学生協同組合や周辺の不動産会社が行っています。詳しくは、受験時に佐賀大学生協が配布する資料を確認しよう。アパートの相場は147ページを見てね。

Q3 学食はありますか？ おすすめ
メニューを教えてください。

A. 本庄・鍋島キャンパス併せて、
3つの学食があります。

本庄キャンパスには大会館食堂とかささぎホール食堂の2つ、鍋島キャンパスには1つの学生食堂があり、バランスのとれた安全な食事を安い価格で食べられます。人気メニューは125ページを見てね。

Q4 電車通学の場合、佐賀駅から
大学までの主な交通手段は何ですか？

A. バス・自転車が
主な通学方法です。

佐賀駅からはバスや自転車で通学できます。本庄キャンパスまでは、バスで13分(190円)、自転車で15分程度。鍋島キャンパスまでは、バスで26分(310円)です。詳しくは、147ページを見てね。

Q5 自動車に通学したいのですが、
キャンパス内に駐車できますか？

A. キャンパス内は駐車できないので
民間の駐車場を利用しよう。

本庄キャンパス、鍋島キャンパスともに、学部1年生の自動車でのキャンパス入構内を原則として認めていません。自動車通学をする人は、大学周辺にある民間が経営する駐車場(約4~5千円)を借りています。

Q6 アルバイトをしたいです。
どのように探せばよいですか？

A. 求人雑誌・広告以外に、
大学からの紹介もあります。

求人雑誌や求人広告、友人や先輩からの紹介だけでなく、大学でもアルバイトを紹介しています(ただし、新入生には大学生活に慣れてもらうために入学後3か月は紹介を行いません)。

Q7 大学の夏休みや春休みは、
どれくらいあるのですか？

A. 夏と春に
長期休業があります。

夏季休業(8、9月の約2か月)、冬季休業(12月末~1月上旬の約2週間)、春季休業(2、3月の約2か月)が休業期間です。高校時代と比べ、大学の休業期間は長いため、大学生でしかできないことにチャレンジしよう！

Have a nice
campus life!

国際交流

海外を知れば、もっと自分の国が見えてくる。
佐賀大学では、積極的に国際交流の窓口を広げています。

近年、日本の大学では学習や研究を行う外国人留学生や研究者の数が増加しています。佐賀大学では、昭和53年以降、世界各地の大学や研究機関との学術交流協定締結をすすめ、海外の諸機関と共同で教育や研究を行う環境を整えています。現在、147校にのぼる大学・機関との学術交流協定を結び、このうち88大学との間で短期研修や交換留学など学生交流についての協定をもち、佐賀大学の学生として世界の国々で学ぶ機会が増えています。

佐賀大学と大学間学術交流協定校のある国

(平成25年5月1日現在)

国名	協定校数	国名	協定校数
大韓民国	12	スリランカ民主社会主義共和国	1
中華人民共和国	11	パキスタン・イスラム共和国	2
台湾	8	英国	1
ベトナム社会主義共和国	7	ルーマニア	1
カンボジア王国	3	フランス共和国	2
ラオス人民民主共和国	1	ポーランド共和国	1
タイ王国	6	アメリカ合衆国	4
インドネシア共和国	10	カナダ	2
バングラデシュ人民共和国	6	オーストラリア連邦	2



1学期または1年間の交換留学

佐賀大学は世界19カ国147大学と学術交流協定を締結しています。
これらの協定校へ佐賀大学の推薦を受けて派遣される留学を「交換留学」といいます。

交換留学制度

留学期間 1学期間または1年間

応募時期 第一期：11月、第二期：7月

応募資格 学部生または大学院生であること。
留学先で学習・研究するために
必要な語学力を備えていること。

交換留学に必要な語学能力試験

交換留学を実現するうえで最も大きなハードルが語学力です。多くの協定校が語学能力のスコア提出を求めており、協定校が示す基準点を満たす必要があります。思い立ったら一日も早く語学学習を開始し、学内外で実施される検定試験等を受験しましょう。中国、台湾、韓国、フランスへ留学を希望する場合も、基礎的な外国語能力を身につけていることが交換留学生として求められます。学内選考までに必要な外国語能力試験を受験しておきましょう。これらの試験はそれぞれ年に2回程度しか実施しておらず、申し込みも試験の半年前に閉め切られることが一般的です。早めに準備を開始しましょう。

留学にかかる費用

1年間の総費用は約100万円から200万円程度です。これらは渡航費、生活費、保険料の諸経費等が含まれます。協定校へ交換留学生として留学する場合、協定校への授業料は発生しません。ただし、佐賀大学への在学身分を「留学」とし、授業料を支払わなければなりません。



交換留学制度を利用するメリット

正規留学よりハードルが低い

交換留学生に求められる成績や語学力の条件は、学位取得を目的とした留学よりも低く設定されているため、留学を実現することは難しくありません。ただし、留学中に充実した学生生活を送るためには、継続的な語学学習による十分な準備が必要です。

協定校と佐賀大学が連携してサポート

佐賀大学の協定校は評価の高い教育機関です。事前に多くの情報が得られるだけでなく、留学期間中は「佐賀大学からの交換留学生」として様々な支援やサービスを受けることができ、安心して留学することができます。

留学先の大学で授業料を支払わなくてもよい

ただし、留学期間中も佐賀大学に授業料を納める必要があります。

留学先の大学で取得した単位が互換できる

単位互換には所属学部・研究科の認定が必要です。履修した科目によっては認められない場合もあります。

交換留学は休学扱いにならない

大学を休学して語学留学やワーキングホリデーなどをする場合は、卒業に必要な在籍日数が足りなくなることがあります。一方、交換留学は在籍期間にカウントされます。

交換留学生を対象とした佐賀大学の奨学金

(参考：平成25年度)

	対象学生	支給額	人数	審査方法
JASSO留学生交流支援制度	協定校へ交換留学するもの	月8万円	年により異なる	交換留学への応募書類と面接、学内選考を経てJASSOに推薦する
佐賀大学校友会海外派遣奨励金	協定校へ交換留学するもの	5万円	10名程度	交換留学への応募書類と面接
学術交流協定校に留学をする派遣学生援助金支援制度(後援会)	協定校へ交換留学するもの(医学部および経済学部を除く)	10万円	10名程度	交換留学への応募書類と面接
佐賀大学学生海外派遣奨励費	協定校へ交換留学するもの	1年間:30万円 半年:15万円	5名程度	交換留学への応募書類と面接

短期海外研修プログラム Saga University Study Abroad Program (SUSAP)

留学に興味があっても「費用が高い」「卒業を遅らせたくない」などの理由で踏み切れない人は短期海外研修プログラムがおすすめです。期間が短い分費用を安く抑えることができる上、海外旅行よりもずっと充実した時間を過ごすことができます。

短期海外研修プログラム(SUSAP)とは・・・

佐賀大学では国際的視点から思考し地球社会に貢献できる人材を輩出することを目標の一つとして教育の国際化を進めています。SUSAPは、外国語の運用能力を高めるだけでなく、現地教員による講義やクラス内外での同世代の学生との共同活動や意見交換、一般市民との交流を通して、現地の社会や文化、生活習慣を学び、多様な文化や価値観を理解するとともに、国際的な視野を育むことを目指しています。



	パシフィック大学 (アメリカ・オレゴン州) アメリカの自然と環境から学ぶ イントロダクトリープログラム	モナッシュ大学 (オーストラリア・メルボルン) アカデミックイングリッシュと オーストラリアのエコツーリズムを学ぶ	オークランド大学 (ニュージーランド・オークランド) グローバルイングリッシュとニュージー ランドの人々と社会について学ぶ	香港中文大学 活気ある国際商業都市「香港」 を学ぶ学生交流プログラム
期間	8・9月(4週間)	2・3月(4週間)	2・3月(3週間)	3月(10日間)
参加対象	学部・大学院生	学部・大学院生	学部・大学院生	学部1、2年生
募集人員	14名	20名程度	20名程度	10名程度
募集時期	5月	10月	10月	10月
費用	50万円程度 (H.25年度は奨学金10万円支給予定)	46万円程度 (H.24年度は奨学金10万円支給)	36万円程度 (H.24年度は奨学金8万円支給)	5万円程度
滞在	ホームステイ	ホームステイ	ホームステイ	ゲストハウス
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 週12時間の英語授業 ● 日常会話だけでなく、ディスカッションやプレゼンテーションスキルの向上を目指す。 ● フィールドトリップに参加し、アメリカ北西部の自然や社会、特有の文化について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 週20時間の英語授業 ● 海外の学生と共に学ぶ多文化クラス ● 英語圏への留学に必要な英語によるディスカッション、プレゼンテーション、ライティング、リーディングのスキルアップを目指す。 ● 「オーストラリアのエコツーリズム」についてのレクチャーを受講し、エコツーリズムの歴史、生物多様性の保護、生態系への影響、経済・社会文化への影響、ビジネスとしてのエコツーリズムなどについて学ぶ。 ● 国立公園を訪問し、自然保護官のレクチャーを受け、国立公園内を視察する。 ● 自然保護ボランティア活動に従事。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 週20時間の英語授業 ● 週2時間のワークショップ ● 海外の学生と共に学ぶ多文化クラス ● 1日2コマの授業では、スキル別(読解・聴解・文法など)のクラスとテーマ別(ビジネス、NZの食、映画、環境など)に1コマずつ参加。 ● 「ニュージーランドの人々と社会」というテーマでニュージーランドの移民社会、教育、医療・福祉についてのレクチャーとディスカッションに参加する。 ● 現地の高校への訪問、オークランド大学生への聞き取り調査、現地コミュニティの方々とのパネルディスカッションに参加。 ● 最終日には、自らが学んだことについてプレゼンテーションを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 香港中文大学の学生と交流し、相互理解を図る。 ● フィールドトリップを通して国際商業都市であり、歴史的背景からメインランド中国とは性質を異にする香港の活力を肌で感じ取る。 ● 香港で活躍する日本人による特別講義を受け、日本企業や日本人が香港でどのように生きるか生の声を聞く。 <p>*語学研修はありません。</p>
現地学生との交流	● 英語を母語とする現地学生とのマッチングによるカンパセーションパートナーに参加。	● 佐賀大学の協定校であるラ・トローブ大学を訪問し、日本語の授業に参加予定。モナッシュ大学生との交流についてもランゲージコネクション活動やJapanese Clubへの参加など多様な機会がある。	● ニュージーランドの学生生活について調べるためにキャンパスで現地学生にインタビューする。	● 一人ずつ中文大生のパディが決められ、プログラムを通じて一緒に行動する。

参加者の声 パシフィック大学 2012年7月参加



平岡 範之
文化教育学部 3年

滞在中、今ではもうひとつの家族となったホストファミリーや学校で出会った仲間たちと、異文化の壁がありながらも会話をし、理解しあい、笑い合うことが出来ました。特に学校では、様々な国の人たちと、多様なテーマについて語り合い、今までの自分にはなかった考え方に驚き、新しい価値観に出会う事ができました。しかし、同時に、自分の考えがうまく伝えられず、苛立ちや戸惑いも覚えました。そうした中で、もっと英語で自分や自分の考えを伝えたいと心から思いました。そして今、これらの経験を通して、他国や他言語への関心は益々高まりました。さらなる挑戦をし、国際社会に受け入れられる人になりたいと思い、現在はオーストラリアのシドニー工科大学で交換留学生として充実した時間を過ごしています。

参加者の声 オークランド大学 2013年2月参加



尾崎 友紀
文化教育学部 4年

このプログラムでは、オークランド大学附属の語学学校にて三週間、語学を始めニュージーランド社会やマオリの文化、多民族国家について総合的に学びます。二週間はレベル別に一日4時間、文法や会話中心の授業と、NZ社会や文化についての授業を受けます。最後の一週間は、NZ文化や教育、多民族国家などのテーマに沿って、実際に現地の学生に調査しながらプレゼンテーションの作成・発表を行います。滞在中の三週間は現地家庭にホームステイし、100%英語の空間で衣食住を共にします。その中で、単に旅行するだけでは味わえない、貴重な体験をすることが出来ました。国が違えば当然のことながら言語や文化、ライフスタイルは異なります。異文化にどう対応していくか、またどう対応していけば良いのか、考えるきっかけにもなりました。

日本人学生の海外留学の実績と留学支援

海外留学支援を強化 (平成25年度入学者からの新プログラム)

留学支援英語教育カリキュラム

海外留学に対して意欲ある学生を選抜し、英語による授業科目とネイティブスピーカー教員による教育・訓練を行い、2年間で留学及び国際交流に必要な英語能力と異文化交流の力を身につかせます。

ポイント

- ◎1学年40名程度の少人数プログラム(全学部からの選抜)
- ◎英語ネイティブスピーカーによる教育・訓練
- ◎「インターフェース科目」での海外語学研修
- ◎一般学生の2倍以上の英語に関する単位を取得

留学フェア(5月)

交換留学や各種プログラムの内容、留学体験談、協定校の最新情報、語学サポート、奨学金情報など、留学や海外研修に必要な情報を提供します。

海外留学成果報告会(10月)

交換留学や短期海外研修の参加者が留学先での学習・研究、生活、交流について紹介します。参加者が留学を通してどのような経験をしたのか、何を学び成長したのかを語ります。

留学情報コーナー

留学生交流室(学生センター2階)では、海外の協定校や世界各国の大学の資料、留学経験者の生の声である交換留学報告書がいつでも閲覧可能です。

国際交流メール配信サービス

海外留学やキャンパスの国際交流イベントに興味のある方を対象に、最新情報をメールで配信します。

ミニ留学トーク(春学期のみ開催)

留学経験者がその土地の特徴、醍醐味について経験談をお話します。留学の話をちょっと聞いてみたいという方、留学先を迷っている方におすすめです。

留学アドバイジング

学生それぞれの個性やキャリアプランに従った留学計画の立て方、留学先の選び方、語学学習の方法など、留学実現を目指したアドバイスを提供します。

語学学習テキスト貸出し

留学に必要な語学力の身につけたい方、海外大学院入学試験の勉強をしたい方を対象としてテキストを貸し出しています。

日本からの留学実績

国名	大学名	協定校への長期留学(3ヶ月以上)	短期海外研修(3ヶ月未満)
アメリカ合衆国	バシフィック大学	4	31
	スリッパリーロック大学	2	0
カナダ	マニトバ大学	1	0
イギリス	イーストアングリア大学	2	0
オーストラリア	ラトロブ大学	2	33
	シドニー工科大学	2	3
	モナシュ大学	0	11
ニュージーランド	オークランド大学	0	14
フランス	オルレアン大学	6	0
	ブルゴーニュ大学	1	0
韓国	釜慶大学校	3	12
	韓国技術教育大学	1	2
	木浦大学校	0	6
	国民大学校	9	0
	済州大学校	0	4
	全南大学校	2	3
	大邱大学校	0	3
	釜山大学校	1	2
	培材大学校	0	3
	国立台北大学	1	4
台湾	国立中興大学	2	6
	輔仁カトリック大学	1	0
中国	華東師範大学	4	0
	ハルビン工業大学	0	3
	北京工業大学	9	0
	浙江科技学院	0	2
スリランカ	ペラデニア大学	8	0
タイ	カセサート大学	1	0
ベトナム	ベトナム国家大学ハノイ外国語大学	3	0
計		65	142

(平成21~25年3月)

キャンパスで国際交流

学内で開催される様々な国際交流イベントは国際交流推進センターウェブページ、掲示板、ライブキャンパス、メーリングリスト等で随時案内しています。多くの佐大生がイベントや活動に参加し交流を深めています。

ランゲージラウンジ

お昼休みの1時間に外国語で会話を楽しむ活動です。現在は韓国語、英語、中国語のグループがあり、外国語や海外に興味のある日本人学生と留学生と一緒にディスカッションをしたり、ゲームをしたり、それぞれの国の文化を紹介しあうなどのアクティビティを毎週行っています。

日本語学習サポート

教養教育の日本語IIでは、留学生の日本語の個別学習をお手伝いしてくれる人を募集しています。佐賀大学の留学生と交流してみたい人、他の国のことに興味がある人、ぜひ参加してみてください。

佐賀大学サマープログラム(SUSP)

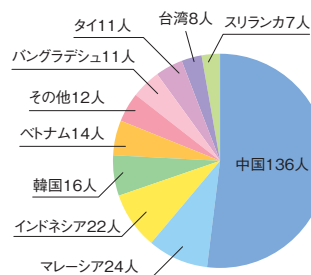
世界各地の協定校から学部学生30名が来日し、参加する3週間の「佐賀大学サマープログラム(SUSP)」です。今年のテーマは「Creating Young Leaders' Innovation for Sustainability」です。持続可能な社会を実現するために、若者がどのようにリーダーシップを発揮できるのかについて、レクチャー、学外での視察・実践学習、ディスカッションを通して考え、学びます。SUSPには佐賀大学生も参加することができます。意欲と問題意識にあふれた海外の学生と交流し、一回り成長できる夏にしましょう。

留学生を自宅に招いて交流しよう

サマープログラムに参加する留学生を招き、ホームステイを経験できます。佐賀大学からバスまたは電車で1時間圏内に自宅がある佐賀大学生を対象とします。

海外からの外国人留学生

外国人留学生の受入は、年々増加し、現在18カ国261名の留学生が在籍しています。留学生との交流イベント等も企画され、様々な国の学生とのコミュニケーションを通じて国際感覚が養われます。



平成25年5月1日現在

海外留学体験レポート

アメリカ ペンシルバニア州スリッパリーロック大学へ交換留学

ペンシルバニアの10ヶ月

江頭 隆介 文化教育学部 国際文化課程 4年
(佐賀県立三養基高等学校出身)

私は、2012年の8月中旬から2013年の5月末までの10ヶ月間、アメリカのペンシルバニア州にあるスリッパリーロック大学に交換留学していました。留学を志したのは、大学1年の夏休みに参加した、アメリカのオレゴン州での語学研修プログラムの時でした。1ヶ月間ホームステイをして、大学の授業に参加し、様々な国の人々と交流していく中で、自分の英語力のなさを痛感しました。そこで、本格的に英語を身につけたいと思うようになり、そのために留学を決意し勉強を始めました。佐賀大学は交換留学制度が充実しているので、これを使わない手はないと思い、それをモチベーションに勉強していました。アメリカの大学に留学するには、TOEFLという試験で一定の点数を取得しなければなりません。なかなか結果がついてこず苦労しましたが、あきらめず勉強続けた結果、3年生の夏頃、目標の点数に達することができました。そして、大学で留学のための面接を受け、VISA、奨学金など様々な手続きを済ませて、4年生の夏に留学生活がスタートしました。

留學生活のはじめの1ヶ月は怒濤のように過ぎていきました。文化の違いやアメリカ人が実際に話す英語のスピードに慣れることに本当に大変で、毎日が驚きや失敗の連続でした。しかし、2、3ヶ月と時が経つにつれて順調に適應していくことができました。佐賀大学では、英語教育を中心に勉強していましたが、スリッパリーロック大学では、興味のあったコミュニケーションを専攻しました。その他にも、心理学、言語学、文学などの講義を受講し、幅広い分野について学ぶことができました。大学での講義は、学生と教授とのやりとりが盛んに行われ、学生はよく自分の意見を表現しようとします。はじめは、失敗を恐れて自分の意見を言えずにいましたが、「自分の英語力の向上のためだ」と思い、できるだけ手を上げて意見を言うようにしました。また、アメリカの大学は課題がとても多いです。そのためもあってか、アメリカの大学生はよく勉強し、意識の高い人が非常に多いです。私は膨大な量のリーディングやレポートをこなすために、一日中図書館にこもって勉強ということもしばしばありました。時に



は、アメリカ人の友達と一緒に勉強して、教えてもらうこともありました。勉強はかなり大変でしたが、その中で自分はやれるのだという強い自信をつけることができたと思います。

勉強以外にも様々なことを経験しました。ワシントンD.C.でホームレスの人たちの支援を行うプログラムに参加したり、ニューヨークで行われたキャリアフォーラムに参加して就職活動をしたり、30カ国以上の国々の学生みんなでナイアガラの滝に旅行に行ったりと、様々な場所で様々なことをして充実した時間を過ごしました。他にも大学では、友人たちとサッカー大会に出場したり、ジムに通ったり、ご飯を食べにいたり、パーティーに行ったりと楽しい時間を過ごすことができました。これらのイベントに参加していく中で、アメリカ人はもちろんのこと、韓国、パキスタン、イギリス、ハンガリーなど、様々な国のたくさんの友人をつくることができました。彼らは私にとって、一生の宝物です。世界中に友人を作ることができるというのも、留学の魅力の一つだと思います。これから友達皆と再会するための機会を作っていけたらと思っています。

アメリカにはサンクスギビングやクリスマスブレイクなどの長い休暇がありますが、そういった期間には、アメリカ人の友人の家にホームステイさせてもらっていました。アメリカの家庭で、アメリカのご飯を食べ、アメリカについて話したり、アメリカのテレビを見たりと、毎日がアメリカ漬けでアメリカ文化にどっぷりと浸ることができました。そのような環境に身を置いたことで、自分の英語力を飛躍的に向上させることができました。また日本とアメリカの文化の違いを経験することで、日本に住んでいたらなかなか気づかないような、日本という国の良さ、日本について知らなかったことを、改めて実感することもできました。

私はアメリカでの10ヶ月の留學生生活を非常に内容の濃いものにしたと思います。この留学で培った英語力、経験、友人は私自身を成長させてくれる大きな財産となりました。これからはこの経験を生かして、国際社会の中で活躍していくことができたらと思っています。これを読んで、皆さんが留学について少しでも興味を持って頂くことができれば幸いです。





キャリア支援

4年間の学びの成果を未来につなげるキャリア支援

キャリアセンターは平成18年に設置され、専任教員と就職課職員が力を合わせ、学生の就職活動をサポートしていきます。



概要

キャリアセンターの 取り組み

キャリアセンターでは、キャリア教育及び就職支援に関する様々なメニューを企画・実施しています。初年次には授業やガイダンス等でキャリア形成に関する知識を深め、3年生にはインターンシップの推進や就職活動準備講座の開催、4年生には学内での合同・個別会社説明会の開催や実践的な面接対策講座等の提供を行っています。また、公務員・教員採用試験や資格試験の対策講座も併せて実施しています。

学生の皆さんの就職活動を支援する他、不安や悩みを解消するために相談員を常時配置し就職面談を行っていますので、気軽に利用してください。

相談窓口

●就職相談員

企業での採用担当経験者、教職経験をもった本学OB、キャリアコンサルタント、社会保険労務士資格の保有者を就職相談員として配置し、進路相談や履歴書の添削、面接指導など、就職に関する相談等を随時受け付けています。

●就職担当教員[各学部]

学部によって学生の就職希望も様々であることから、各学部に就職担当の教員を配置し、学生の専門性に応じた指導を行っています。



豊富な情報提供

●Live Campus(就職システム)

Live Campusは就職活動を強力にサポートするシステムです。一般的なホームページ上では公開されていない優良企業の求人なども閲覧することができます。本システムは学外からアクセスできるだけでなく、新しい求人情報を学生へメール送信するサービスも受けることができます。また、キャリアセンターのホームページにも学内ガイダンスや合同・個別会社説明会およびインターンシップに関する最新の情報が提供されています。

●様々な資料の閲覧

企業から送られてきた多くの求人票がファイリングされていますので、いつでもチェックすることができます。また、求人票だけでなく、様々な業界に関する資料や書籍、企業セミナーやイベントのお知らせなど、キャリアセンターに来ると、就職活動について何でも知ることができます。



学内実施の会社説明会

学内で実施する会社説明会には、各企業が単独で実施する「個別会社説明会」と複数の企業が合同で実施する「合同会社説明会」があります。学生は学内にいながらにして自分のペースで企業の人事担当者から話を聞くことができます。

平成24年度は、個別会社説明会に58社、合同会社説明会に325社の参加がありました。



就職支援プログラム

学生の志望に応じた様々な支援プログラムが実施されています。

民間志望	キャリアデザイン講座/職業適性診断/SPI対策講座/面接指導 グループディスカッション対策/インターンシップガイダンスなど
公務員志望	公務員セミナー/公務員就職ガイダンス/公務員試験対策講座など
教員志望	教員試験対策講座/願書・自己PRの書き方/ 教員採用試験全国公開模擬試験面接セミナーなど



キャリア教育

●大学入門科目(必須科目)

キャリアカウンセラーおよび本学卒業生による講演を行い、キャリアデザイン、就職意識の啓発、将来の仕事について考える機会として、正課の必須科目にキャリア教育が組み込まれています。

●キャリアデザイン～自己発見講座～(教養教育科目)

佐賀大学同窓会の支援を受け、各分野で活躍する本学のOB・OGを招いた講演会(1コマ1人)で構成される授業科目です。eラーニングでも受講することが可能です。



インターンシップ

インターンシップとは、「体験就業」とも呼ばれ、学生が企業などで一定期間、仕事をしながら研修することを示します。本学でも各学部の担当教員の協力で受け入れ企業の開拓を行っています。学部によっては、インターンシップが一部単位として認められるところもあります。

●主なインターンシップ先(平成24年度実績)

佐賀県庁、東京都庁、長崎県庁、唐津市役所、九州経済産業局、佐賀銀行、佐賀共栄銀行、佐賀信用金庫、九州労働金庫、九州電力、NHK佐賀放送局、SMBC日興証券、宮島醤油、丸秀醤油、熊本放送RKK、ココロマーケティング、山崎製パン、JAフーズさが、デンソーセールス、川田テクノシステム、タンスのゲン 他

【実績】インターンシップ参加者

平成24年度	139名
平成23年度	209名
平成22年度	204名
平成21年度	160名
平成20年度	144名
平成19年度	106名

※平成24年度については
平成25年3月1日現在の数



就職実績 (平成24年度)

全国で活躍する佐賀大生、安定した就職実績

大学(学部)卒業後の進路選択には、企業の就職、公務員や教員の採用試験、大学院への進学、海外留学などがあります。

学生の多くが就職を希望する学部や、大学院進学を目指す学生が多い学部など、学部によって様々です。

就職に関して言えば毎年、就職希望者のほとんどが就職を決めて全国各地で活躍しています。



近年の求人状況

文化教育学部

国公立学校教員、国地方公務員、金融証券保険関係、医療・福祉関係、その他(JR九州・西日本、JA、JT日本たばこ産業・ANAエアサービス、ポーラ化粧品、アサヒ飲料、NHK、コスモ薬品、マイナビ、ミゾタ、九州電力等)

経済学部

国地方公務員、金融証券保険関係、食品、鉄鋼業等製造業関係、小売・サービス業関係、その他(凸版印刷、日本通運、富士通、JR東日本・西日本、日野自動車、ニプロ、久光製薬、ヤマト運輸、三菱重工業、日立製作所、戸上電機、ニトリ等)

医学部

医療業関係、(国立大学法人医師・看護師・保健師・助産師、民間病院医師・看護師・保健師・助産師等)

理工学部

機械・電機関連製造業関係、情報通信関係、建設業、国地方公務員、国公立学校教員、その他各学科の専門性を活かした企業等(九州電力、シチズン電子、デンソー、NTTデータ九州、NEC、西部ガス情報システム、日立化成工業、三菱重工、トヨタ自動車九州、京セラ、日立造船所、JR東日本、JR西日本、JR九州、パナソニック、ソニー、富士通、住友軽金属工業、凸版印刷、大日本印刷、松尾建設、谷川建設、東京エレクトロン、積水ハウス等)

農学部

国地方公務員、国公立学校教員、食品・化学等製造業関係、サービス業関係、その他各学科の専門性を活かした企業等(JA、スジャータ、キュービー、明治グループ、森永乳業、山崎製パン、コカコーラ、フランソア、祐徳薬品、宮島醤油、味の素、食品環境検査協会、霧島酒造等)

卒業・修了者の進路

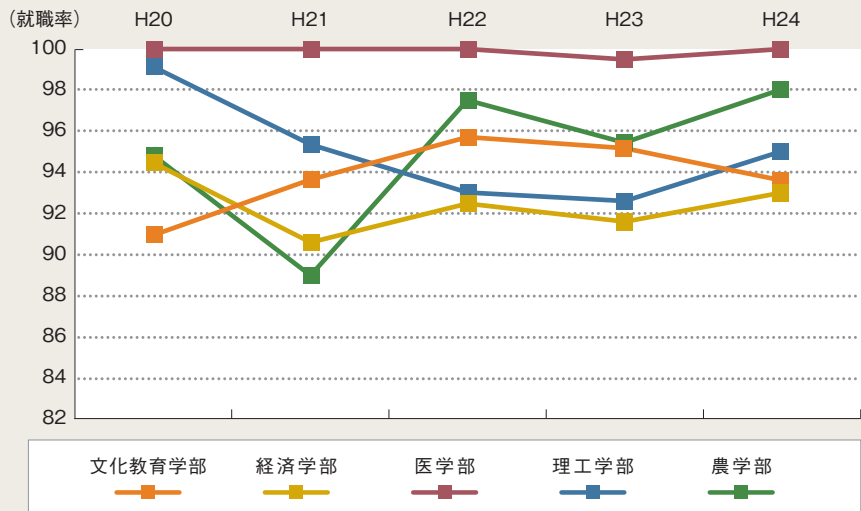
学科・課程ごとの就職先は、各学科・課程の紹介ページをご覧ください。

学部	卒業・修了者	就職希望者		進学者数	その他(※)
		就職者	未就職者		
文化教育学部	245	161	11	30	43
経済学部	297	227	17	8	45
医学部	168	159	0	3	6
理工学部	489	245	13	197	34
農学部	158	97	2	39	20
合計	1357	889	43	277	148

大学院	卒業・修了者	就職希望者		進学者数	その他(※)
		就職者	未就職者		
教育学研究科	39	18	1	3	17
経済学研究科	6	1	0	2	3
医学系研究科(修士)	27	9	2	2	14
医学系研究科(博士)	18	5	0	0	13
工学系研究科(博士前期)	197	179	1	5	12
工学系研究科(博士後期)	32	10	0	0	22
農学研究科	41	33	0	1	7
合計	360	255	4	13	88

※「その他」は社会人、帰国した留学生、海外への留学生、専門学校等への入学者、科目等履修生、家事手伝い、主婦、就職意思がない者を計上。

近年の学部別就職率

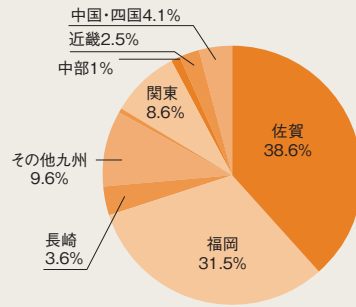
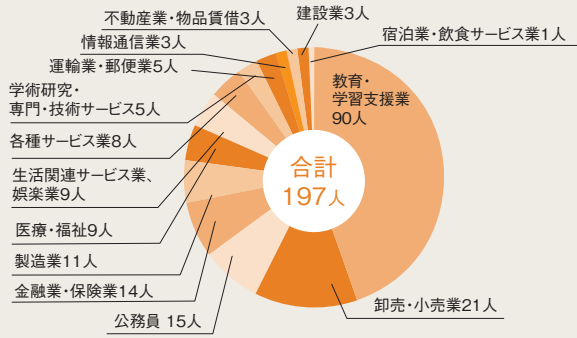


学部	H20	H21	H22	H23	H24
文化教育学部	90.9	93.5	95.8	95.2	93.6
経済学部	94.4	90.1	92.2	91.6	93.0
医学部	100	100	100	99.3	100
理工学部	99.6	95.4	92.8	92.6	95.0
農学部	94.8	89.0	97.8	95.5	98.0

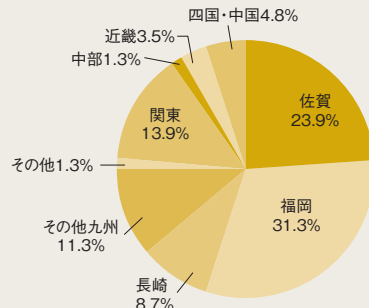
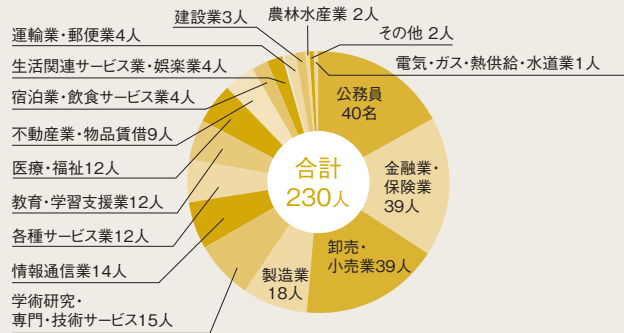
産業別就職状況

地域別就職状況

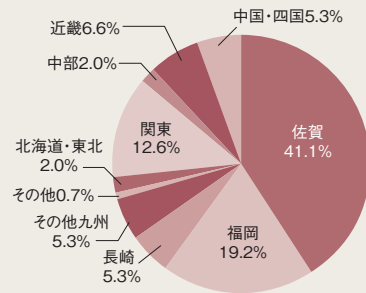
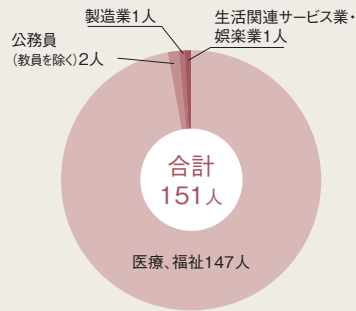
文化教育学部



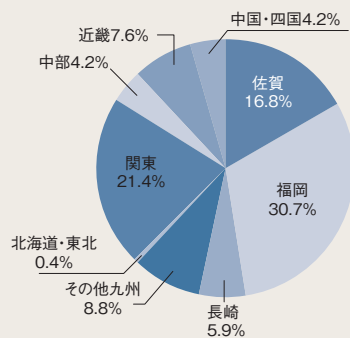
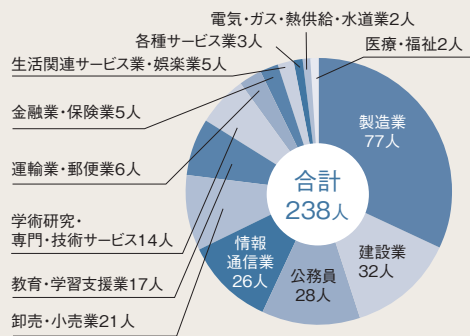
経済学部



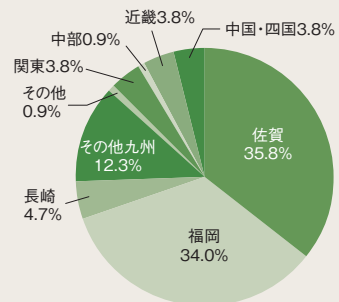
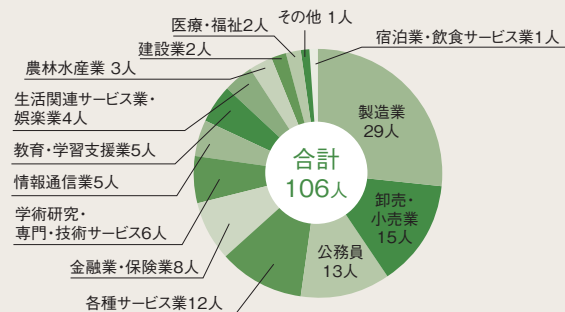
医学部



理工学部



農学部



(データは平成23年度実績)



学生生活支援

大学生活に必要なお金の話です。

授業料免除制度や奨学金制度について自宅通学与一人暮らしの違いについて事前に調べておくことはこれからの大学生活にとって大変重要です。

学費と奨学金制度

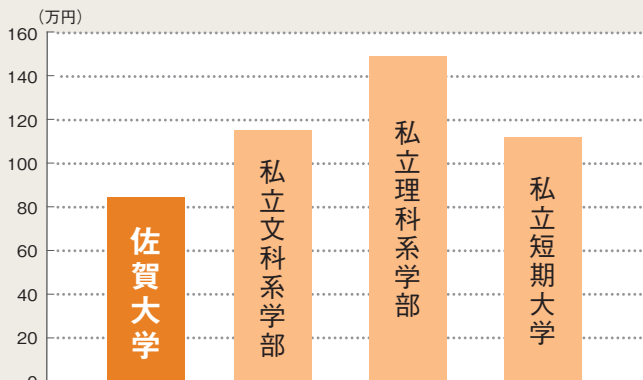
学費の初年度納付金はこれだけ違う

佐賀大学の初年度納付金

817,800円

(入学金:282,000円、授業料:535,800円)

国立大学の学費は、私立大学の平均と比べ、文科系で約35万円、理科系で約70万円(医歯系は、約400万円)の開きがあります。



(資料)「平成23年度 私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額(定員1人当たり)の調査結果」より作成

授業料免除制度

学費の納付が困難かつ学業優秀と認められる学生および入学料の納入が著しく困難と認められる学生について、本学では以下のような制度を設けています。

- 授業料免除制度: 授業料の全額または半額を免除します
- 入学料免除制度: 入学料の全額または半額を免除します
- 入学料徴収猶予制度: 入学料の徴収を一定期間猶予します(免除ではありません)

授業料免除者、入学金免除者の実績

区分	学部			大学院		
	申請者数	免除者数	免除率(%)	申請者数	免除者数	免除率(%)
授業料	全額免除	105	6.4	444	29	6.5
	半額免除	1,649	82.6		373	84.0
入学料	全額免除	0	0	78	4	5.1
	半額免除	0	0		21	26.9

奨学金貸与者の実績

奨学生数は、平成25年3月現在

区分	日本学生支援機構			地方公共団体 その他	合計
	第一種	第二種	小計		
文化教育学部	228	392	620	8	628
経済学部	259	453	712	19	731
医学部	225	294	519	18	537
理工学部	409	904	1,313	25	1,338
農学部	157	218	375	7	382
合計	1,278	2,261	3,539	77	3,616

奨学金制度

日本学生支援機構奨学金

区分	利子	貸与金額	特徴
第一種奨学金	無	自宅通学生/30,000円、45,000円 自宅外通学生/30,000円、51,000円 の中から学生が選択	本人の成績および経済状況で選考される。
第二種奨学金	有	30,000円、50,000円、80,000円、 100,000円、120,000円 の中から学生が選択	第一種の選考基準よりも選考が緩やか。

かささぎ奨学金(予約型奨学金)

概要	佐賀大学独自の給付型の奨学金で返還不要のものです。入学を希望する優秀な学生に対して、奨学金を給付します
支給額	年間30万円×4年間(医学部医学科は6年間)ただし、在学中の成績が芳しくない場合は、受給資格を失うことがあります。
採用予定者数	12名程度
選考方法	(推薦入試)各学部ごとの推薦入試の成績上位者 (前期日程)各学部ごとのセンター試験の成績上位者

かささぎ奨学金の申請数と採用数(平成24年度入学者)

学部	文化教育学部	経済学部	医学部	理工学部	農学部	合計
申請数	185	148	118	461	145	1,057
採用数	2	3	2	3	2	12

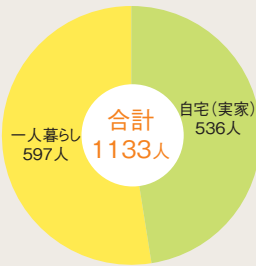
その他奨学金

地方公共団体及び民間育英団体の奨学金については、奨学生の募集がある場合に学内掲示板等で案内しますので、申請を希望する場合は、学生生活課に問い合わせてください。

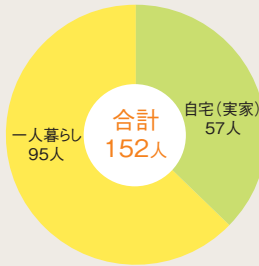
佐賀大生の生活 (平成23年度新入生アンケート調査より)

住まいについて

本庄キャンパス

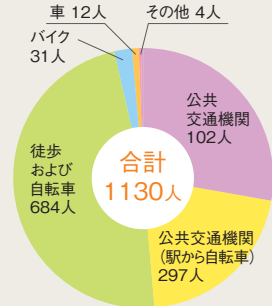


鍋島キャンパス

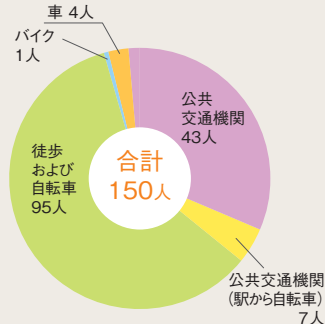


通学について

本庄キャンパス



鍋島キャンパス



生活費

自宅生

	収入	支出	
小遣い	13,570円	食費	9,440円
奨学金	20,680円	交通費	9,780円
アルバイト	30,600円	教養娯楽費	6,680円
その他	740円	書籍代	1,760円
		勉学費	980円
		日常経費	6,160円
		電話代	3,830円
		貯金	21,850円
		その他	5,140円
収入合計	65,600円	支出合計	65,600円

一人暮らし

	収入	支出	
仕送り	54,740円	食費	19,830円
奨学金	32,000円	住居費	47,080円
アルバイト	25,110円	交通費	2,530円
その他	1,520円	教養娯楽費	7,360円
		書籍代	1,040円
		勉学費	1,480円
		日常費	7,330円
		電話代	4,750円
		貯金	12,440円
		その他	7,160円
収入合計	113,370円	支出合計	113,370円

佐賀大学生生活協同組合調べ (2012年学生生活実態調査より)

通学に必要な費用および各駅の始発と終電

経路	手段	料金 (一カ月)	時間	始発[平日]	最終[平日] 佐賀駅発
博多～佐賀	JR(普通)	13,230円	1時間	5:15	22:20
	JR(特急)	32,550円	35分	6:00	23:21
天神～佐賀	バス	25,440円	1時間9分	7:02	22:10
鳥栖～佐賀	JR(普通)	8,750円	23分	6:08	22:47
	JR(特急)	17,930円	15分	6:21	23:21
二日市～佐賀	JR(普通)	10,320円	44分	5:38	22:20
久留米～佐賀	JR(普通)	9,330円	40分	5:53	22:47

※料金は、学割適用価格。特急は、エクスプレスバスを使用した場合の金額

※上記データは、あくまでも参考データであるため、正確な情報を知りたい場合は、JR等にご確認ください。

●JR佐賀駅から自転車を利用する場合

JRを利用する学生の多くが、JR佐賀駅周辺の市営の駐輪場(有料:1カ月1,010円)に自転車を置いて通学に利用しています。自転車は、キャンパス内の移動にも便利です。

●JR佐賀駅からバスを利用する場合

佐賀駅から各キャンパスまではバスも利用できます。本庄キャンパスまでは約13分(190円)、鍋島キャンパスまでは約26分(310円)かかります。ただし、渋滞で遅れたり、雨の日には利用者が多くなることがあります。

一人暮らしについて

アパート等の紹介

佐賀市にはアパート等の斡旋業者がたくさんありますが、佐賀大学生生活協同組合でも学生向けアパートの紹介および斡旋を行っております。

例:アパートの相場(共益費込)

価格	条件
28,000円	和室6畳、風呂トイレ別(本庄キャンパスまで自転車5分)
35,000円	洋室6畳+ロフト2.5畳、風呂トイレ別(鍋島キャンパスまで自転車5分)
46,200円	洋室7畳(女性専用)、風呂トイレ別(本庄キャンパスまで自転車5分)

学生寮[楠葉寮]について

項目	概要
収容定員	男子100名 女子50名 (空き部屋に応じて入寮者を募集)
費用	月額5,300円(共益費込) 別途、光熱費等で5,000円程度を自己負担
部屋の形態	洋式個室(約6畳)。各部屋には、ベッド、整理箱、机、椅子、本棚が設置 風呂およびトイレは共同。各階に、補食室、洗面所、洗濯室、トイレあり。
入寮期間	2年間
入寮条件	健康かつ自宅からの片道通学時間が公共交通機関で90分以上かかる人 上記該当者で家庭状況および経済状況を勘案して入寮者を決定
場所	本庄キャンパス内

相談窓口

大学生活に関する

様々な相談窓口があります。

大学生活は、自分の勉強したいこと、やりたいことを主体的かつ自由に行うことができます。その反面、自分の居場所が見つからなかったり、自分のやりたいことと現実とのギャップで悩んだりすることが生じるかもしれません。

一般的に、大学生が悩んだり、困ったりすることとして以下のようなものがありますが、こうした不安や悩みが生じた時、一人で悩まずに第三者に相談することも必要です。大学では様々な相談窓口を用意しています。

●学生生活について

授業がわからない、ゼミで浮いている、サークルになじめない、相談するところがない。

●進路について

就職活動をどうすればよいかわからない、自分の進路を決めきれない、社会に出るのが不安。

●人間関係について

友人との関係がうまくいかない、恋愛のことで悩んでいる、コミュニケーションができない。

●生活環境について

アルバイトがうまくいかない、経済的に困っている、家族との関係がうまくいかない。

●その他

詐欺にあった、交通事故にあった、不審者に付きまわられている。

学生なんでも相談窓口



「学生なんでも相談窓口」は、学生の皆さんのキャンパスライフにおける疑問や悩み、困っていることの内容に応じてアドバイスしたり、相談員(学内外の関係者)を紹介する窓口です。

キャンパス・ソーシャルワーカー



何らかの理由で大学の講義等に出席できない学生や特別に支援が必要な学生に対して、キャンパス・ソーシャルワーカーが積極的に連絡を取り合い、場合によっては直接出向いて相談を受けるなどのアウトリーチ型の支援をします。

カウンセラー相談窓口



「カウンセラー相談窓口」は、学生の皆さんの心や身体の相談、キャンパスライフのあらゆる疑問や悩みなどについて、専門のカウンセラーに相談ができます。

学生アドバイザー

教職員やカウンセラー以外にも学生によるサポート(ピアサポート)も実施されています。

新入生アドバイザー

新入生が入学して感じる疑問について、新入生アドバイザーが相談に応じます。「履修の仕方が分からない」「面白い授業を教えて欲しい」「建物が分からない」など気軽に相談することができます。

学習アドバイザー

授業で分からなかった点、自学自習のポイント、学習方法に関する悩みや疑問など学習上のさまざまな悩みや疑問について学習アドバイザー(大学院生)が相談に応じます。

身体・精神面上の相談



保健管理センターでは、身体的な健康についてだけでなく、就学上の問題や対人関係上の問題など、心理的、精神的な健康についても相談ができます。

チューター(担任制度)

各学部において学生ごとにチューター(担任)がつけます。修学、進路選択、心身の健康などについて、アドバイスなどが必要な場合は、気軽に相談してみてください。

ノートテイク・手話通訳

支援を希望する聴覚障がい学生等に対し、ノートテイク、手話通訳等のサポートが受けられます。

佐賀大学 生協

【URL】 <http://kyushu.seikyoku.ne.jp/scoop/>
 【お問い合わせ先】 Tel. 0952-25-4450

学生を福利厚生面でサポートする大学生協同組合

佐賀大学には学生を福利厚生面でサポートする大学生協同組合（大学生協）があります。（現時点では本庄キャンパス内のみ）大学生協は食堂・売店・書籍部等の営業の他にアパート斡旋や管理、受託共済業務を行っています。近年特に学びと就職対策面で佐賀大生をサポートするために各種対策講座の学内での運営にも力を入れています。先輩と後輩のつながりによる、合格者によるサポーター制度などにより公務員試験、教員採用試験ともに年々合格者が増加しています。食事面では栄養バランスが偏りがちな大学生にきちんと食べて学んでいただきたい目的で「ミールカード」システムを2004年から導入して好評をいただいています。自動車学校の組合員割引やJR、高速バスなどの安価なチケットの取り扱いなどのサービスも充実しています。



大学会館店



かささぎホール

学びのサポート

学内実施の公務員試験対策講座、教員試験対策講座、TOEIC入門講座などで佐賀大生の学びとキャリア、成長をサポートします。先輩が後輩をアドバイスするサポーター制度も確立しています。



公務員試験対策講座



TOEIC入門講座



講座担当職員による面談



専門書・就活書の品揃え(大学会館)



食のサポート

バランスがとれて安全で安心な食事を3食利用いただけます。年間前払いの食堂利用システム（ミールカード）は自宅外生の6割以上に利用いただいています。学食の席数は文系地区の大学会館食堂が430席、理系地区のかささぎホール食堂は280席、計710席です。



大学会館食堂
 おかず・ごはん・サラダ・味噌汁の
 セットがほとんど400円以下です。



食品店バウゼ



大学会館店(文教・経済地区)

情報機器、ソフトウェア、旅行チケット、
 文具、書籍、自動車学校、各種講座受付、
 すまい・共済の相談窓口

かささぎ購買店(理工・農地区)

パン弁当、食品飲料、文具、日用品、
 理工専門書など



佐賀大学オリジナル品

佐賀大学のお酒悠々知酔(ゆうゆうちすい)、マグ
 カップ、ペンなど各種オリジナルグッズを各店舗
 に揃えています。

※お酒悠々知酔は、平成25年度販売予定数は現在完売しています。



銀行ATM

ゆうちょ銀行ATMが大学
 会館店前、佐賀銀行
 ATMが大学会館内、東
 京スター銀行ATMがか
 ささぎホール内に設置さ
 れています。

佐賀大学生協運営による講座

■ 公務員試験対策講座 ■ 教員試験対策講座 ■ 民間就職対策講座

各講座はいずれも佐賀大学の後援により佐賀大学内で授業終了後や土曜日に運営されています。受講料金は一般の資格スクールよりも大幅に安くされており、合格が内定した先輩がサポーターとして後輩へのアドバイスや運営に協力してくれていることが他に無い特徴です。

受講した先輩の声

公務員試験 対策講座 受講



下田 隆順 福岡市役所勤務
(経済学部 経営・法律課程 2013年3月卒)
福岡市役所、国税専門官、
自衛隊幹部候補生合格 証券会社2社内定

佐賀大学在学中はアーチェリー部と野球サークルの2つに所属していました。大学時代は高校までと違って自由時間の割合が大幅に増えます。その自由時間の活用の仕方によって差がつくと思います。

大学時代に何をすべきか?と一言でいうと「とにかくいろいろやってみよう」です。勉強はもちろん大事です。しかし、運動、バイト、ボランティア、友人との交流、その他様々な経験をつむことが勉強だけではわからないことを学ぶこと、つまり「実学」ということだと思います。

就職活動では自分自身を社会人からどう評価されているのかを感じ取るために公務員だけでなく民間企業にも複数エントリーし、内定をいただきました。貴重な経験でした。

社会に出てからも答えが一つしかない問題というもののはほぼありません。殆どは多くの選択肢の中から最善を選ぶことになります。その判断に必要なものが人生経験です。学生時代を含め、どれだけ多くのことを経験してきたかが問われます。自分から行動し、多くの経験を得てください。皆さんの大学生活が充実したものとなるよう祈っています。

私は中学校時代に数学の教員を目指したいと思うようになりました。私の周りの友人の中にも「算数嫌い・数学嫌い」の子が多かったです。そういった「数学嫌い」をなくしたい、数学の楽しさを知ってほしい、と思ったのがきっかけです。

3年生の11月に開講した対策講座で勉強を始めました。専門は高校の教科書を使って復習から始めました。自宅通学生で昼間に家で勉強するのが苦手だったので授業の空き時間などは大学の図書館で一人で勉強していました。夜は家で必ず2時間は勉強するようにしていました。

アルバイトは辞めずに続けていました。しかし4年の6月からはさすがに時間を減らし、7月は休みをいただいて勉強に集中しました。

教員試験の勉強は覚えることもたくさんあって大変ですが周りには一緒に頑張っている仲間がいまいます。教員になりたいという気持ちをしっかり持って頑張ってください。応援しています!

教員試験 対策講座 受講



武富 香里 佐賀県中学校勤務
(文化教育学部 学校教育課程 2013年3月卒)
佐賀県中学校教員(数学)へ合格

在学中は陸上競技部で主将を務め、短距離の佐賀県大会を制覇することもできました。そういった部活で学んだ継続する力、努力することや団結力の大切さ、達成した時の喜び、などが就活のための大きなエネルギーの源になりました。陸上以外の趣味は登山、レゴブロックなどでした。平日の夜は飲食店でアルバイトをしていました。それでもきちんと毎日8時間は睡眠をとって規則正しい生活を送っていました。

3年生の10月からの民間就活講座を受け始めてから志望業界、職種を真剣に考えるようになりました。「一緒にスタッフやらない?」私の部活動の先輩のくれた就活を始めるきっかけ。それは民間就職対策講座を企画運営するスタッフ勧誘の一言でした。その講座の内容は数回の面接練習や内定者の先輩から直々にお話を聞けるという実践的なもので、こんな素晴らしい講座を紹介してもらえる私はきっと就活がうまくいくと感じました。

今は希望の業界・職種で技術部に属し、商品開発に携わる毎日です。

民間就職 試験対策講座 受講



島 大嵩 株式会社フランソア勤務
(農学部 生物環境科学科 2013年3月卒)
内定後は運営スタッフリーダーとして
後輩のために活動



Q & A

全 体

Q 授業時間と時間割について教えてください。

A 授業時間は1コマ90分です。

1限目: 8:50~10:20	4限目: 14:40~16:10
2限目: 10:30~12:00	5限目: 16:20~17:50
3限目: 13:00~14:30	

Q 他学部や他学科の授業を聴講することはできますか。

A 聴講することは、可能です。ただし、卒業単位には算入されない場合や、担当教員の了承が必要となることもあります。

Q 海外留学したいのですが、4年間で卒業することは可能ですか。

A 不可能ではありませんが、年間で修得できる単位の上限等があり、また、海外留学期間にもよりますので、留学される際には、指導教員の所属する学部の教務担当者、国際課に相談の上、行ってください。

Q 入学後、学部や学科を変更できますか。

A 入学後、進路変更を希望する学生のため、転学部(学部の変更)・転学科(同一学部内での学科変更)の制度があります。転学部および転学科の受験資格等については、転入学部、転入学科が定めます。一般的には、様々な条件を満たさなければ利用するのは難しい制度です。

文化教育学部

Q 各課程における選修やコースの振り分け方は、どのようになされますか。

A <<学校教育課程>>

●教育学選修と教育心理学選修

入学試験ではまとめた定員ですが、入学前に希望を取り成績を加味して入学後に振り分けます。

●教科教育選修

教科ごとに10の分野(国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、音楽教育、造形教育、体育教育、家政教育、情報技術教育、英語教育)に分かれます。一般入試(前期、後期)による入学生については、志望順位の分野ごとに入試の成績と各分野の人数のバランスを考慮して入学後に振り分けます。

<<国際文化課程>>

2年進級時において、「日本・アジア文化選修」と「欧米文化選修」に希望別に分かれます。選修ごとの定員はなく、自由に選択できます。

<<人間環境課程>>

「生活・環境・技術選修」には、「地域・生活文化分野」と「環境・技術分野」、「健康福祉・スポーツ選修」には、「健康福祉分野」と「スポーツ分野」があります。分野の選択は、入学前に希望を取りそのまま入学時に分かれますが、入学時の説明を聞いた後での変更もできます。また、2年進級時にも分野の変更が可能です。

<<美術・工芸課程>>

1年次に「日本画」「西洋画」「彫刻」「デザイン」「窯芸」「木工工芸」「染織工芸」「美術理論・美術史」「美術工芸科教育」の基礎的な科目を一通り履修した上で、1年次末に希望する専攻分野を調査し、面談等を経て2年次から各専攻に分かれます。なお、その後も他の専攻分野の科目を自由に履修することができます。

Q 高校の教員免許を取りたいのですが可能ですか。

A 取得可能です。

詳細は、各課程で取得できる資格一覧をご覧ください。

Q 学校教育課程では、教員免許を取得しなくても卒業は可能ですか。

A 小学校教諭1種免許状取得を卒業要件とする教員養成課程ですので、取得しない場合は卒業できません。

Q 教育実習というのは、何年生でどれくらいの期間、どこで行うのでしょうか。

A 各課程で実施の時期、期間が異なります。学校教育課程の必修である「小学校教育実習」は原則3年次の夏休みに附属小学校等で4週間行われます。その他の教育実習の実施時期等は以下の通りです。

●中学校教育実習の場合、時期は4年生の時に3週間、

主に附属中学校及び佐賀市内中学校で実施されます。

●高等学校教育実習の場合、時期は4年生の時に2週間、

出身高校で実施されます。

●特別支援学校教育実習の場合、時期は4年生の時に2週間、

附属特別支援学校等で実施されます。

●幼稚園教育実習の場合、時期は4年生の時に4週間、

附属幼稚園で実施されます。

Q 音楽選修と教科教育選修の音楽分野との違いは？

A 音楽選修と教科教育音楽教育分野は、それぞれ別のカリキュラムを持っています。音楽選修は理論と実技を、教科教育音楽教育分野は音楽科の授業づくりを中心としたカリキュラムです。学生は教員免許取得を目指す中で、双方のカリキュラムから必要な科目を受講することになります。また入試の形態や入学後のことに関し違いがあります。音楽選修はAO入試(実技)と一般入試(実技)があり、卒業研究には卒業論文と卒業演奏が課されます。教科教育音楽教育分野は推薦入試(実技あり)と一般入試(実技なし)があり、一般入試で入った学生の音楽教育分野への振り分けは入学後希望を取り行われます。(人数の関係で希望に添えないこともあります)卒業研究には卒業論文が課されます。詳しいことは音楽選修のホームページをご覧ください。

Q 理科選修と教科教育選修の理科分野との違いは？

A どちらも小学校教員養成コースで、選択として中学校教諭、高等学校教諭の普通免許(理科)を取得することもできますが、教科教育選修の理科分野は、附属学校等の授業研究などを通して理科をよりよく教えるための基本を身につけることに力点を置いているのに対し、理科選修では、物理・化学・生物・地学のより専門的な教養ならびに観察・実験の技能の修得を重視しているのが特徴です。

Q 人間環境課程の「生活・環境・技術選修」のイメージができません。具体的にどのようなことを勉強するのでしょうか。

A 「生活・環境・技術選修」は、大きく「地域・生活文化分野」と「環境・技術分野」とに分かれています。「地域・生活文化分野」は、さらに「地域社会」(コミュニティ)を中心とした地理的・歴史的・文化的・社会的諸問題について探究し、「現状分析—原因説明—改善提案」などに取り組んでいます。また「衣食住」を中心とした生活文化や生活福祉など「生活科学」のあり方について探究し、そのさまざまな問題解決に向けた取り組みを勉強することができます。また「環境・技術分野」は、自然環境や地球環境に関する科学的分析と未来予測を行い、その環境問題解決のための具体的方策を探り、行政や企業への建設的な政策提言などに取り組んでいます。特に最近の地震、津波、原発問題等、非常にホットな今日の問題が次々と発生しており、「自然環境と人間」、「科学技術と人間」のあり方が改めて切実に問われています。「環境と人間の共生」はいかにして可能なのか、その条件は何か等、こうした課題解決に向けた取り組みを勉強することができます。

Q 文学部を目指していますが、一般的な文学部と国際文化課程の違いは、どのようなところですか。

A 国際文化課程は他大学の文学部とは少し異なり、地理学・社会学・心理学・考古学等を専門的に学ぶコースはありませんが、経済学・政治学・法学といった社会科学を含む広い国際的・学際的視野に立って個別地域の言語・文学・歴史・思想などを比較しながら学びます。そして、その知識や言語能力を基に、自分を表現・伝達し、社会の中で主体的に活躍できる人材を育てることを目標にしています。

Q 美術・工芸課程に進学したいと考えています。入学試験には実技検査がありますが、高校時代に何か特別なことを行う必要はありますか。

A 数多くのデッサンをこなして基礎的な表現力を身につけてください。専門の先生や学外での指導・評価も積極的に得て、単なる入試対策ではなく、豊かな表現力につながる知識・技術・経験を積んでください。学力やものごとを見る眼もしっかり伴っていることが大切です。

経済学部

Q 経済学部独自の英語プログラムについて教えてください。

A 実践的で全般的な英語力を身につけるために、特別に開発された2年生以上を対象とする英語プログラム(Integrated Skills Program)です。このプログラムは、英語に必要なリスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4つの能力のそれぞれに重点を置いた4種類のクラスを開講し、統合された英語力を最大限に伸ばそうとするものです。これらのクラスはTOEICや英語検定受験のための基礎学力にもなります。また、これら4種のクラスに加えて、上級者にはTOEFLやIELTS受験準備のためのクラス(上級クラス)もあります。セルフアクセスセンターがあり、個人に合った学習ができるように、自習用の教材がそろっています。

Q 公務員になりたいのですが、どのような勉強が役立ちますか。

A 大学卒業程度の地方公務員試験などでは、教養試験に加え専門科目があります。専門科目は、一般的に行政系科目(政治学、行政学、社会学、国際関係)、法律系科目(憲法、行政法、民法、商法、刑法、労働法)、経済系科目(ミクロ・マクロ経済学、財政学、経営学、会計学)に分けられ、経済学部で学ぶ学問分野と重複する分野が多くあります。ただし、経済学部で学ぶことは、公務員試験の勉強とは異なりますので、試験対策は別に考える必要があります。

Q これまで、経済学部から法科大学院に進学された方はいらっしゃいますか。

A 卒業後、国立・私立の法科大学院に合格、進学した人たちがいます。その中には、すでに新司法試験に合格して、弁護士として活躍されている方もいます。経済学部では法律の授業も充実しており、経済学部としてはユニークな点です。

Q ゼミはどのようにして決定されるのですか。

A コース所属の教員の中から選べますが、演習は10名程度と少人数制になっています。希望するゼミの教員プロフィールは、大学入門科目と1、2年生の授業で分かるようになっていますが、自分で学生間の情報をしっかりと入手することも大切です。

Q 経済や法律に関する資格を取得することはできますか。

A 受験が多い日商簿記などの一部の資格取得に関するサポートは行っていますが、基本的に資格取得を目指す学生が自分で勉強することになっています。数年前には、現役で超難関資格の1つである「公認会計士」にも現役で合格しました。

Q 商業系の科・情報系の科・総合学科の推薦入試における資格取得状況の評価方法を教えてください。

A 英語・簿記・情報・商業経済の4つの分野ごとに点数化しています。一つの分野でひとつの資格しか評価しませんが、より上位の資格を評価します。

医学部

Q 医師になるためには、どのような過程が必要ですか。

A 大学の医学部で6年間の教育を受け卒業すると、医師国家試験受験資格が得られ、医師国家試験に合格すると医師資格が取得できます。ただし、診療に従事しようとするすべての医師に2年間の臨床研修が義務付けられています。2年間の研修終了後は各自の志望により、総合医、あるいは専門医として、後期研修を受けることになります。

Q 救命救急医になりたいのですが、今のうちから考えておくことはありますか。

A 救命救急医に限るものではありませんが、医師の勉強は生涯のものであり、学生時代の勉強は単にそのスタートにすぎません。大学で医学を学び、将来、信頼される心と力量を備えた医師になるためには、高等学校の段階から理数系に偏った学習をすることなく、幅広い教科について十分な基礎学力を身につけておくことが必要でしょう。また、病める人の立場にたって物事を考えることのできる「人間性」も求められますので、受験に向けた高校生活だけでなく学業も含めた様々な活動や幅広い生活を通じて培われる豊かな心も育ててください。自ら適性の有無を見極め、早い時期から将来に向けて問題意識を持ち、適切な判断と処理のできる能力を養っておくことが望まれます。

Q 看護師と保健師の資格を4年間でとることはできますか。

A 可能です。看護学科では、看護師教育課程を基盤に、保健師教育課程（公衆衛生看護コース）や助産師教育課程（助産コース）を選択し学習するカリキュラムが導入されました。看護師の資格は、本学看護学科において、4年間看護に関する教育を受け卒業すると、看護師国家試験受験資格が得られ、看護師国家試験に合格すれば看護師資格が得られます。また、保健師資格は、本学科の公衆衛生看護コースを選択し、公衆衛生看護に関する選択科目を履修した人に保健師の国家試験受験資格が与えられます。

Q 日本で医師の資格をとれば、外国で医療を行うことはできますか。

A 原則として日本の医師資格は日本でのみ有効です。しかし、国や施設によって条件付きでの医師資格が認められるところもあるようです。また、災害など緊急時の支援のために派遣される場合など、医療行為が認められる場合もあります。

Q 医師になるよりも研究者になりたいのですが、特別なコースがありますか。

A 米国など諸外国には医師と研究者でコースを区別しているところもありますが、本学にはありません。研究者になるには6年次の選択コースにおいて当該分野を重点的に選択し、卒業後に大学院へと進学することになります。

Q 看護師を目指してます。看護専門学校ではなく、大学で勉強することのメリットとは何ですか。

A 近年、日本の高齢化・国際化社会の中で、医療のめざましい発展や保健・福祉の複雑化により、医療従事者の果たす役割は極めて大きく重要なものとなっています。このような社会情勢の中で、看護職者には高度化、多様化した医療内容に対応できる高い専門知識・技術、さらには幅広い視野、豊かな感性が要求されています。看護系大学では、4年間に大学としての独自の教育も盛り込みますから、看護学の教育の中でより深い知識と広い視野、指導能力を養うことができるとともに研究能力の基礎を築き、学士（看護学）の学位を得ることができます。また、本学においては看護師教育に加え、保健師や助産師への道を開くための教育が4年間のカリキュラムの中で一貫して受けることが出来るよう工夫されています。さらに、大学院へ進学し、研究者、高度専門職者へ進み道もあります。

Q 助産師の資格を取得したいのですが、人数制限があると聞いています。入学後の成績が優秀でないと取得するのは難しいですか。

A 助産師コースは、実習施設等の制約から選択できる人数は、6名程度です。3年次に学業成績や面接などにより学内選考が行われますが、1年次から目的意識をもって計画的に学習することが肝要です。

理工学部

Q 理学系と工学系が一緒になっている学部の強みを教えてください。

A 理工学部は理学と工学の融合をテーマとし、「基礎に強い工学系人材」、「応用に強い理学系の人材」の育成を教育目標にしています。本学部では専門周辺科目が用意され、理学系の学生には工学系の講義の受講を、工学系の学生にはサイエンスに関する講義の受講を、といったクロス履修を義務付けられています。専門周辺科目によって、学生は偏ることのない知識を身につけ、多角的な専門知識を習得できます。

Q 技術者教育プログラム(JABEE)について教えてください。

A 日本技術者認定機構より、学科の教育プログラムが社会の要求水準を満たしていると認められたものです。JABEEに認定されたプログラムの修了生は国家資格である「技術士」の1次試験を免除されるなどのメリットがあり、将来幅広い分野で国際的に活躍することが可能です。

Q 実業系高校出身ですが、入学後の勉強についていけるか不安です。高校生時代に何をやっておけば良いでしょうか。

A 理工学部の多くの学科では、前期日程の学力試験で課したセンター試験・個別試験科目の出題範囲を、修得したものととして教育を始めます。したがって、例えば実業系高校出身で推薦入学する学生には、修得していない範囲について、入学時までに高校において、または独習で補習しておくことを望みます。特に、本学部では数学は重要であり、数Ⅲなどの補習は不可欠です。実業系高校出身であっても、優秀な成績で卒業した学生は数多くいます。

Q 普通科高校の教師になりたいと考えています。教育学部で教員免許を取得する場合と比べて理工学部で教員免許を取得することのメリットとは何ですか。

A 理工学部では、高校の数学(数理科学科、知能情報システム学科)、理科(物理科学科、機能物質化学科)、情報(知能情報システム学科)の教員免許が、対応する学科で所定の単位を取ることで取得できます。それぞれの学科では、数学、物理、化学、情報科学の専門分野をしっかりと勉強しますので、免許を取得して教師になれば、深い専門知識・専門能力を持った高校教師として活躍できます。

Q 佐賀大学理工学部の特徴的な研究は何ですか。

A 理工学部・大学院工学系研究科では、研究の発展として設立された研究センター(海洋エネルギー研究センター、低平地沿岸海域研究センター、シクロトロン光応用研究センターなど)と連携して、エネルギー、環境、応用工学などの分野で先進的研究を行っています。さらに、先端融合工学専攻では、医学、機能材料工学の研究を行っています。他にも、各専攻(学科)には、専門分野で高い評価を得た研究が数多く存在します。

Q 宇宙について勉強したいのですが、どのような勉強ができますか。

A 講義でビッグバン宇宙論について、卒業研究で一般相対論と宇宙論を学ぶ機会があります。講義によって、宇宙の膨張則と最新の観測結果を合わせてダークエネルギーやダークマターが存在することが分かります。卒業研究では、ブラックホール解、元素合成、インフレーションなどの初歩的なことを勉強できます。

Q 自分が所属する研究室は、どのように決めるのですか。

A 卒業研究等での所属研究室は、おもに学生の希望にもとづいて決められます。卒業研究等の着手資格を得た学生に対して、各研究室の教員が研究テーマを提示して説明を行います。提示された研究テーマを参考にして、学生は所属研究室の希望を申請します。ただし、研究室の定員を越える希望があった場合は、希望学生の成績に従って所属学生が決定されます。

Q 大学院に進学したいと考えています。どのように勉強すればよいですか。

A 大学院に進学する場合、一般的には学力試験を受けます。試験科目は、英語に加え、大学で習得した専門科目(学科によっては数学を含む)があります。したがって、試験科目に指定された重要な科目を十分に復習することが受験準備になります。別の入学方法として、推薦入学があります。各学科において成績が上位の学生に、推薦入学試験に出願する許可が与えられます。上位の成績を得るには、毎学期の試験に優秀な成績をあげる必要があります。

Q 就職活動において、企業から研究室への推薦依頼はどれくらいあるのでしょうか。

A 各学科には、数十社から数百社の企業より、卒業予定学生の推薦依頼があります。依頼があった企業への推薦学生は、学科の就職担当の教員が希望する学生から選びます。推薦でも自由応募でも、数段階の採用試験や面接を受けて、企業の内定を得ます。推薦希望だけでなく、就職活動に関する相談は、就職担当の教員が応じます。また、大学のキャリアセンターにも、企業からの推薦学生の依頼があります。

農学部

Q バイオテクノロジーについて勉強したいのですが、どの学科を選んだら良いでしょうか。

A バイオテクノロジー(生物工学)は技術ですので、全ての学科の幾つかの分野で行われています。どのような動物や植物を対象としたいかで、学科や分野を決めるのが良いでしょう。

Q 文系クラスにいますが、農学部に入學してもついていけますか。

A 農学の研究と学習に必要な基礎学力を養う科目が1年次に整備されていますので、それらの科目を受講すればスムーズに農学の専門分野を学ぶことができます。また、生物環境科学科には、農業経済、農産物貿易、地域活性化、循環型社会、環境衛生、農村開発など文系分野の教育研究を行う地域社会開発学コースが設けられています。

Q 化粧品会社に就職したいのですが、どの学科が有利ですか。

A 化粧品会社で何をしたいかで学ぶ学科を決めるのが良いと思います。開発ならさらに大学院に行く必要があるでしょうし、総合職なら特にどの学科が有利ということは言えないかも知れません。

Q 農作業等の実習には、どのようなものがあるのでしょうか。

A 果樹(みかん/茶など)・花卉(シクラメン/カーネーションなど)・蔬菜(かぼちゃ/さつまいもなど)園芸はもとより、水稲は地域の棚田も利用して1年のサイクルで実習できますし、家畜(牛や豚など)の飼育や管理実習も行なっています。

Q 農学部における食品関係の研究と家政学系の食物学科での研究の違いはどこですか。

A 農学部における食品関係の研究は、食品成分の生体・細胞への影響、健康・病気との関係や化学的構造と機能などについて分子レベルまで掘り下げて詳しく行われます。一方、家政学系の食物学科では、食品や食物の栄養学的、調理学的研究が中心になるかと思われます。

Q 公務員として活躍されている農学部卒業生には、どのような仕事をされている方がいますか。

A 農学職・農業職の公務員には(国I・国II・地方上級)の区別があります。近年の就職難から、このような公務員を受験する人が多くなっていますが、難関であることは間違いありません。これらの職に就いた先輩が、それぞれが扱う地域の農業や農業政策をリードしていることは言うまでもありません。

ロケーション

佐賀大学は、歴史と文化と自然の漂う佐賀県の有明海に近い佐賀市内にキャンパスを構えます。

県内には、吉野ヶ里遺跡や色々な史跡・観光・レクリエーション施設があります。ぜひ、「肥前佐賀」の風土に触れてみてください。



1 佐賀市歴史民俗館
長崎街道沿いのレトロ調の建物の中には、明治、大正期の佐賀の歴史、民俗資料が展示。



2 佐賀城本丸歴史館
佐賀城跡に、幕末期の佐賀城本丸御殿の一部を忠実に復元し建てられた歴史博物館です。



3 吉野ヶ里遺跡
推定延長2.5kmの壕に囲まれた日本最大級の規模の弥生時代の環壕集落跡です。



4 天山スキー場
佐賀県唯一の人工スキー場、スノーボードもOK。



佐賀国際バルーンフェスタ
毎年11月上旬、佐賀市嘉瀬川(かせがわ)河川敷で開催されるアジア最大級の熱気球の大会。



【佐賀大学近郊MAP】



■ 佐賀大学本庄キャンパス
佐賀バスセンターからバスで約15分
「4番のりば」から市営バス11番 西与賀行
又は12番 東与賀行で「佐大前」下車
「4番のりば」から市営バス63番
佐賀女子短大・高校前行で「佐大前」下車

■ 佐賀大学銅島キャンパス
佐賀バスセンターからバスで約25分
「2番のりば」から市営バス50番で
「佐賀大学病院」下車

● 福岡方面からのアクセス

佐賀大学 本庄キャンパス	自転車 約15分	JR佐賀駅	電車(特急) 約40分	JR博多駅
	自転車 約15分	佐賀バスセンター	西鉄高速バス 約1時間20分	天神
	自転車 約15分	JR佐賀駅	電車(普通) 約1時間	JR久留米駅
	自転車 約15分	佐賀バスセンター	西鉄バス 約1時間30分	西鉄久留米



ロケーション



入試情報

平成25年度 入試実績

学部	学科・課程・選修	募集人数					志願者数					受験者数					合格者数					入学者数									
		前期	後期	推薦	AO	併願 推薦	計	前期	後期	推薦	AO	併願 推薦	計	前期	後期	推薦	AO	併願 推薦	計	前期	後期	推薦	AO	併願 推薦	計	前期	後期	推薦	AO	併願 推薦	計
文化教育学部	教育学・教育心理学選修	14	6	-	-	-	20	41	27	-	-	-	68	41	15	-	-	-	56	18	6	-	-	-	24	16	5	-	-	-	21
	障害児教育選修	6	3	-	-	-	9	15	12	-	-	-	27	15	5	-	-	-	20	8	3	-	-	-	11	8	3	-	-	-	11
	教科教育選修	24	8	10	-	-	42	40	29	30	-	-	99	40	13	30	-	-	83	29	8	10	-	-	47	26	7	10	-	-	43
	理科選修	5	2	-	-	-	7	12	26	-	-	-	38	11	11	-	-	-	22	6	2	-	-	-	8	6	1	-	-	-	7
	数学選修	5	2	-	-	-	7	24	15	-	-	-	39	24	9	-	-	-	33	7	2	-	-	-	9	6	2	-	-	-	8
	音楽選修	-	3	-	2	-	5	-	12	-	5	-	17	-	5	-	5	-	10	-	3	-	2	-	5	-	3	-	2	-	5
	国際文化課程	40	14	6	-	-	60	158	155	28	-	-	341	157	65	28	-	-	250	52	18	6	-	-	76	44	10	6	-	-	60
	人間環境課程	35	9	13	3	-	60	130	133	49	26	-	338	127	63	48	26	-	264	46	9	13	3	-	71	43	8	13	3	-	67
	美術・工芸課程	19	7	4	-	-	30	57	66	24	-	-	147	55	33	24	-	-	112	20	8	4	-	-	32	19	8	4	-	-	31
小計	148	54	33	5	-	240	477	475	131	31	-	1114	470	219	130	31	-	850	186	59	33	5	-	283	168	47	33	5	-	253	
経済学部	経済学科	70	20	20	-	-	110	228	244	43	-	-	515	217	79	43	-	-	339	92	41	22	-	-	155	66	23	22	-	-	111
	経営学科	30	20	30	-	-	80	68	147	37	-	-	252	62	49	37	-	-	148	41	35	31	-	-	107	28	26	31	-	-	85
	経済法学科	35	25	10	-	-	70	69	158	19	-	-	246	64	48	19	-	-	131	47	37	10	-	-	94	38	23	10	-	-	71
	小計	135	65	60	-	-	260	365	549	99	-	-	1013	343	176	99	-	-	618	180	113	63	-	-	356	132	72	63	-	-	267
医学部	医学科	51	10	43	-	2	106	259	259	86	-	4	608	208	37	86	-	4	335	52	11	43	-	2	108	51	10	43	-	2	106
	看護学科	35	5	20	-	-	60	85	57	72	-	-	214	83	25	72	-	-	180	36	5	21	-	-	62	34	4	21	-	-	59
小計	86	15	63	-	2	166	344	316	158	-	4	822	291	62	158	-	4	515	88	16	64	-	2	170	85	14	64	-	2	165	
理工学部	数理科学科	24	6	-	-	-	30	101	126	-	-	-	227	99	72	-	-	-	171	27	8	-	-	-	35	25	8	-	-	-	33
	物理科学科	32	8	-	-	-	40	94	144	-	-	-	238	92	75	-	-	-	167	39	8	-	-	-	47	36	5	-	-	-	41
	知能情報システム学科	48	10	2	-	-	60	172	188	6	-	-	366	170	108	6	-	-	284	50	12	4	-	-	66	49	8	4	-	-	61
	機能物質化学科	62	16	12	-	-	90	187	345	30	-	-	562	186	192	30	-	-	408	63	27	12	-	-	102	59	19	12	-	-	90
	機械システム工学科	68	17	5	-	-	90	190	347	8	-	-	545	188	172	8	-	-	368	77	17	5	-	-	99	77	12	5	-	-	94
	電気電子工学科	69	17	4	-	-	90	198	248	7	-	-	453	195	123	7	-	-	325	80	18	4	-	-	102	76	15	4	-	-	95
	都市工学科	61	15	14	-	-	90	186	260	42	-	-	488	180	141	41	-	-	362	65	27	14	-	-	106	58	23	14	-	-	95
小計	364	89	37	-	-	490	1128	1658	93	-	-	2879	1110	883	92	-	-	2085	401	117	39	-	-	557	380	90	39	-	-	509	
農学部	応用生物科学科	25	10	10	-	-	45	92	120	24	-	-	236	89	66	24	-	-	179	32	10	10	-	-	52	31	8	10	-	-	49
	生物環境科学科	30	15	15	-	-	60	77	96	27	-	-	200	74	59	27	-	-	160	40	15	16	-	-	71	36	9	16	-	-	61
	生命機能科学科	30	5	5	-	-	40	127	132	23	-	-	282	125	75	23	-	-	223	35	5	5	-	-	45	33	4	5	-	-	42
	小計	85	30	30	-	-	145	296	348	74	-	-	718	288	200	74	-	-	562	107	30	31	-	-	168	100	21	31	-	-	152
合計	818	253	223	5	2	1301	2610	3346	555	31	4	6546	2502	1540	553	31	4	4630	962	335	230	5	2	1534	865	244	230	5	2	1346	

※帰国子女入試、社会人入試は除く。

平成25年度 一般入試における合格者のデータ

学部	学科・課程(専修)	前期日程				後期日程				
		センター:個別試験 配点比	センター平均点 (得点率)	個別試験平均点 (得点率)	合格最低点 (得点率)	センター:個別試験 配点比	センター平均点 (得点率)	個別試験平均点 (得点率)	合格最低点 (得点率)	
文化教育学部	教育学・教育心理学選修	900:200	580(64.4%)	113(56.5%)	662(60.2%)	1000:200	-	-	-	
	障害児教育選修		-	-	-		-	-		
	教科教育選修	1000:300	601(60.1%)	137(45.7%)	652(50.2%)		-	-	-	
	理科選修	825:100	-	-	-		925:100	-	-	-
	数学選修	1000:400	-	-	-		1100:200	-	-	-
	音楽選修	-	-	-	-		700:500	-	-	-
	国際文化課程	1200:800	775(64.6%)	482(60.3%)	1190(59.5%)		1200:300	824(68.7%)	217(72.3%)	1004(66.9%)
	人間環境課程	1400:200	879(62.8%)	97(48.5%)	942(58.9%)		1400:200	-	-	-
経済学部	経済学科	700:100	441(63.0%)	58(58.0%)	475(59.3%)	464(66.3%)	52(52%)	466(58.2%)		
	経営学科		432(61.7%)	54(54.0%)	465(58.1%)	452(64.6%)	49(49%)	473(59.1%)		
	経済法学科		435(62.1%)	57(57.0%)	463(57.9%)	450(64.3%)	53(53%)	469(58.6%)		
医学部	医学科	630:400	522(82.9%)	323(80.8%)	812(78.8%)	630:280	-	-	755(83.0%)	
	看護学科	650:260	438(67.4%)	204(78.5%)	609(66.9%)	590:280	-	-	-	
理工学部	数理科学科	900:600	552(61.3%)	491(81.8%)	986(65.7%)	600:400	-	-	-	
	物理科学科		547(60.8%)	439(73.2%)	922(61.5%)		-	-	-	
	知能情報システム学科		551(61.2%)	448(74.7%)	939(62.6%)		396(66.0%)	253(63.3%)	591(59.1%)	
	機能物質化学科		545(60.6%)	448(74.7%)	935(62.3%)		413(68.8%)	330(82.5%)	713(71.3%)	
	機械システム工学科		521(57.9%)	398(66.3%)	867(57.8%)		406(67.7%)	210(52.5%)	556(55.6%)	
	電気電子工学科		526(58.4%)	411(68.5%)	877(58.5%)		384(64.0%)	280(70.0%)	606(60.6%)	
農学部	都市工学科	600:400	523(58.1%)	412(68.7%)	869(57.9%)	386(64.3%)	274(68.5%)	592(59.2%)		
	応用生物科学科		412(68.7%)	252(63.0%)	626(62.6%)	420(76.4%)	179(89.5%)	578(77.1%)		
	生物環境科学科		376(62.7%)	220(55.0%)	551(55.1%)	407(74.0%)	170(85.0%)	557(74.3%)		
	生命機能科学科		425(70.8%)	272(68.0%)	656(65.6%)	-	-	-		

◎合格者が10名未満のデータについては公表していません。

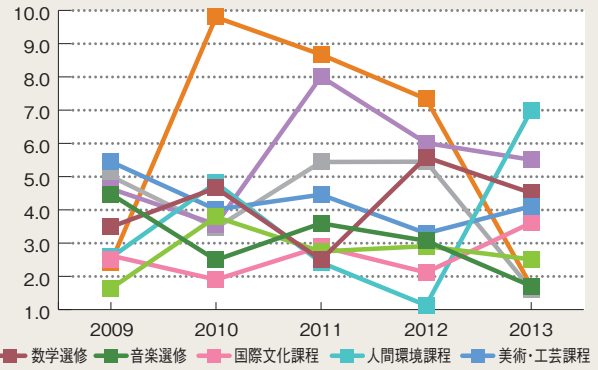
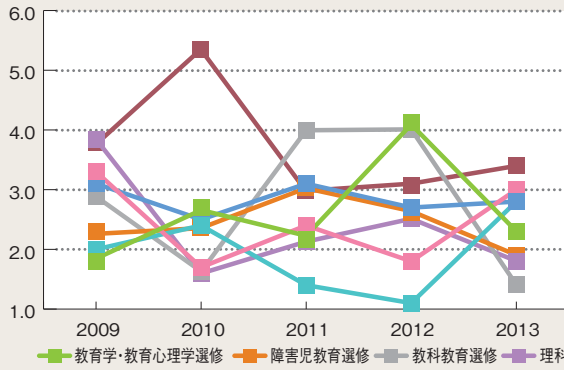
◎医学部(後期日程)については、センター試験及び個別試験の最高点・最低点・平均点を公表していません。

過去5年間に於ける一般入試の実質倍率(受験者数÷合格者数)

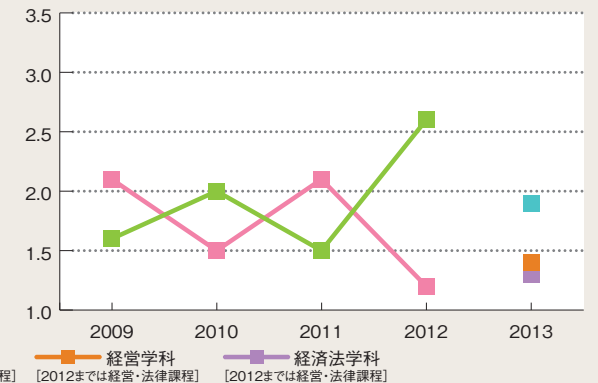
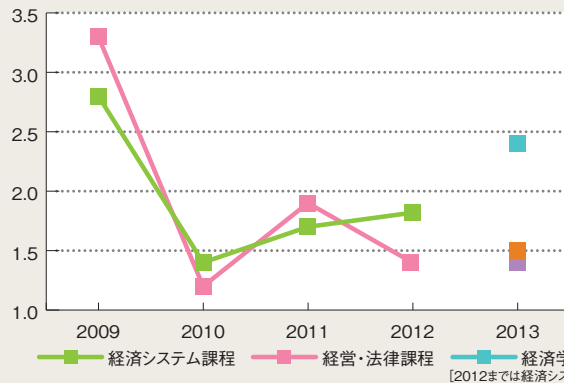
(前期)

(後期)

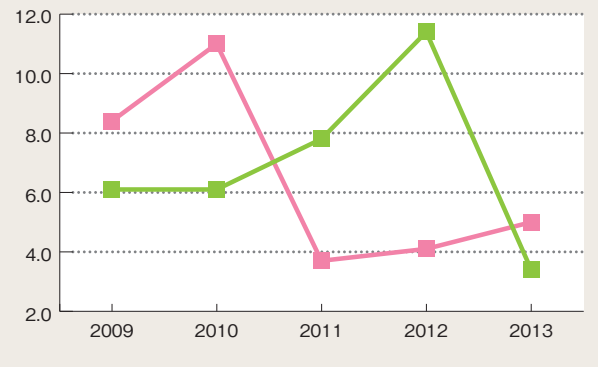
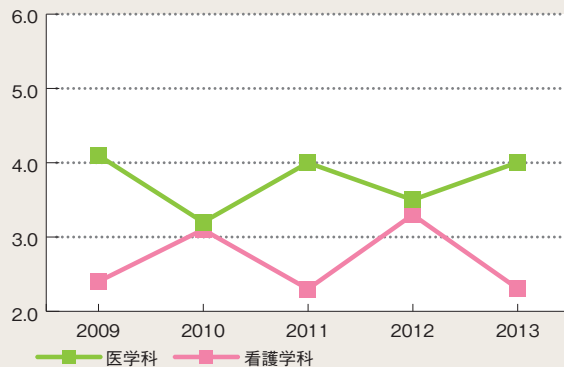
文化教育学部



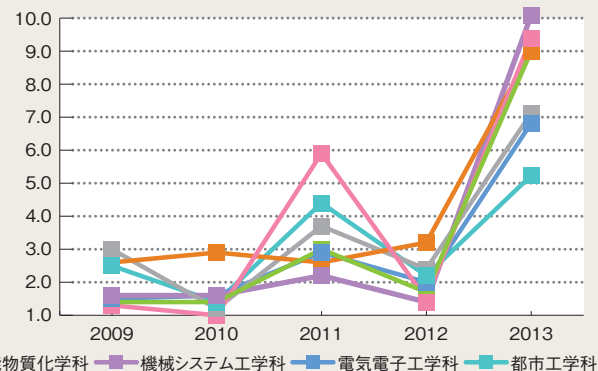
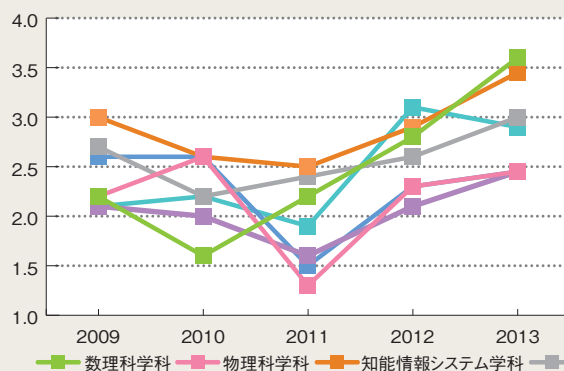
経済学部



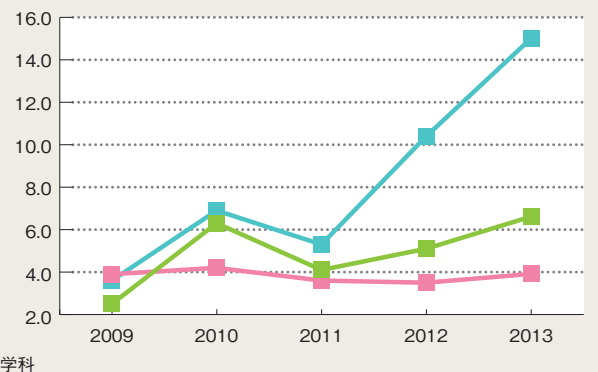
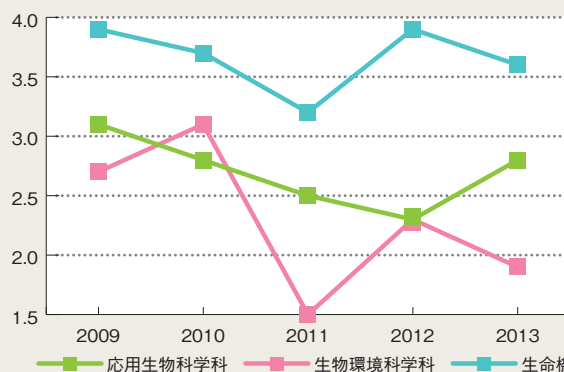
医学部



理工学部



農学部



入試情報

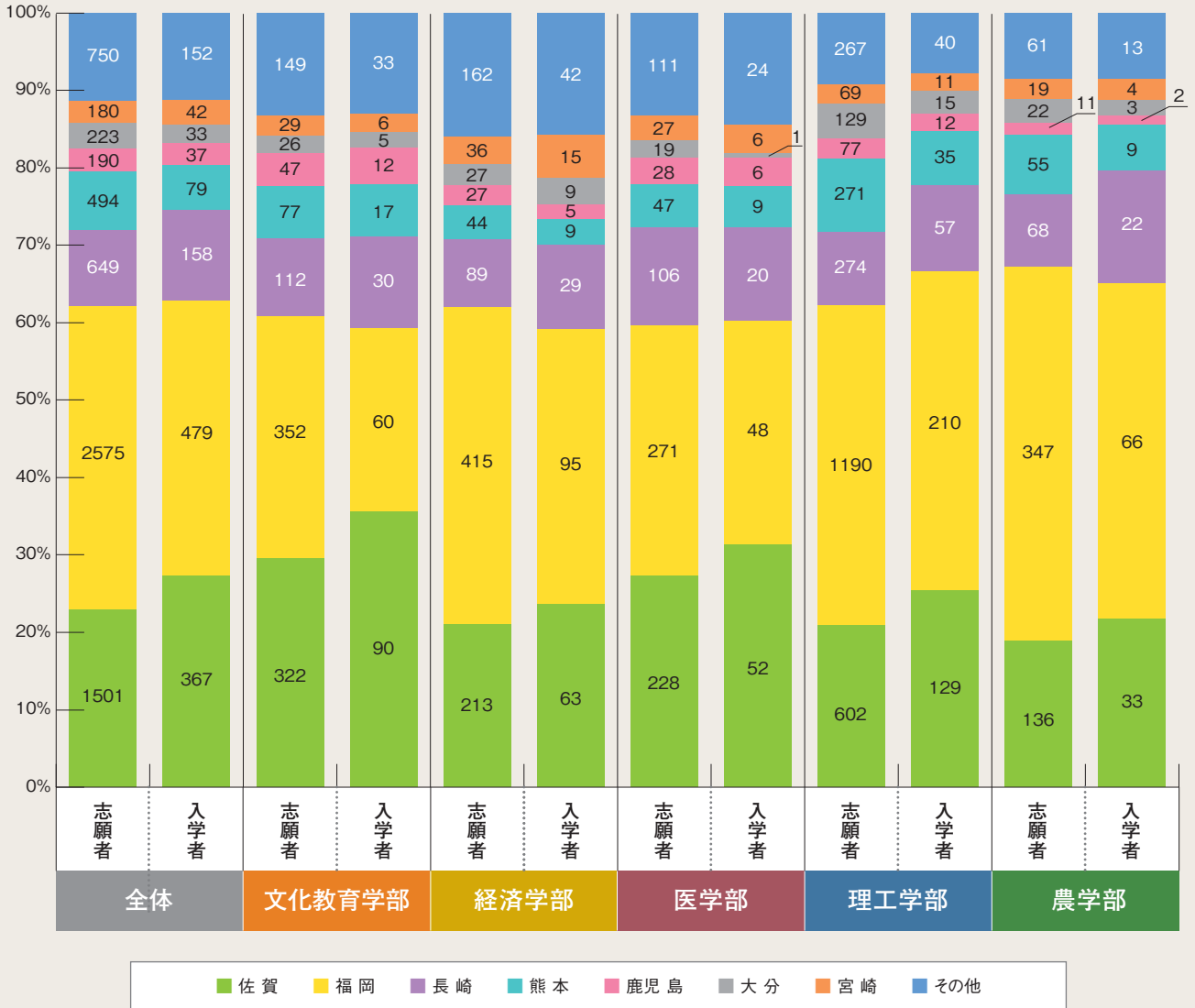
過去3年間の推薦入試実績

課程・専修	年度	募集人数	志願者数	第一次選考合格	第二次選考合格	入学者
学校教育課程 教科教育選修(全科)	H25	10	30	30	10	10
	H24		33	33	11	11
	H23	11	20	20	11	11
国際文化課程(全科)	H25		28	28	6	6
	H24	6	18	18	6	6
	H23		29	29	6	6
人間環境課程 生活・環境・技術選修(全科)	H25	3	8	8	3	3
	H24		5	5	2	2
	H23	2	2	2	2	2
人間環境課程 生活・環境・技術選修(総合学科)	H25		3	3	1	1
	H24	1	1	1	1	1
	H23		0	0	0	0
人間環境課程 健康福祉・スポーツ選修(全科)	H25	9	38	38	9	9
	H24	7	33	33	10	10
	H23		10	10	9	9
美術・工芸課程(全科)	H25		24	24	4	4
	H24	4	28	28	4	4
	H23		41	30	4	4
経済学科(商業科・総合学科) [H24までは経済システム課程(商業科・総合学科)]	H25	10	16	16	12	12
	H24	30	12	12	8	8
	H23	(経営・法律課程と合わせて)	7	7	4	4
経済学科(普通科) [H24までは経済システム課程(普通科)]	H25	10	27	27	10	10
	H24	30	30	30	15	15
	H23	(経営・法律課程と合わせて)	36	36	15	15
経営学科(商業科・総合学科) [H24までは経営・法律課程(商業科・総合学科)]	H25	20	22	22	20	20
	H24	30	36	36	22	22
	H23	(経済システム課程と合わせて)	40	40	28	28
経営学科(普通科) [H24までは経営・法律課程(普通科)]	H25	10	15	15	11	11
	H24	30	36	36	17	17
	H23	(経済システム課程と合わせて)	34	34	17	17
経済法学科(普通科)[H24までは経営・法律課程(普通科)]	H25	10	19	19	10	10
医学科(全科)	H25	43	86	86	43	43
	H24		101	101	33	33
	H23	33	96	96	33	33
医学科(全科)[佐賀県推薦入学試験]	H25		4	4	2	2
	H24	2	15	9	2	2
	H23		17	8	2	2
看護学科(全科)	H25	20(衛生看護科・総合学科と合わせて)	71	71	21	21
	H24	23	61	61	23	23
	H23	(衛生看護科・総合学科と合わせて)	53	53	23	23
看護学科(衛生看護科・総合学科)	H25	20(全科と合わせて)	1	1	0	0
	H24	23	4	4	0	0
	H23	(全科と合わせて)	2	2	0	0
知能情報システム学科(情報系の科・総合学科)	H25		6	6	4	4
	H24	2	10	10	4	4
	H23		4	4	3	3
機能物質化学科(普通科・理数科・総合学科)	H25		28	28	10	10
	H24	10	18	18	11	11
	H23		23	23	11	11
機能物質化学科(工業系の科・総合学科)	H25		2	2	2	2
	H24	2	4	4	2	2
	H23		3	3	1	1
機械システム工学科(機械系の科・総合学科)	H25		8	8	5	5
	H24	5	7	7	5	5
	H23		7	7	5	5
電気電子工学科(電気・電子・情報系の科・総合学科)	H25		7	7	4	4
	H24	4	8	8	4	4
	H23		10	10	4	4
都市工学科(普通科・数理科・総合学科)	H25		34	34	10	10
	H24	10	28	28	14	14
	H23		41	41	12	12
都市工学科(土木・建築系の科・総合学科)	H25		8	8	4	4
	H24	4	7	7	5	5
	H23		7	7	7	7
応用生物科学科(全科)	H25		17	17	7	7
	H24	7	28	28	7	7
	H23		26	26	7	7
応用生物科学科(専門系の科および総合学科)	H25		7	7	3	3
	H24	3	7	7	3	3
	H23		7	7	3	3
生物環境科学科(全科)	H25		22	22	13	13
	H24	12	21	21	12	12
	H23		30	30	12	12
生物環境科学科(専門系の科および総合学科)	H25		5	5	3	3
	H24	3	6	6	3	3
	H23		7	7	3	3
生命機能科学科(全科)	H25		19	19	4	4
	H24	4	22	22	4	4
	H23		19	19	5	5
生命機能科学科(専門系の科および総合学科)	H25		4	4	1	1
	H24	1	3	3	1	1
	H23		1	1	1	1

過去3年間のAO入試実績

課程・専修	年度	募集人数	志願者数	第一次選考合格	第二次選考合格	入学者
学校教育課程 音楽選修(全科)	H25	2	5	5	2	2
	H24		8	7	3	3
	H23		12	8	3	3
人間環境課程 健康福祉・スポーツ選修(全科)	H25	3	26	26	3	3
	H24		20	20	3	3
	H23		24	24	3	3

平成25年度 都道府県別志願者数・入学者数



入試日程等のお知らせ

① 平成26年度学部入試日程予定

出願、受験に際しては、必ず本学が配布している選抜要項及び各募集要項を請求し内容を確認してください。

選抜種別	学部	出願期間	試験日	合格者発表日		
一般入試	前期日程	平成26年 1月27日(月)～ 2月5日(水)	平成26年 2月25日(火)	平成26年 3月7日(金)		
			平成26年 2月25日(火) 平成26年 2月26日(水)			
	後期日程		平成26年 3月12日(水)	平成26年 3月21日(金)		
			平成26年 3月12日(水) 平成26年 3月13日(木)			
特別入試	推薦	平成25年 11月1日(金)～ 11月7日(木)	平成25年 11月29日(金)	平成25年 12月16日(月)		
			平成25年 11月30日(土)	平成26年 2月13日(木) 平成25年 12月16日(月)		
			平成25年 11月29日(金)	平成25年 12月16日(月)		
	帰国子女		平成26年 2月25日(火) 平成26年 2月26日(水)	平成26年 3月7日(金)		
			平成25年 11月30日(土)	平成25年 12月16日(月)		
	社会人		医学部	平成25年 11月30日(土)	平成25年 12月16日(月)	
						医学部
	佐賀県推薦入学		医学部 (右記出願期間はあらかじめ行われる佐賀県の選抜を経た上での出願期間)	平成25年 11月21日(木)～ 11月26日(火)	平成25年 11月30日(土)	平成26年 2月13日(木)
	AO		文化教育学部 学校教育課程 音楽選修 文化教育学部 人間環境課程 健康福祉・ スポーツ選修	平成25年 8月12日(月)～ 8月19日(月)	平成25年 9月26日(木) 平成25年 9月27日(金)	平成25年 10月4日(金)
平成25年 9月19日(木)						
私費外国人留学生入試	文化教育学部、経済学部、 理工学部、農学部 医学部	平成26年 1月23日(木)～ 1月30日(木)	平成26年 3月3日(月)	平成26年 3月7日(金)		
			平成26年 2月25日(火) 平成26年 2月26日(水)			

② 募集要項等の発表時期

要項の種別	冊子の配布時期
平成26年度入学者選抜要項 入学者選抜要項は、入学試験等に関する基本的な事項 (出願受付期間、試験日程及び募集人員等)について記載したもので、 入学志願票は入っておりません。	平成25年 7月中旬
平成26年度AO入試学生募集要項	平成25年 7月中旬
平成26年度社会人特別入試募集要項	平成25年 9月上旬

要項の種別	冊子の配布時期
平成26年度推薦入試募集要項 平成26年度帰国子女特別入試募集要項	平成25年 9月上旬
平成26年度佐賀県推薦入学特別入試募集要項	平成25年 9月上旬
平成26年度私費外国人留学生募集要項	平成25年 10月上旬
平成26年度一般入試募集要項	平成25年 11月上旬

③ 募集要項等の請求方法



テレメールから請求する方法

テレメールで請求すれば2～3日程で届きます(発送開始前の請求を除く)

インターネット <http://telemail.jp>

(パソコン・ケータイ・スマホ)

自動音声応答電話なら [IP電話] 050-8601-0101 (24時間受付)



ケータイ・スマホ用
バーコード

資料請求番号

(送料は予定額)

大学案内(2014年度版)	567482	290円
入学者選抜要項	587482	210円
入学者選抜要項+大学案内	567452	340円
一般入試募集要項	587452	290円
一般入試募集要項+大学案内	547552	340円
推薦入試・帰国子女特別入試募集要項	587462	290円
佐賀県推薦入学特別入試募集要項	587492	290円
AO入試募集要項	547562	210円
私費外国人留学生入試募集要項	587472	210円

■ 郵送により請求する方法

本学あての封筒の表面に希望する学部・要項「○○学部」、「平成26年度○○要項請求」と朱書き、返信用封筒(角型2号封筒に郵送先を明記し340円切手を貼付したもの)を同封の上、下記のところへ請求してください。請求のあった要項と大学案内を送付します。

■ 宅配便による配達を希望する請求方法(料金受取人払い)

1.「ファックス」により、請求する要項の種類、希望する学部名、受取人の郵便番号、住所、氏名、電話番号等を記入し申し込んでください。請求のあった要項と大学案内を送付します。申込受付後の取消しはできませんので注意してください。
配達は、申込者の住所によって異なりますが、申込書受付後、2～4日後となります。
(注)ファックスの受付は、平日の8時30分～17時の間に行います。
2.受領の際は、中身を確認後、料金を宅配業者に直接支払ってください。

■ 大学窓口での配布

平日の8時30分から17時まで、佐賀大学学務部入試課で配布します。

“きっかけ”を“カ”に。

佐賀大学 オープンキャンパス

2013

■本庄キャンパス:文化教育学部、経済学部、
理工学部、農学部

■鍋島キャンパス:医学部

[開催日]

8/8木

[開催内容]

- ◎学部・学科・課程紹介、入試概要説明
- ◎模擬授業、研究室訪問、体験実習、施設見学
- ◎保護者様向け説明会および個別相談会
- ◎在学生による個別相談会
- ◎九州地区国立大学進学説明会
- ◎スマートフォンを利用した企画…など

スマートフォンをお持ちの方は、ご持参ください。



オープンキャンパスで
大活躍!

「佐賀大学アプリ」の道案内機能

キャンパスナビを使おう!



スマートフォンに「佐賀大学アプリ」(無料)をダウンロードすると、キャンパスナビを利用できます。


「教室や建物の場所が分からない」「自分は今どこにいるのだろう」などの疑問はコレで解決!

安心して大学内を見学できます。

スマホで見る大学案内も「佐賀大学アプリ」から視聴できます。詳しくは下記をご覧ください。

写真の学生が話します! 新感覚大学案内を試してみよう!

スマホをかざして大学案内を見る

- 1 「佐賀大学アプリ」(無料)をダウンロードします。
- 2 「大学案内2014」をタップします。
- 3 カメラモードに切り替わりますので、そのまま動画マーク  の学生(ページ全体が入るように)にスマホをかざしてください。佐賀大学の紹介が始まります。



インターネット(YouTube)から見る

佐賀大学入試案内の
トップページへ

<http://www.sao.saga-u.ac.jp/>

ココをクリックすると
YouTubeへ移動します。



パンフレットと同じ動画を
YouTubeから
見ることができます。





佐賀大学
SAGA UNIVERSITY

お問い合わせ

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学 学務部入試課
TEL 0952-28-8178  nyushi@mail.admin.saga-u.ac.jp

<http://www.saga-u.ac.jp/>



佐賀大学携帯サイト

<http://daigakujc.jp/saga-u/>

本学の情報を携帯電話で見ることができます。